

# 第40回 市政世論調査

(平成25年度)



リニューアルオープンした新潟市水族館「マリンピア日本海」イルカショーの様子

新 潟 市



# < 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	8
II 調査結果	13
1. 新潟市のコミュニティについて	15
（1）自治会・町内会の加入状況	15
（2）自治会・町内会に加入していない理由	17
（3）「地域の活動」への参加状況	20
（4）「地域の活動」に参加するための条件	23
（5）今後の「地域の活動」への参加意向	26
（6）現在参加、または今後参加したい「地域の活動」	29
（7）地域コミュニティ協議会の認知状況	33
（8）地域コミュニティ協議会の情報の入手先	35
（9）地域コミュニティ協議会の活動への参加状況	38
（10）地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件	41
（11）今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向	44
（12）現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動	47
（13）区自治協議会の認知状況	51
（14）区自治協議会の役割や活動で知っていること	53
2. 市が所有する公共施設（建物等）について	56
（1）市が所有する公共施設の利用頻度や交通手段	56
（2）市の施設の安全性	85
（3）市の施設の使いやすさ	88
（4）将来の市の人口構成や建物の老朽化による財政負担についての認識	91
（5）今後の施設の改修、建替えについて	93
（6）今後の施設の維持、管理方法	96
（7）将来、市内に必要な施設	99

3. 移動しやすいまちづくりについて	104
(1) 移動しやすさの現状	104
(2) 市内を移動する際の交通手段の満足度	107
(3) 歩行空間に対する満足度	113
(4) 自転車利用の取り組みに対する満足度	117
(5) 「移動しやすいまち」として必要なこと	122
(6) 「まち歩き」の現状とお勧めの「まち歩きコース」の理由	127
4. 市政全般と区政について	133
(1) 新潟市として良くなっているもの	133
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	137
(3) 区として良くなっているもの	141
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	146
5. 市の取り組みに対する感想	151

Ⅲ 調査票様式	173
---------	-----

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

## 2. 調査の項目

(1) 対象者属性	本質問 7 問	補助質問 1 問
(2) 新潟市のコミュニティについて	本質問 14 問	
(3) 新潟市が所有する公共施設（建物等）について	本質問 7 問	
(4) 移動しやすいまちづくりについて	本質問 6 問	
(5) 市政全般と区政について	本質問 1 問	
(6) 市の取り組みに対する感想	本質問 1 問	

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 25 年 6 月末現在の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000 人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 25 年 7 月 19 日～8 月 9 日

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 職業別は、次のように分類した。

自 営 業	農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者）
	商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店・修理店など）
	自由業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）
家 族 従 業 者	農・林・漁業（農業・林業・漁業の家業を継続的に手伝っている人）
	商・工・サービス業（商・工・サービス業の家業を継続的に手伝っている人）
	自由業（自由業の家業を継続的に手伝っている人）
勤 め 人	管理職（民間会社・官公庁の課長職以上）
	事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
	技能・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
無 職	家事専業
	学生
	その他

- (4) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

### (2) 回収結果

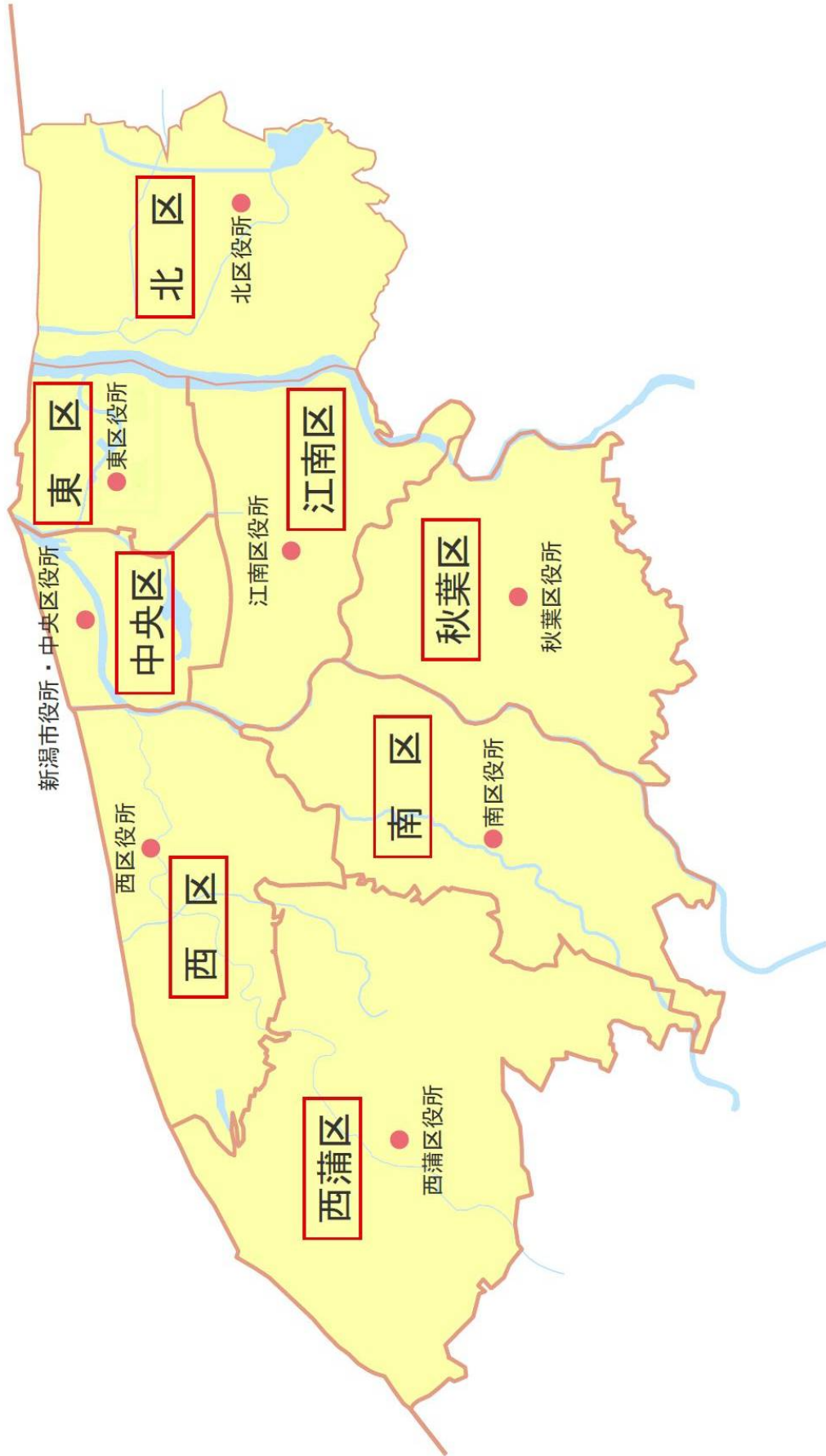
	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	661,840	100.0%	4,000	1,964	49.1%
北区	62,938	9.5%	380	190	50.0%
東区	113,957	17.2%	689	333	48.3%
中央区	146,178	22.1%	883	465	52.7%
江南区	56,643	8.6%	342	156	45.6%
秋葉区	64,346	9.7%	389	187	48.1%
南区	38,506	5.8%	233	101	43.3%
西区	128,842	19.5%	779	383	49.2%
西蒲区	50,430	7.6%	305	136	44.6%
区名無回答				13	

## 6. 区（行政区）の範囲

次頁区分図参照。

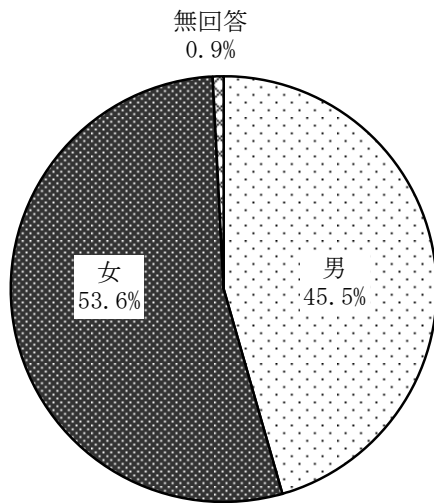


<区分图>

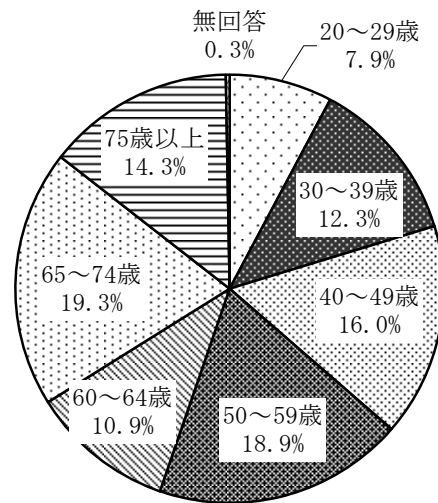


## 7. 回答者の特性

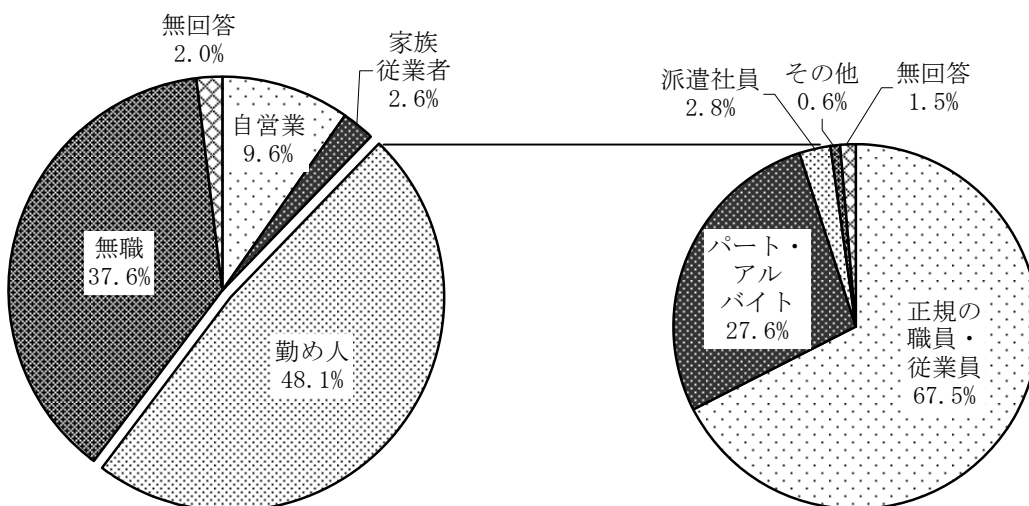
### ◆性別



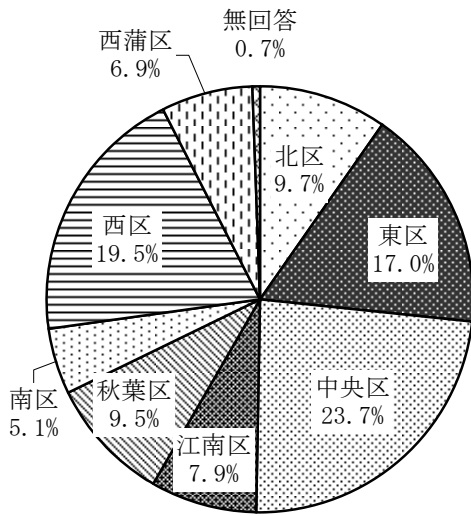
### ◆年齢別



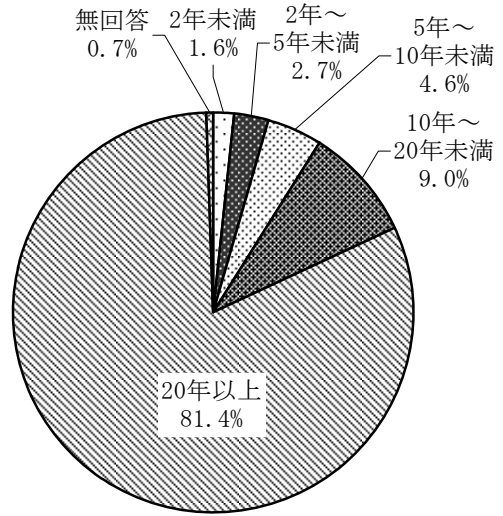
### ◆職業別



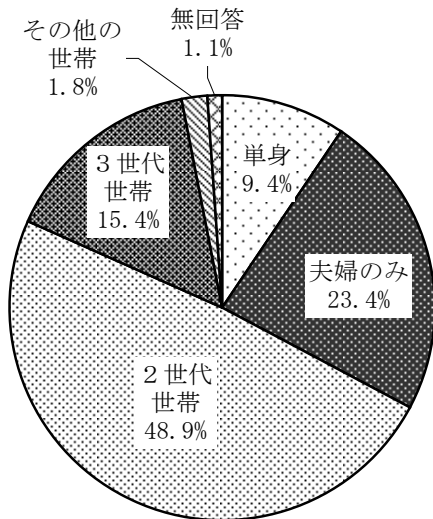
◆地区別



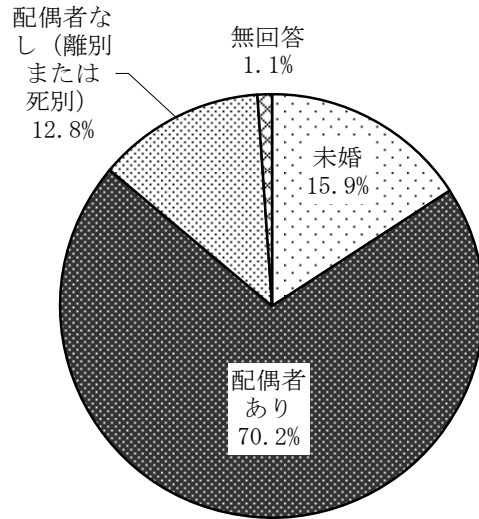
◆居住年数別



◆世帯構成別

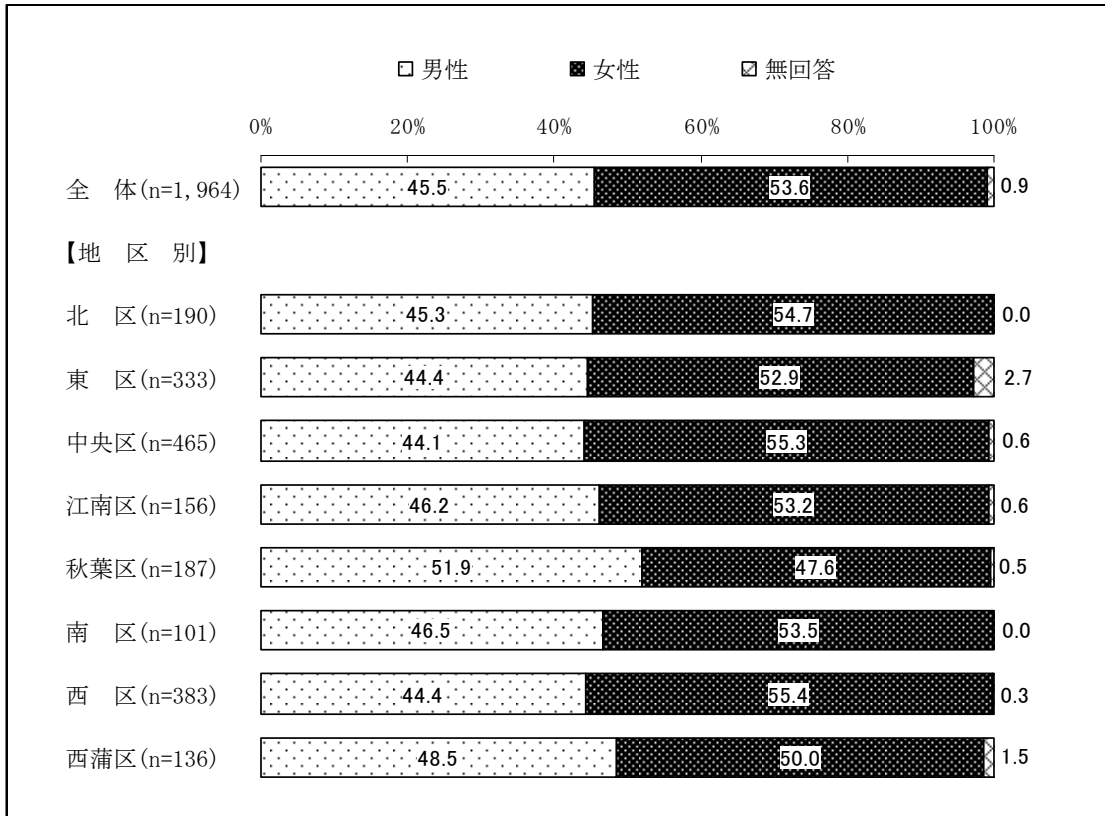


◆婚姻状況別

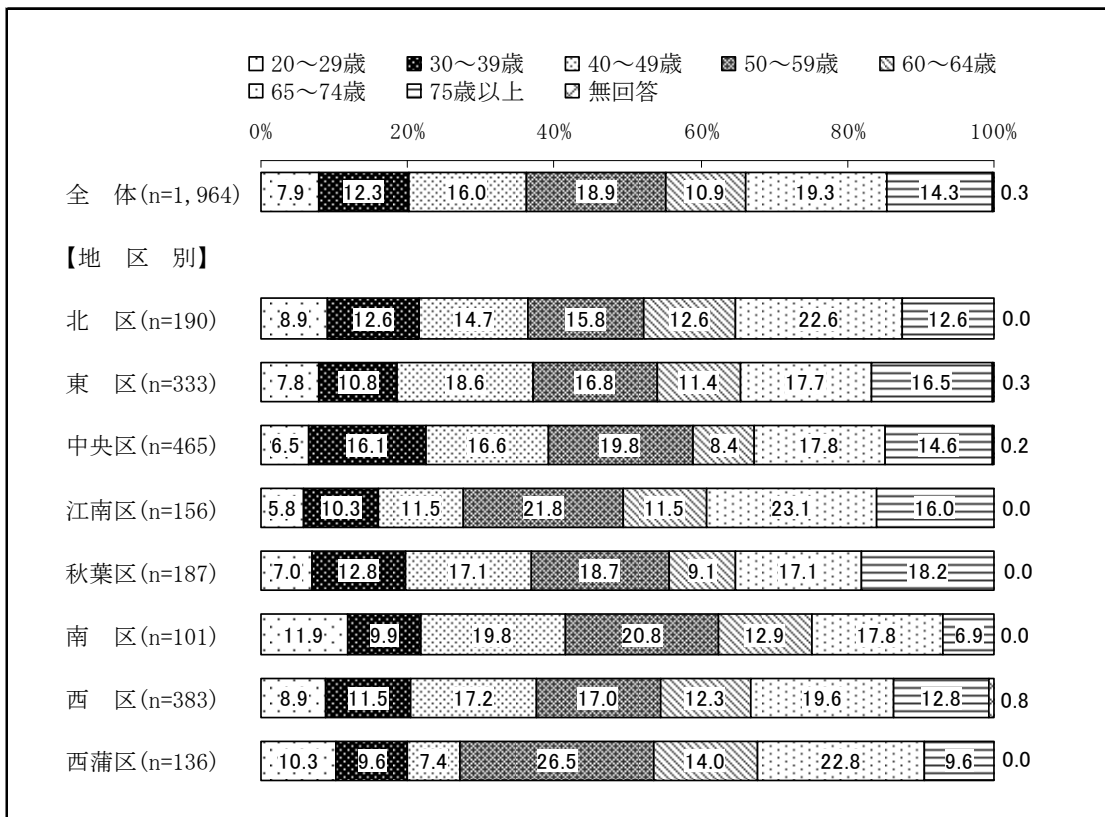


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

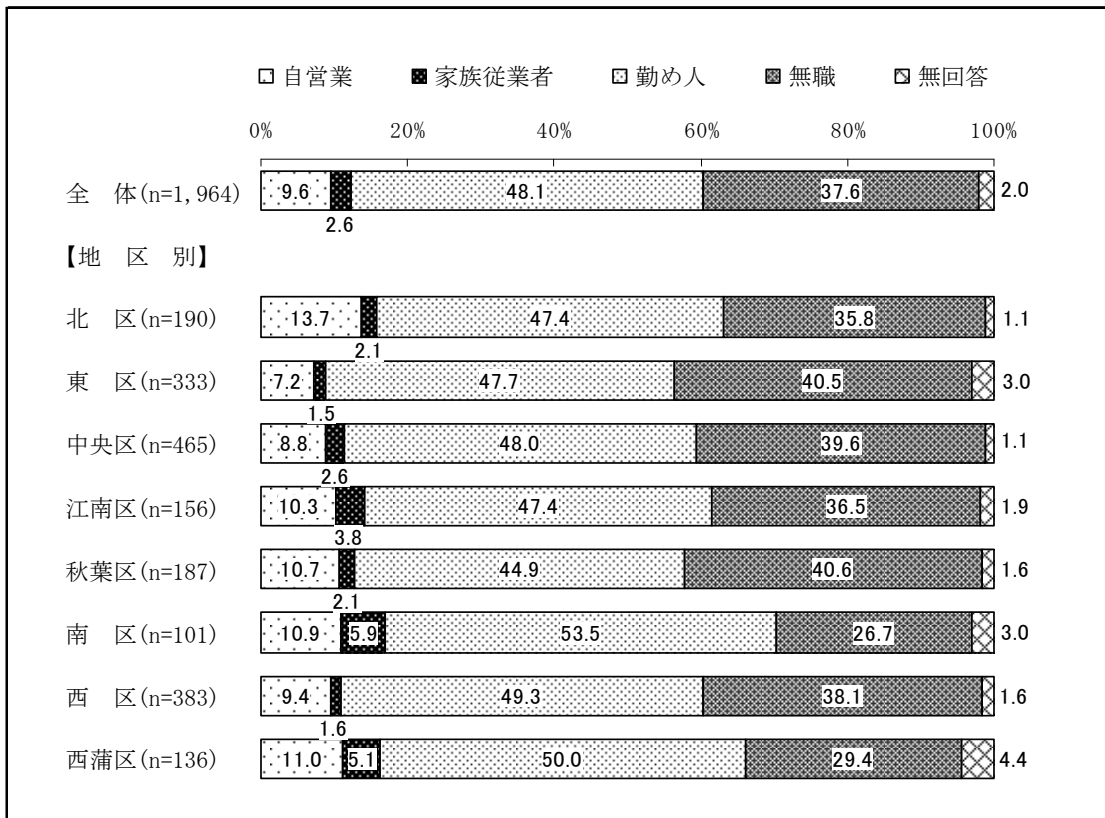
### 【性別】



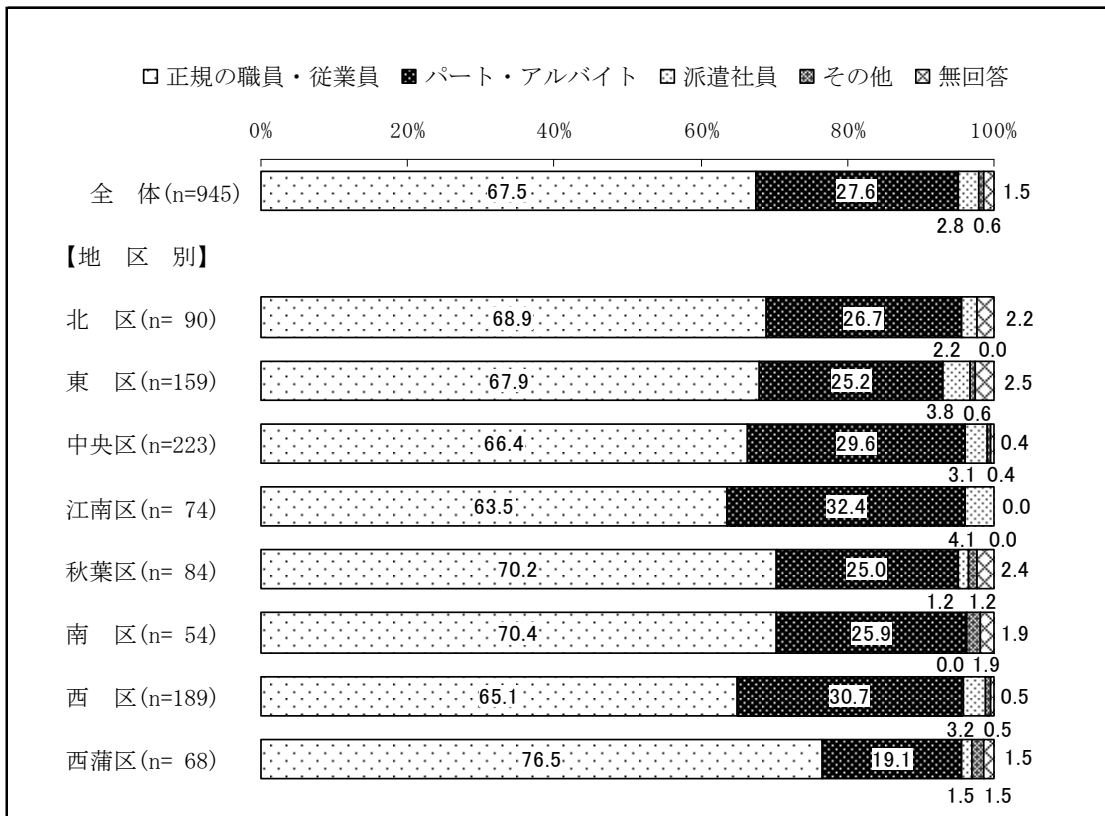
### 【年齢別】



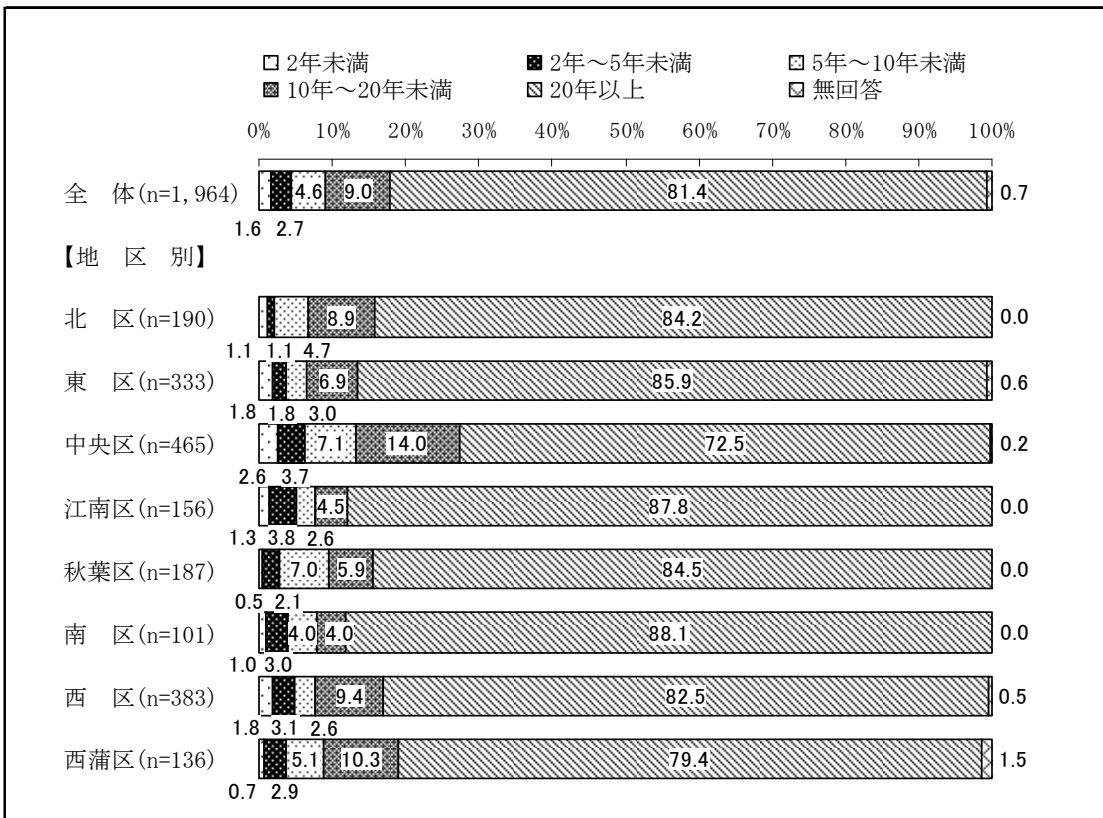
【職業別】



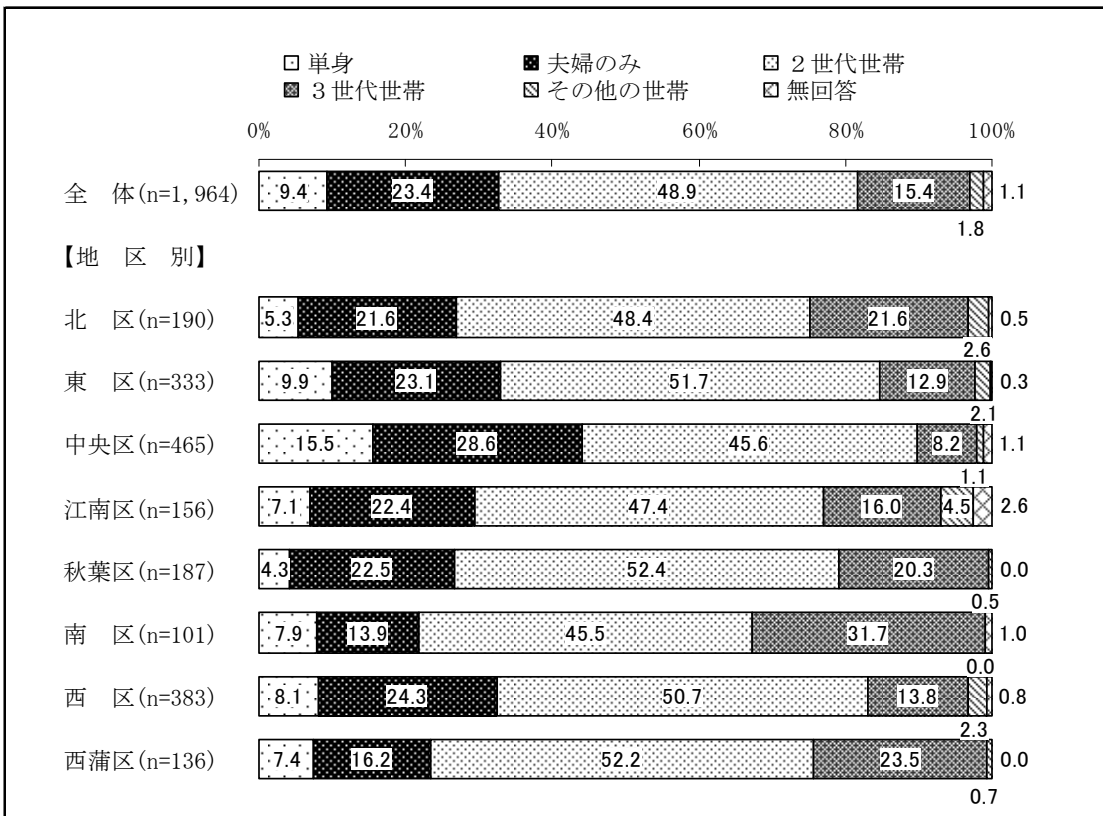
(うち、職業別の勤め人の内訳)



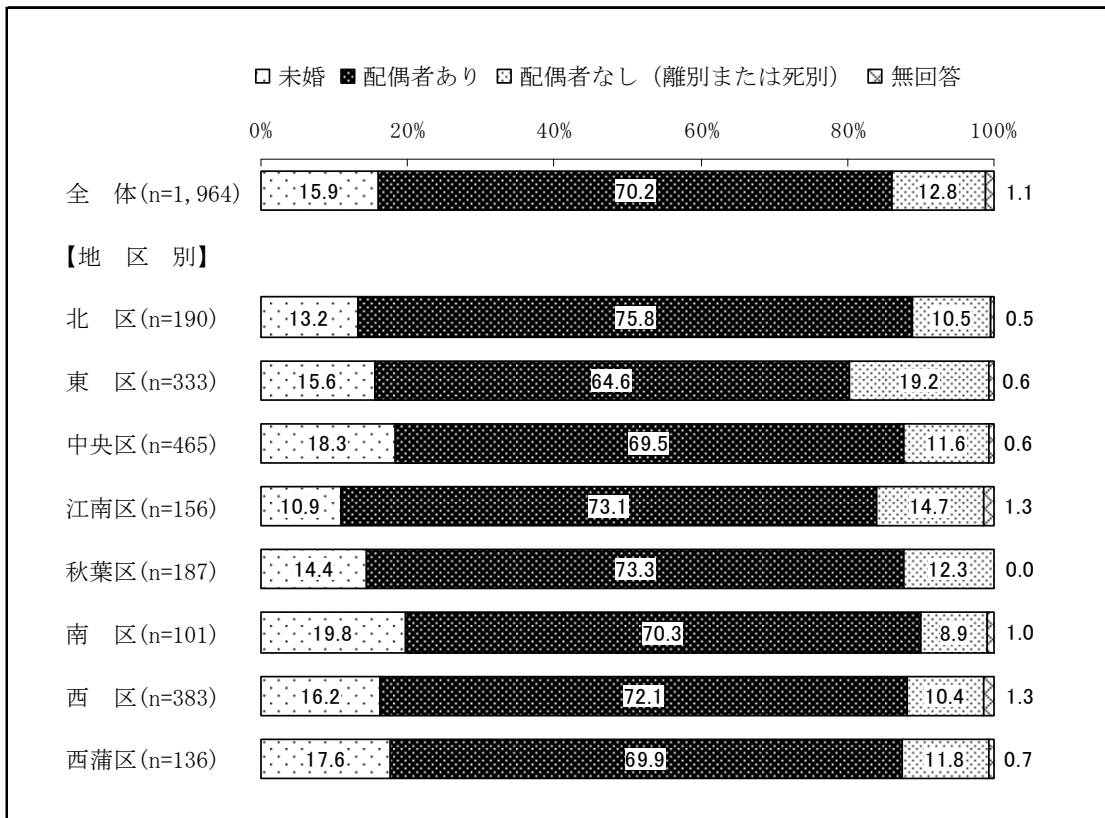
【居住年数別】



【世帯構成別】



【婚姻状況別】





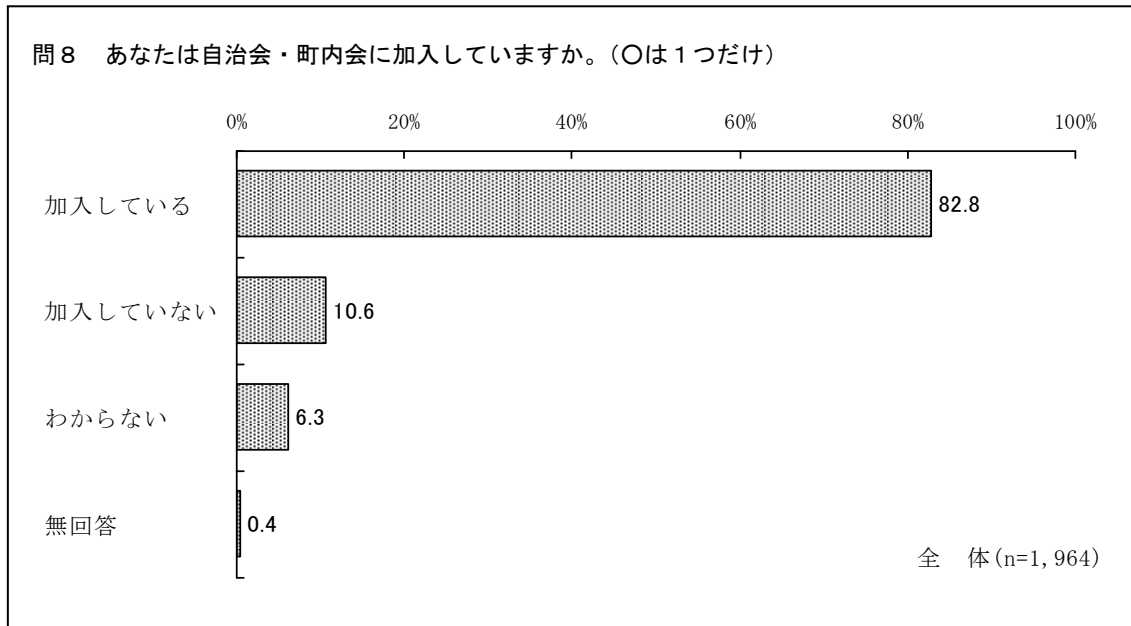


## II 調 査 結 果



# 1. 新潟市のコミュニティについて

## (1) 自治会・町内会の加入状況



8割以上が自治会・町内会に「加入している」

### 【全体結果】

自治会・町内会の加入状況については、「加入している」(82.8%)の割合が8割を超えている。「加入していない」(10.6%)が約1割、「わからない」(6.3%)が1割弱となっている。

### 【属性別結果】(図 1-1 参照)

#### ①地区別

西蒲区を除いた地区で「加入している」の割合が8割を超えているが、西蒲区(71.3%)では7割強と他の地区に比べ低くなっている。

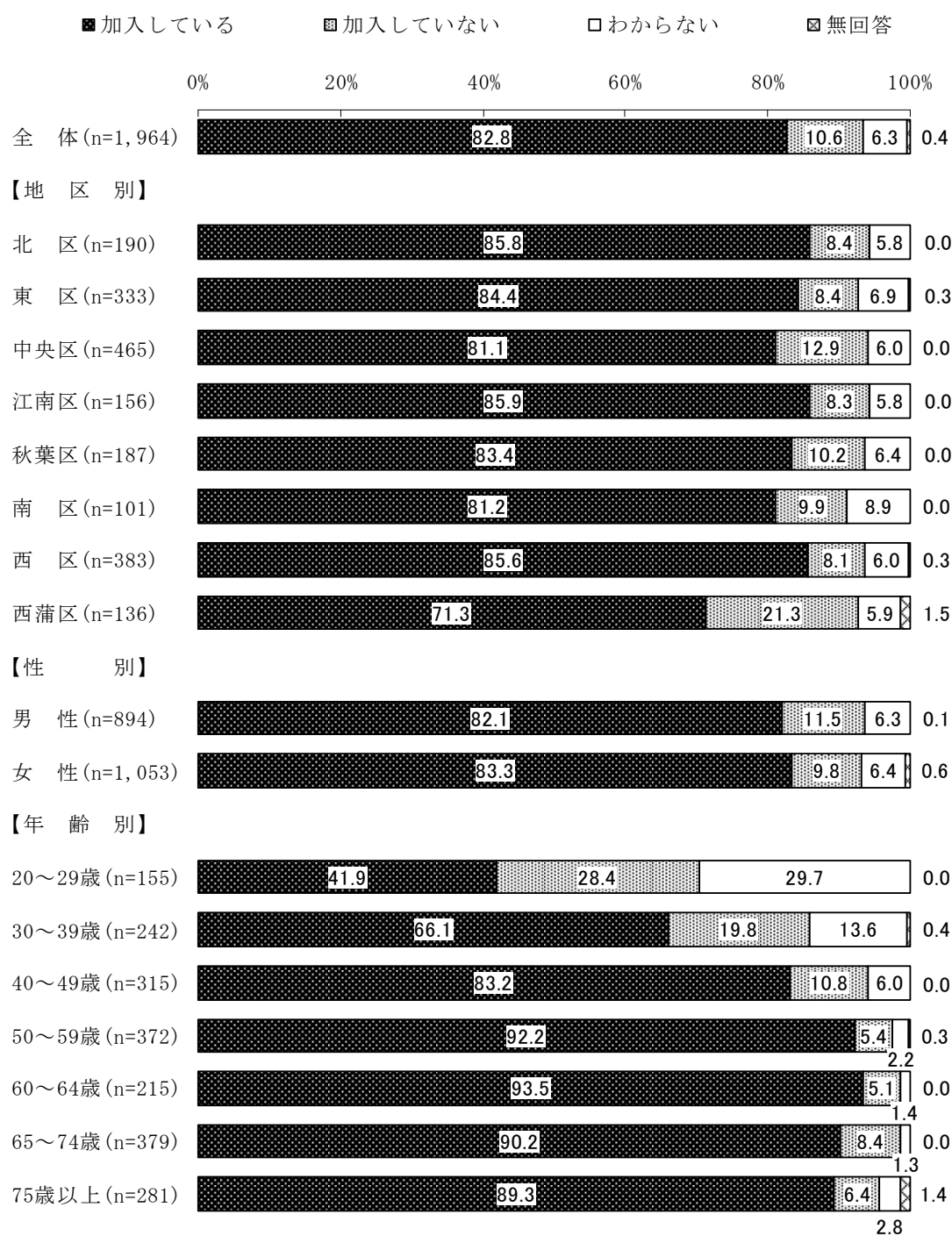
#### ②性別

性別では、大きな男女差はみられない。

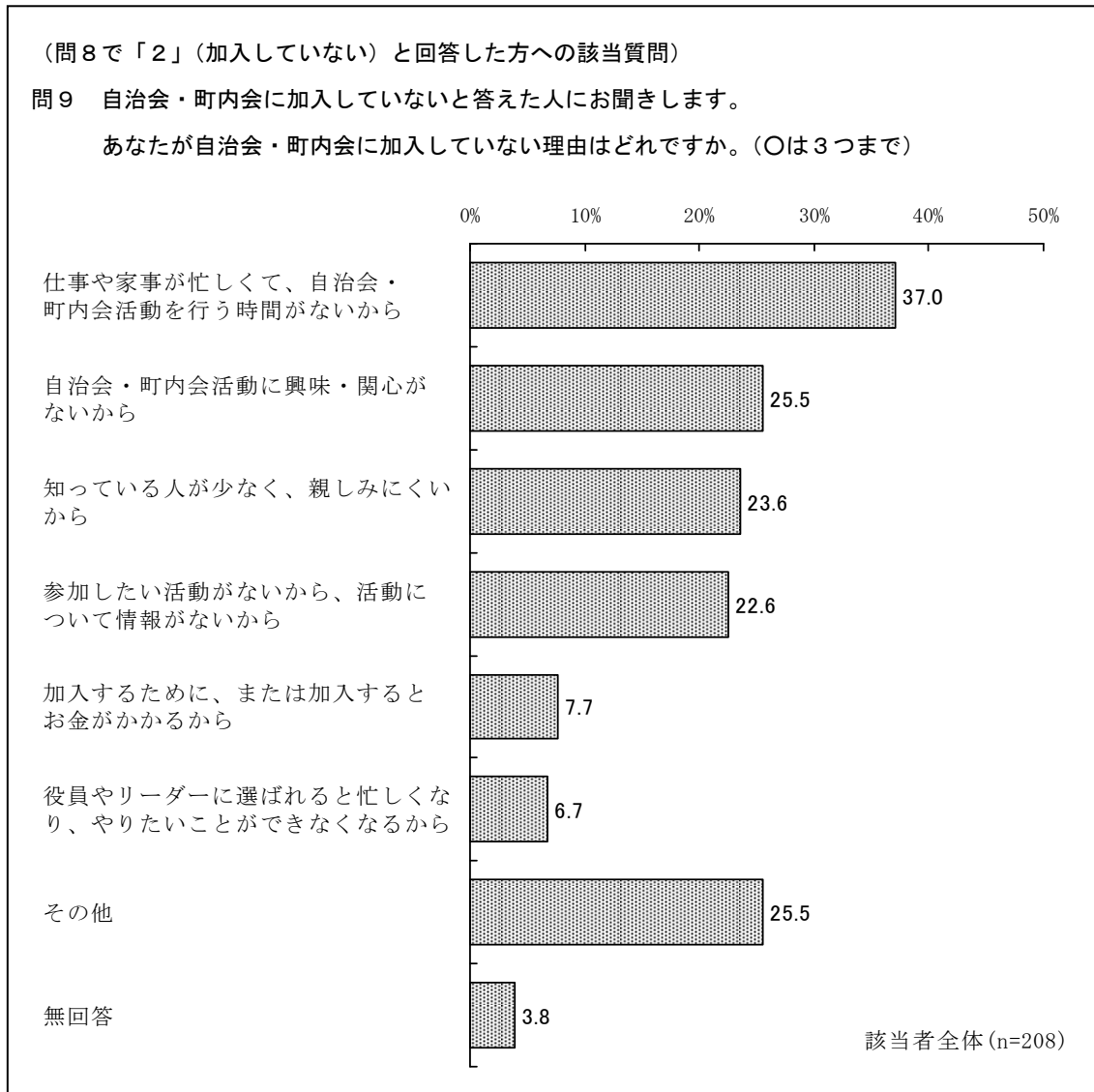
#### ③年齢別

「加入している」の割合は、50代以上で高く、20代(41.9%)が最も低くなっている。

図1-1 自治会・町内会の加入状況（地区別／性別／年齢別）



## (2) 自治会・町内会に加入していない理由



—— 加入していない理由は「活動する時間がないから」が最も多い ——

問8で、自治会・町内会に「加入していない」と回答した208人に対する質問である。

### 【全体結果】

自治会・町内会に加入していない理由(複数回答)については、「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」(37.0%)の割合が最も高くなっている。以下、「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」(25.5%)、「知っている人が少なく、親しみにくいから」(23.6%)、「参加したい活動がないから、活動について情報がないから」(22.6%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」については、東区（50.0%）の割合が最も高く、秋葉区（31.6%）の割合が最も低くなっている。

「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」の割合は南区（50.0%）、「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は江南区（46.2%）で高くなっている。

②性別

「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は、男性（28.2%）の方が女性（19.4%）よりも高くなっている。

③年齢別

「仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから」の割合は、65歳以上では低くなっている。

「自治会・町内会活動に興味・関心がないから」の割合は、65～74歳（34.4%）と30代（31.3%）で高く、「知っている人が少なく、親しみにくいから」の割合は、65～74歳（31.3%）50代（30.0%）で高くなっている。

図 1-2 自治会・町内会に加入していない理由（地区別／性別／年齢別） 1/2

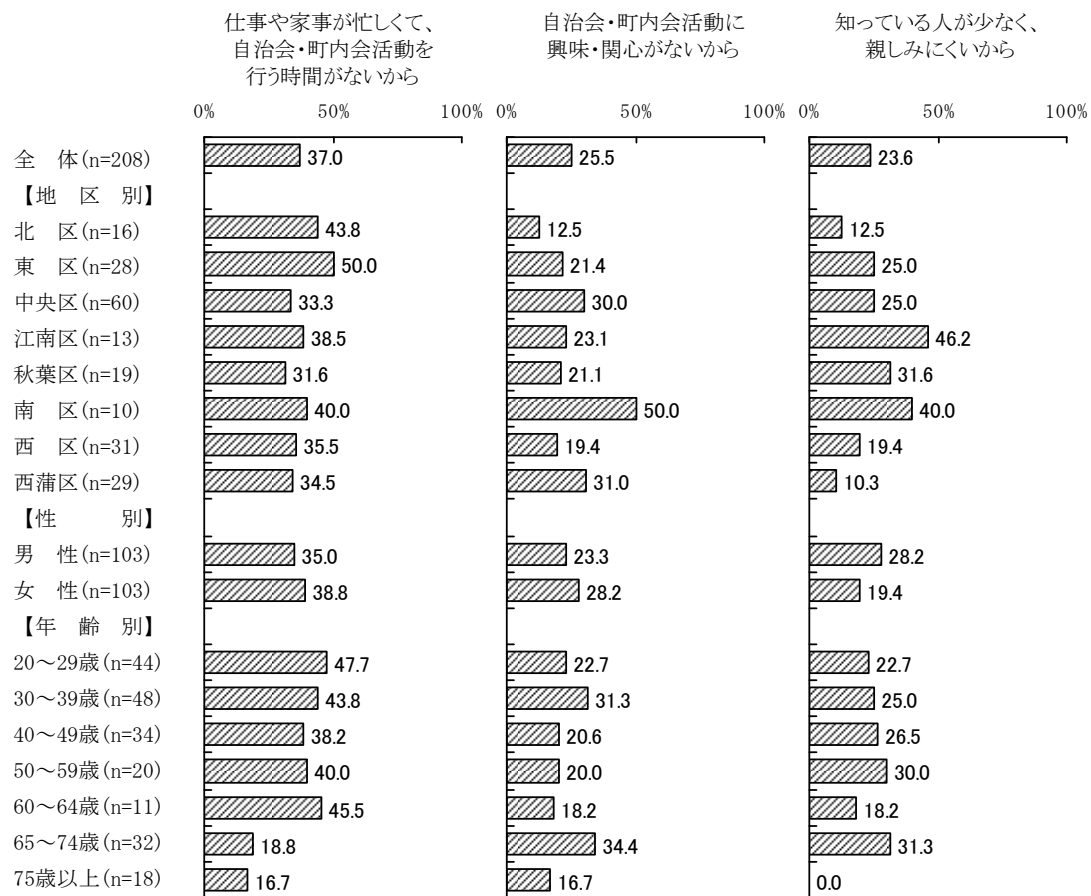
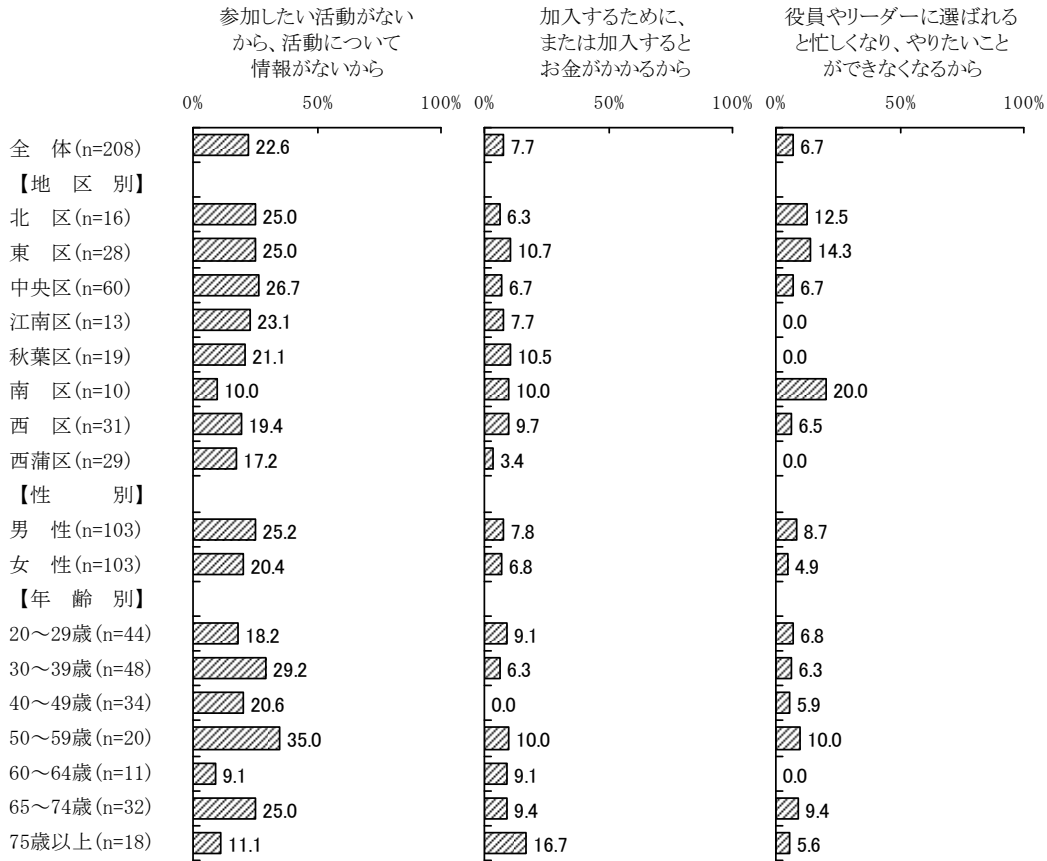
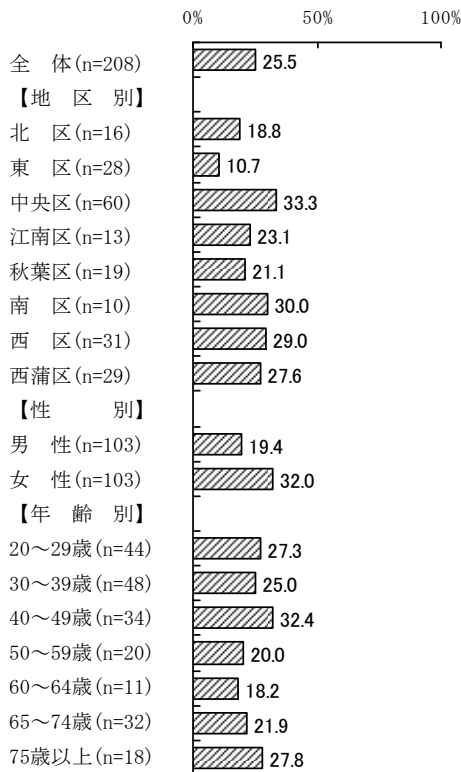


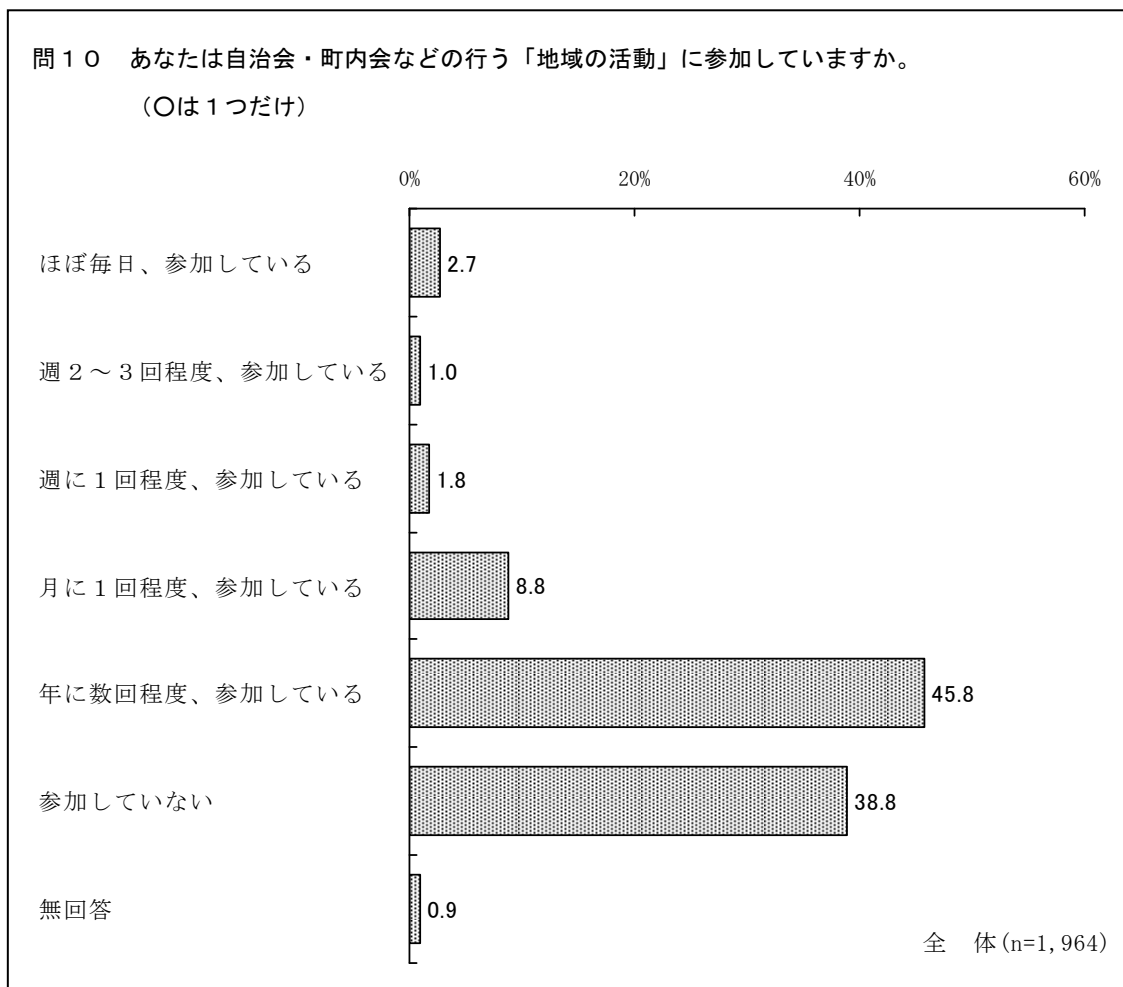
図1-2 自治会・町内会に加入していない理由（地区別／性別／年齢別） 2/2



その他



### (3) 「地域の活動」への参加状況



5割弱が「年に数回程度」地域の活動に参加

#### 【全体結果】

「地域の活動」への参加状況については、「年に数回程度、参加している」(45.8%)の割合が最も高くなっている。次いで、割合はかなり低下するが、「月に1回程度、参加している」(8.8%)が1割弱で続いている。

一方で、「参加していない」は38.8%である。



## 【属性別結果】（図 1-3 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「年に数回程度、参加している」については、南区（58.4%）の割合が最も高く、中央区（33.1%）が最も低くなっている。中央区では、「参加していない」の割合が、5割を超えている。

### ②性別

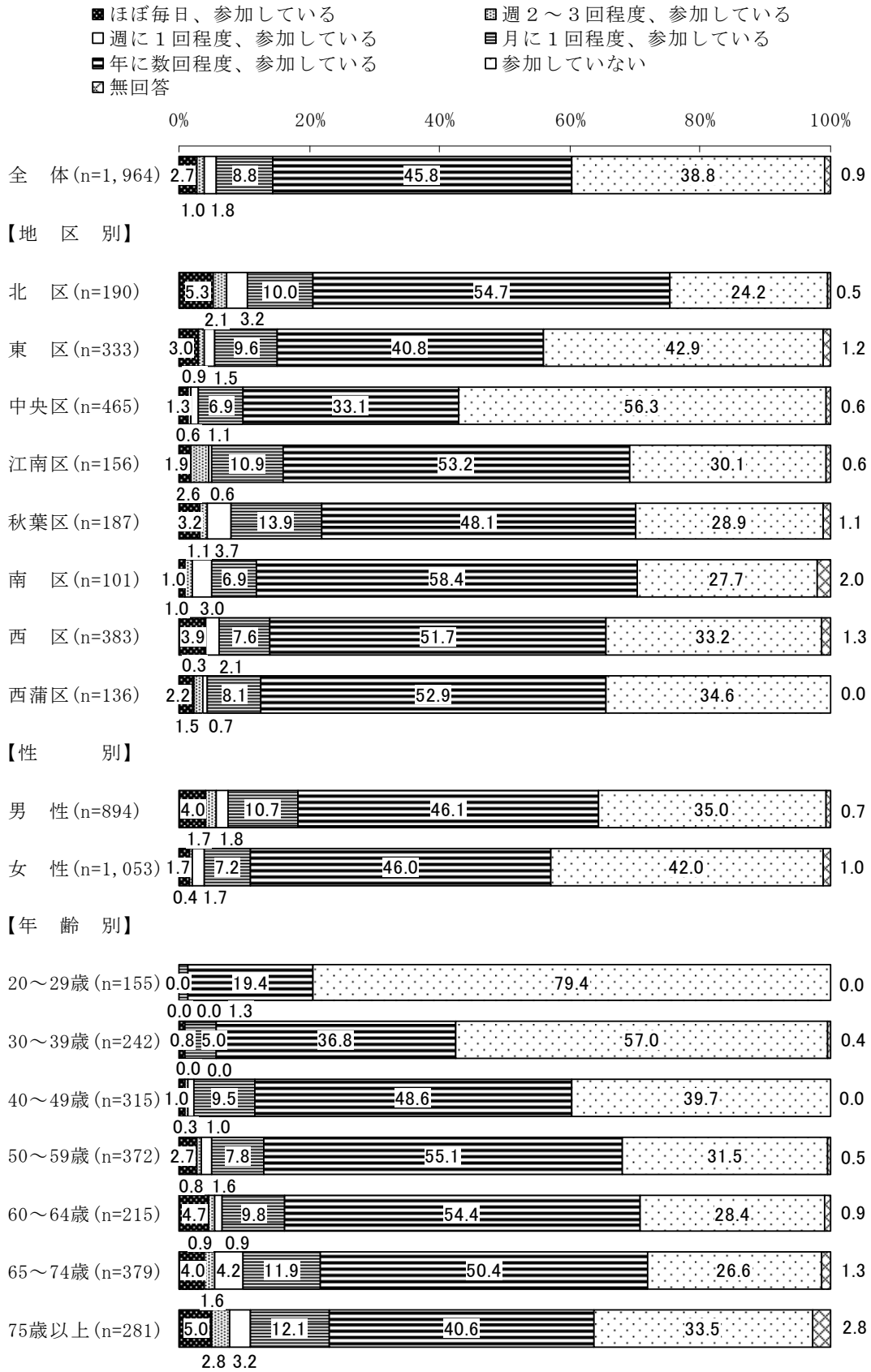
「参加していない」の割合は、女性（42.0%）の方が男性（35.0%）よりも高くなっている。

### ③年齢別

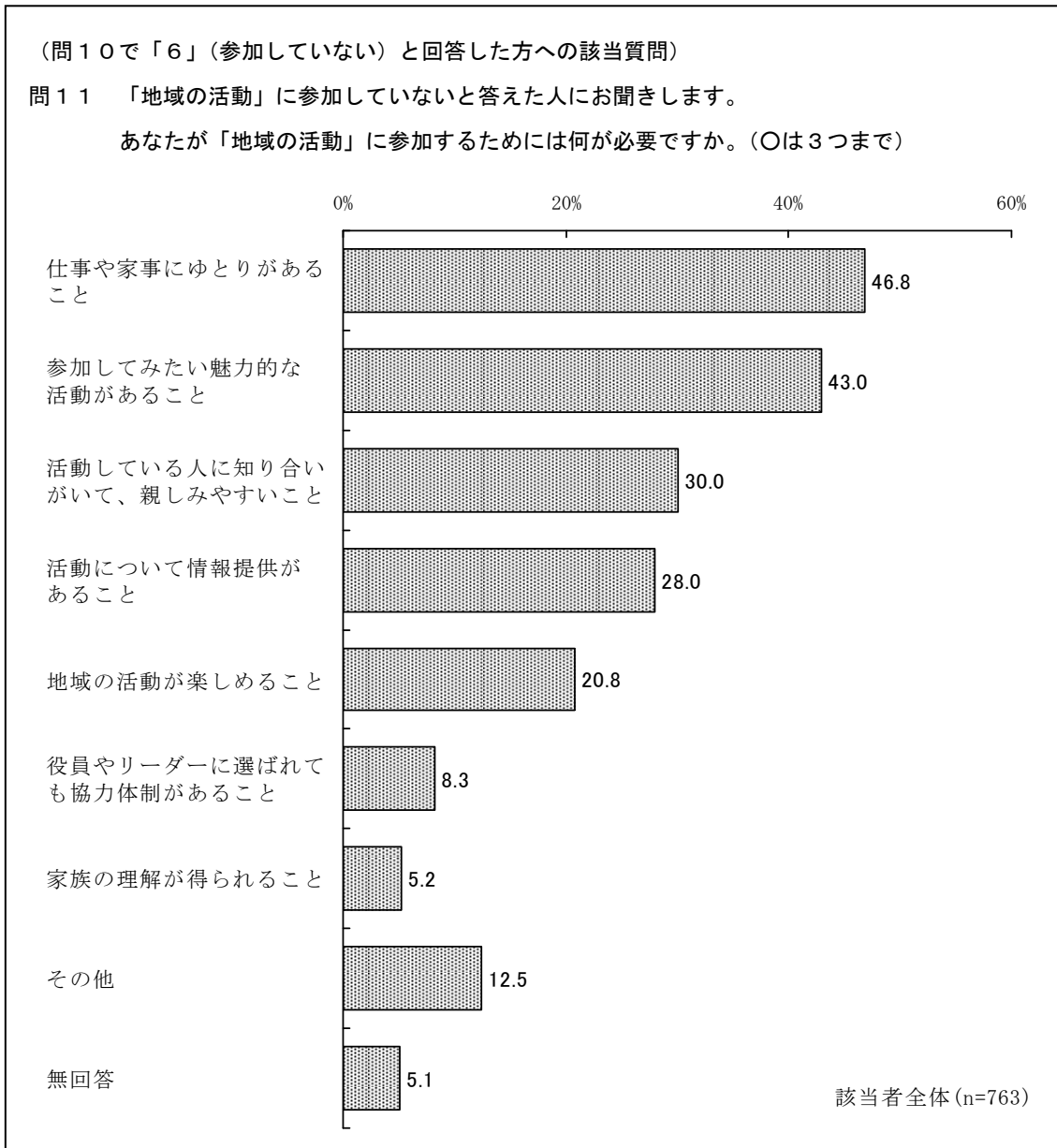
「年に数回程度、参加している」の割合は、50代（55.1%）、60～64歳（54.4%）で高く、20代（19.4%）で低くなっている。

一方、「参加していない」の割合は、20代（79.4%）が高く、約8割となっている。また、「参加していない」は、74歳までは、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

図1-3 「地域の活動」への参加状況（地区別／性別／年齢別）



#### (4) 「地域の活動」に参加するための条件



#### 参加条件は「仕事や家事にゆとりがあること」

問10で、「地域の活動」に「参加していない」と回答した763人に対する質問である。

#### 【全体結果】

「地域の活動」に参加するための条件(複数回答)については、「仕事や家事にゆとりがあること」(46.8%)が最も高くなっている。以下、「参加してみたい魅力的な活動があること」(43.0%)、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」(30.0%)、「活動について情報提供があること」(28.0%)、「地域の活動が楽しめること」(20.8%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-4 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事にゆとりがあること」については、南区（57.1%）、江南区（55.3%）、北区（54.3%）が高く5割を超えている。

「参加してみたい魅力的な活動があること」は西区（52.8%）で、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」は北区（47.8%）で、最も割合が高くなっている。

②性別

「仕事や家事にゆとりがあること」と「地域の活動が楽しめること」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「仕事や家事にゆとりがあること」は、30代以上では、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「参加してみたい魅力的な活動があること」と「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」の割合は、20代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 1-4 「地域の活動」に参加するための条件（地区別／性別／年齢別） 1/2

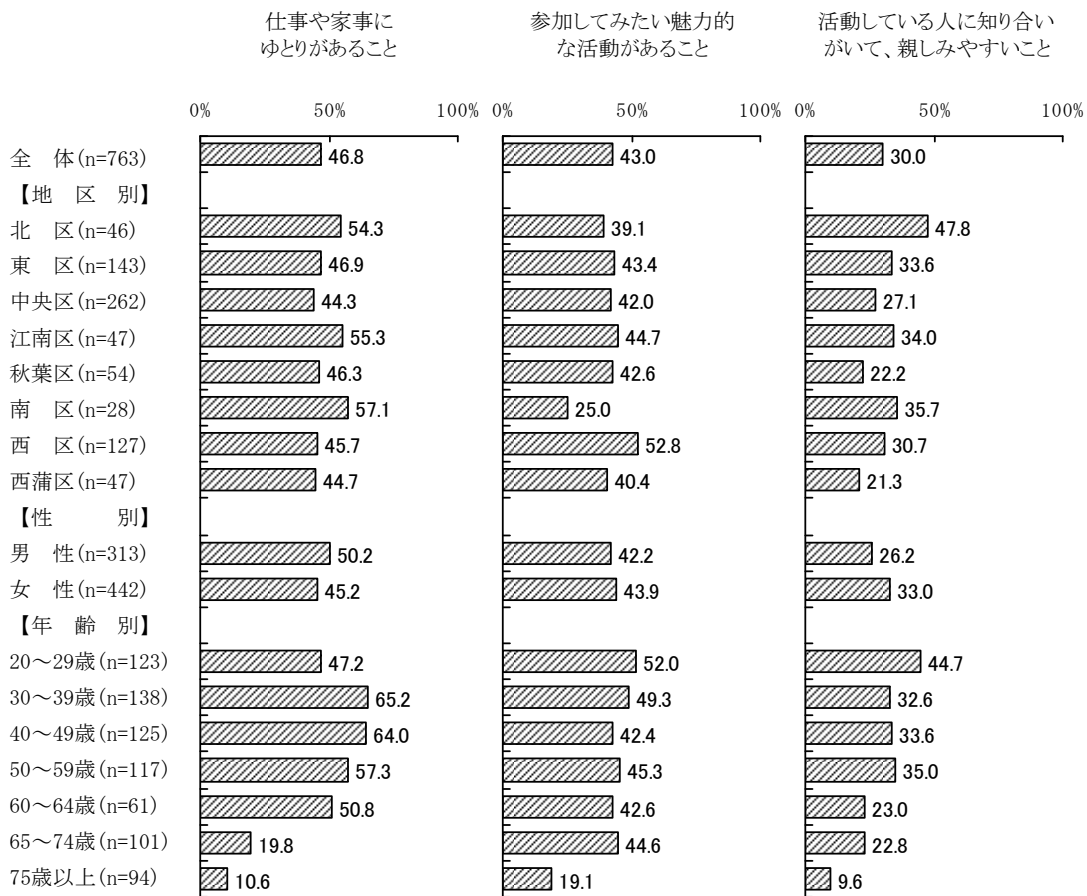
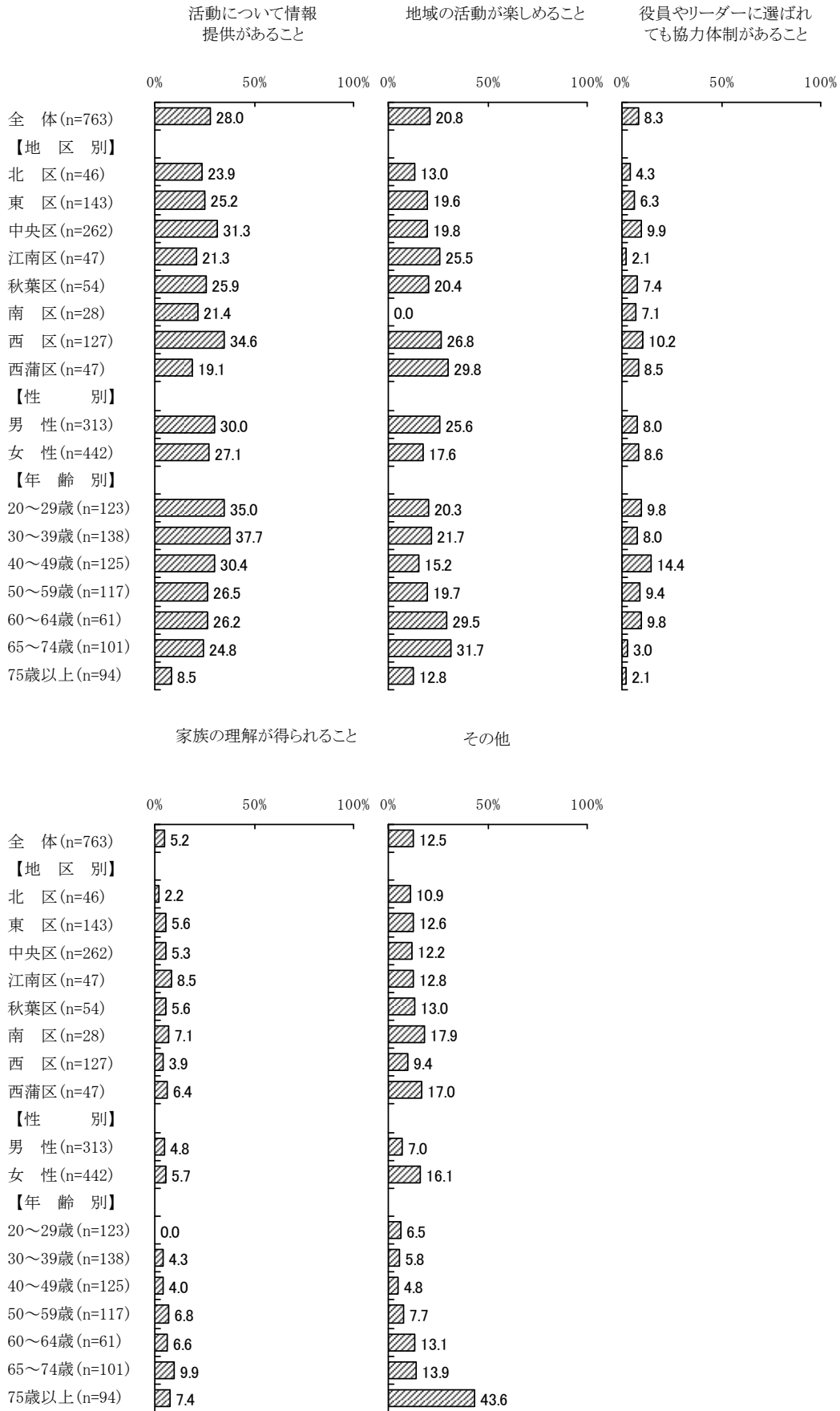
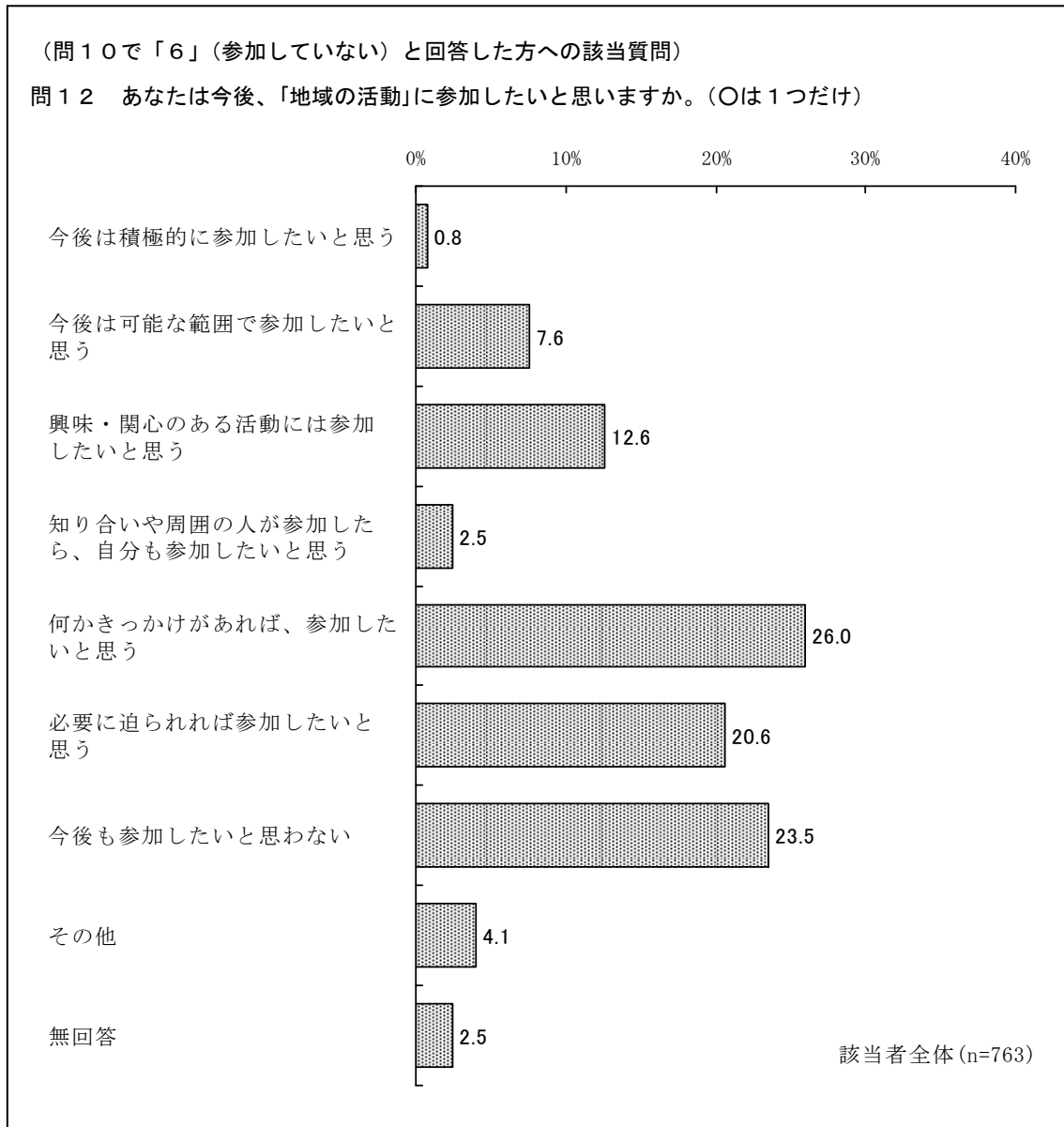


図1-4 「地域の活動」に参加するための条件（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (5) 今後の「地域の活動」への参加意向



### 「きっかけがあれば参加したい」が3割弱

問10で、「地域の活動」に「参加していない」と回答した763人に対する質問である。

#### 【全体結果】

今後の「地域の活動」への参加意向については、「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」(26.0%)の割合が最も高く、次いで、「必要に迫られれば参加したいと思う」(20.6%)となっている。また、程度に差はあるが参加の意思がある人を合わせた『参加したいと思う』は70.0%で、7割となっている。

一方で、「今後も参加したいと思わない」は23.5%である。

## 【属性別結果】（図 1-5 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」については、北区（34.8%）の割合が最も高くなっている。

「興味・関心のある活動には参加したいと思う」の割合は東区（18.9%）で、「今後は可能な範囲で参加したいと思う」の割合は南区（17.9%）で高くなっている。

### ②性別

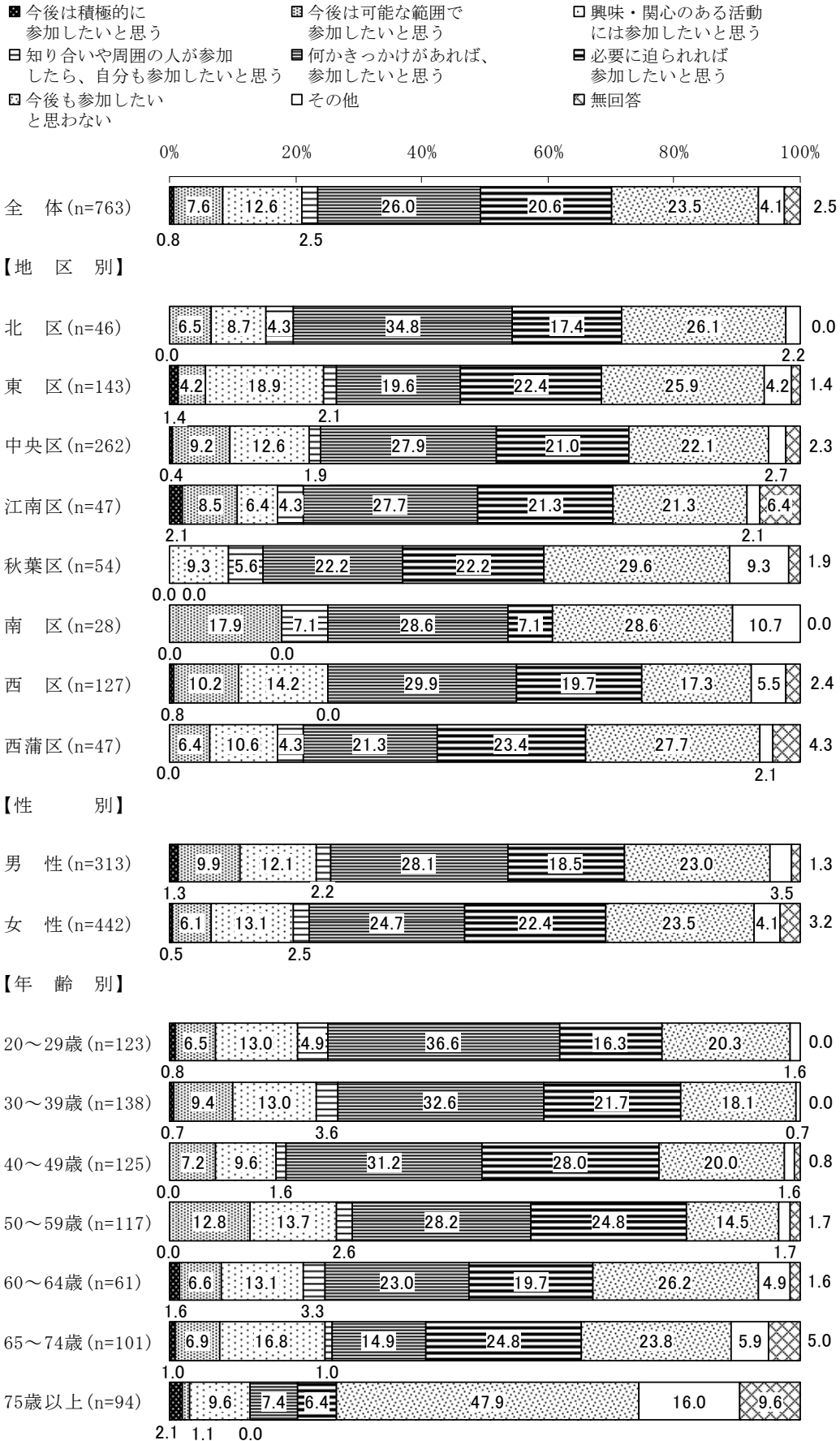
性別では、大きな男女差はみられない。

### ③年齢別

「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」の割合は、20代（36.6%）が最も高く、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

「今後も参加したいと思わない」の割合は、75歳以上（47.9%）が最も高く、5割弱となっている。

図1-5 今後の「地域の活動」への参加意向（地区別／性別／年齢別）





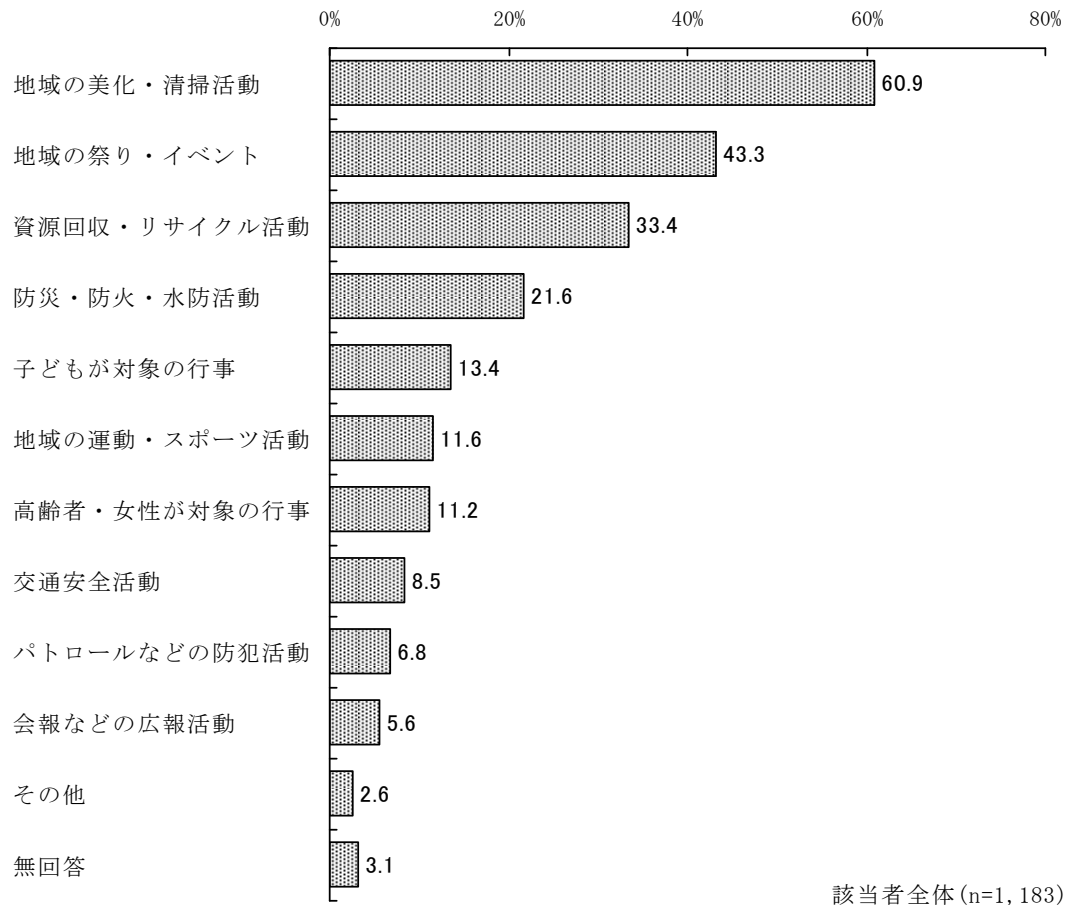
## (6) 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」

(問10で「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)と回答した方への該当質問)

問13 「地域の活動」に参加していると答えた人にお聞きます。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(〇はいくつでも)



### 6割が「地域の美化・清掃活動」に参加、または参加希望

問10で、「地域の活動」に「参加している」と回答した1,183人に対する質問である。

#### 【全体結果】

現在も参加、または今後参加したい「地域の活動」(複数回答)については、「地域の美化・清掃活動」(60.9%)が最も高くなっている。以下、「地域の祭り・イベント」(43.3%)が4割台、「資源回収・リサイクル活動」(33.4%)が3割台、「防災・防火・水防活動」(21.6%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 1-6 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域の美化・清掃活動」については、江南区（70.4%）の割合が最も高く、中央区（48.5%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、秋葉区（58.0%）が最も高く、中央区（29.0%）が最も低くなっている。「資源回収・リサイクル活動」の割合は、北区と中央区（各 42.0%）が最も高く、秋葉区（22.9%）が最も低くなっている。

### ②性別

「地域の美化・清掃活動」と「防災・防火・水防活動」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「資源回収・リサイクル活動」と「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

### ③年齢別

「地域の美化・清掃活動」の割合は、50代（66.0%）が最も高く、20代（53.1%）と75歳以上（53.6%）が低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、20代（53.1%）が最も高く、年齢が上がるにつれて、割合が低くなる傾向がみられる。

「資源回収・リサイクル活動」の割合は、60～64歳（41.4%）が最も高く、20代（21.9%）が最も低くなっている。

「子どもが対象の行事」の割合は、30代（43.7%）と40代（33.7%）が高く、「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、75歳以上（36.3%）が高くなっている。

図1-6 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」(地区別/性別/年齢別) 1/2

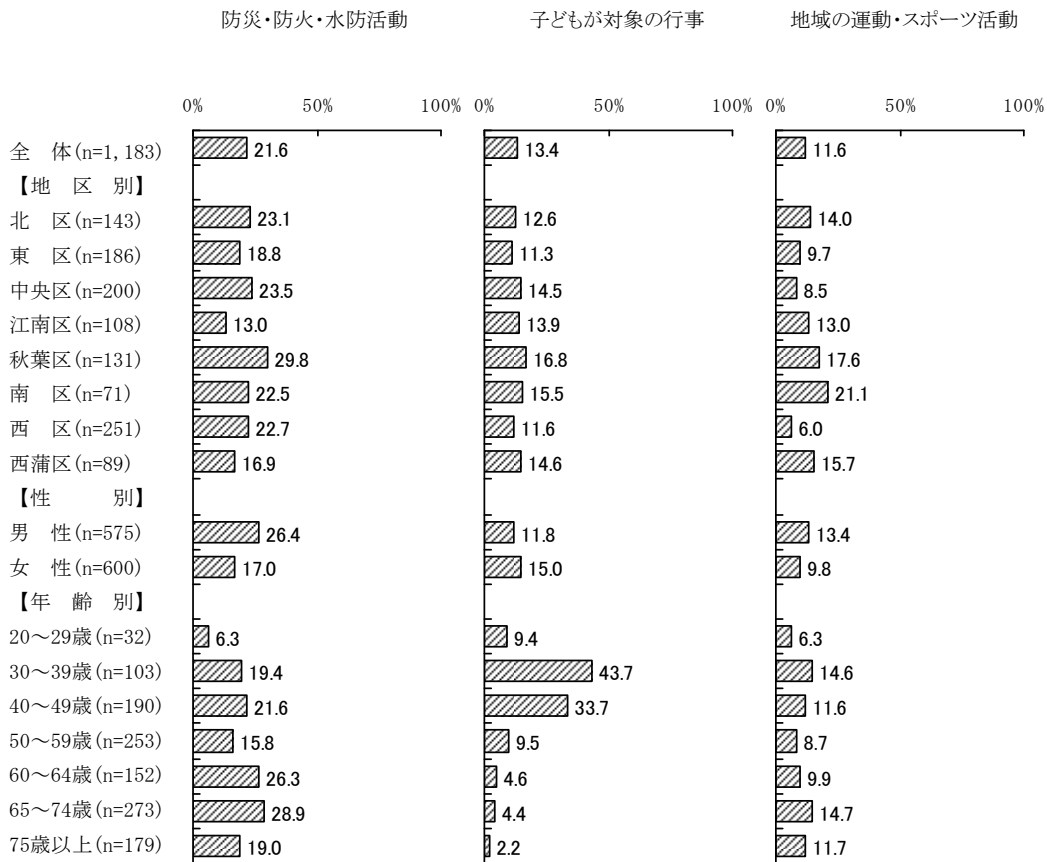
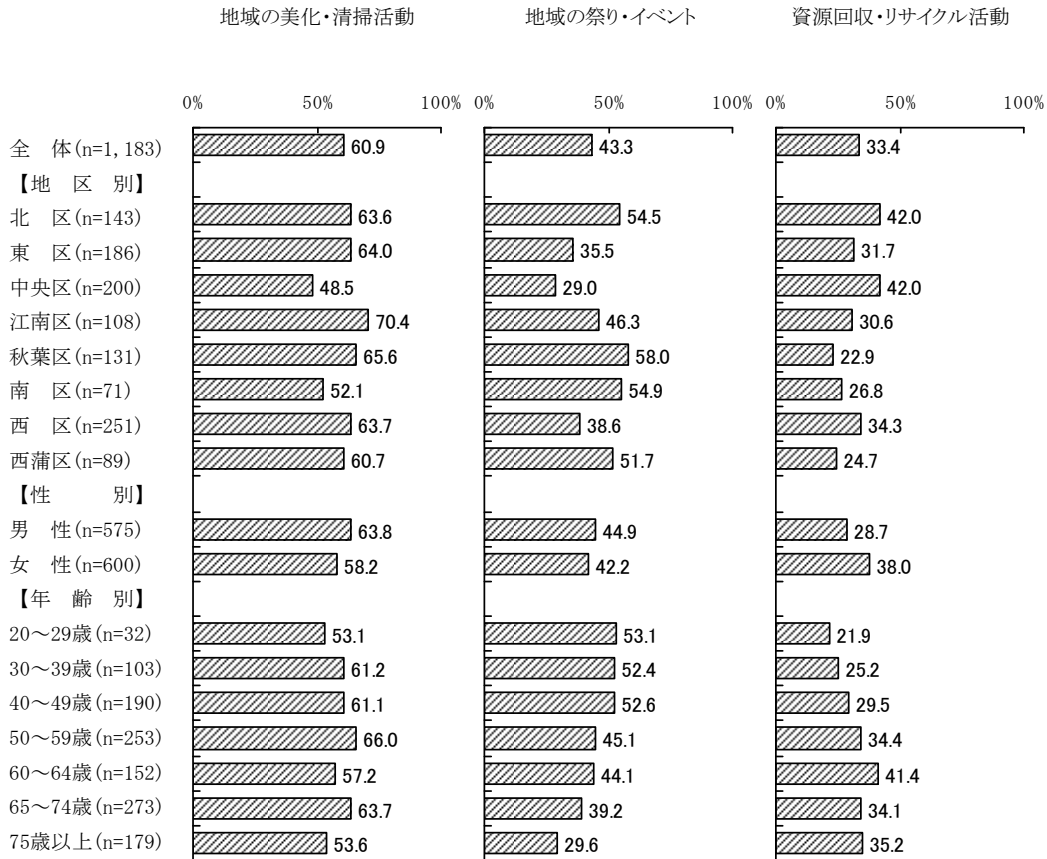
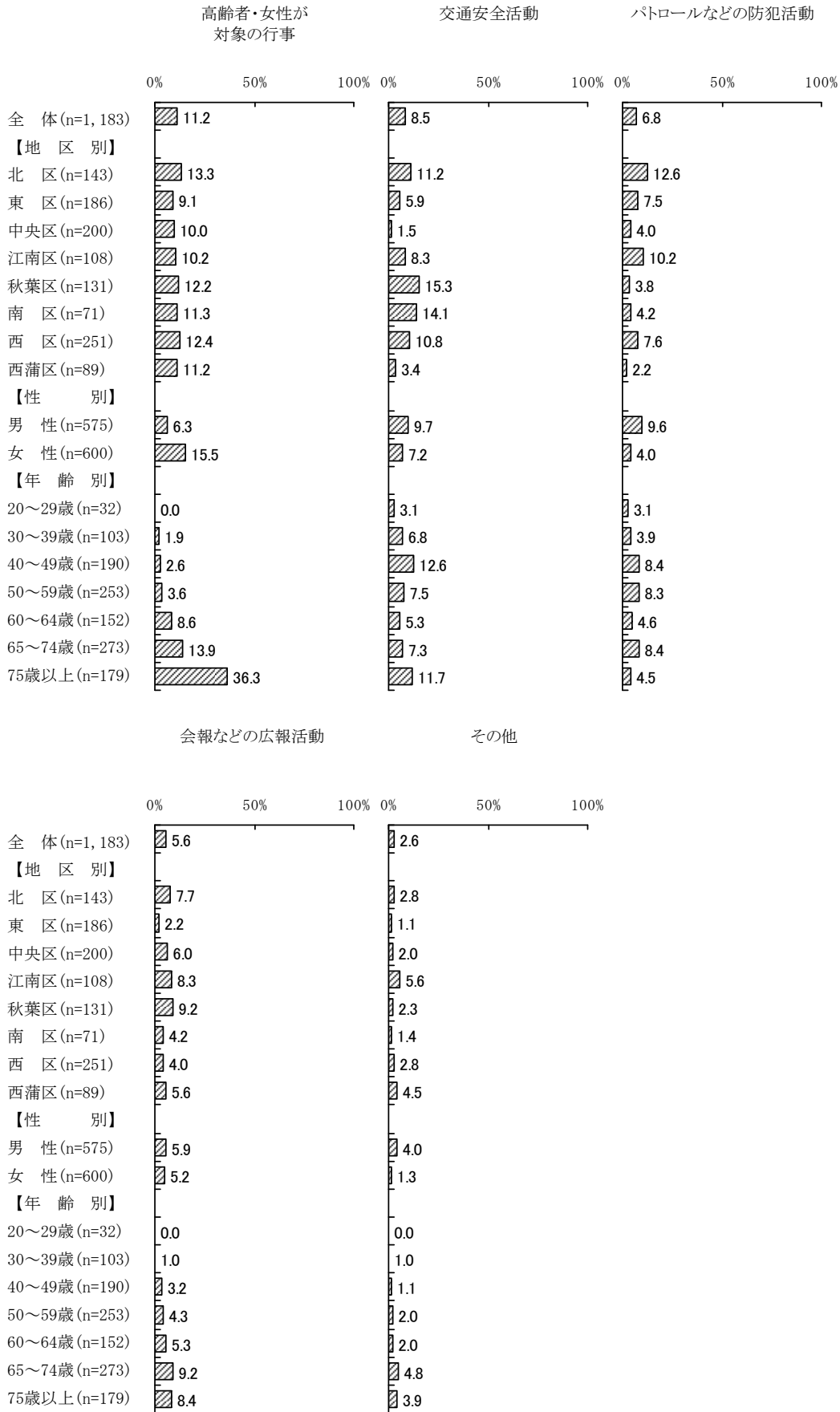
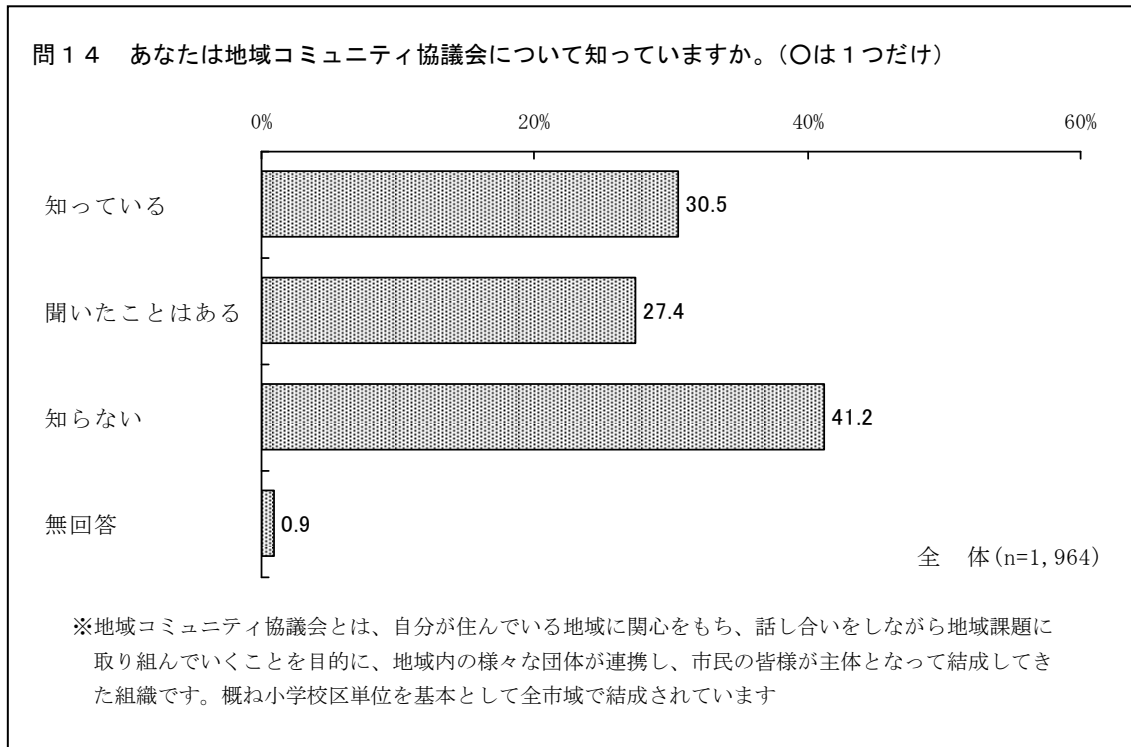


図1-6 現在参加、または今後参加したい「地域の活動」(地区別/性別/年齢別) 2/2



## (7) 地域コミュニティ協議会の認知状況



### 3割が地域コミュニティ協議会を「知っている」

#### 【全体結果】

地域コミュニティ協議会の認知状況については、「知っている」が30.5%、「聞いたことはある」が27.4%となっている。

一方で、「知らない」が41.2%で4割強となっている。

#### 【属性別結果】(図1-7参照)

##### ①地区別

「知っている」の割合は、秋葉区(48.7%)が最も高く、中央区(21.3%)が最も低くなっている。中央区では「知らない」の割合が高く、5割を超えている。

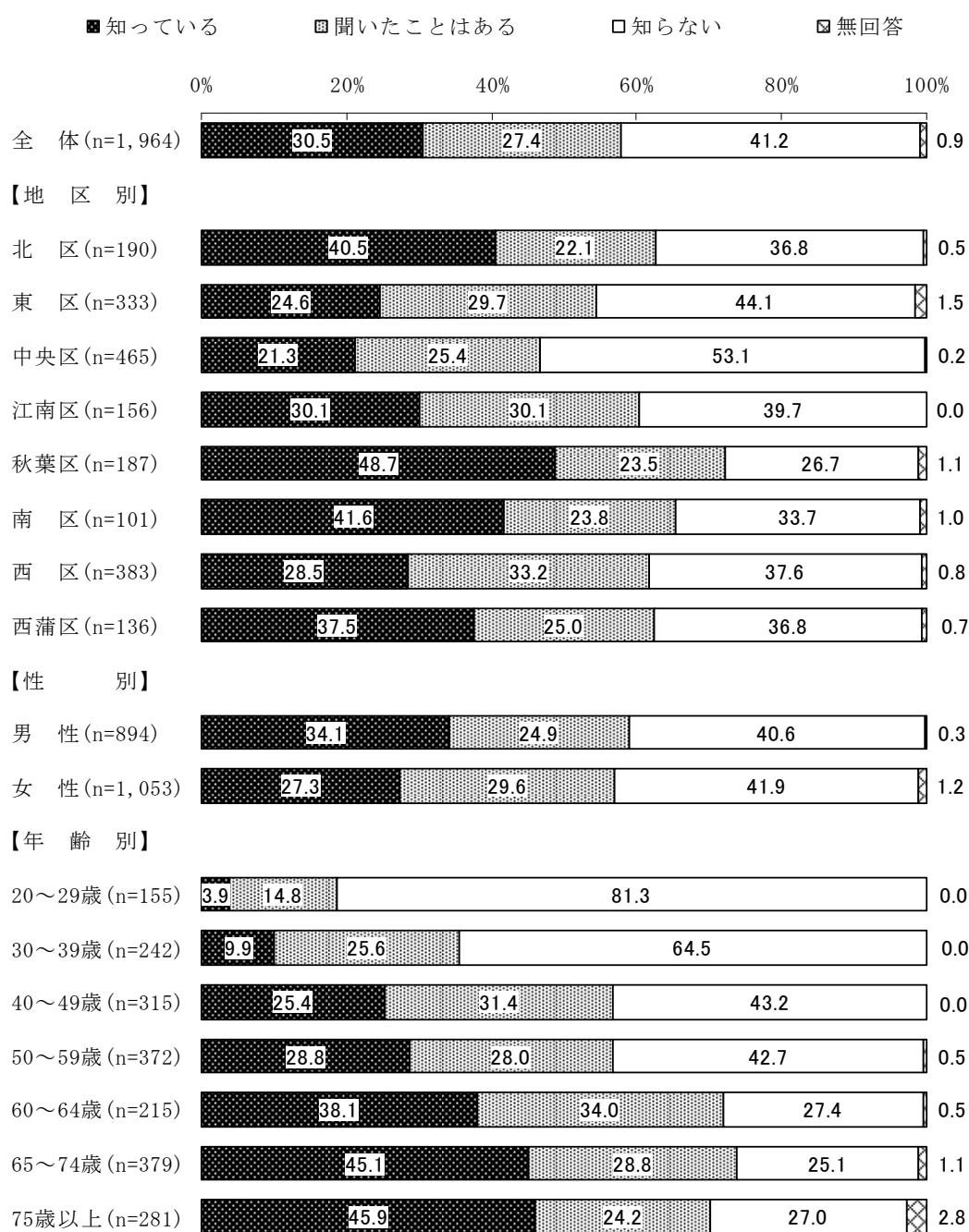
##### ②性別

「知っている」の割合は、男性(34.1%)の方が女性(27.3%)よりも高くなっている。

##### ③年齢別

「知っている」の割合は、75歳以上(45.9%)が最も高く、20代(3.9%)が最も低くなっており、年齢が上がるにつれて、割合が高くなっている。また、20代では、「知らない」の割合が81.3%で、8割強となっている。

図1-7 地域コミュニティ協議会の認知状況（地区別／性別／年齢別）



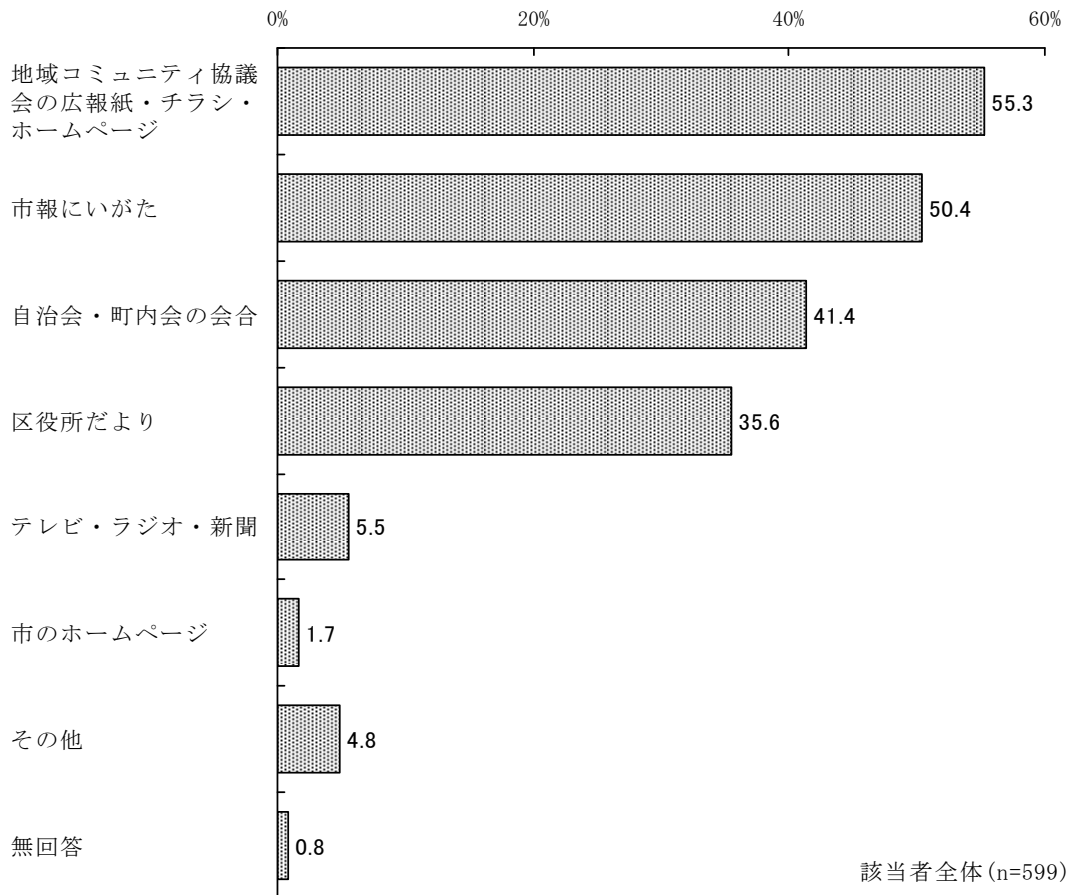
## (8) 地域コミュニティ協議会の情報の入手先

(問14で「1」(知っている)と回答した方への該当質問)

問15 地域コミュニティ協議会について知っているとお答えした人にお聞きします。

あなたは、地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手していますか。

(〇はいくつでも)



—— 「広報紙・チラシ・ホームページ」からの情報入手が最も多い ——

問14で、地域コミュニティ協議会を「知っている」と回答した599人に対する質問である。

### 【全体結果】

地域コミュニティ協議会の情報の入手先(複数回答)については、「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」(55.3%)の割合が最も高い。以下、「市報にいがた」(50.4%)が同じく5割台、「自治会・町内会の会合」(41.4%)が4割台、「区役所だより」(35.6%)が3割台で続いている。

【属性別結果】（図 1-8 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」については、南区（71.4%）と北区（70.1%）の割合が高く、東区（42.7%）の割合が最も低くなっている。

「市報にいがた」も割合は、江南区（72.3%）が最も高く、西蒲区（33.3%）が最も低くなっている。

②性別

「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」と「市報にいがた」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「自治会・町内会の会合」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「地域コミュニティ協議会の広報紙・チラシ・ホームページ」は20代（66.7%）が、「市報にいがた」は30代（62.5%）が、「自治会・町内会の会合」は65～74歳（50.3%）が、それぞれ割合が最も高くなっている。

図 1-8 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別／性別／年齢別） 1/2

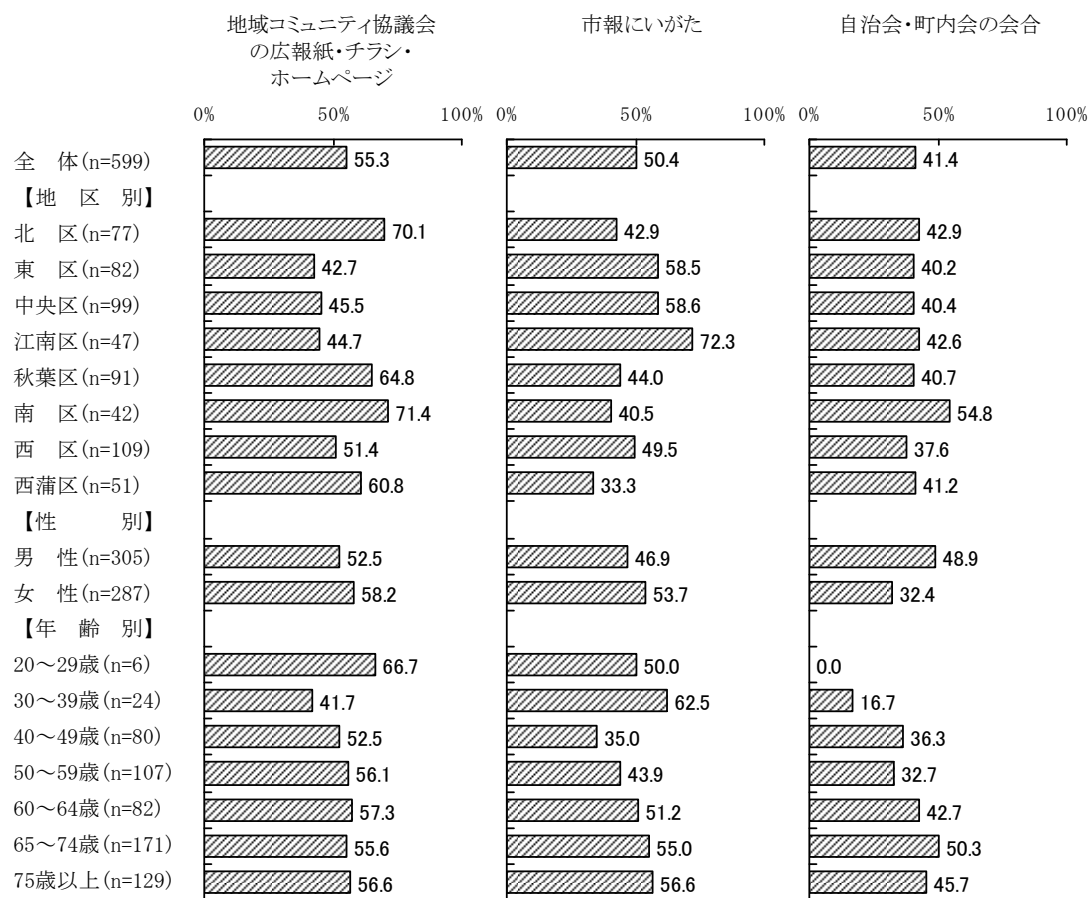
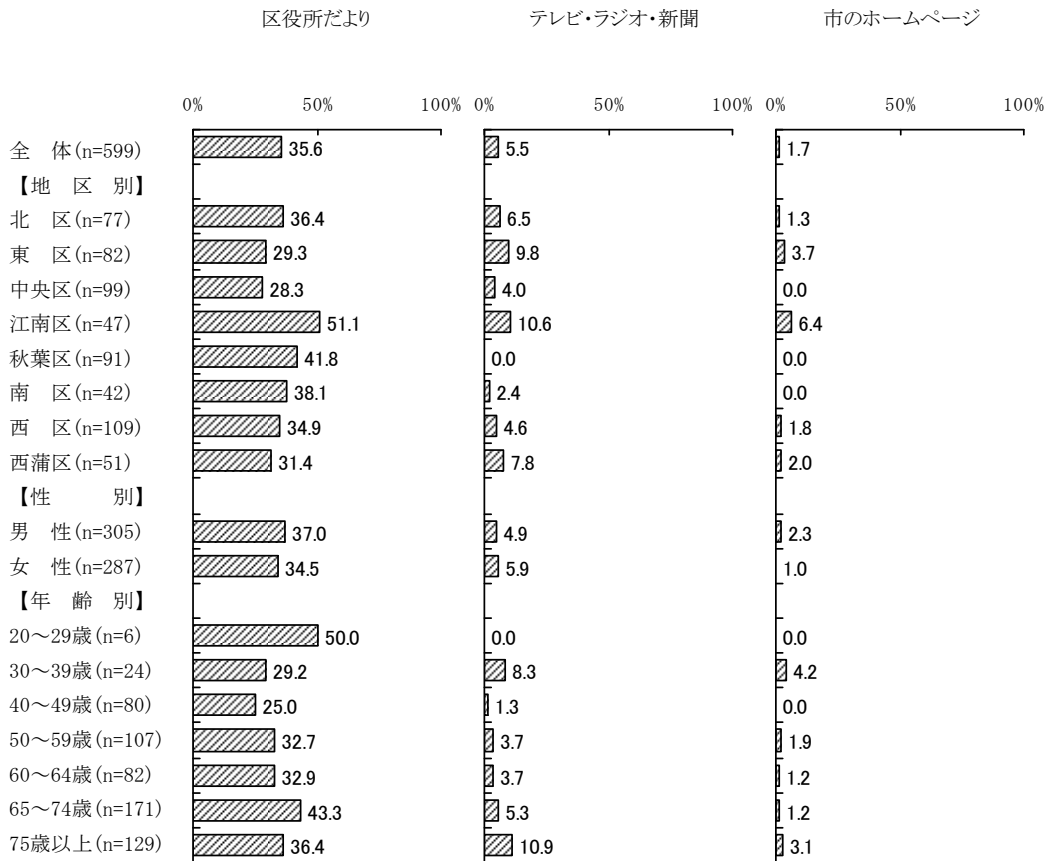




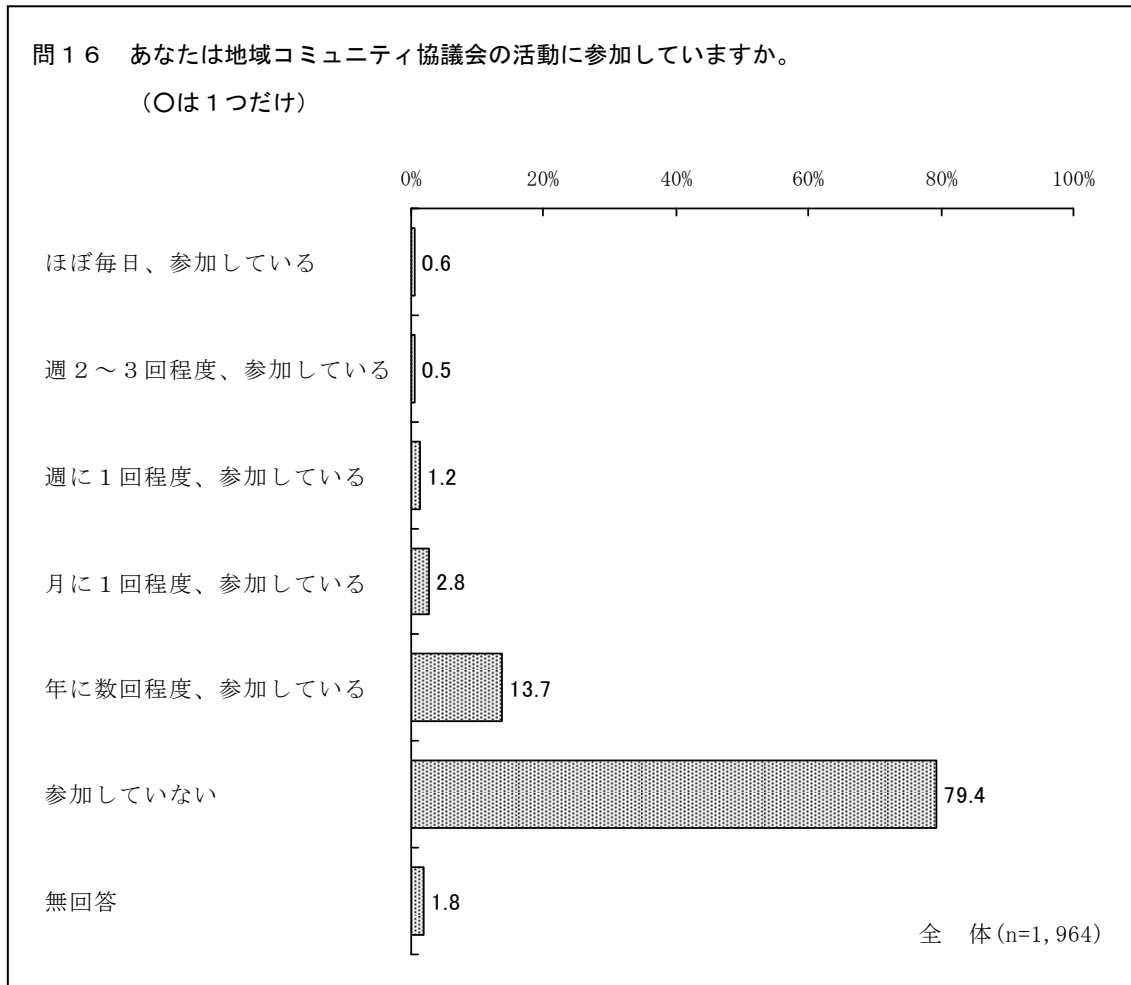
図1-8 地域コミュニティ協議会の情報の入手先（地区別／性別／年齢別） 2/2



その他



### (9) 地域コミュニティ協議会の活動への参加状況



—— 約8割が地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」 ——

#### 【全体結果】

地域コミュニティ協議会の活動への参加状況については、「年に数回程度、参加している」(13.7%)の割合が最も高くなっているが、1割強にすぎない。一方で、「参加していない」は79.4%で、約8割となっている。

## 【属性別結果】（図 1-9 参照）

### ①地区別

いずれの地区も「参加していない」の割合が高く、中央区（88.2%）では9割弱となっている。

「年に数回程度、参加している」の割合は、南区（34.7%）が最も高く、中央区（8.4%）が最も低くなっている。

### ②性別

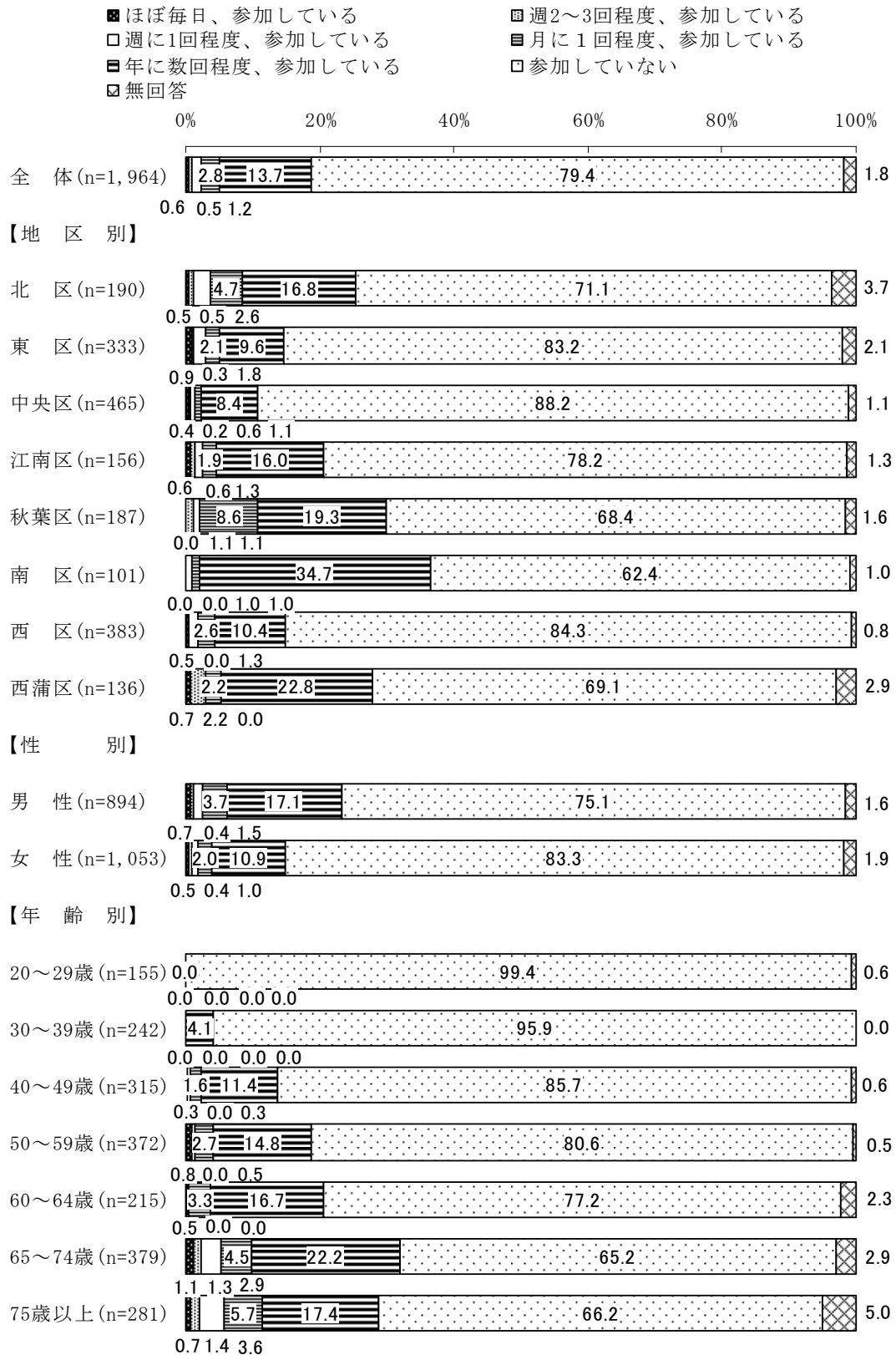
「参加していない」の割合は、女性（83.3%）の方が男性（75.1%）よりも高く、「年に数回程度、参加している」の割合は、男性（17.1%）の方が女性（10.9%）よりも高くなっている。

### ③年齢別

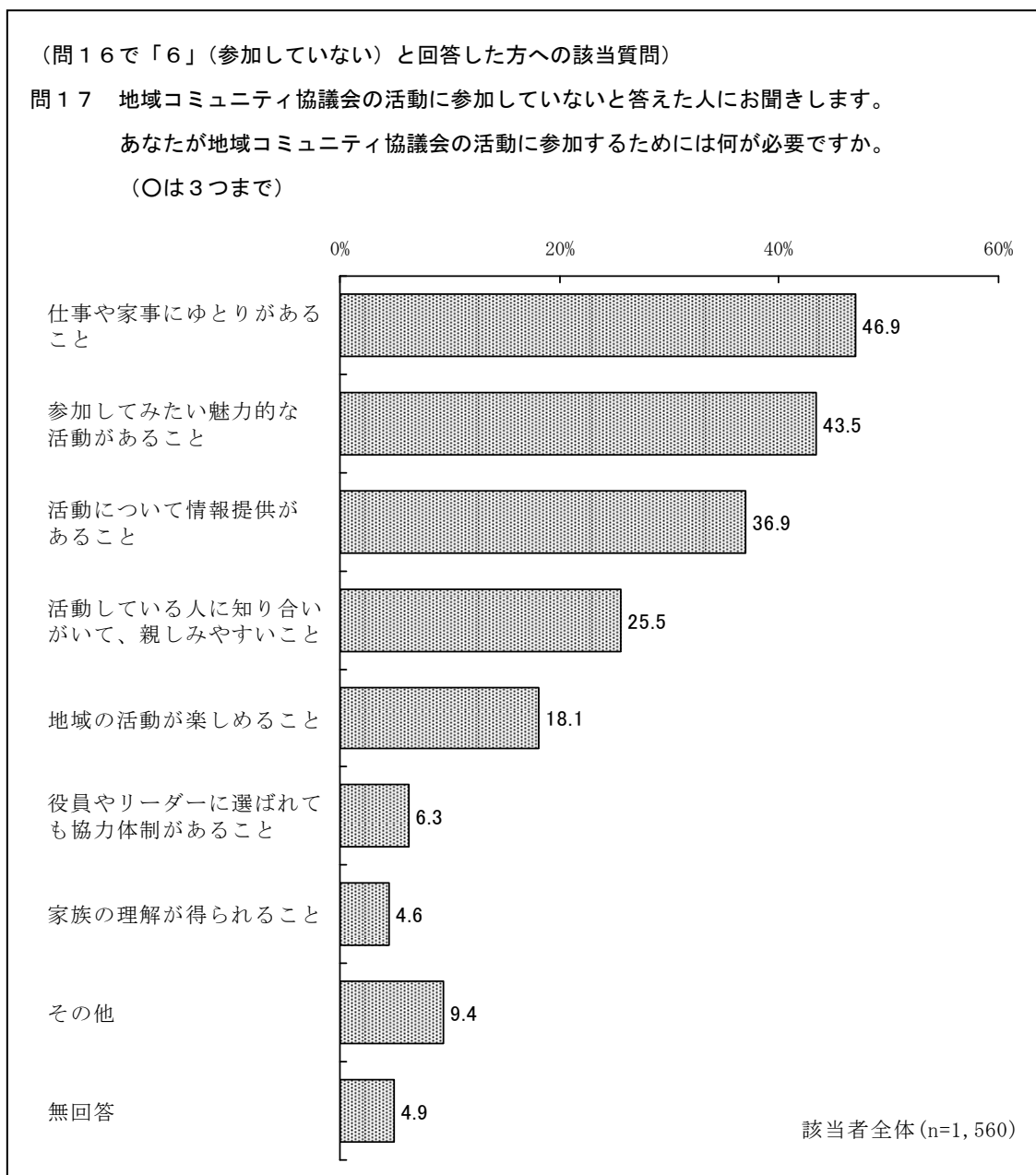
「参加していない」の割合は、20代（99.4%）でとても高くなっている。また、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向がみられる。

「年に数回程度、参加している」の割合は、65～74歳（22.2%）で最も高くなっている。

図1-9 地域コミュニティ協議会の活動への参加の有無（地区別／性別／年齢別）



## (10) 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件



### 参加条件は「仕事や家事にゆとりがあること」

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」と回答した1,560人に対する質問である。

#### 【全体結果】

地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件(複数回答)については、「仕事や家事にゆとりがあること」(46.9%)が最も高くなっている。以下、「参加してみたい魅力的な活動があること」(43.5%)、「活動について情報提供があること」(36.9%)、「活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと」(25.5%)、「地域の活動が楽しめること」(18.1%)の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-10 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「仕事や家事にゆとりがあること」については、南区（57.1%）が最も高くなっている。

「参加してみたい魅力的な活動があること」と「活動について情報提供があること」の割合は、西区（それぞれ 48.9%、42.1%）が最も高く、南区（それぞれ 27.0%、22.2%）が最も低くなっている。

②性別

性別では、大きな男女差はみられない。

③年齢別

「仕事や家事にゆとりがあること」は、30代（65.5%）が最も高く、30代以上では、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「参加してみたい魅力的な活動があること」の割合は、50代（50.0%）が最も高く、「活動について情報提供があること」の割合は30代（45.7%）と20代（45.5%）が高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 1-10 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件（地区別／性別／年齢別）

1/2

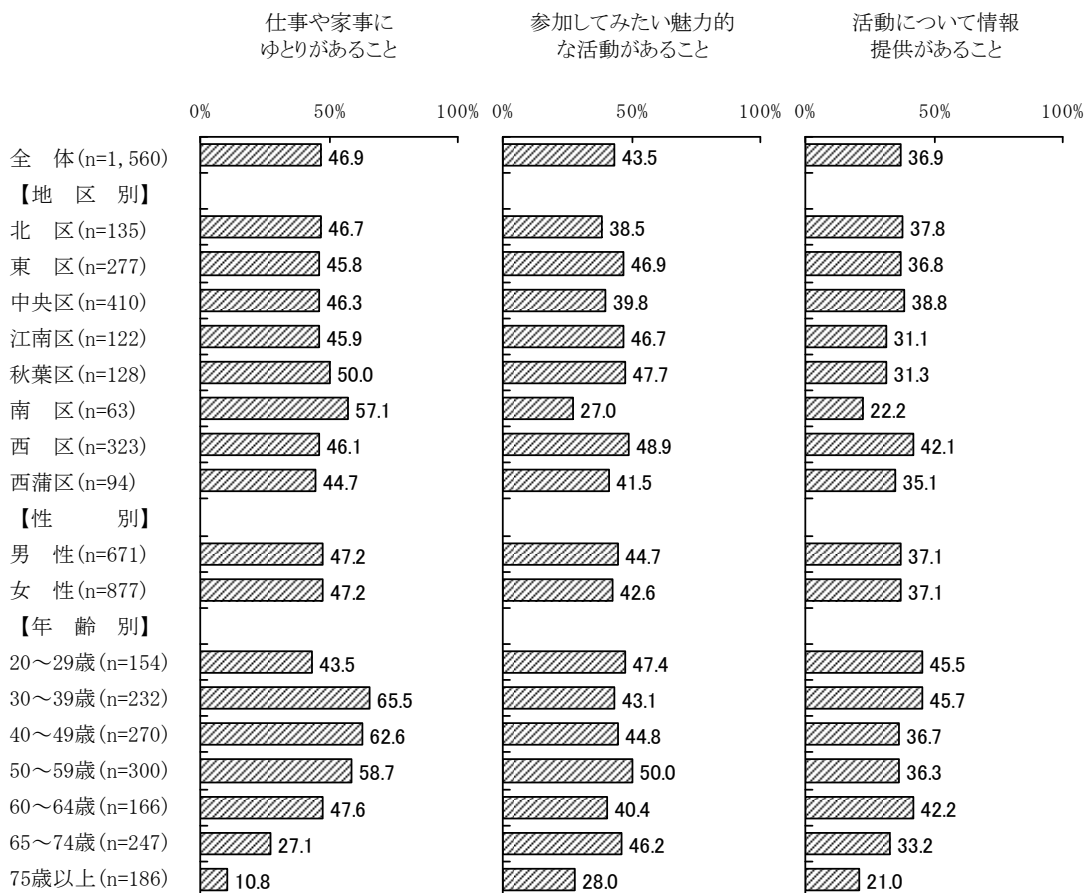
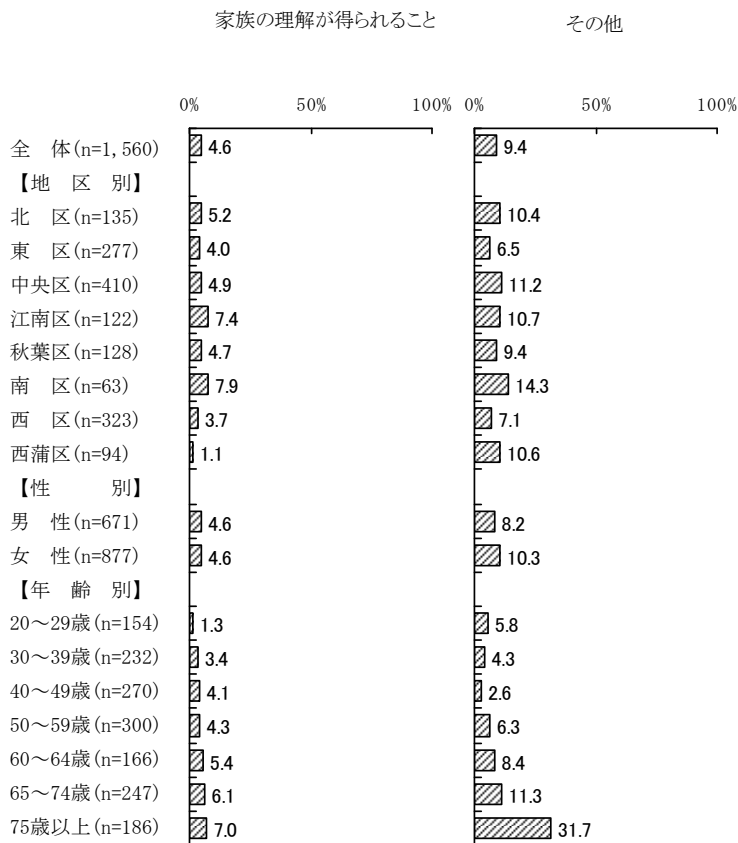
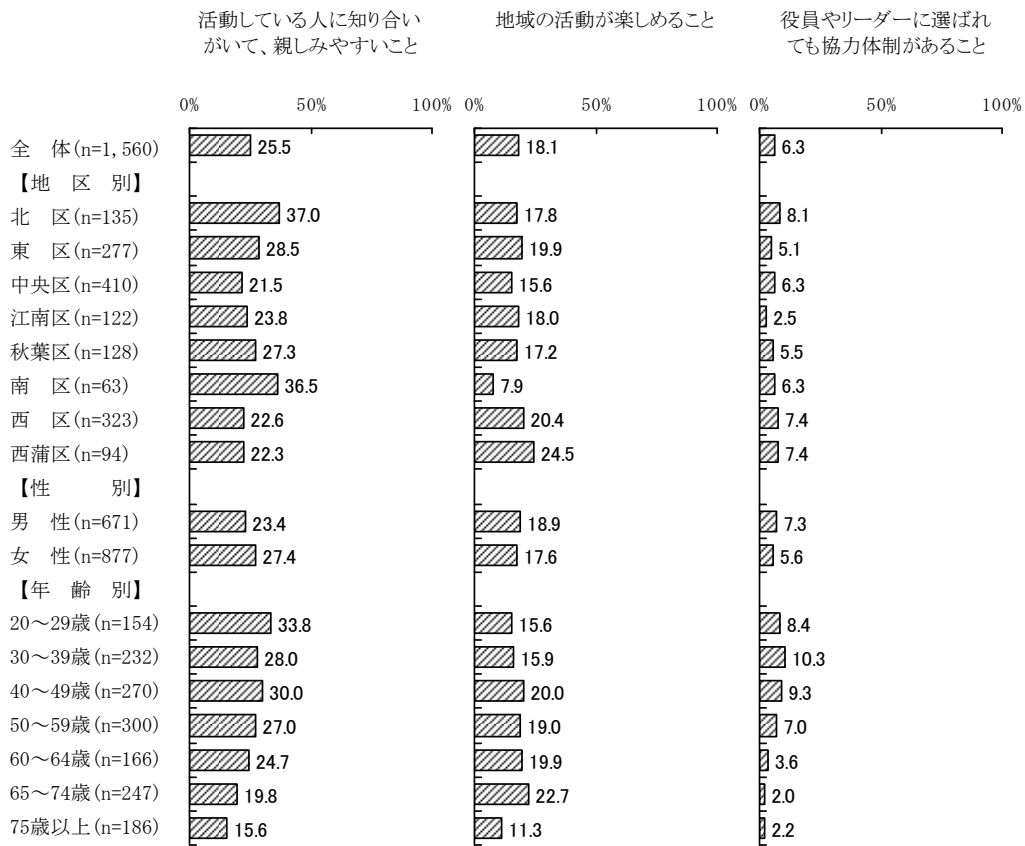
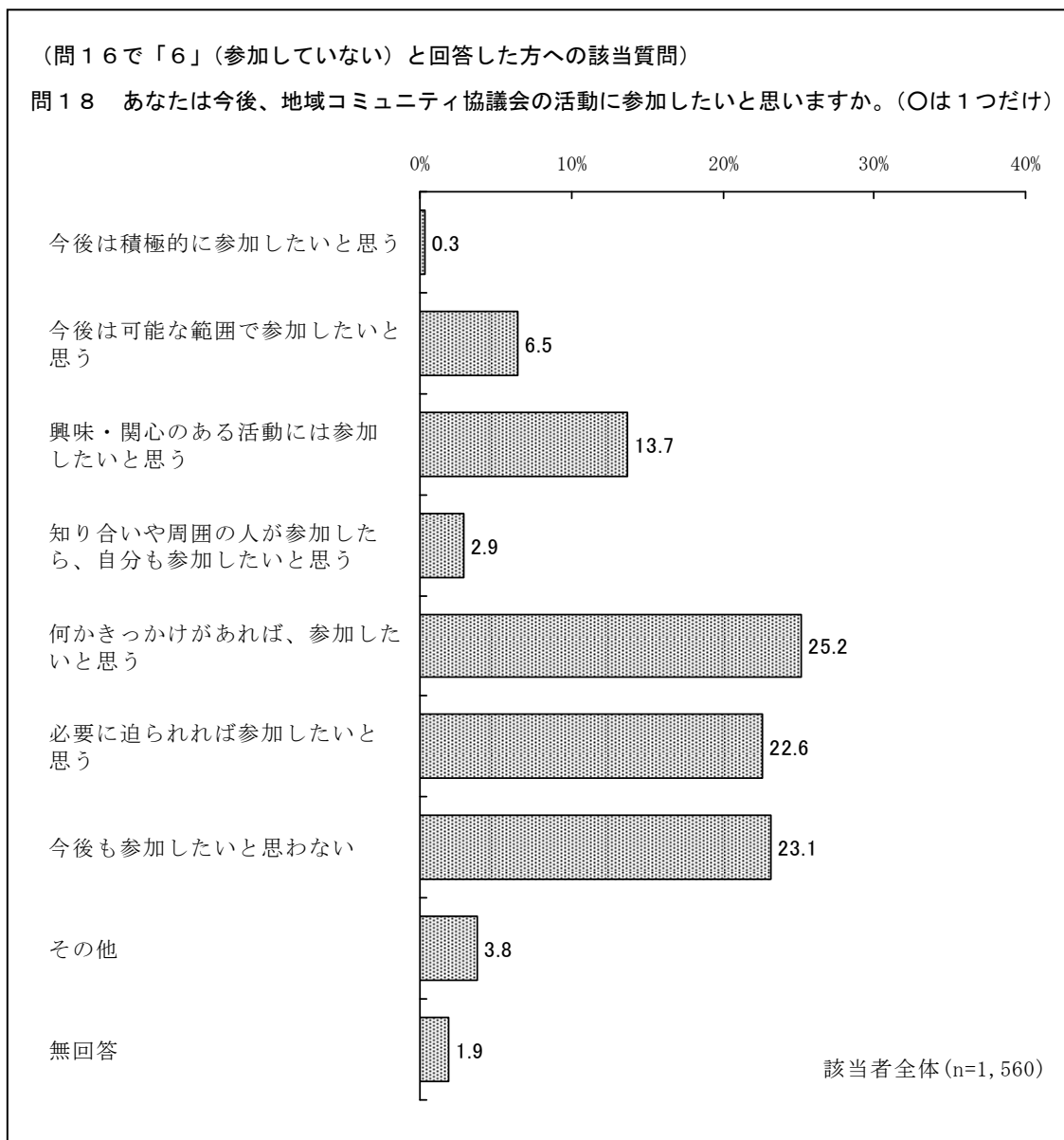


図1-10 地域コミュニティ協議会の活動に参加するための条件（地区別／性別／年齢別）

2/2



## (11) 今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向



### 「きっかけがあれば参加したい」と考える人が多い

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加していない」と回答した1,560人に対する質問である。

#### 【全体結果】

今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向については、「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」(25.2%)の割合が最も高く、次いで、「必要に迫られれば参加したいと思う」(22.6%)となっている。また、程度に差はあるが参加の意思がある人を合わせた『参加したいと思う』は71.2%で、7割強となっている。



一方で、「今後も参加したいと思わない」は23.1%である。

### 【属性別結果】（図 1-11 参照）

#### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」については、西区（29.7%）の割合が最も高くなっている。

「必要に迫られれば参加したいと思う」の割合は、中央区（27.1%）が最も高く、「今後は可能な範囲で参加したいと思う」の割合は、南区（14.3%）が最も高くなっている。

#### ②性別

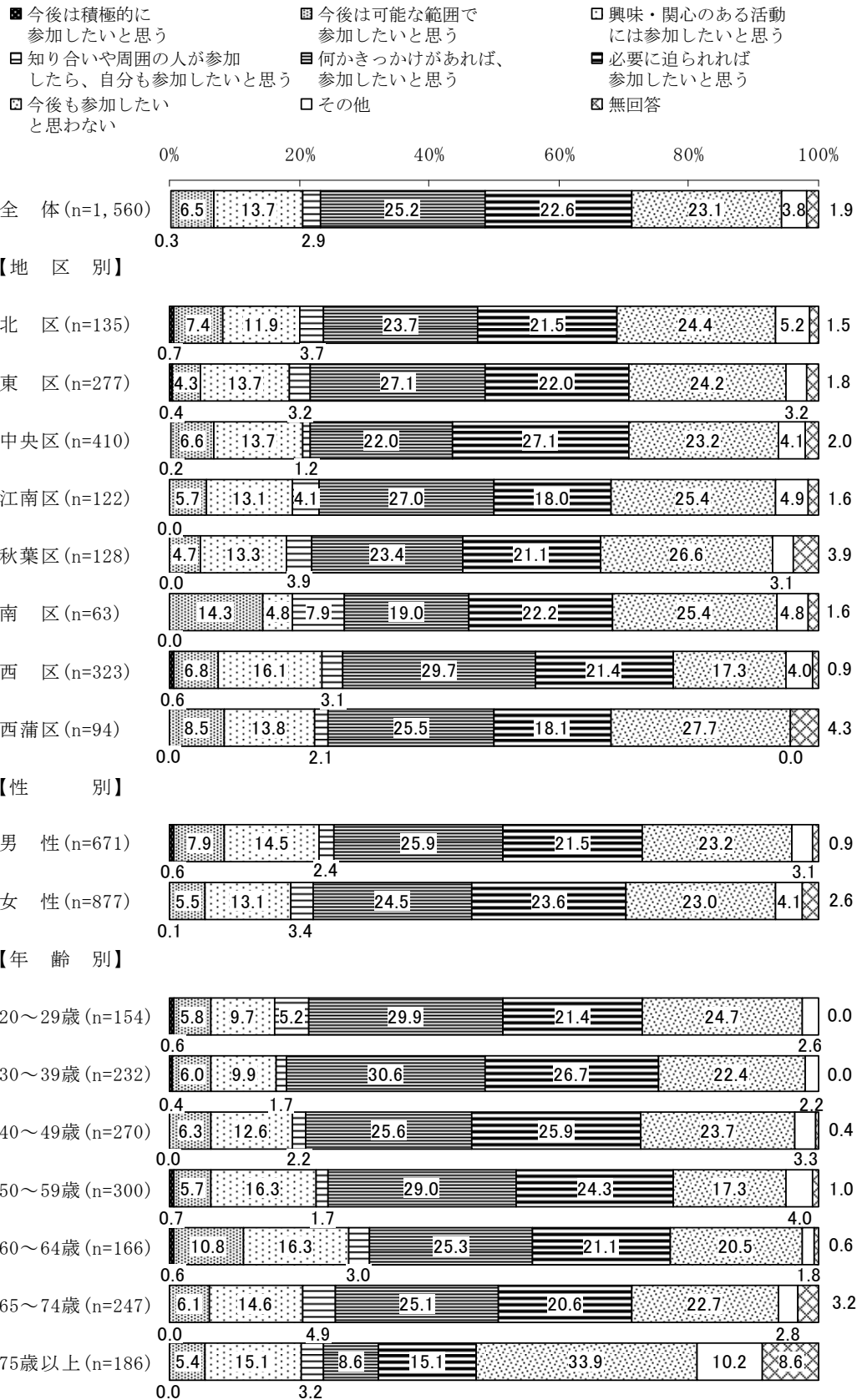
性別では、大きな男女差はみられない。

#### ③年齢別

「何かきっかけがあれば、参加したいと思う」の割合は、30代（30.6%）が最も高く、75歳以上（8.6%）が最も低くなっている。

「今後も参加したいと思わない」の割合は、75歳以上（33.9%）が最も高く、50代（17.3%）が最も低くなっている。

図1-11 今後の地域コミュニティ協議会の活動への参加意向（地区別／性別／年齢別）



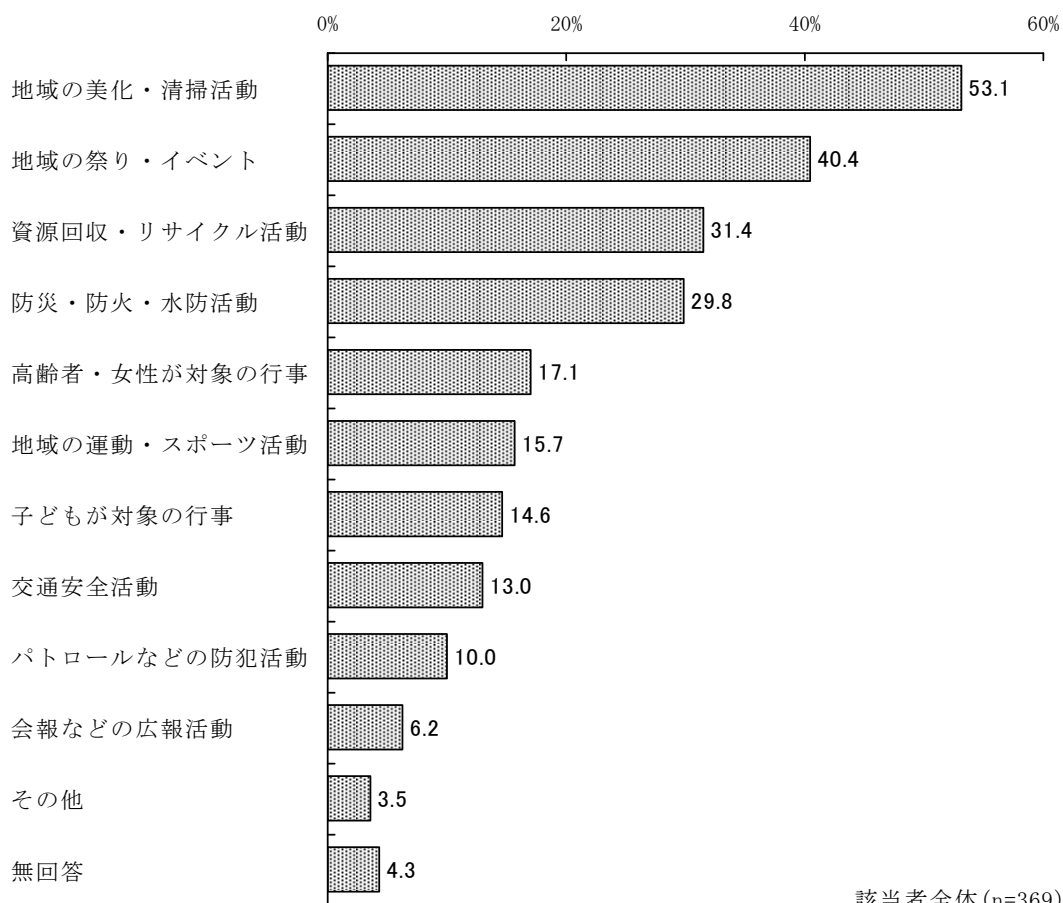
## (12) 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動

(問16で「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)と回答した方への該当質問)

問19 地域コミュニティ協議会の活動に参加していると答えた人にお聞きます。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(○はいくつでも)



### 5割強が「地域の美化・清掃活動」に参加、または参加希望

問16で、地域コミュニティ協議会の活動に「参加している」と回答した369人に対する質問である。

#### 【全体結果】

現在も参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動(複数回答)については、「地域の美化・清掃活動」(53.1%)が最も高くなっている。以下、「地域の祭り・イベント」(40.4%)が4割台、「資源回収・リサイクル活動」(31.4%)、「防災・防火・水防活動」(29.8%)が3割前後で続いている。

## 【属性別結果】（図 1-12 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域の美化・清掃活動」については、江南区（71.9%）の割合が最も高く、中央区（38.0%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、秋葉区（53.6%）が最も高く、中央区（22.0%）が最も低くなっている。「資源回収・リサイクル活動」の割合は、江南区（43.8%）が最も高く、秋葉区（17.9%）が最も低くなっている。

### ②性別

「地域の美化・清掃活動」、「地域の祭り・イベント」、「防災・防火・水防活動」、「交通安全活動」「パトロールなどの防犯活動」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「資源回収・リサイクル活動」と「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

### ③年齢別

「地域の美化・清掃活動」の割合は、60～64歳（56.8%）が最も高く、40代（41.9%）が最も低くなっている。

「地域の祭り・イベント」の割合は、30代（60.0%）が最も高く、年齢が上がるにつれて、割合が低くなっている。

「資源回収・リサイクル活動」の割合は、60～64歳（43.2%）が最も高く、40代（16.3%）が最も低くなっている。

「子どもが対象の行事」の割合は、30代（40.0%）と40代（39.5%）が高く、「高齢者・女性が対象の行事」の割合は、75歳以上（34.6%）が高くなっている。

図1-12 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動  
 (地区別/性別/年齢別) 1/2

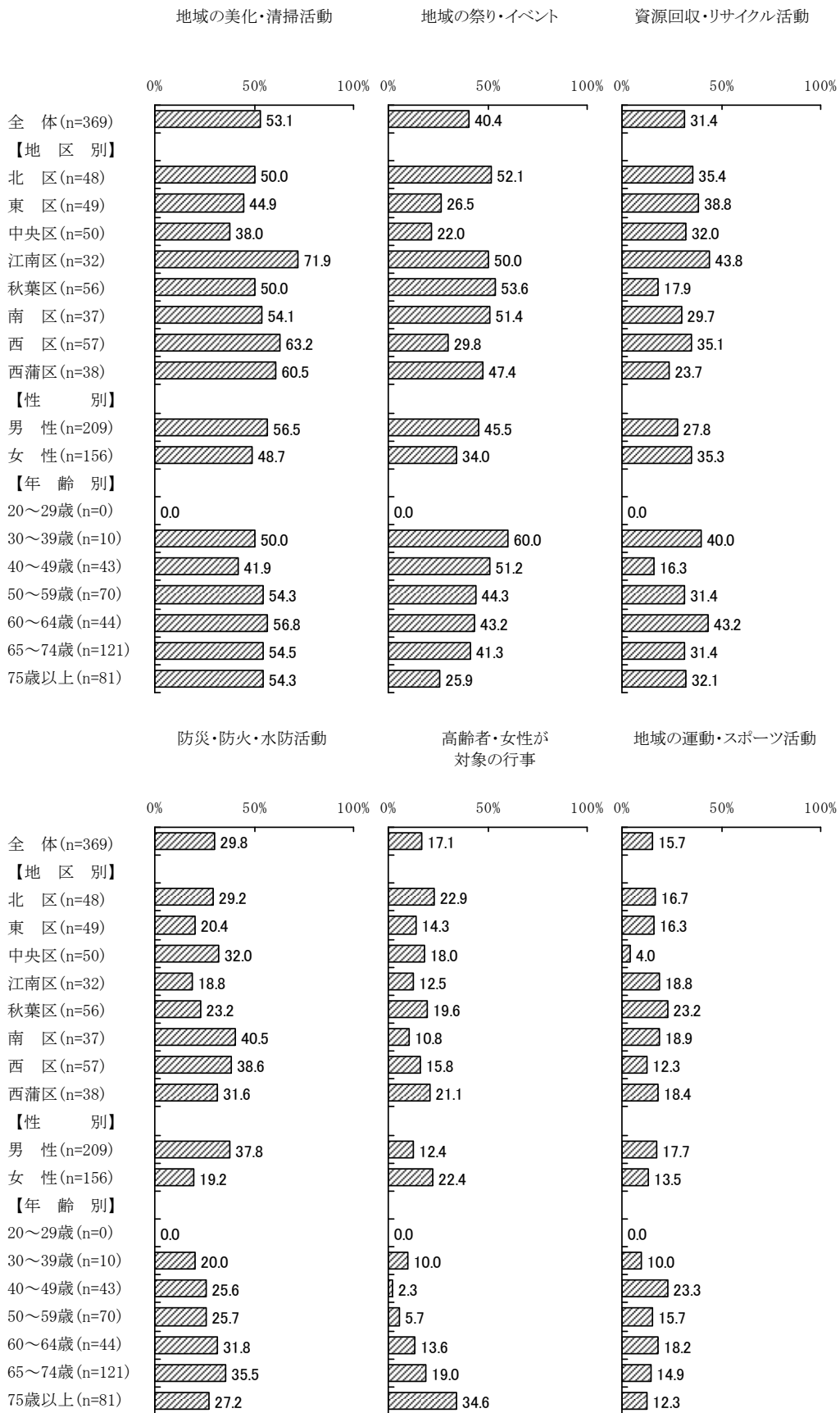
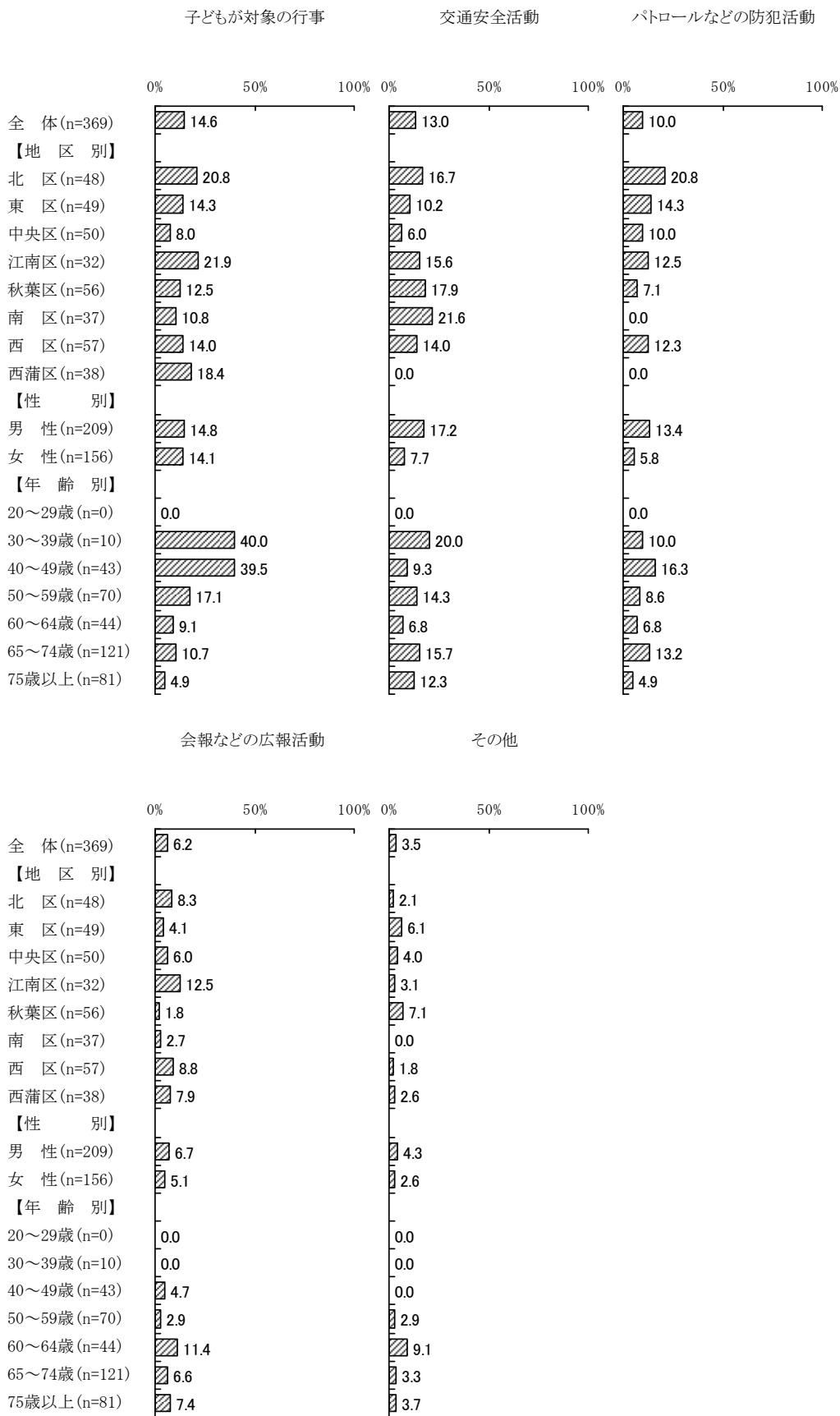
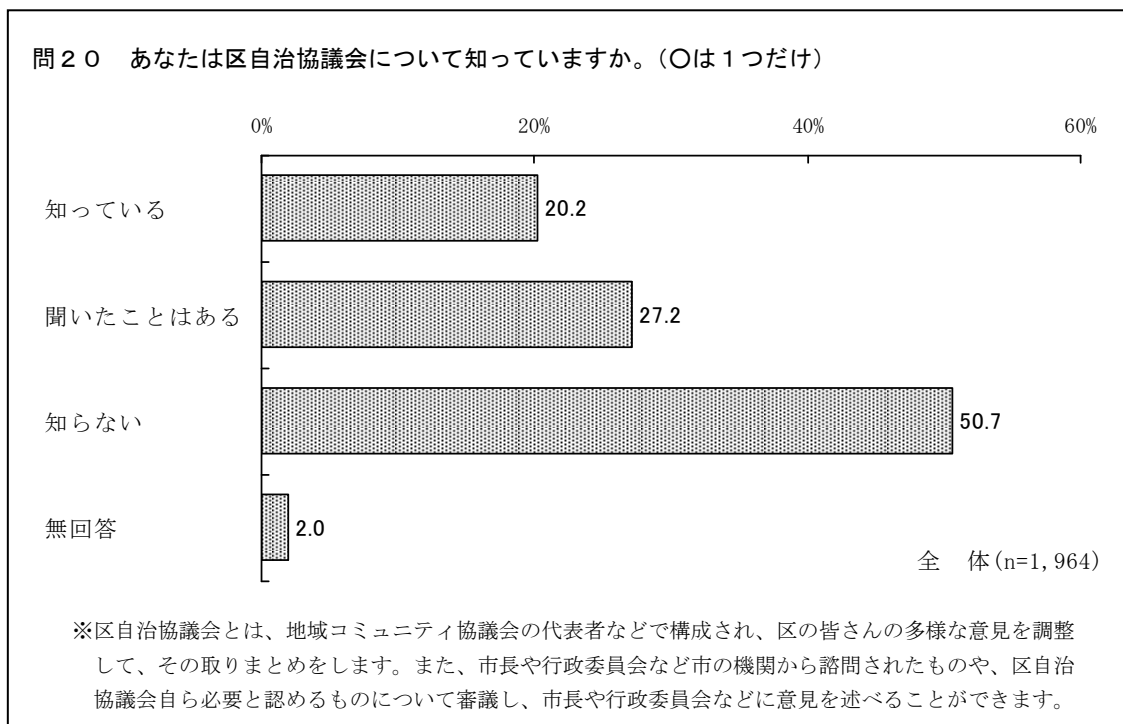


図1-12 現在参加、または今後参加したい地域コミュニティ協議会の活動  
 (地区別/性別/年齢別) 2/2



### (13) 区自治協議会の認知状況



#### 2割が区自治協議会を「知っている」

##### 【全体結果】

区自治協議会の認知状況については、「知っている」が20.2%、「聞いたことはある」が27.2%となっている。

一方で、「知らない」が50.7%で5割となっている。

##### 【属性別結果】(図1-13参照)

###### ①地区別

「知っている」の割合は、南区(29.7%)と秋葉区(28.9%)が高く、中央区(11.0%)が最も低くなっている。中央区では「知らない」の割合が高く、6割を超えている。

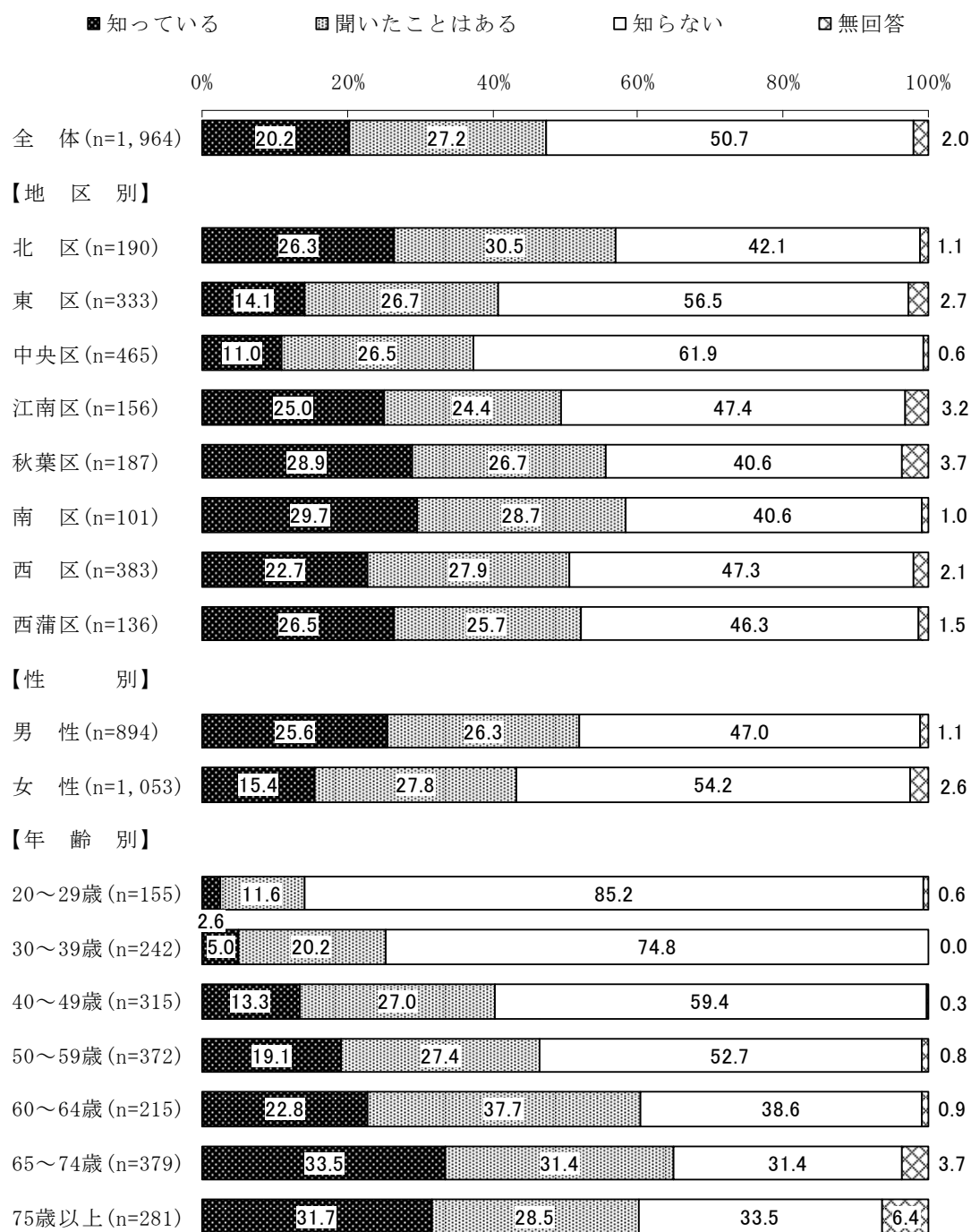
###### ②性別

「知っている」の割合は、男性(25.6%)の方が女性(15.4%)よりも高くなっている。

###### ③年齢別

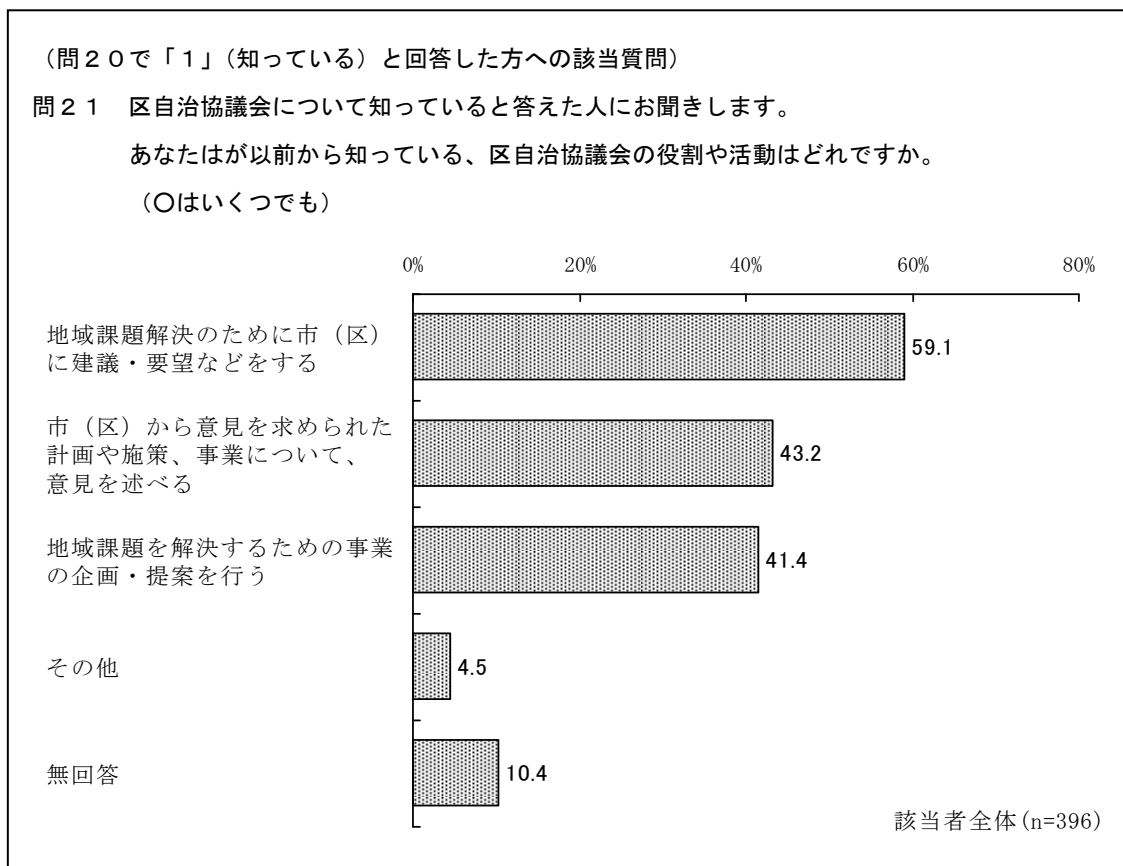
「知っている」の割合は、65~74歳(33.5%)と75歳以上(31.7%)が高く、20代(2.6%)と30代(5.0%)が低くなっている。また、20代では、「知らない」の割合が85.2%で、8割を超えている。

図 1-13 区自治協議会の認知状況（地区別／性別／年齢別）





## (14) 区自治協議会の役割や活動で知っていること



### —— 知っている役割や活動は「市(区)への建議・要望」が最も多い ——

問20で、区自治協議会を「知っている」と回答した396人に対する質問である。

#### 【全体結果】

知っている区自治協議会の役割や活動(複数回答)については、「地域課題解決のために市(区)に建議・要望などをする」(59.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「市(区)から意見を求められた計画や施策、事業について、意見を述べる」(43.2%)、「地域課題を解決するための事業の企画・提案を行う」(41.4%)の順となっている。

## 【属性別結果】（図 1-14 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域課題解決のために市（区）に建議・要望などをする」については、西蒲区（66.7%）の割合が最も高く、中央区（51.0%）と秋葉区（51.9%）の割合が低くなっている。

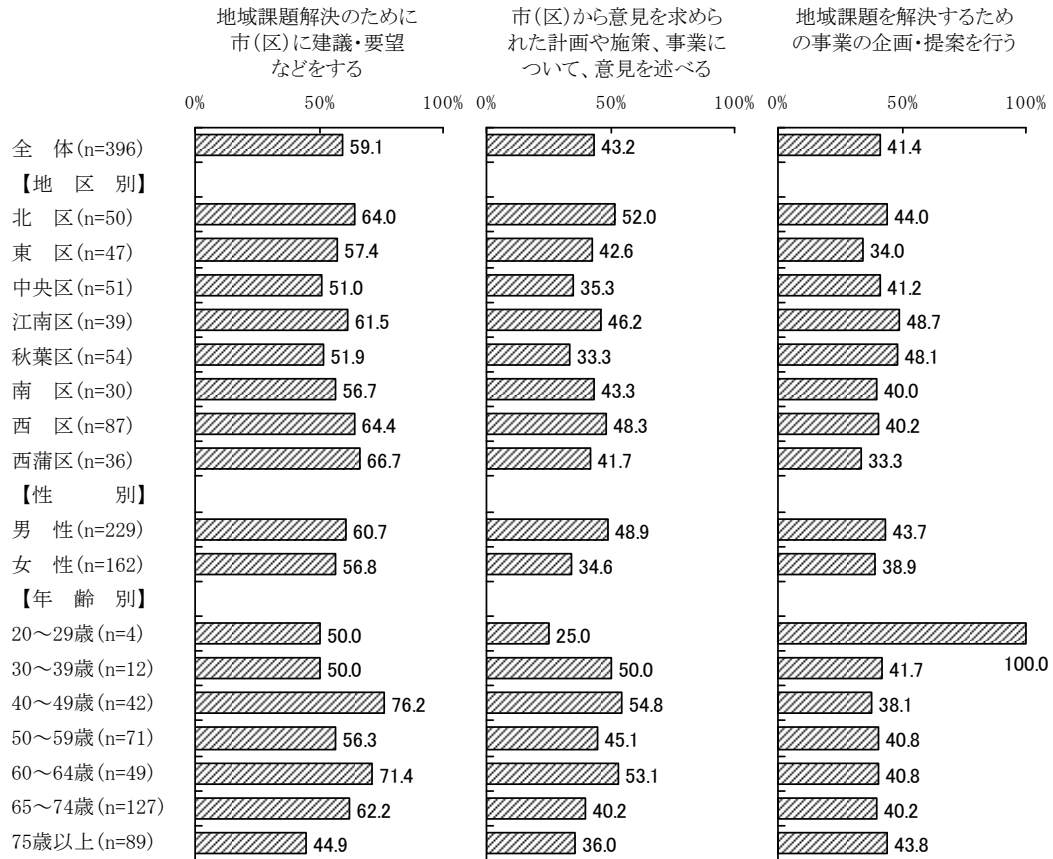
### ②性別

いずれの項目も、男性の方が女性よりも割合が高くなっている。

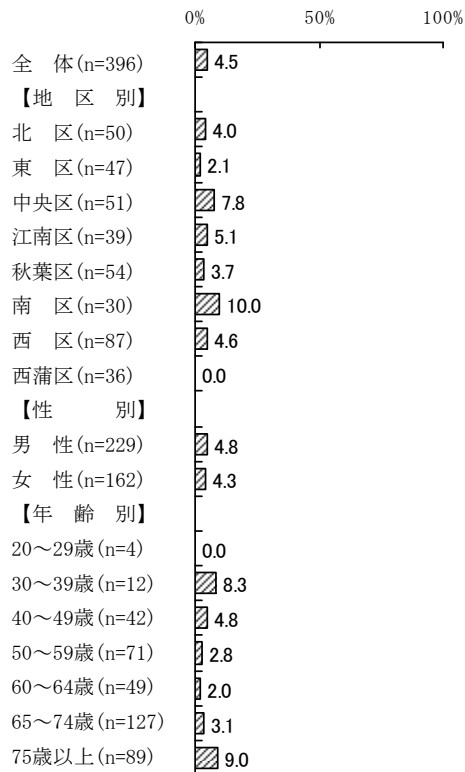
### ③年齢別

「地域課題解決のために市（区）に建議・要望などをする」の割合は、40代（76.2%）が最も高く、75歳以上（44.9%）が最も低くなっている。

図1-14 区自治協議会の役割や活動で知っていること（地区別／性別／年齢別）

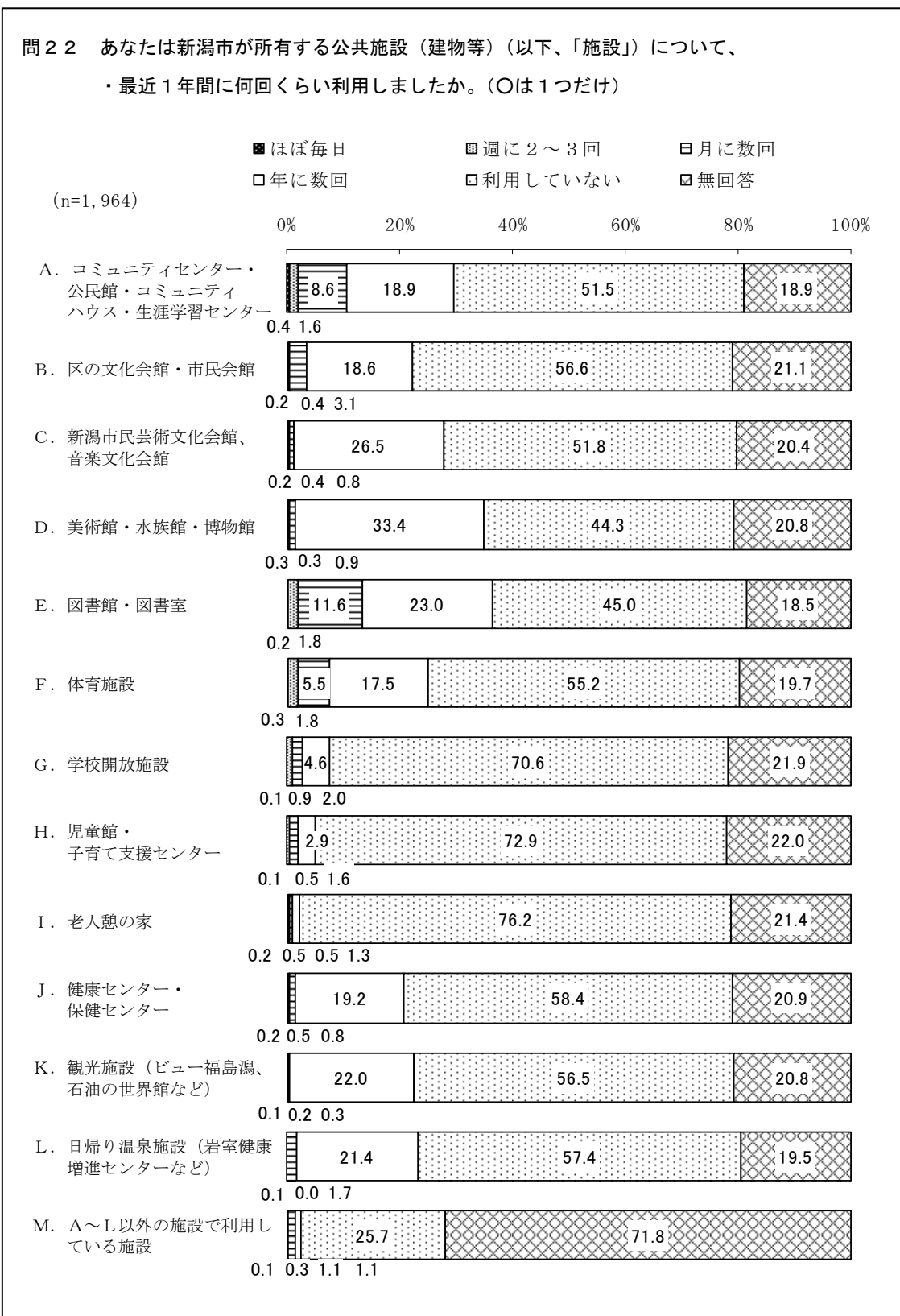


その他



## 2. 市が所有する公共施設（建物等）について

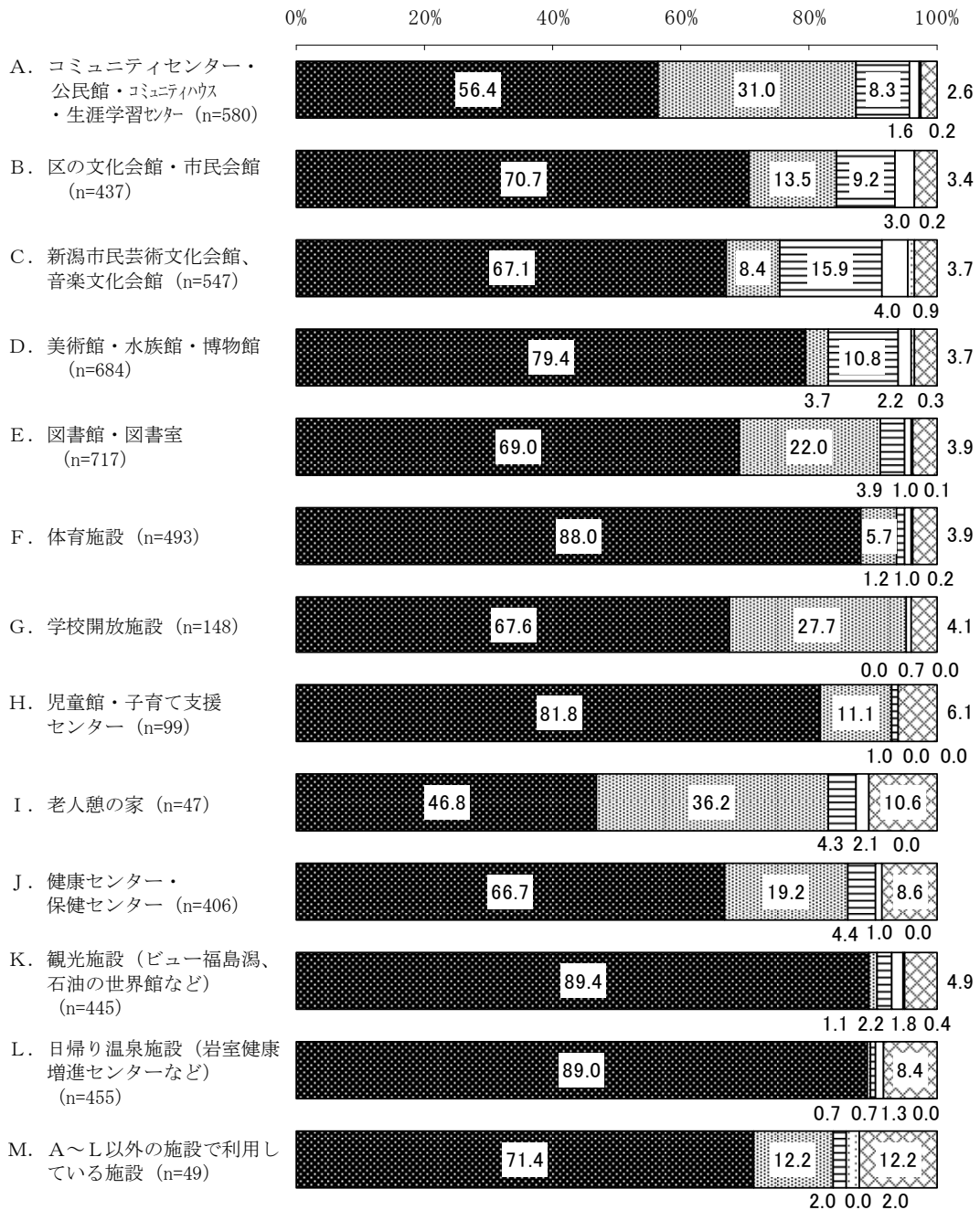
### (1) 市が所有する公共施設の利用頻度や交通手段



問 2 2 あなたは新潟市が所有する公共施設（建物等）（以下、「施設」）について、

・施設へはどのような交通手段で行きましたか。（○は1つだけ）

■車・バイク ■徒歩・自転車 ■バス □電車 □タクシー □無回答



—— 「図書館・図書室」「美術館・水族館・博物館」の利用が高く、  
施設へは「車・バイク」で行く人が多い ——

**【全体結果】**

市が所有する公共施設の利用頻度については、程度に差はあるが利用回数を合わせた割合で見ると、『E. 図書館・図書室』(36.5%)が最も高くなっている。次いで、あまり差がなく『D. 美術館・水族館・博物館』(34.8%)が続いている。以下、『A. コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター(クロスパル)』(29.5%)、『C. 新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)、音楽文化会館』(27.9%)、『F. 体育施設(体育館、プール、野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場など)』(25.1%)の順となっている。

また、利用回数で見ると、「月に数回」の割合は、『E. 図書館・図書室』(11.6%)が高く、次いで『A. コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター』(8.6%)となっている。「年に数回」の割合は、『D. 美術館・水族館・博物館』(33.4%)が最も高く、以下、『C. 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館』(26.5%)、『E. 図書館・図書室』(23.0%)、『K. 観光施設(ビュー福島潟、石油の世界館、白根大凧と歴史の館、岩室観光施設など)』(22.0%)、『L. 日帰り温泉施設(岩室健康増進センター、じょんのび館、小須戸温泉健康センター)』(21.4%)の順となっている。「ほぼ毎日」と「週に2~3回」の割合は、いずれの施設も低くなっている。

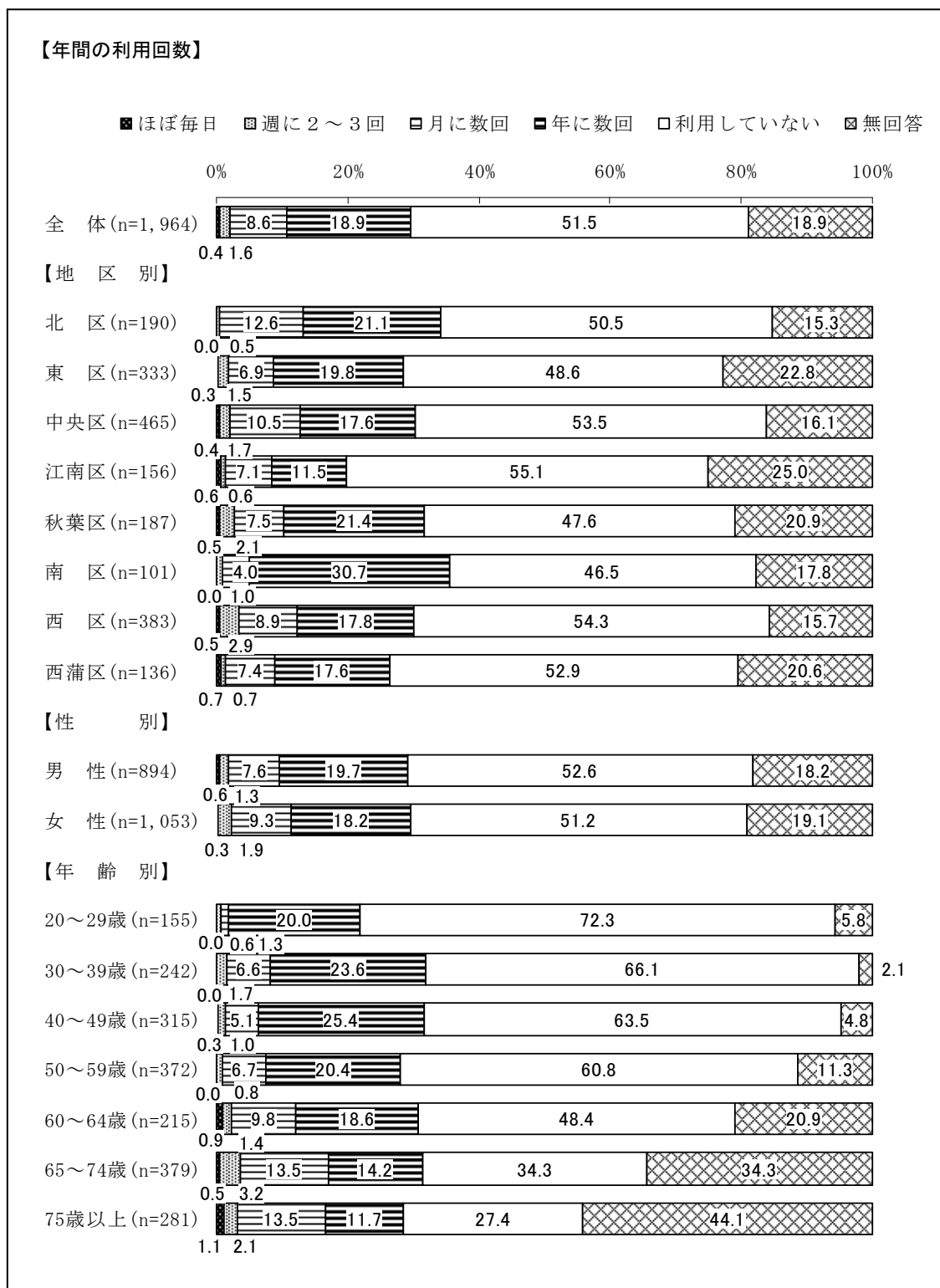
一方で、「利用していない」の割合は、『I. 老人憩の家』(76.2%)、『H. 児童館・子育て支援センター』(72.9%)、『G. 学校開放施設(小・中学校の体育館、教室、武道場、グラウンド)』(70.6%)が高く7割を超えている。

おもな交通手段については、いずれの施設も「車・バイク」で行くと回答した人が最も多くなっている。次いで「徒歩・自転車」の割合が高い施設が多くなっている。『C. 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館』、『D. 美術館・水族館・博物館』では「バス」の割合も高くなっている。

**【属性別結果】**

次ページ以降に公共施設の種類ごとの地区別・性別・年齢別の利用回数、交通手段の集計結果をまとめた。

① コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター

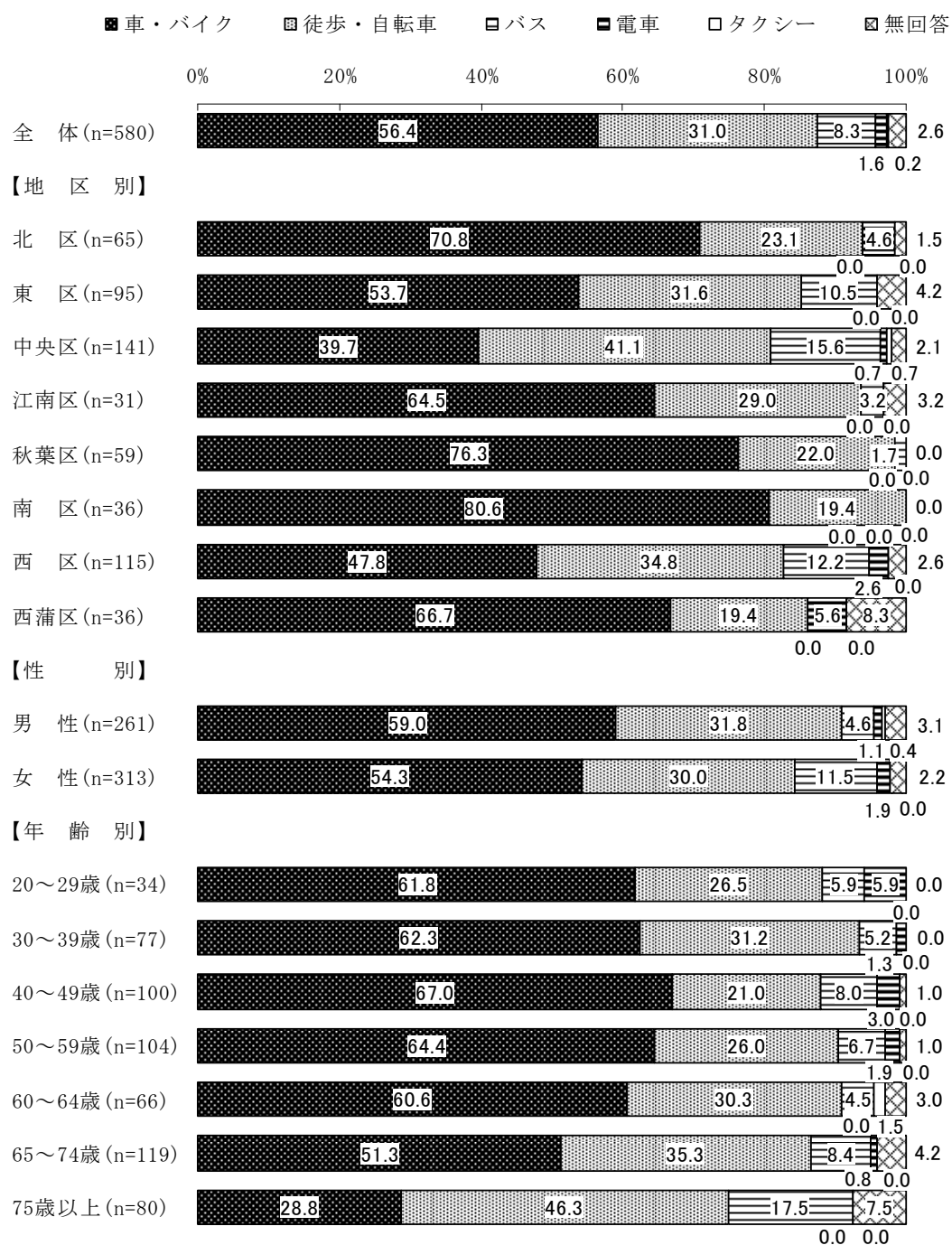


地区別では、「月に数回」の割合は、北区（12.6%）と中央区（10.5%）が1割を超えている。「年に数回」の割合は、南区（30.7%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、65～74歳と75歳以上（各13.5%）が1割を超えている。「年に数回」の割合は、40代（25.4%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】



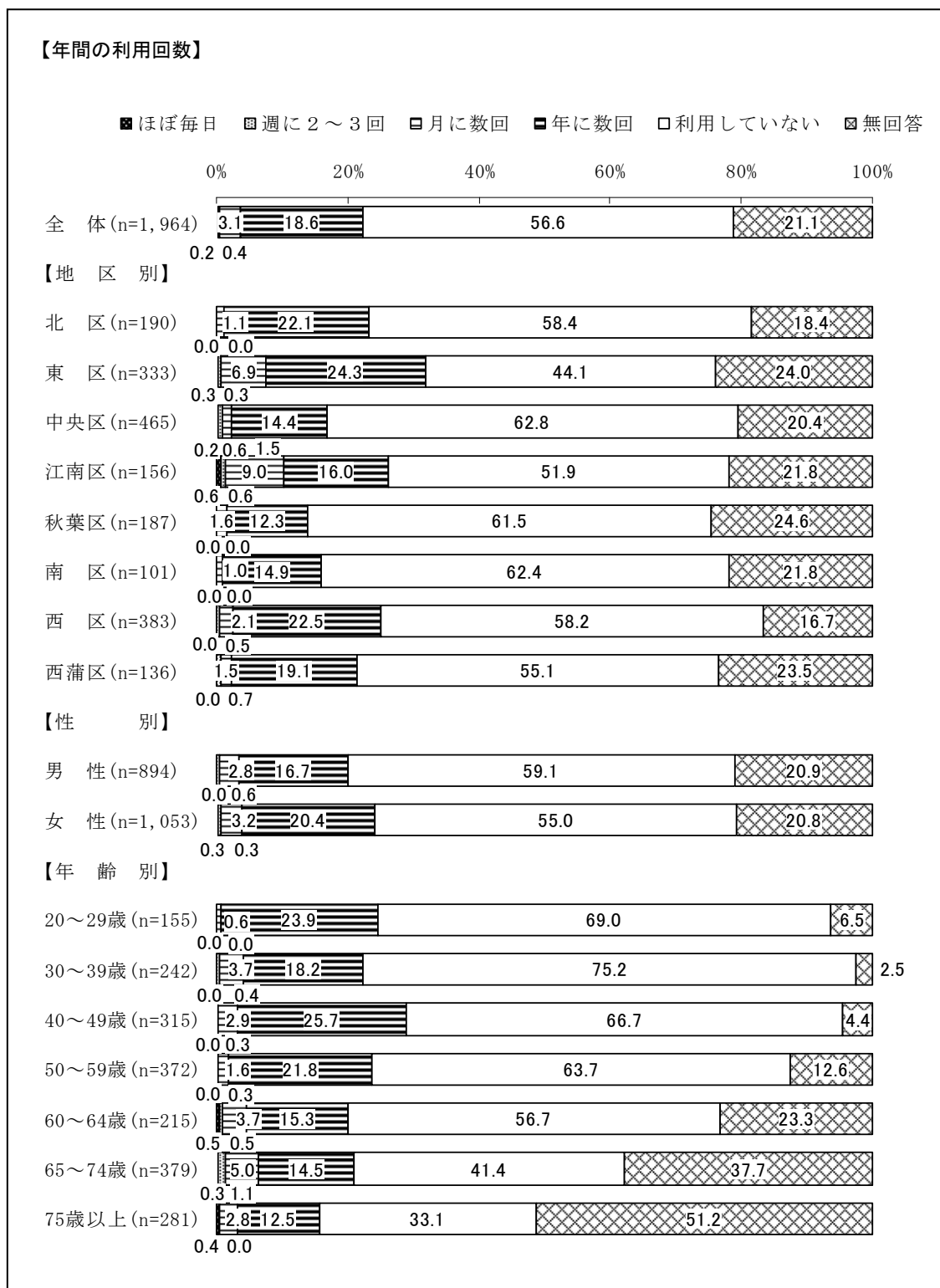
地区別では、中央区を除いて「車・バイク」の割合が最も高く、南区（80.6%）では8割を超えている。中央区では「徒歩・自転車」の割合が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除いて「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では「徒歩・自転車」の割合が最も高くなっている。



## ② 区の文化会館・市民会館

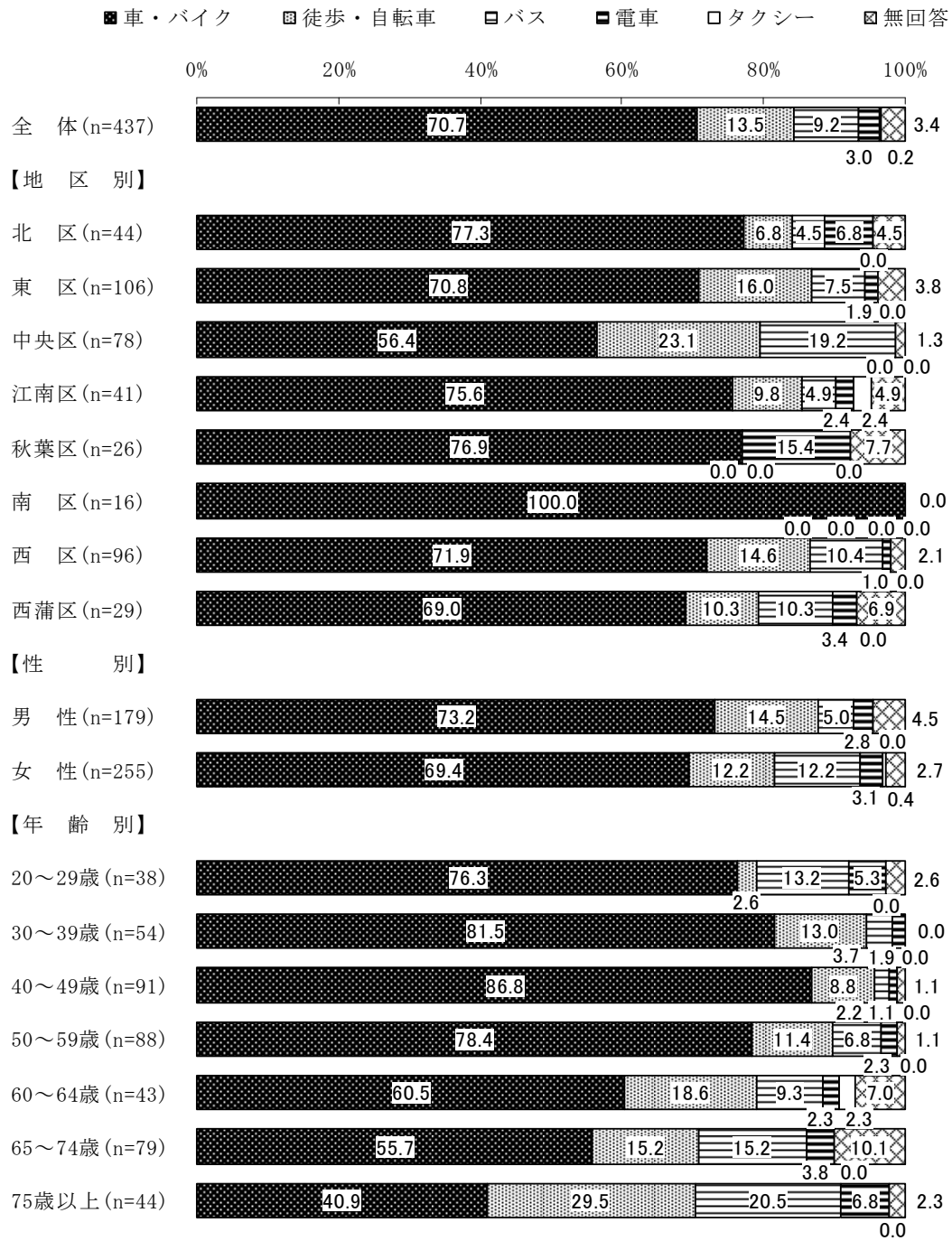


地区別では、「月に数回」の割合は、江南区（9.0%）が1割弱で最も高くなっている。「年に数回」の割合は、東区（24.3%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（25.7%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

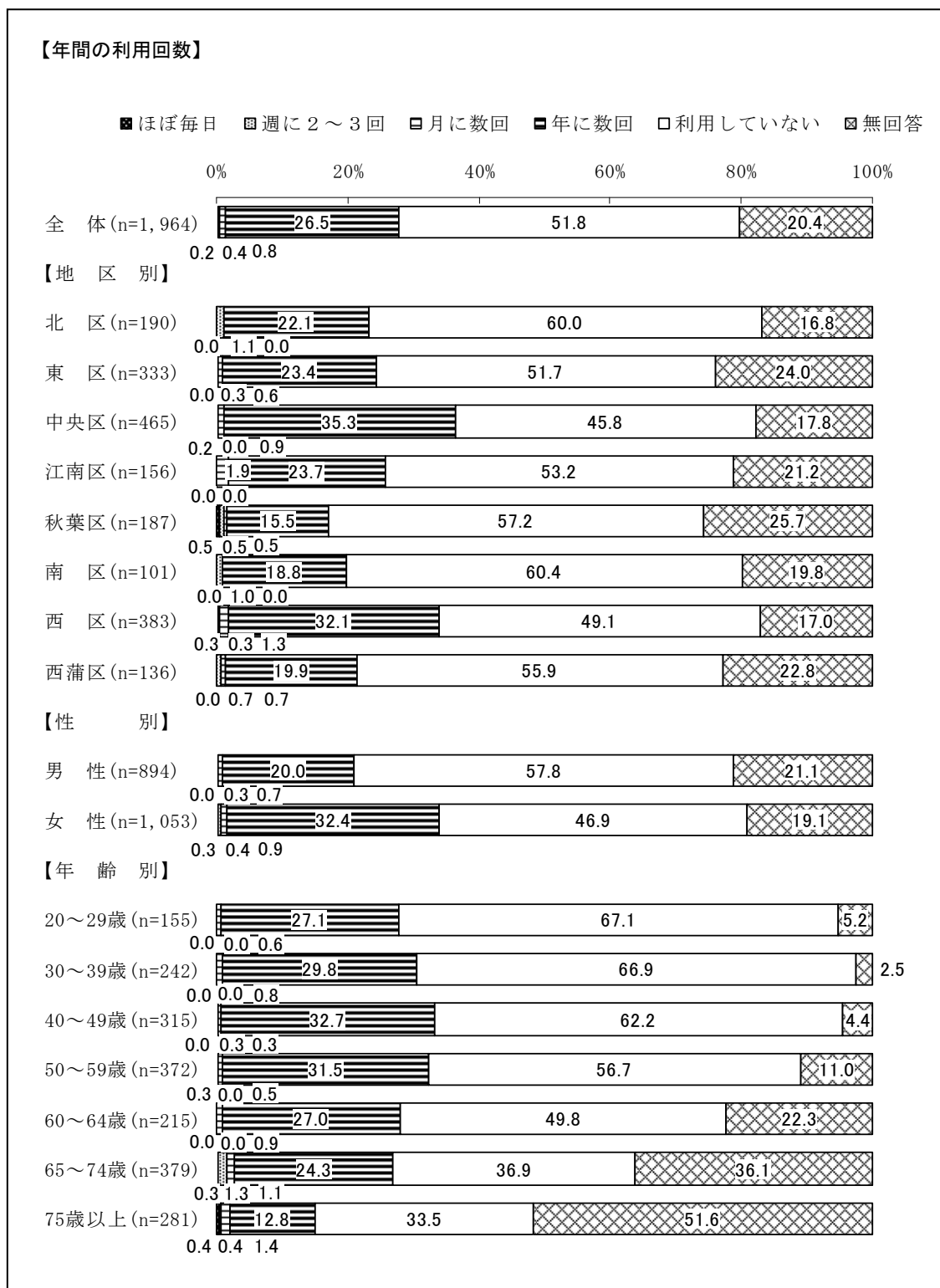


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区では10割となっている。

性別では、「バス」の割合は、女性(12.2%)の方が男性(5.0%)よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、40代(86.8%)と30代(81.5%)では8割を超えている。

### ③ 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館

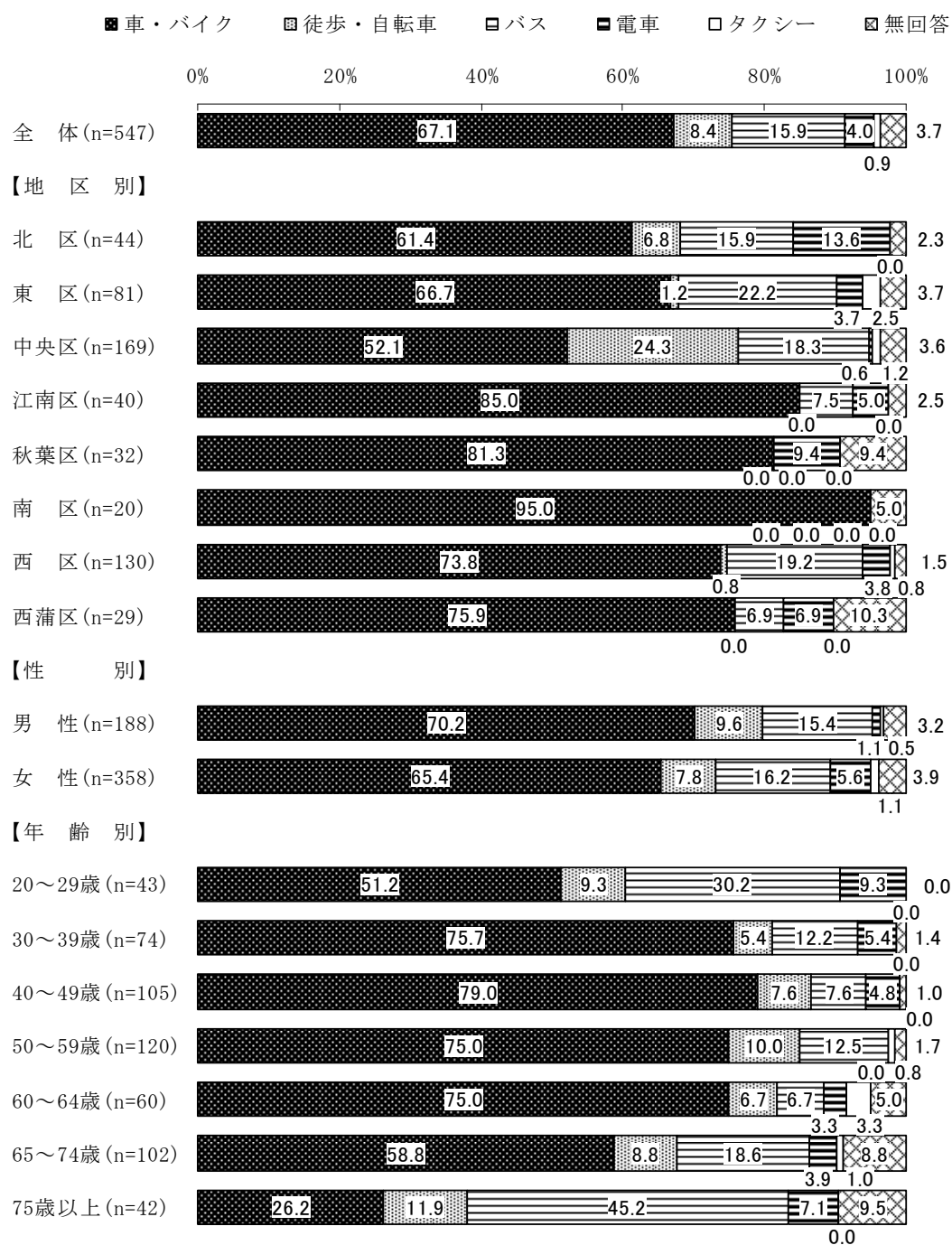


地区別では、「年に数回」の割合は、中央区（35.3%）と西区（32.1%）が高く、3割を超えている。

性別では、「年に数回」の割合は、女性（32.4%）の方が男性（20.0%）よりも高くなっている。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（32.7%）と50代（31.5%）が高くなっている。

【おもな交通手段】

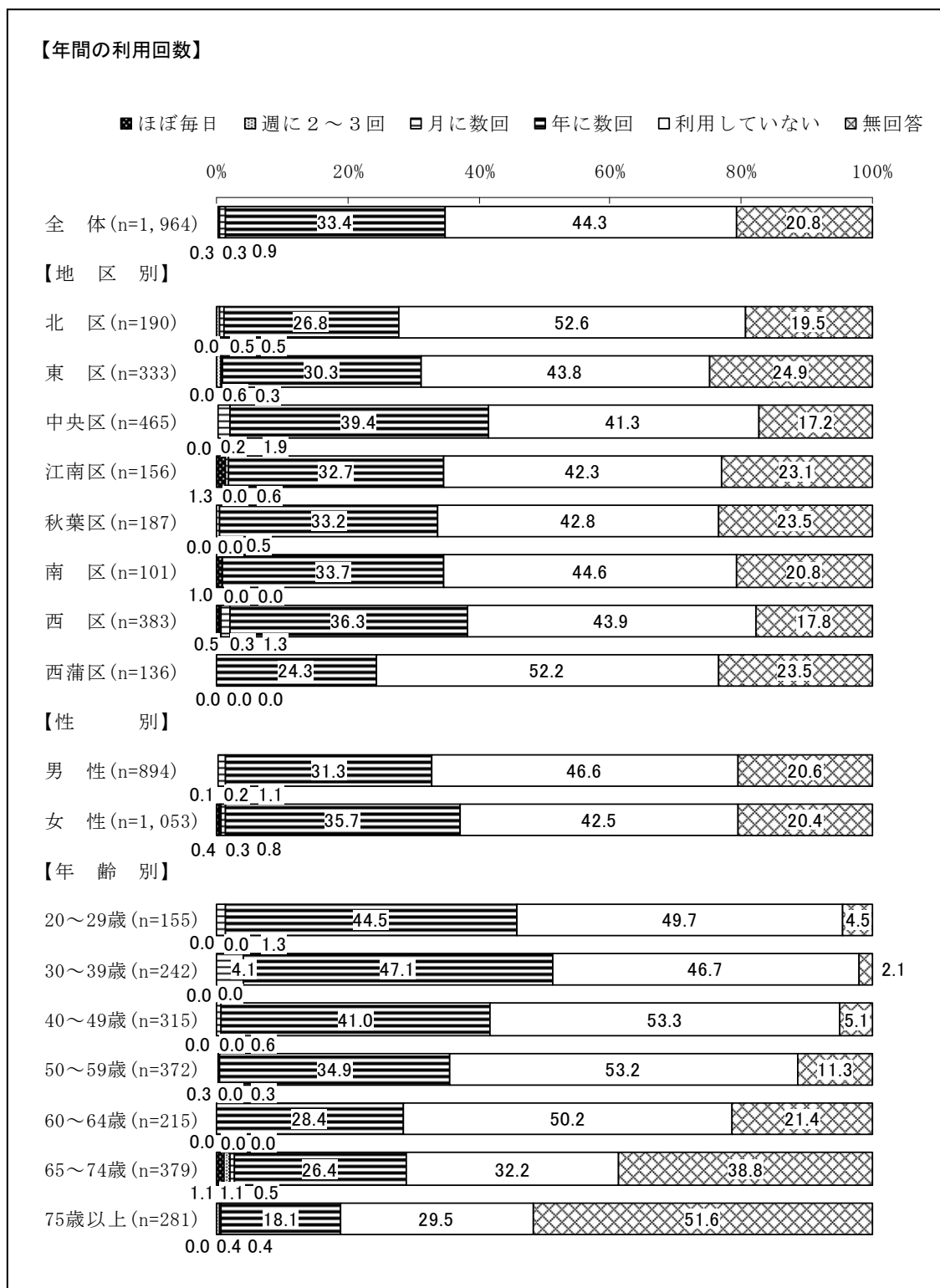


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区（95.0%）では9割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除き「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「バス」（45.2%）の割合が最も高くなっている。

#### ④ 美術館・水族館・博物館

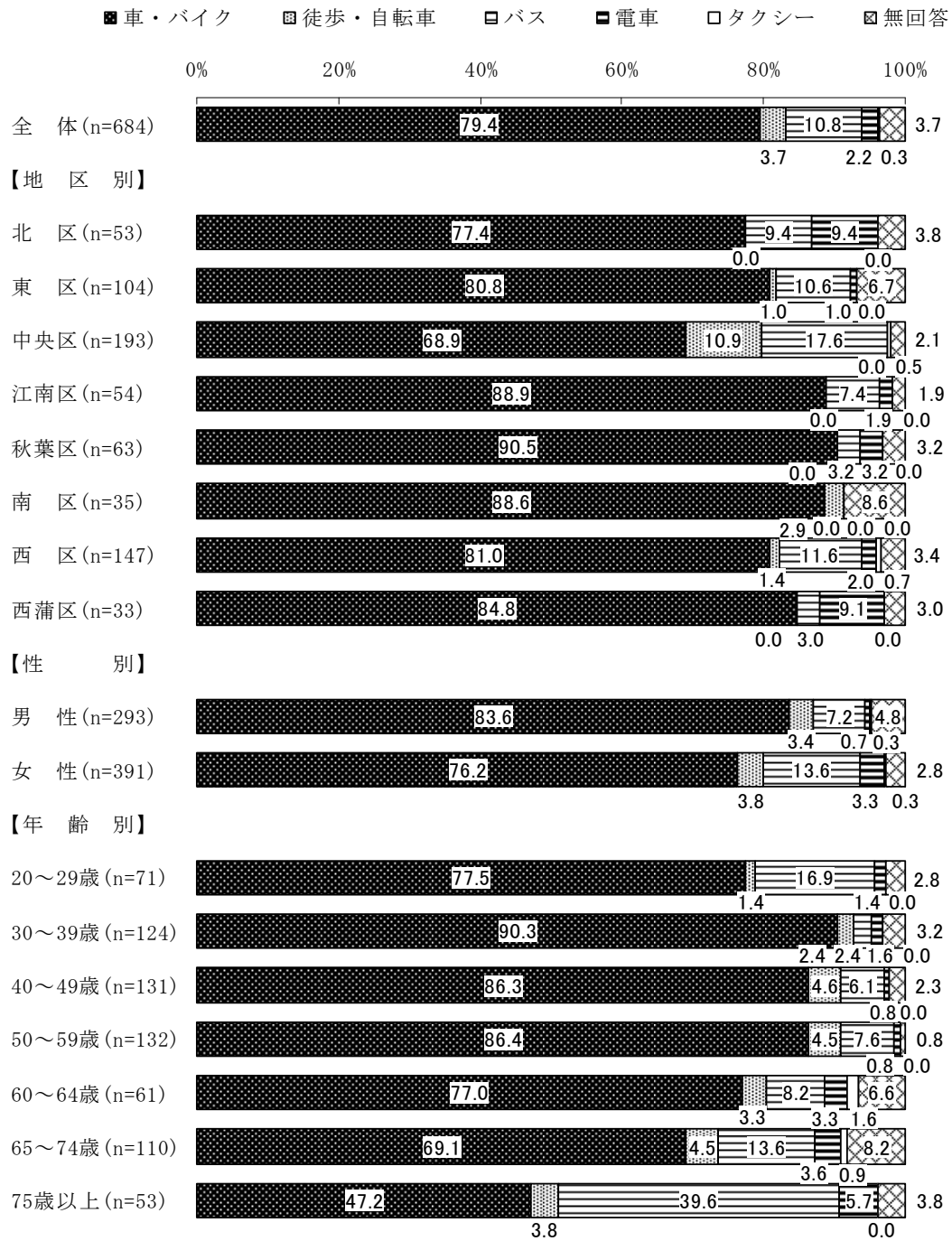


地区別では、「年に数回」の割合は、中央区（39.4%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代（47.1%）、20代（44.5%）、40代（41.0%）が高く、4割を越えている。

【おもな交通手段】

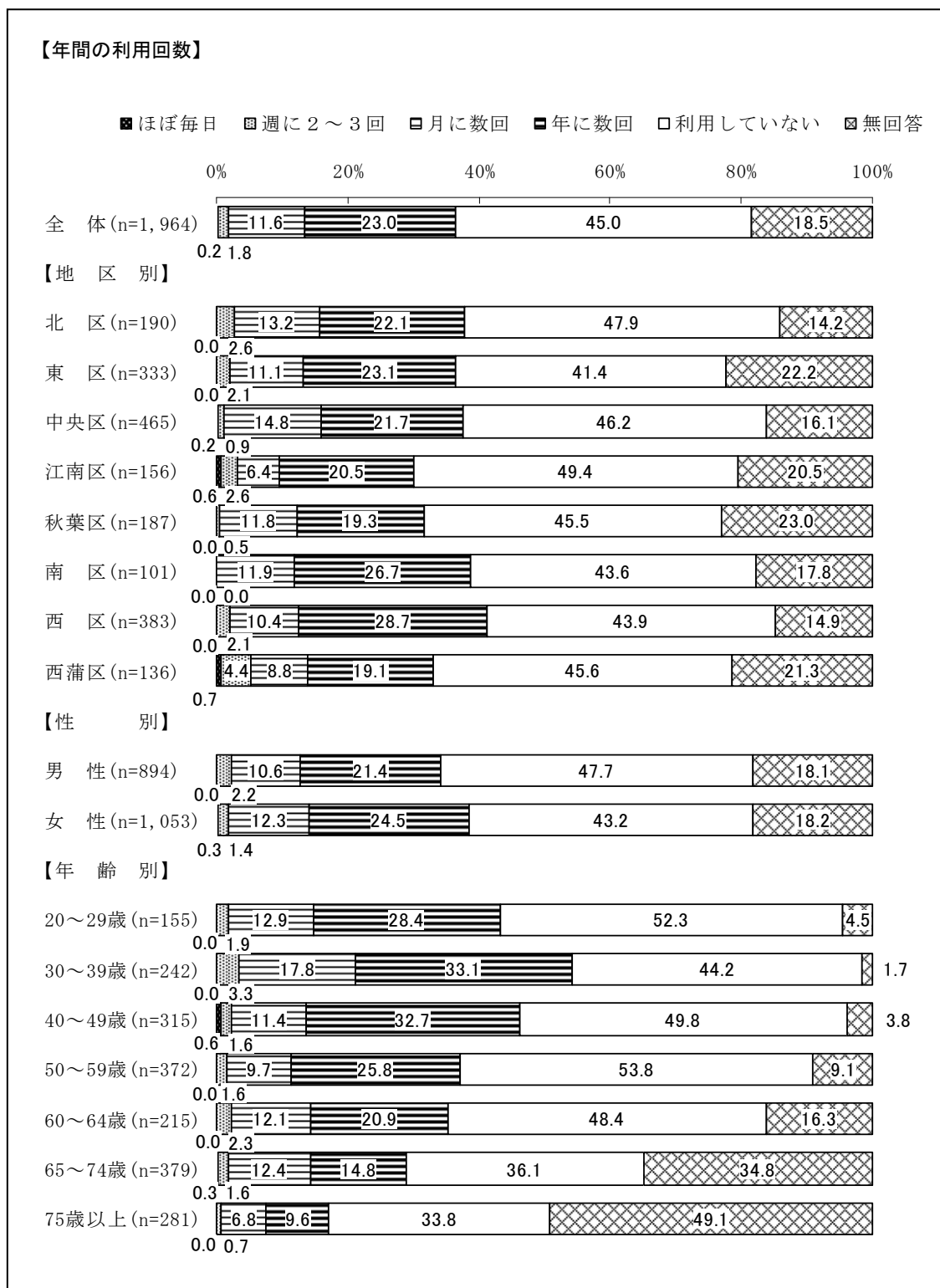


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「バス」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「バス」(39.6%)の割合も高くなっている。

⑤ 図書館・図書室

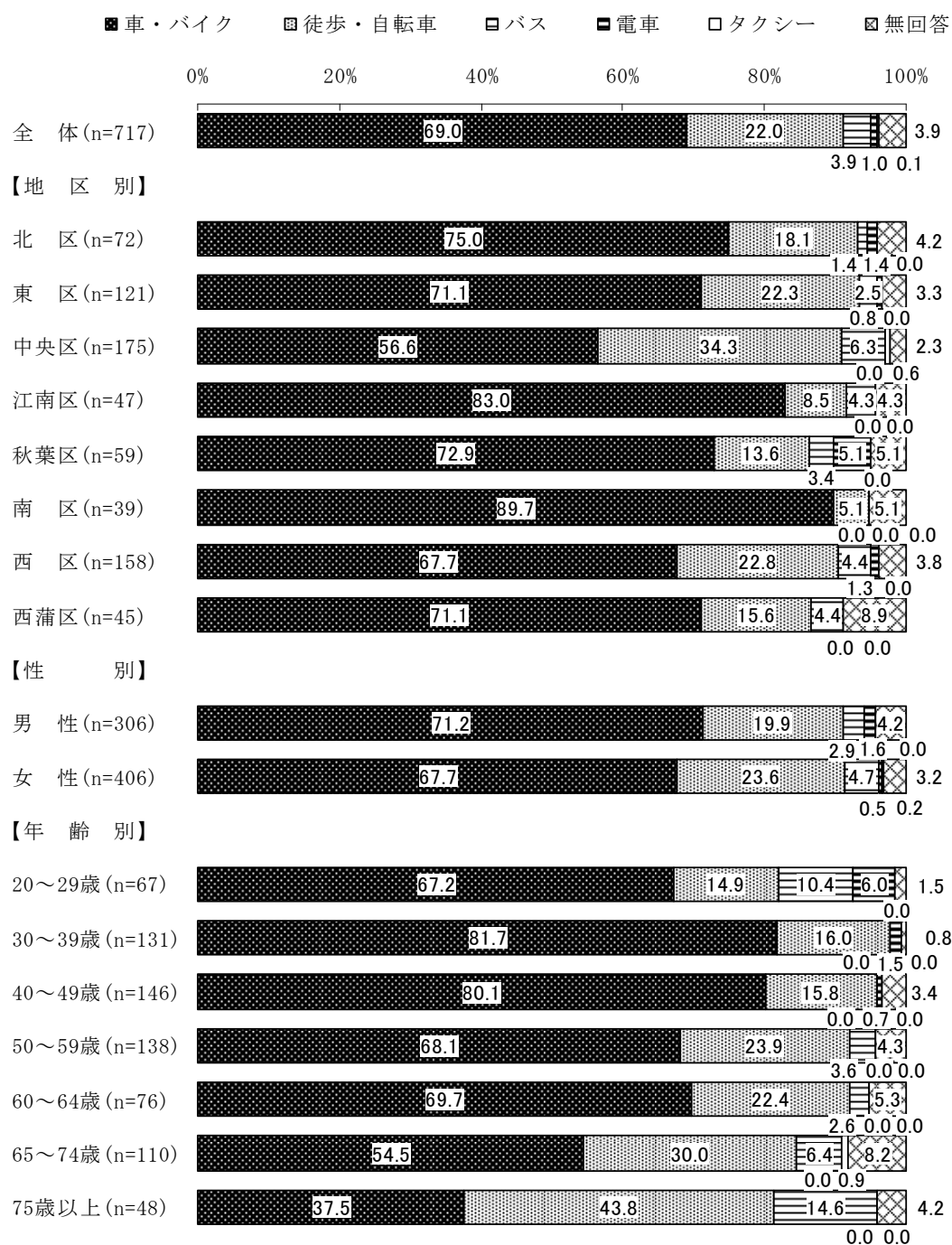


地区別では、「月に数回」の割合は、中央区（14.8%）と北区（13.2%）が高くなっている。「年に数回」の割合は、西区（28.7%）と南区（26.7%）が高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、30代（17.8%）が最も高くなっている。「年に数回」の割合は、30代（33.1%）と40代（32.7%）が高くなっている。

【おもな交通手段】



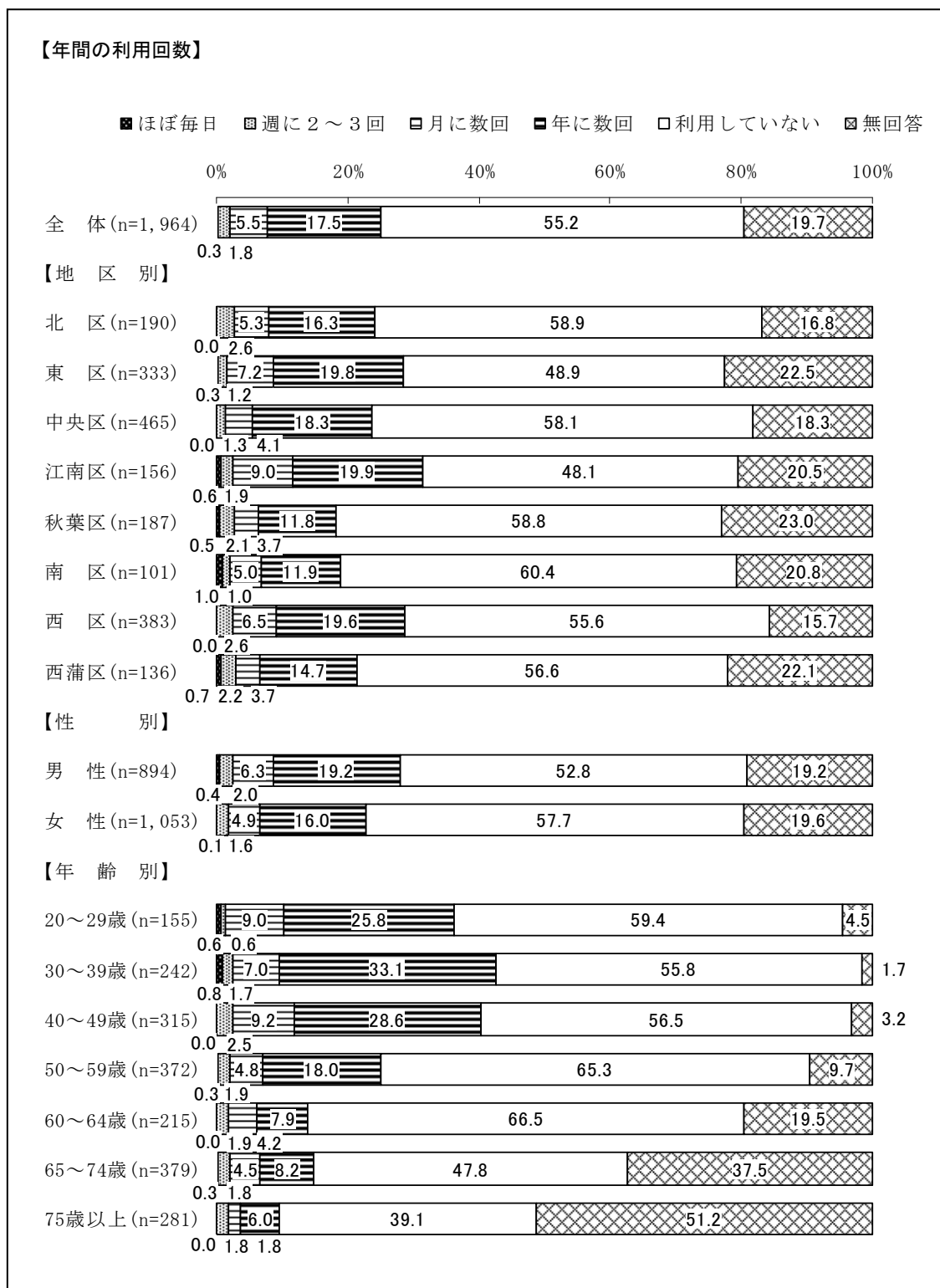
地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区（89.7%）では約9割となっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除き「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「徒歩・自転車」（43.8%）の割合が最も高くなっている。



## ⑥ 体育施設

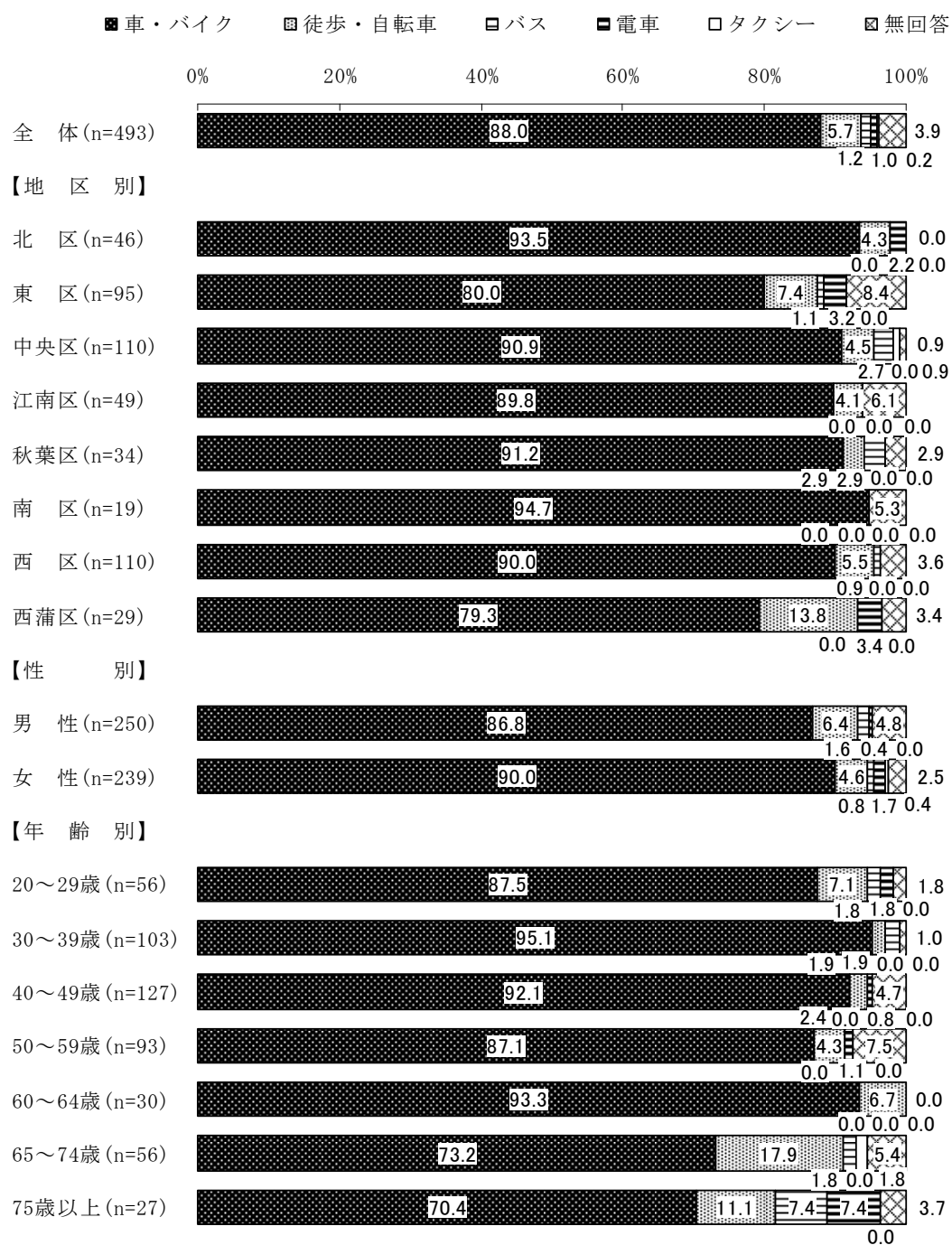


地区別では、「月に数回」の割合は、江南区（9.0%）が最も高くなっている。「年に数回」の割合は、江南区（19.9%）、東区（19.8%）、西区（19.6%）が高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、40代（9.2%）と20代（9.0%）が高くなっている。「年に数回」の割合は、30代（33.1%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

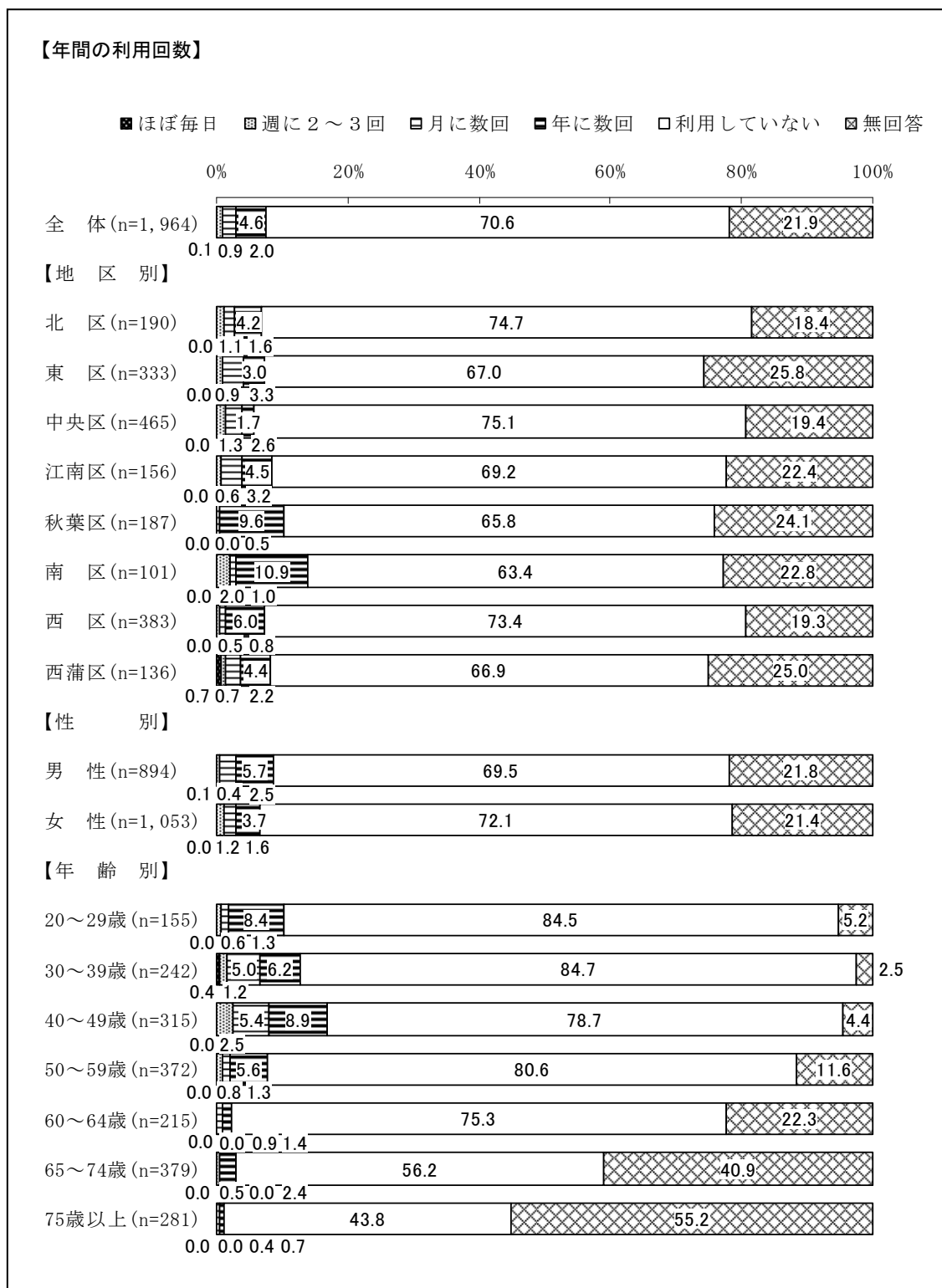


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

⑦ 学校開放施設

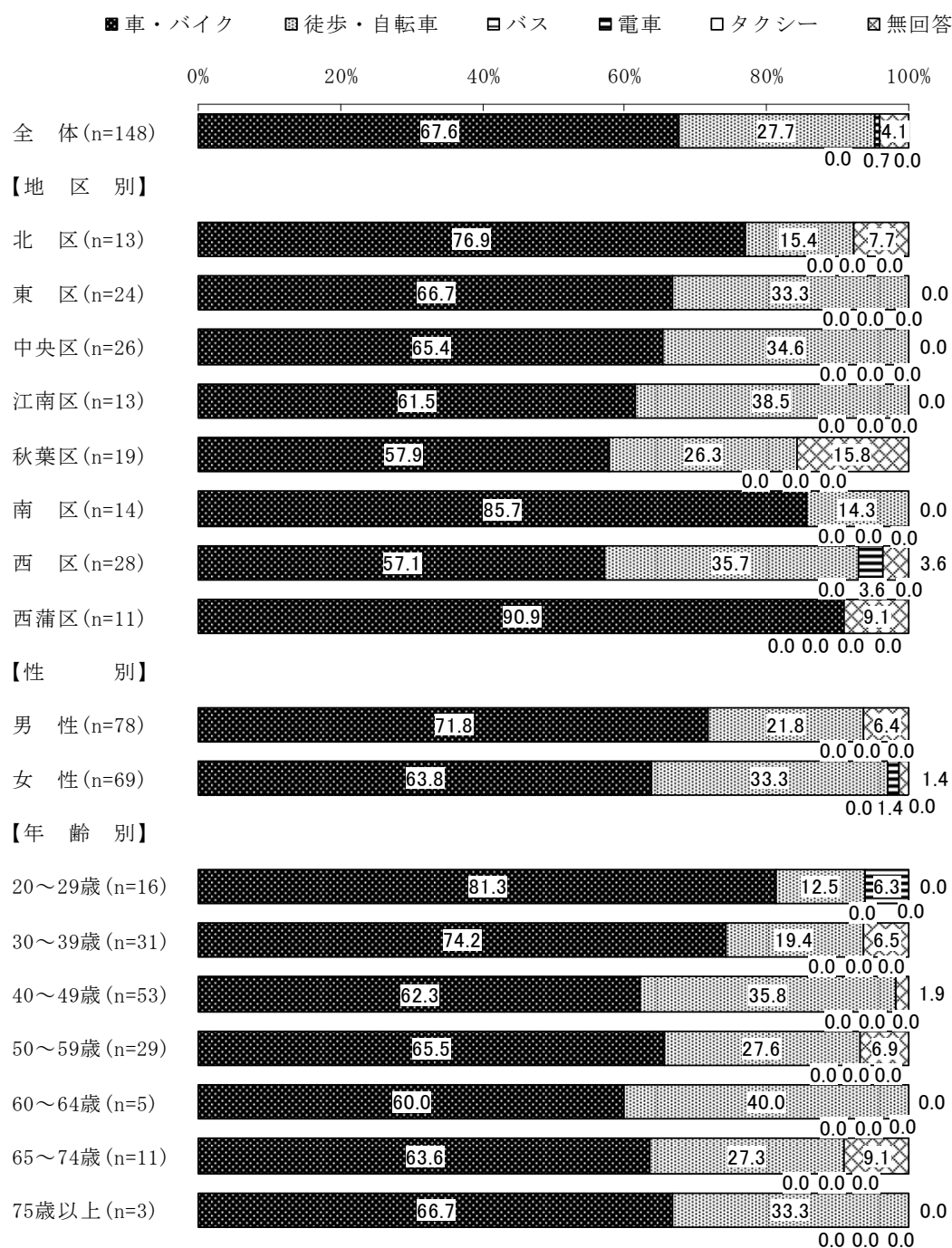


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（10.9%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（8.9%）と20代（8.4%）が比較的高くなっている。

【おもな交通手段】

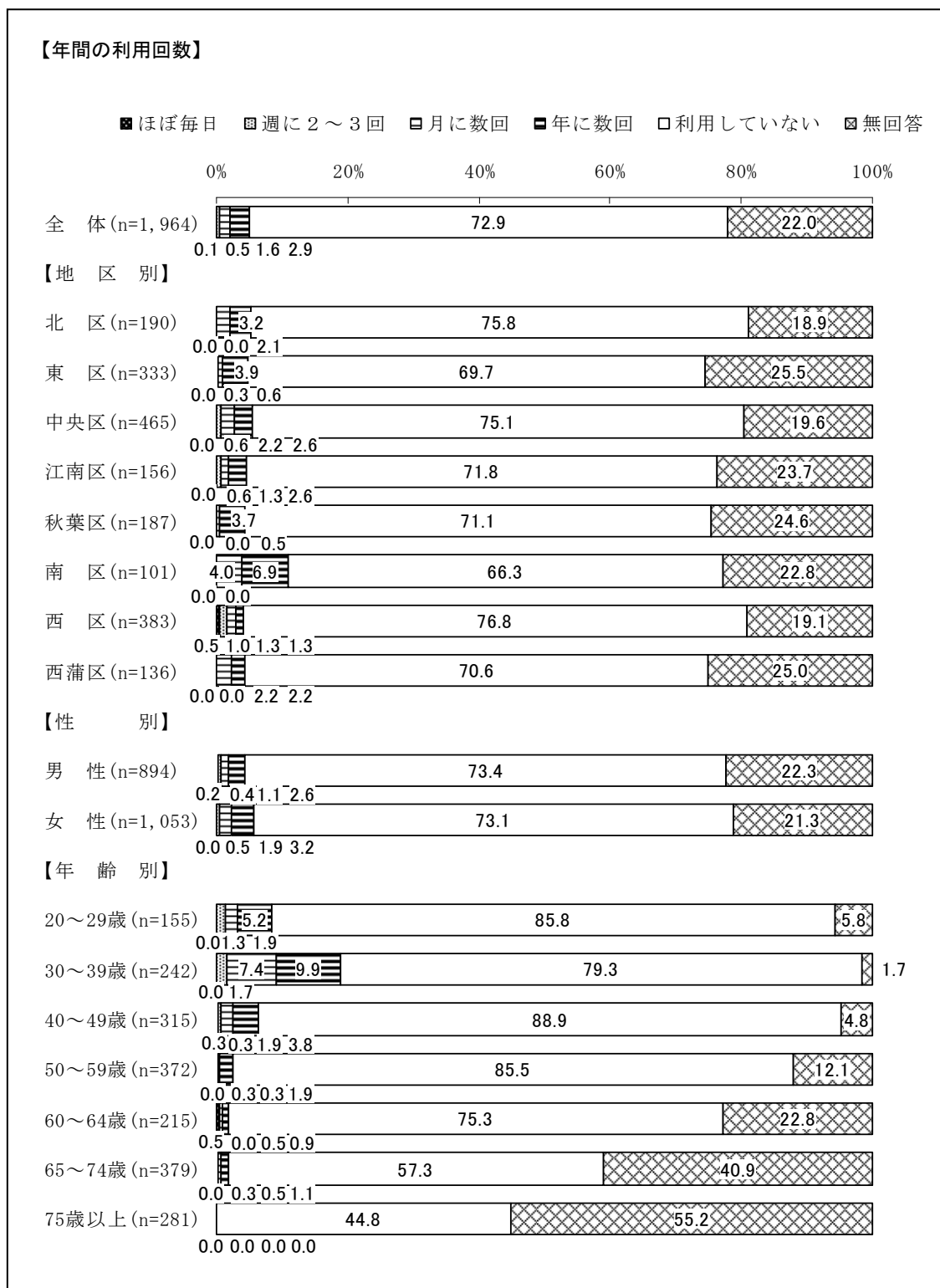


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、西蒲区（90.9%）では9割を超えている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性（71.8%）の方が女性（63.8%）よりも高く、「徒歩・自転車」の割合は、女性（33.3%）の方が男性（21.8%）よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、20代（81.3%）が最も高くなっている。

⑧ 児童館・子育て支援センター

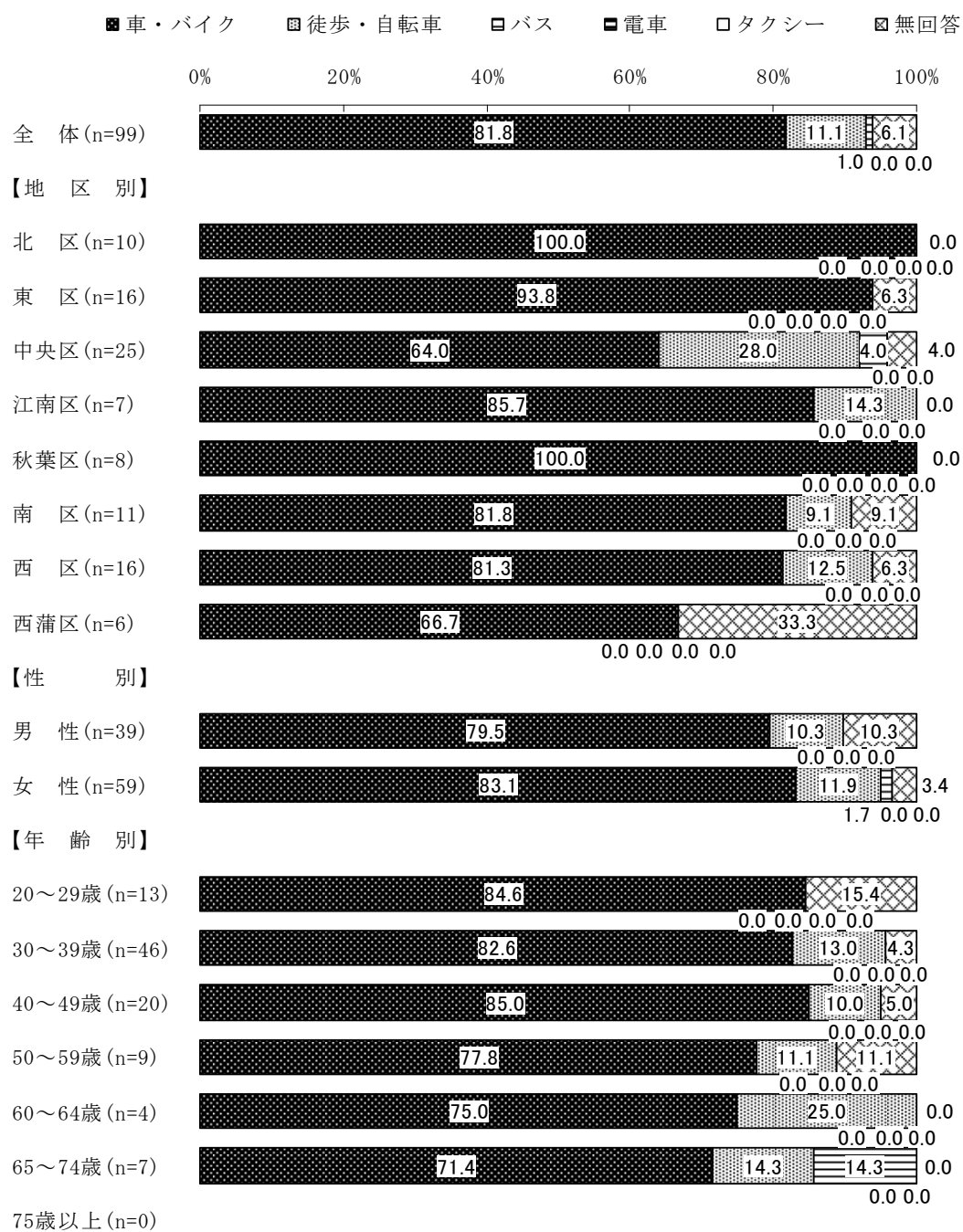


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（6.9％）が比較的高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

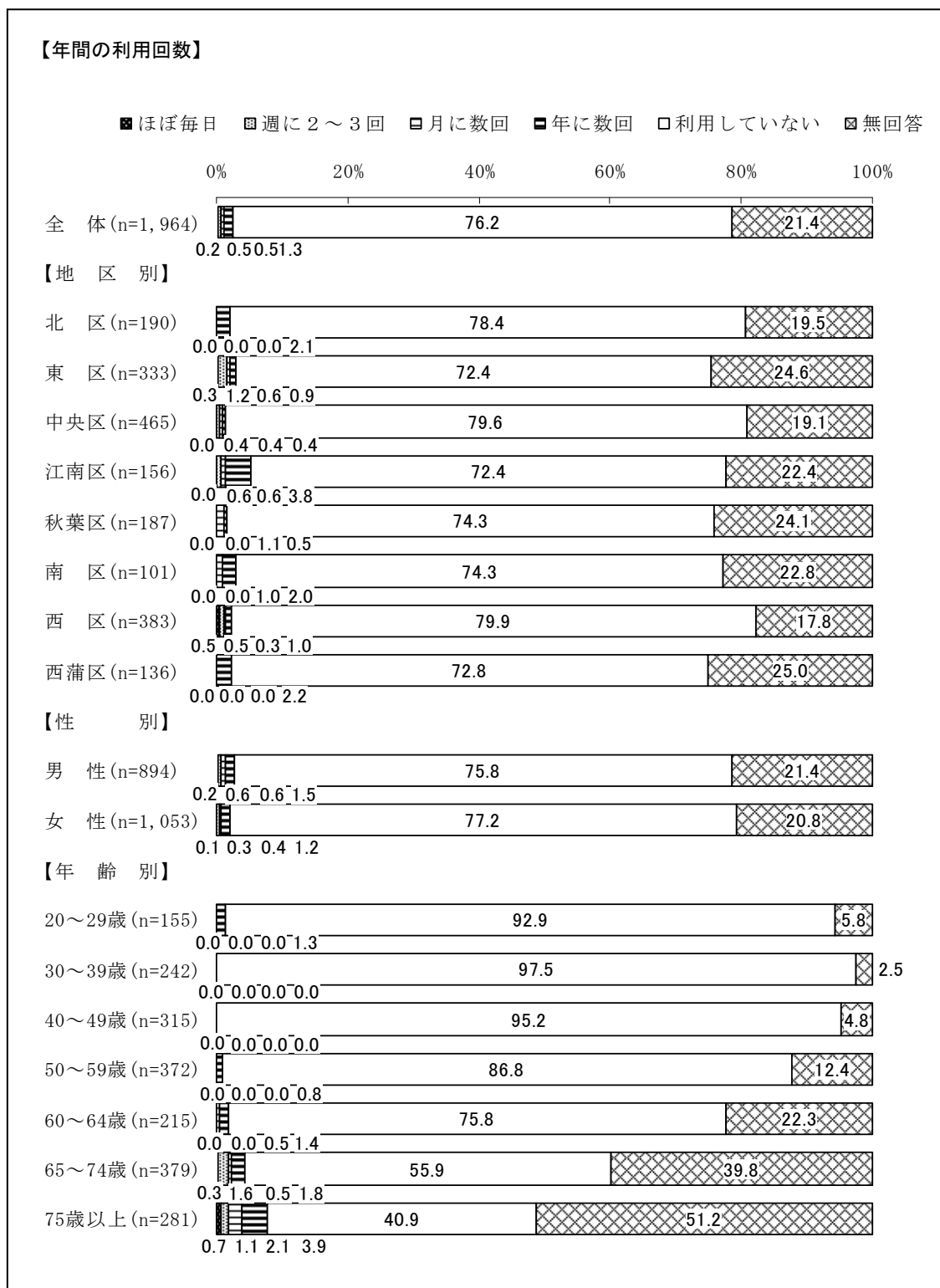
年齢別では、30代で「月に数回」と「年に数回」の割合が比較的高くなっている。

【おもな交通手段】



該当者数が 99 人と少ないため、図のみの掲載とする。

⑨ 老人憩の家

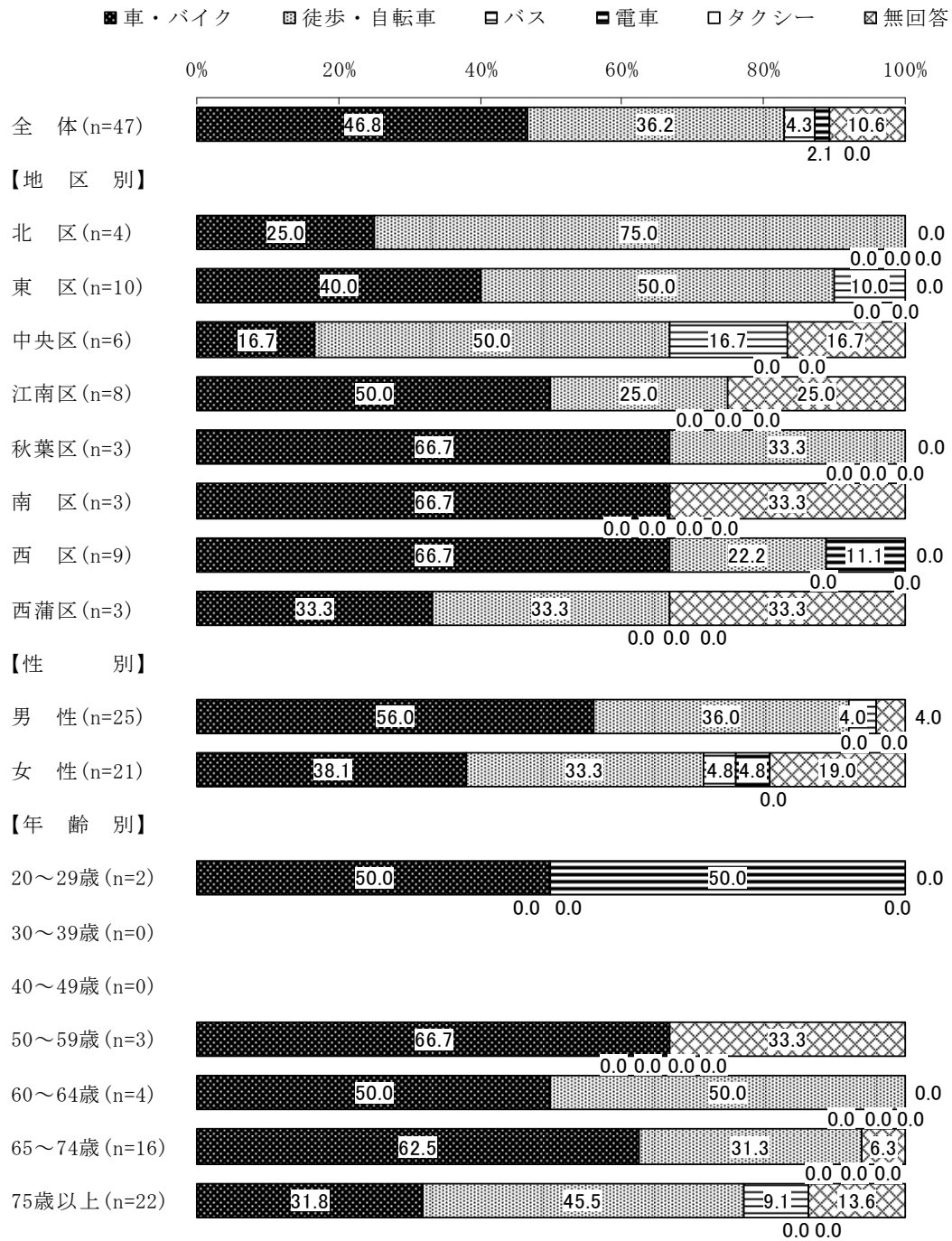


地区別では、いずれの地区も「利用していない」の割合が高く、7割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、いずれの年齢層も「利用していない」の割合が高くなっている。

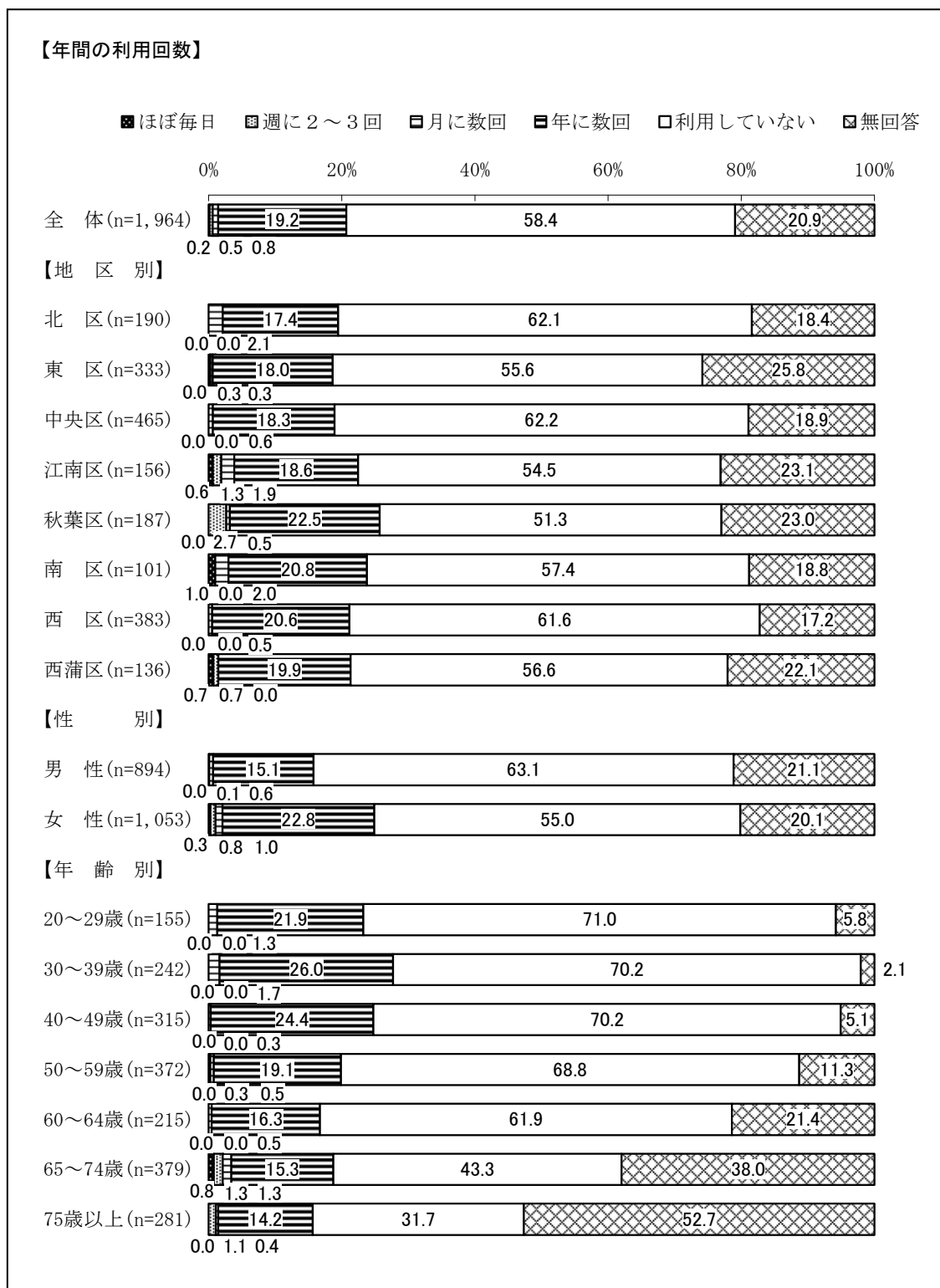
【おもな交通手段】



該当者数が 47 人と少ないため、図のみの掲載とする。



⑩ 健康センター・保健センター

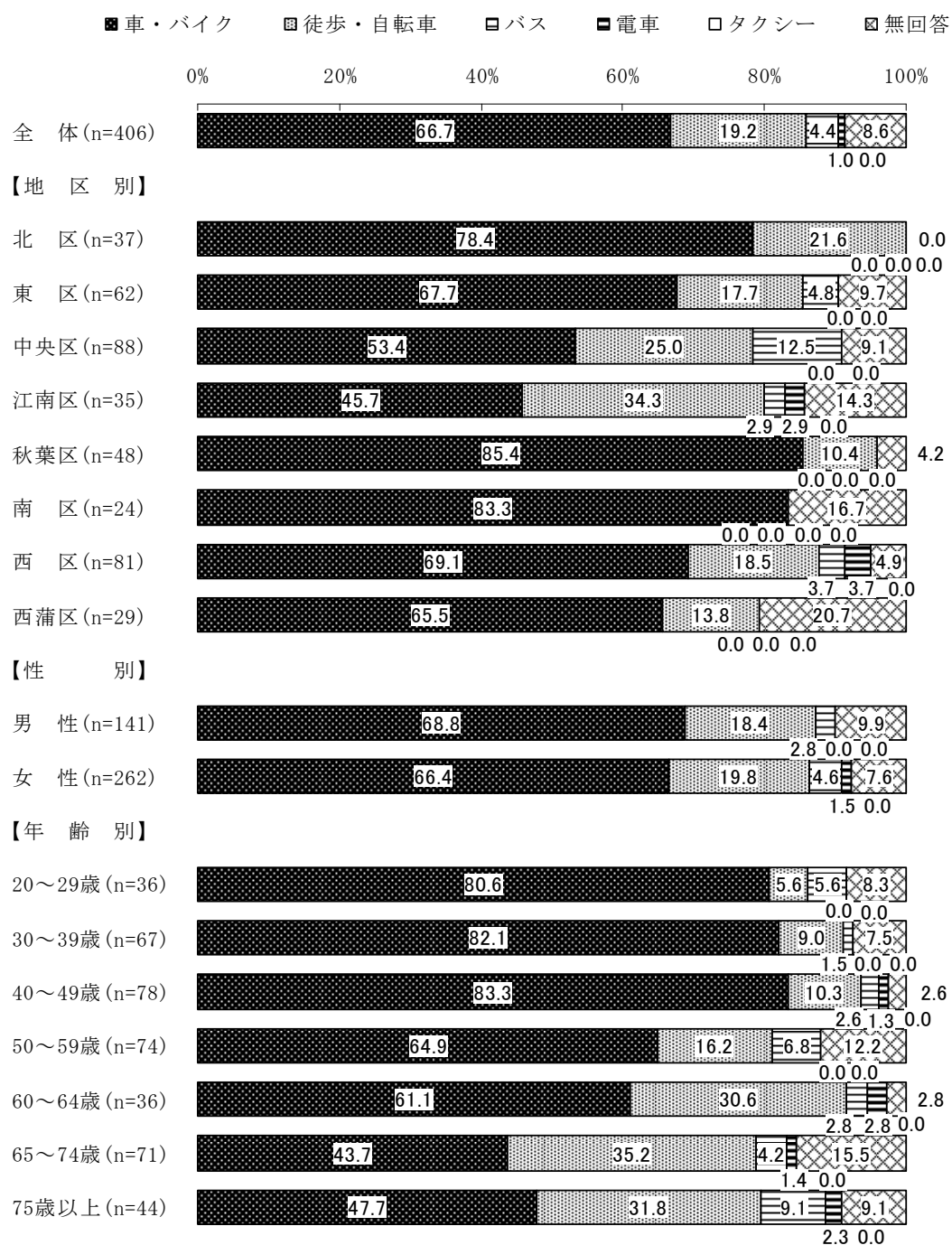


地区別では、「年に数回」の割合は、秋葉区（22.5%）、南区（20.8%）、西区（20.6%）が比較的高く、2割を超えている。

性別では、「年に数回」の割合は、女性（22.8%）の方が男性（15.1%）よりも高くなっている。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代（26.0%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

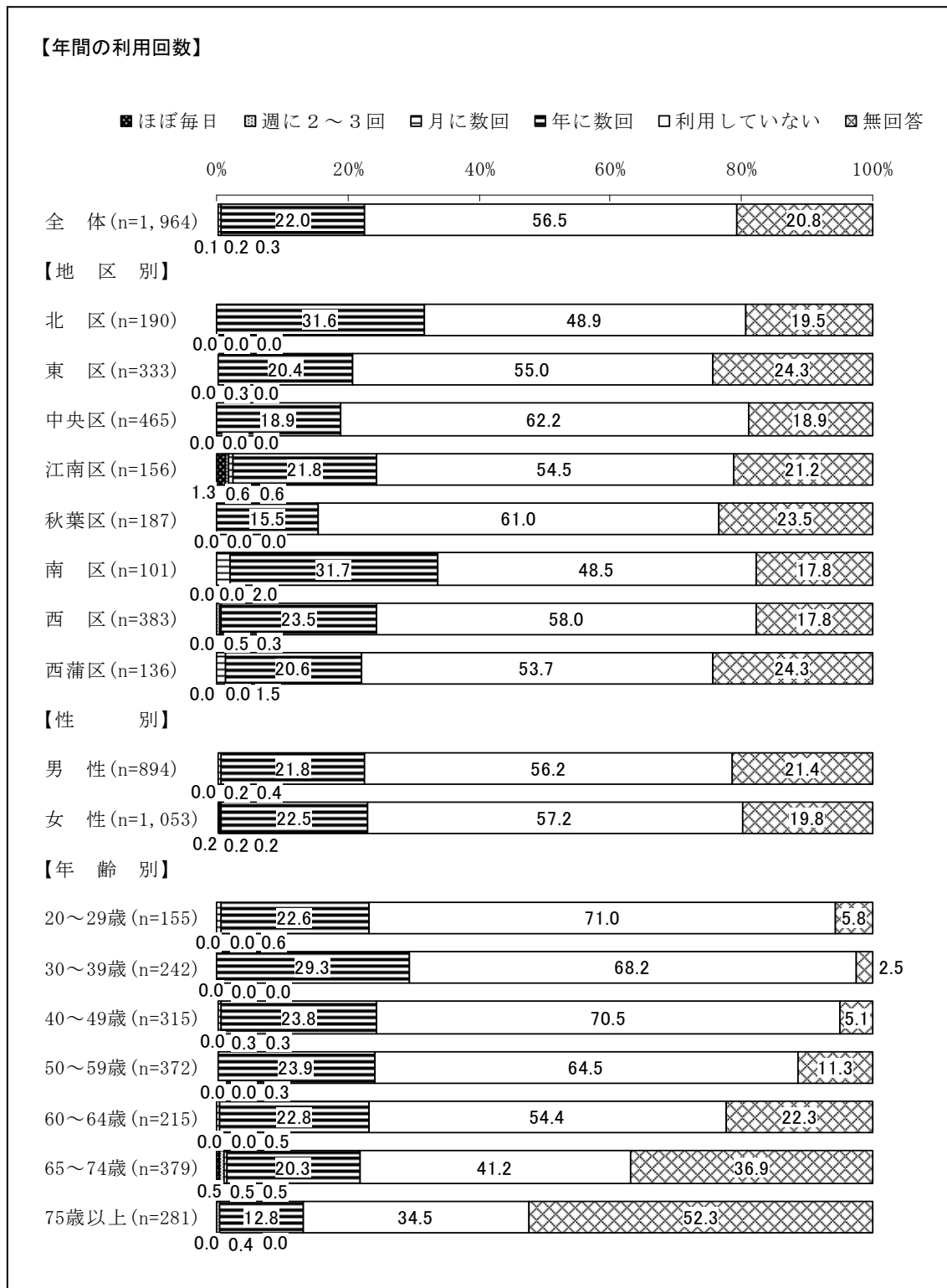


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、秋葉区(85.4%)と南区(83.3%)では8割を超えている。

性別では、男女差が見られない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く 40代(83.3%)、30代(82.1%)、20代(80.6%)では8割を超えている。

⑪ 観光施設

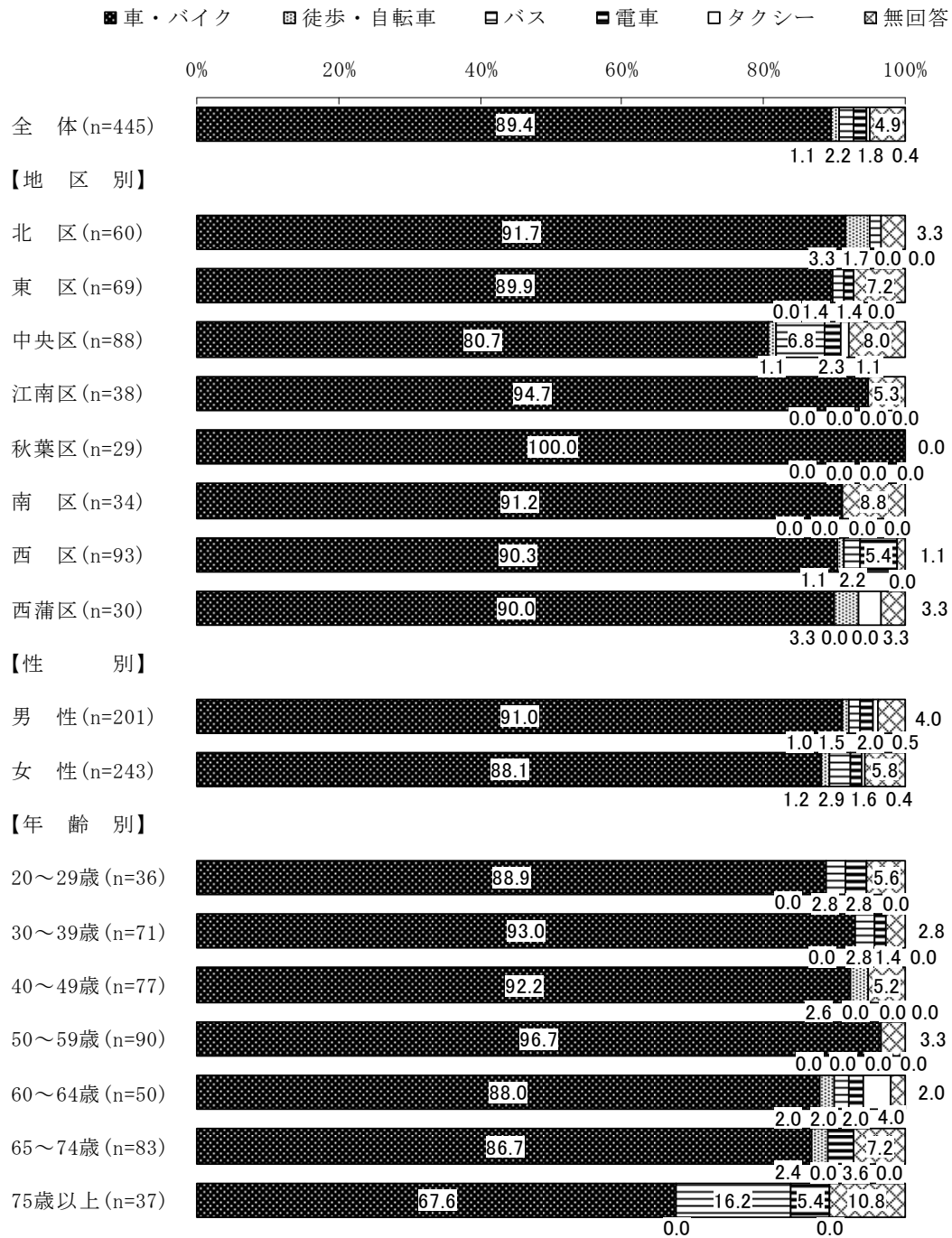


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（31.7%）と北区（31.6%）が高く、3割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代（29.3%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

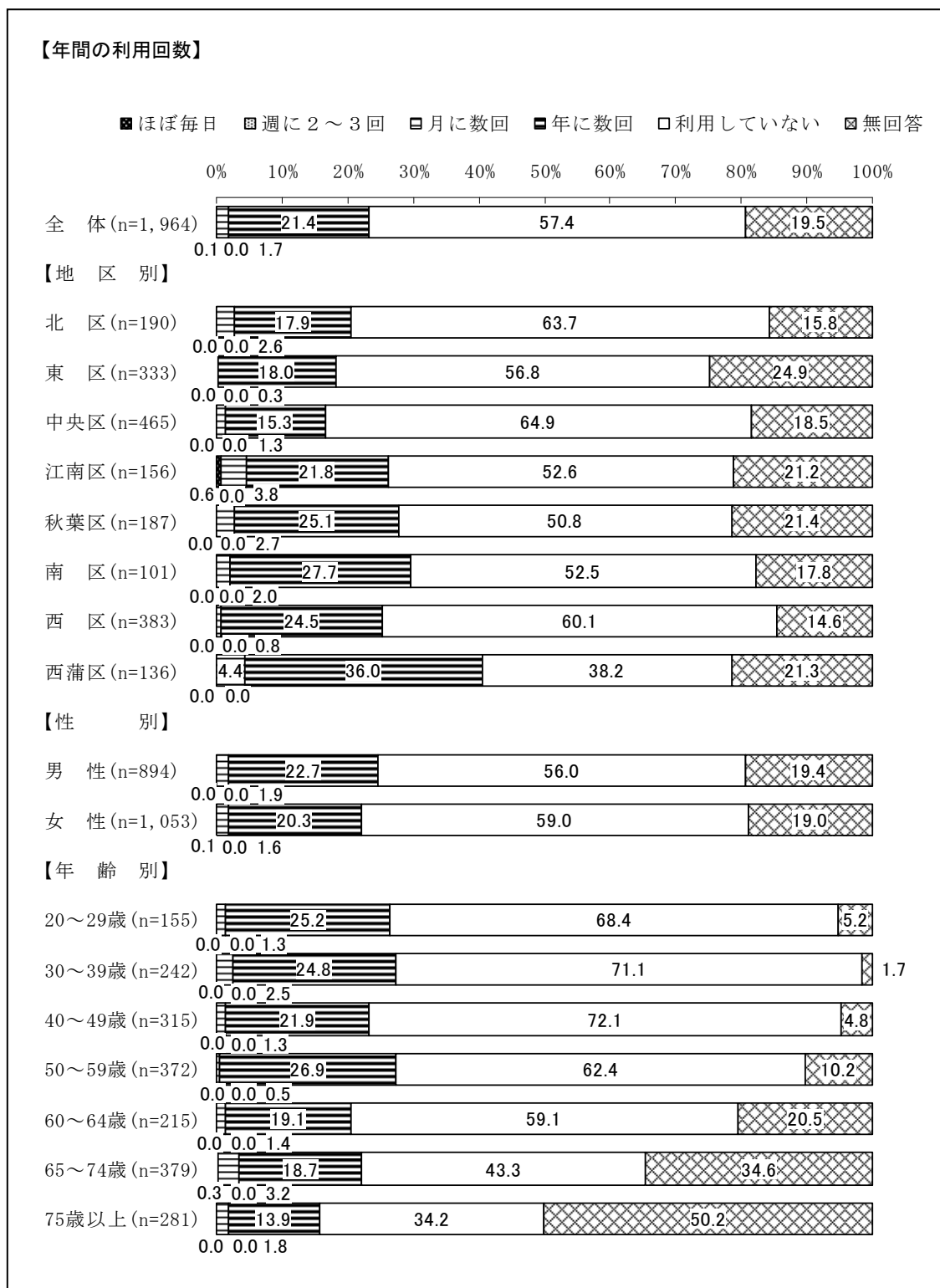


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている、秋葉区では10割となっている。

性別では、男女差が見られない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く 50代 (96.7%)、30代 (93.0%)、40代 (92.2%) では9割を超えている。

⑫ 日帰り温泉施設

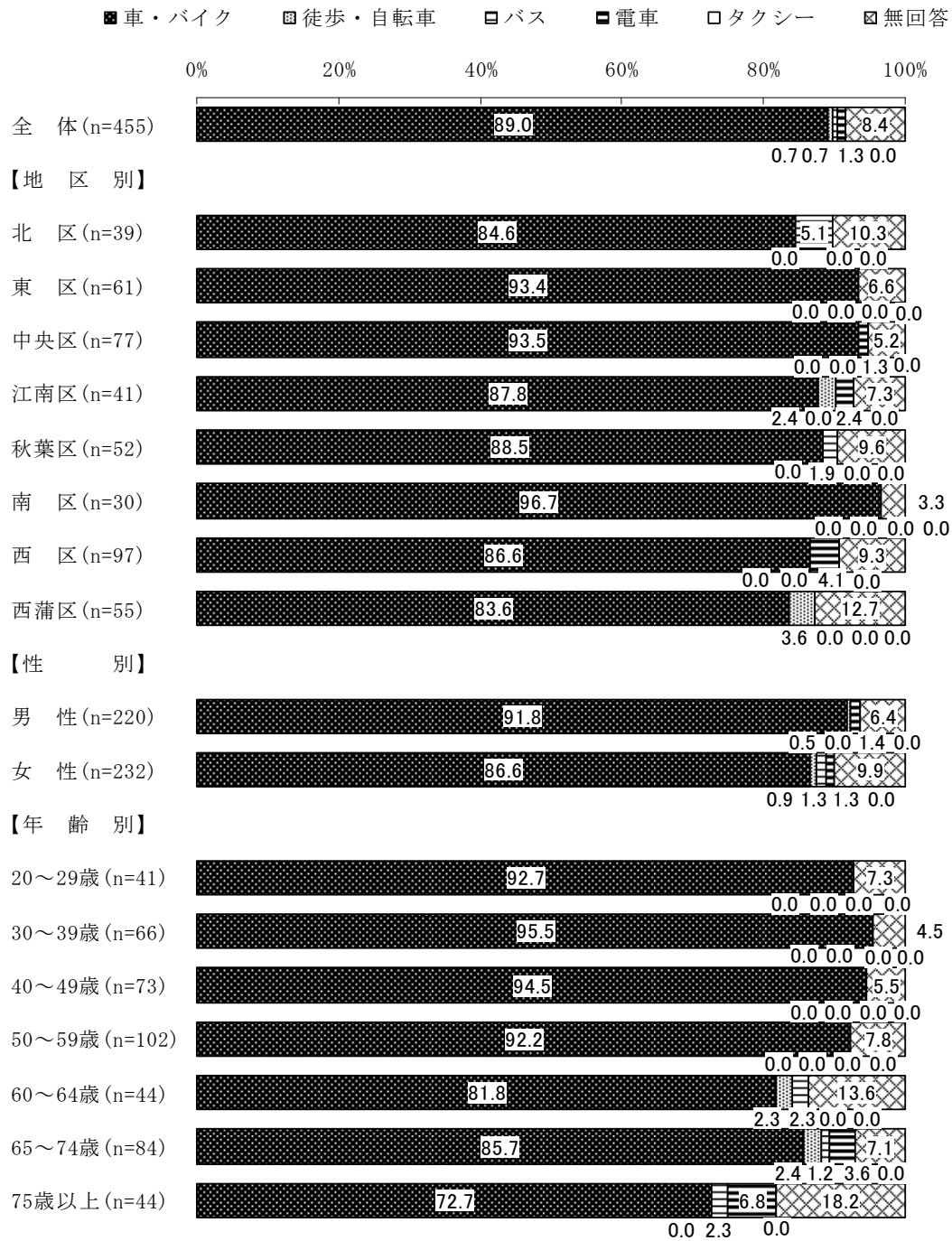


地区別では、「年に数回」の割合は、西蒲区（36.0%）が最も高く、3割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、50代（26.9%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

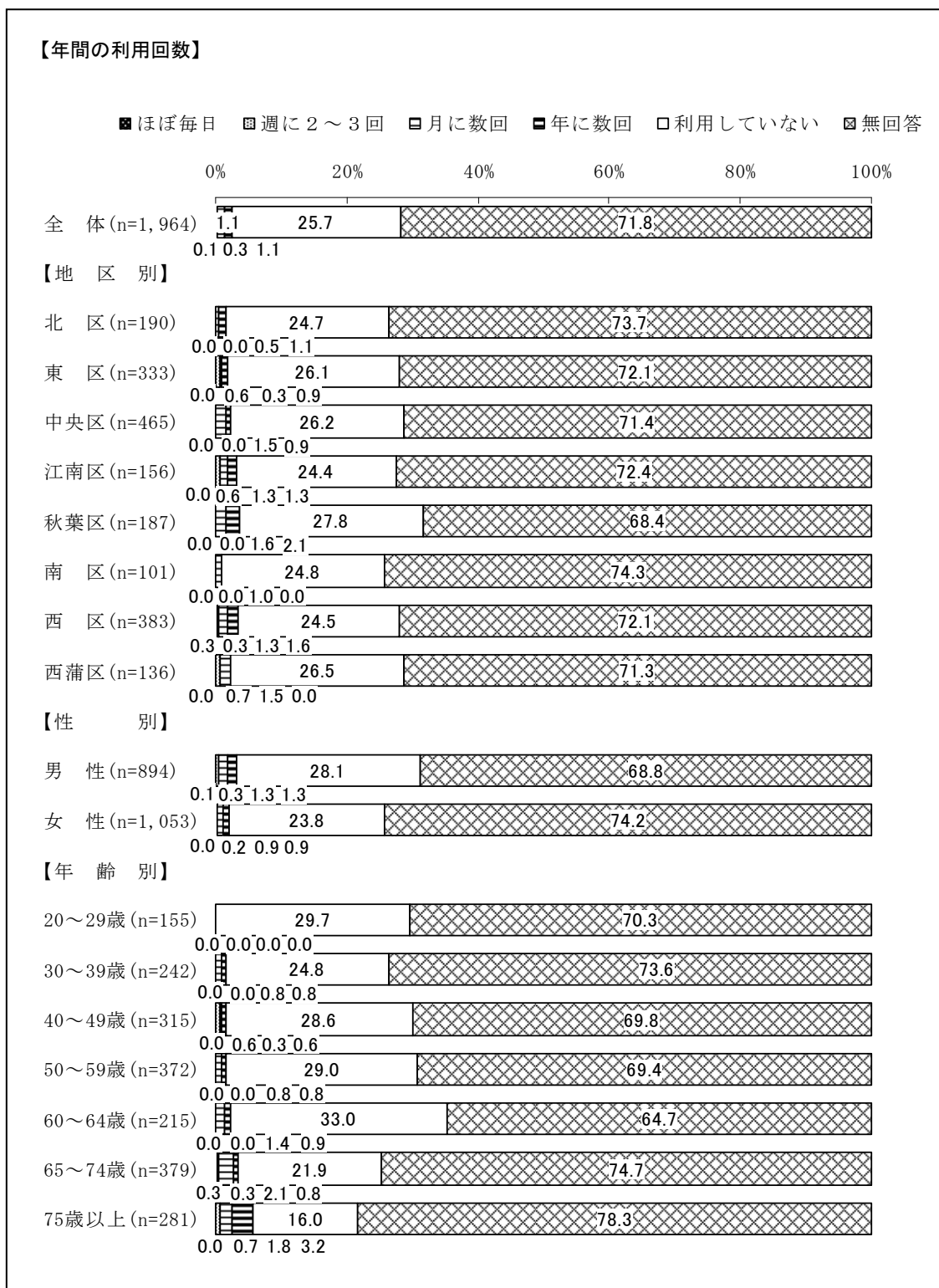


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区(96.7%)、中央区(93.5%)、東区(93.4%)では9割を超えている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性(91.8%)の方が女性(86.6%)よりも高くなっている。

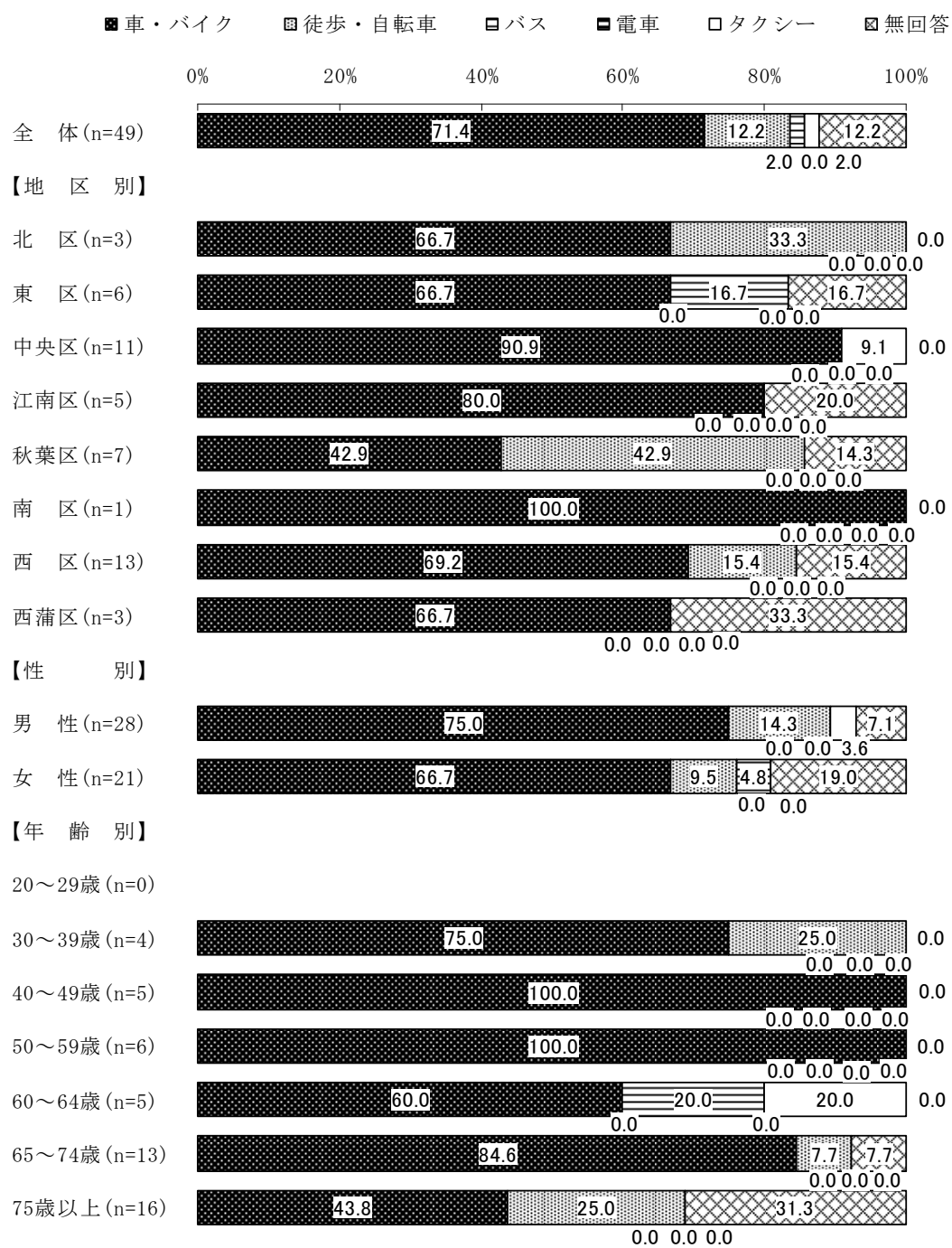
年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、50代以下では9割を超えている。

⑬ ①～⑫以外の施設で利用している施設



施設名をあげた人が49人と少ないため、図のみの掲載とする。

【おもな交通手段】



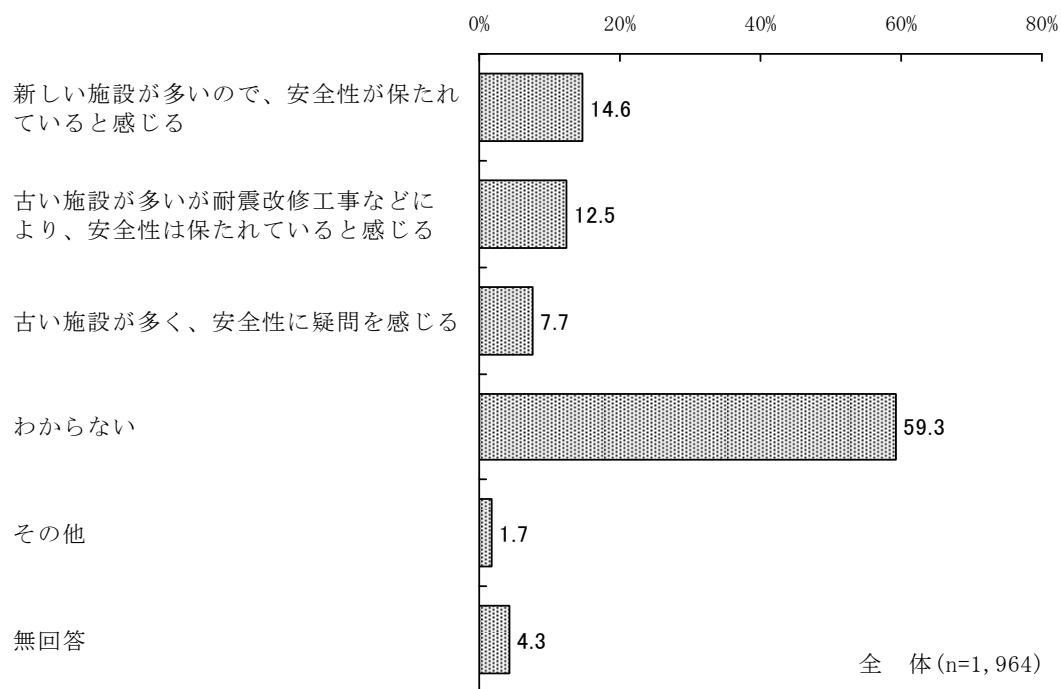
該当者数が 49 人と少ないため、図のみの掲載とする。



## (2) 市の施設の安全性

問23 あなたは市の施設の安全性について、どういう施設が多いと感じていますか。

(○は1つだけ)



6割が施設の安全性は「わからない」

### 【全体結果】

市の施設の安全性については、「わからない」(59.3%)の割合が最も高くなっている。以下、「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」(14.6%)と「古い施設が多いが耐震改修工事などにより、安全性は保たれていると感じる」(12.5%)が1割台、「古い施設が多く、安全性に疑問を感じる」(7.7%)が1割弱で続いている。

**【属性別結果】（図 2-1 参照）**

**①地区別**

全体結果で最も割合の高かった「わからない」については、中央区（62.2%）、西区（61.9%）、北区（61.6%）の割合が高く、西蒲区（51.5%）の割合が最も低くなっている。

「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」の割合は、江南区（19.9%）が最も高くなっている。

**②性別**

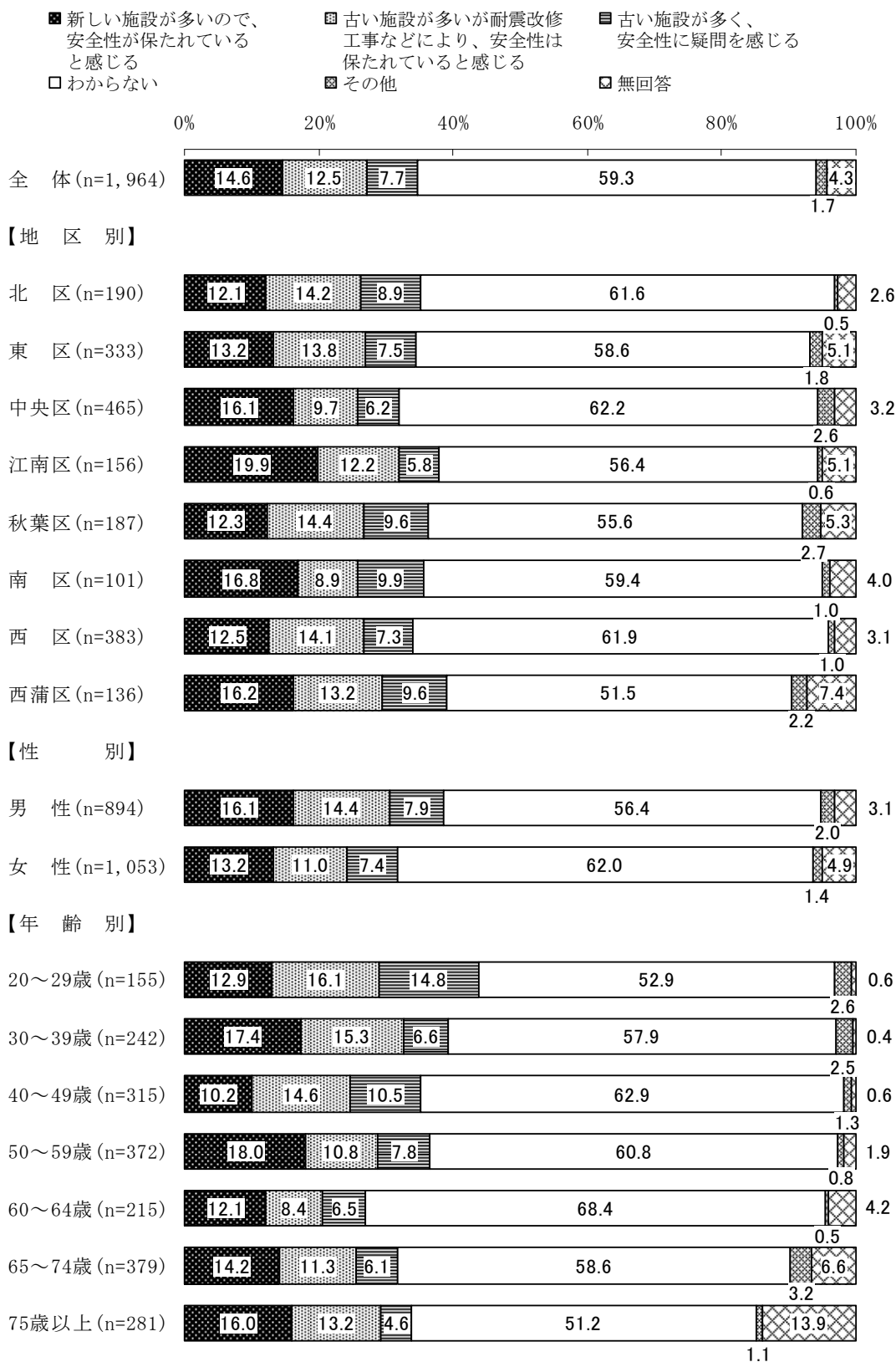
「わからない」の割合は、女性（62.0%）の方が男性（56.4%）よりも高くなっている。

**③年齢別**

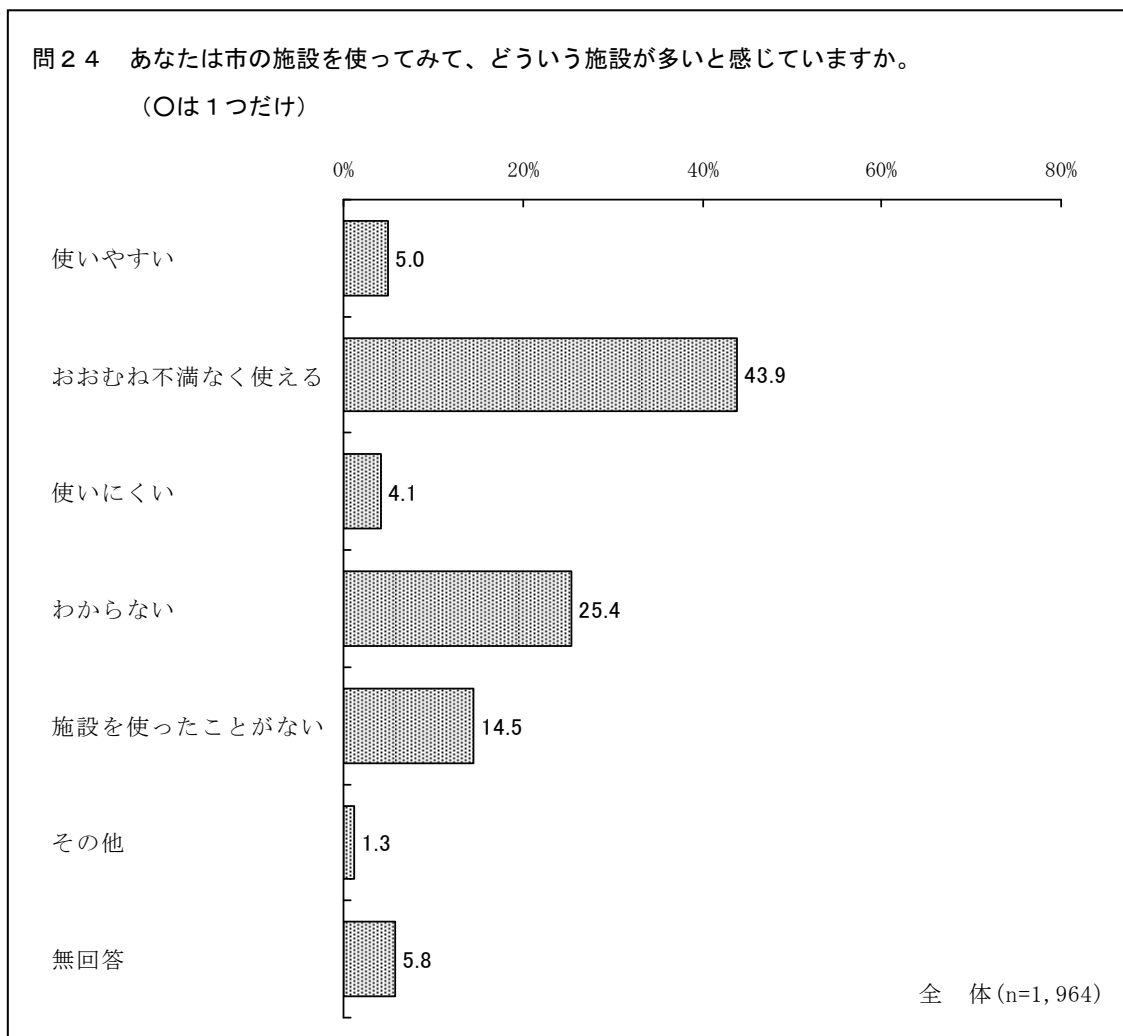
「わからない」の割合は、60～64歳（68.4%）が最も高く、75歳以上（51.2%）が最も低くなっている。

「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」の割合は、50代（18.0%）と30代（17.4%）が高くなっている。

図2-1 市の施設の安全性（地区別／性別／年齢別）



### (3) 市の施設の使いやすさ



4割強が施設を「おおむね不満なく」使用

#### 【全体結果】

市の施設の使いやすさについては、「おおむね不満なく使える」(43.9%)の割合が最も高くなっている。

また、「わからない」が25.4%、「施設を使った事がない」が14.5%となっている。

## 【属性別結果】（図 2-2 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「おおむね不満なく使える」については、西区（51.7%）の割合が最も高く、中央区（39.6%）の割合が最も低くなっている。

「わからない」の割合は、中央区（30.8%）が最も高く、江南区（19.2%）が最も低く、「施設を使ったことがない」の割合は、東区（17.4%）が最も高く、南区（10.9%）が最も低くなっている。

### ②性別

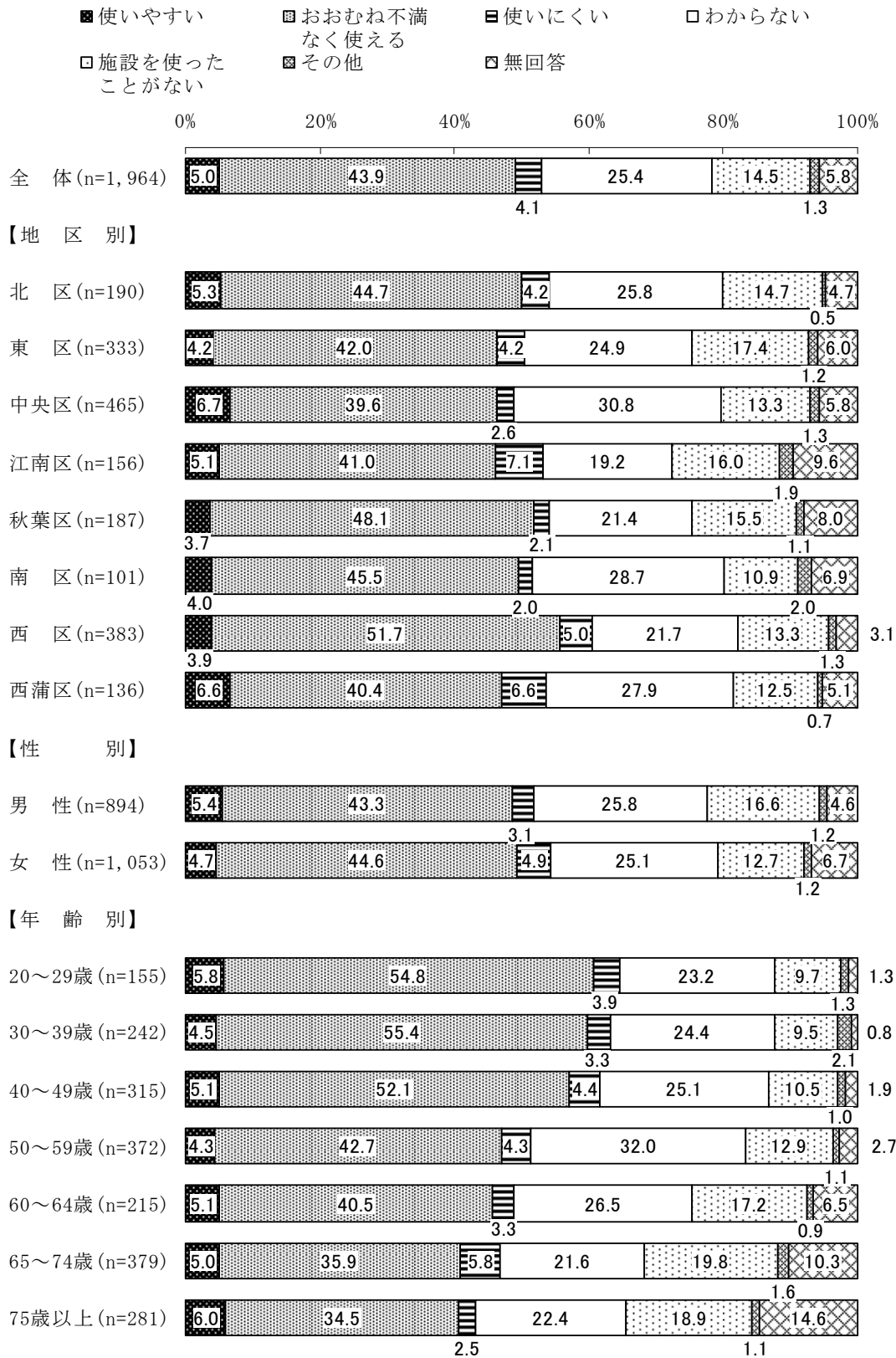
性別では、大きな男女差はみられない。

### ③年齢別

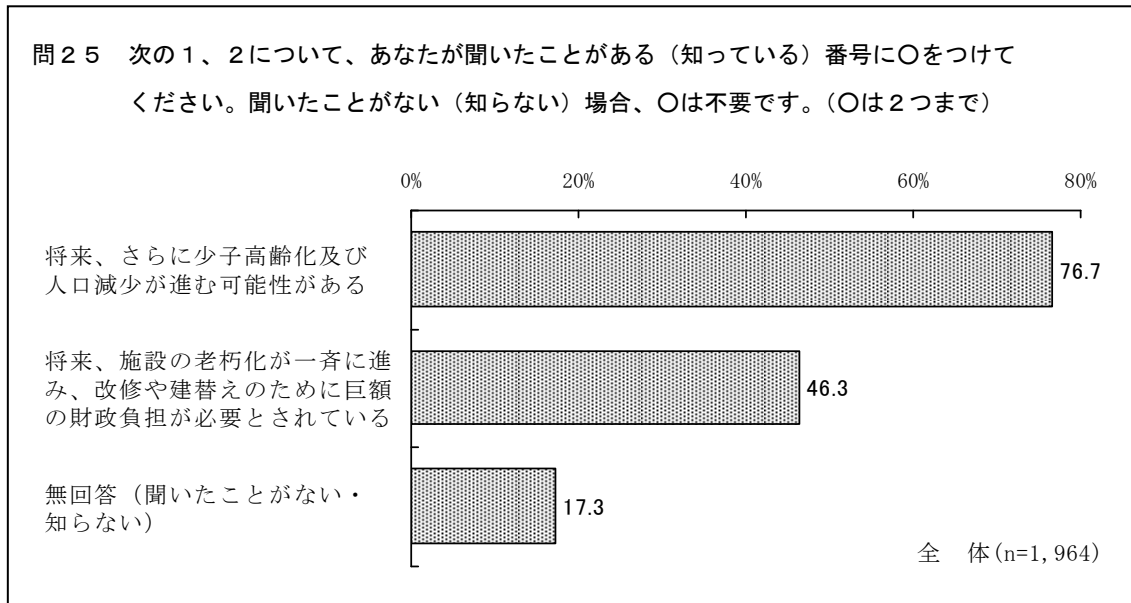
「おおむね不満なく使える」の割合は、40代以下で5割を超えて高く、75歳以上（34.5%）と65～74歳（35.9%）が低くなっている。

「わからない」の割合は、50代（32.0%）が最も高く、「施設を使ったことがない」の割合は、65～74歳（19.8%）が最も高くなっている。

図2-2 市の施設の使いやすさ（地区別／性別／年齢別）



#### (4) 将来の市の人口構成や建物の老朽化による財政負担についての認識



#### —— 8割強が「将来少子高齢化や人口減少が進む」と認識している ——

##### 【全体結果】

将来の市の人口構成や建物の老朽化による財政負担についての認識（複数回答）については、「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」が76.7%、「将来、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために巨額の財政負担が必要とされている」が46.3%となっている。

##### 【属性別結果】（図2-3参照）

###### ①地区別

「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」の割合は、中央区、秋葉区（各79.1%）の割合が最も高く、いずれの地区も7割を超えている。

「将来、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために巨額の財政負担が必要とされている」の割合は、西区（52.2%）が最も高く、江南区（40.4%）が最も低くなっている。

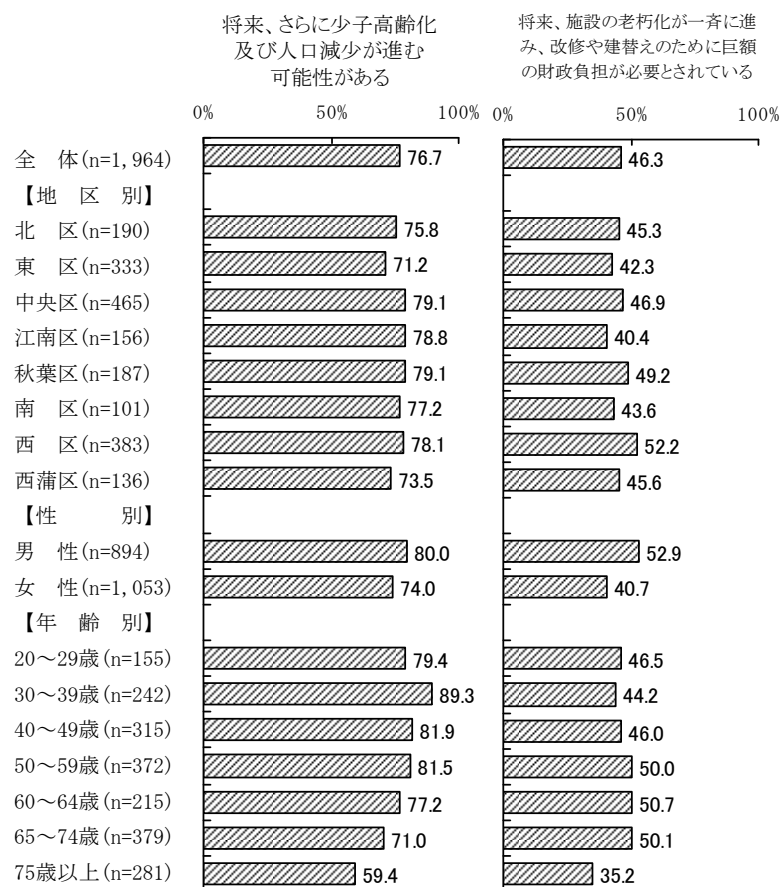
###### ②性別

いずれの項目も、男性の方が女性よりも高くなっている。

###### ③年齢別

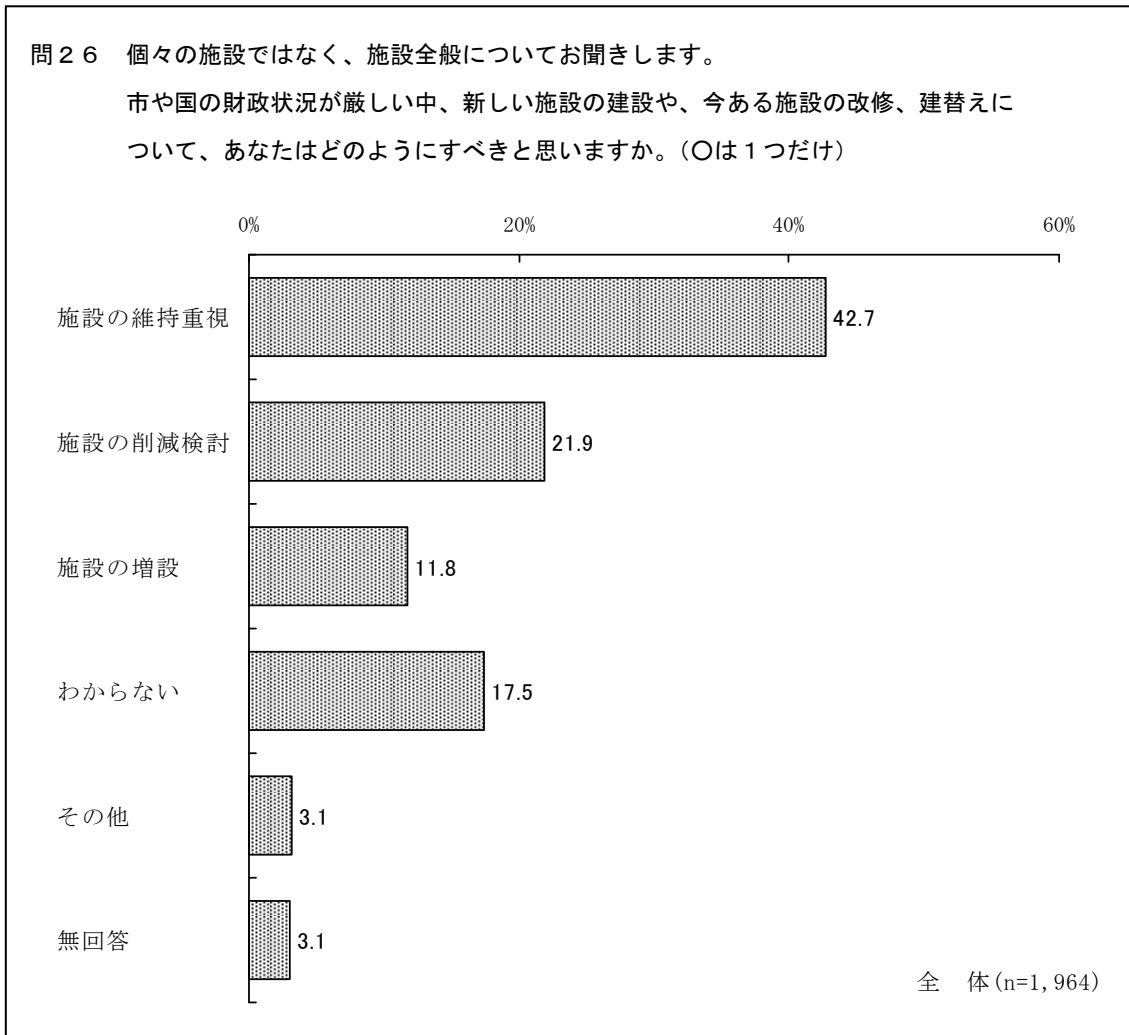
「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」の割合は、30代（89.3%）、が最も高く、75歳以上（59.4%）が最も低くなっている。

図2-3 将来の市の人口構成や施設の老朽化による財政負担についての認識  
(地区別/性別/年齢別)





## (5) 今後の施設の改修、建替えについて



——— 今後の施設の改修、建替えは「施設の維持重視」が4割強 ———

### 【全体結果】

今後の施設の改修、建替えについては、「施設の維持重視」(42.7%)の割合が最も高くなっている。以下、「施設の削減検討」が21.9%、「施設の増設」が11.8%となっている。

また、「わからない」が17.5%となっている。

## 【属性別結果】（図 2-4 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「施設の維持重視」については、西区（47.8%）の割合が最も高く、中央区（39.6%）が最も低くなっている。

「施設の削減検討」の割合は、江南区（26.9%）が最も高く、北区（15.3%）が最も低くなっている。

「わからない」の割合は、南区（26.7%）が最も高くなっている。

### ②性別

「施設の削減検討」の割合は、男性（27.9%）の方が女性（17.2%）よりも高く、「わからない」の割合は、女性（20.8%）の方が男性（13.1%）よりも高くなっている。

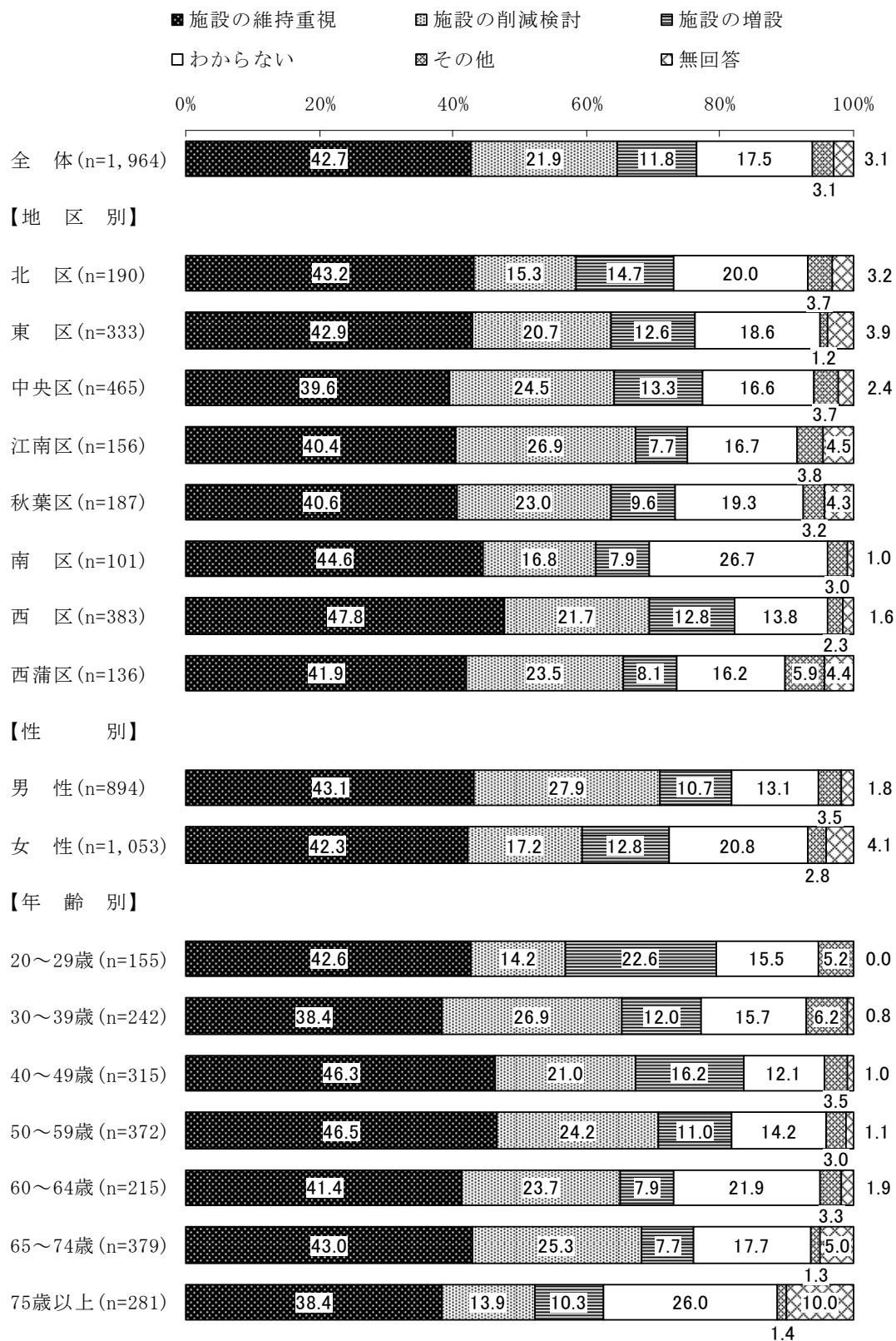
### ③年齢別

「施設の維持重視」の割合は、50代（46.5%）と40代（46.3%）が高く、30代と75歳以上（各38.4%）が低くなっている。

「施設の削減検討」の割合は、30代（26.9%）が最も高く、75歳以上（13.9%）が最も低くなっている。

「施設の増設」の割合は、20代（22.6%）が最も高くなっている。

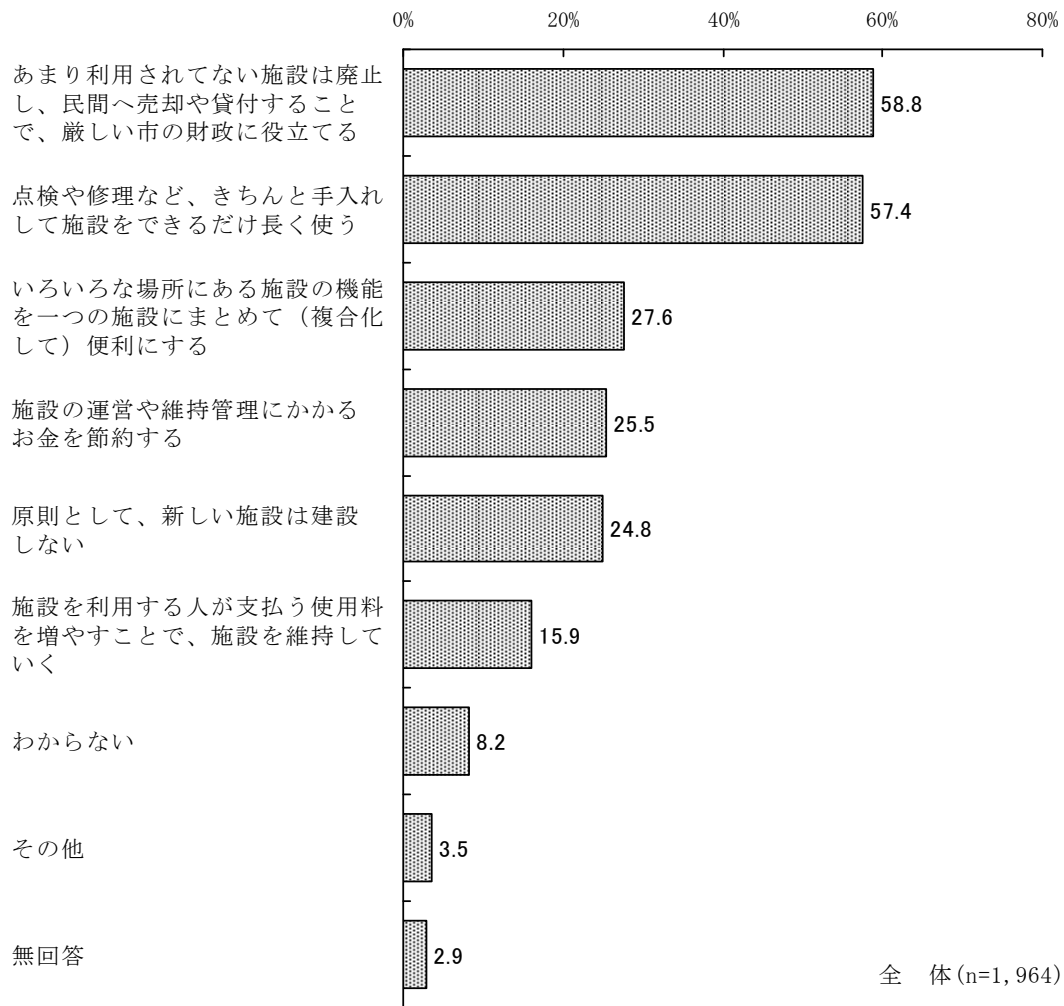
図2-4 今後の施設の改修、建替えについて（地区別／性別／年齢別）



## (6) 今後の施設の維持、管理方法

問27 個々の施設ではなく、施設全般についてお聞きします。

新潟市では、厳しい財政状況の中、一部の施設管理を民間委託し、経費の節約やサービスの向上に努めていますが、あなたは、新潟市の施設を維持していくために、将来どのように取り組んでいくべきと考えますか。(〇はいくつでも)



— 「施設の廃止、民間への売却や貸与」「点検修理し長く使う」と回答 —

### 【全体結果】

今後の施設の維持、管理方法(複数回答)については、「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」(58.8%)の割合が最も高く、差がなく、「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」(57.4%)が続いている。以下、「いろいろな場所にある施設の機能を一つの施設にまとめて(複合化して)便利にする」(27.6%)、「施設の運営や維持管理にかかるお金を節約する」(25.5%)、「原則として、新しい施設は建設しない」(24.8%)の順となっている。

【属性別結果】（図 2-5 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」については、江南区(61.5%)、中央区(61.3%)、西蒲区(60.3%)の割合が高くなっている。「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」の割合は、西区(62.7%)が最も高くなっている。

②性別

「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」と「施設を利用する人が支払う使用料を増やすことで、施設を維持していく」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」と「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」の割合は、50代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 2-5 今後の施設の維持・管理方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

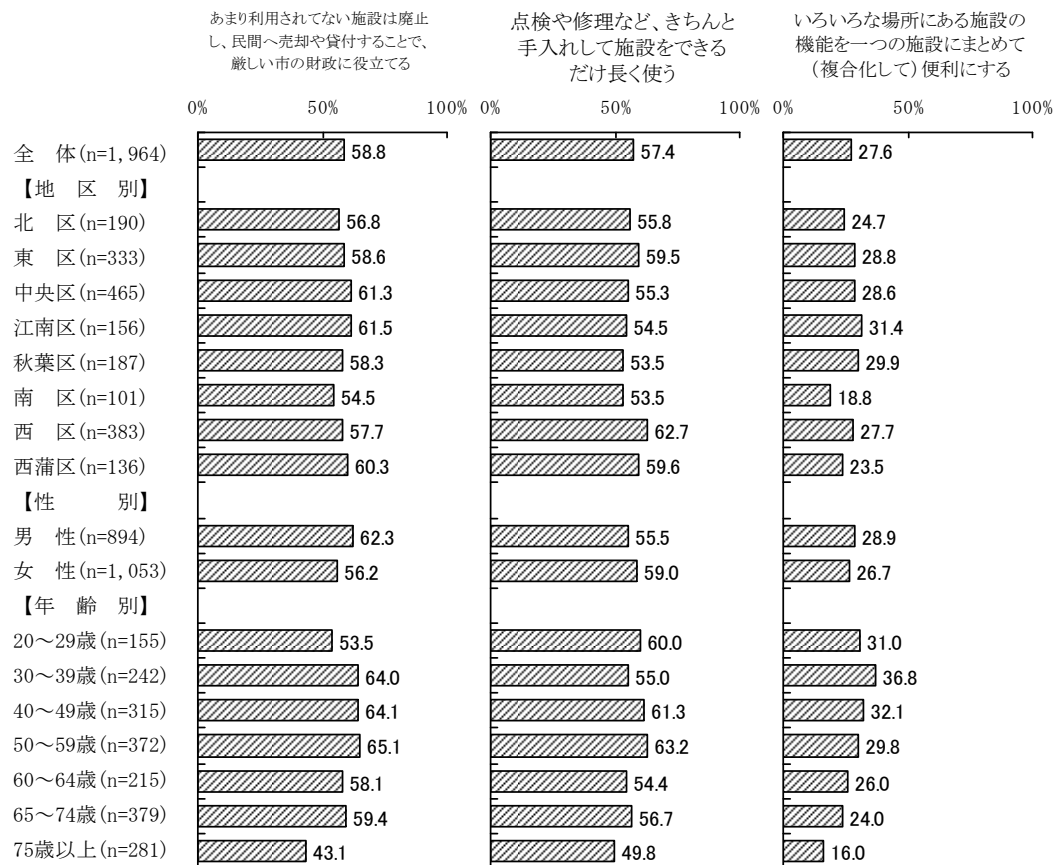
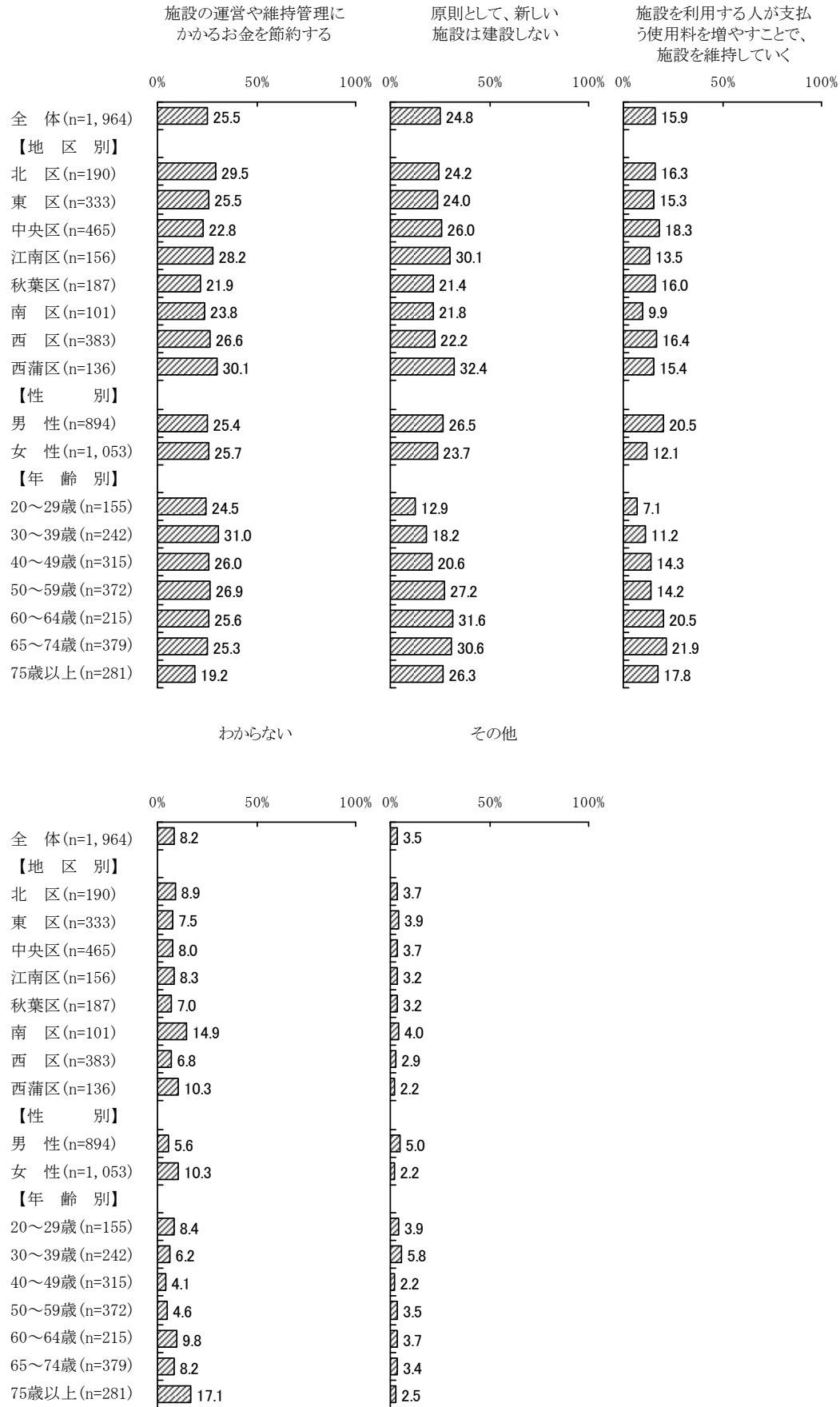
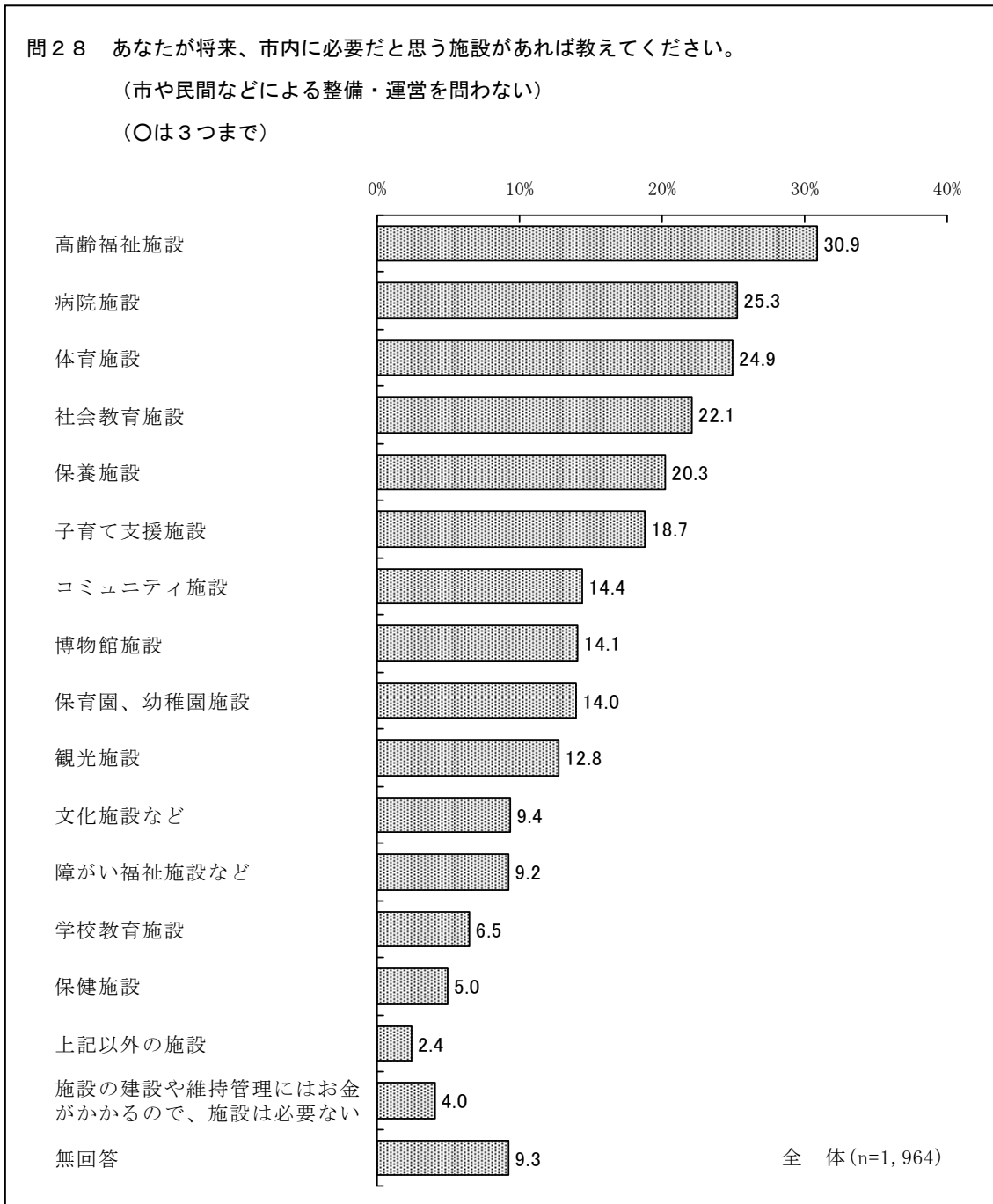


図2-5 今後の施設の維持・管理方法（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (7) 将来、市内に必要な施設



3割が将来必要な施設は「高齢福祉施設」と回答

### 【全体結果】

将来、市内に必要な施設（複数回答）については、「高齢福祉施設」（30.9%）の割合が最も高くなっている。以下、「病院施設」（25.3%）、「体育施設」（24.9%）、「社会教育施設」（22.1%）、「保養施設」（20.3%）が2割台が続いている。

## 【属性別結果】（図 2-6 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「高齢福祉施設」については、北区（37.9%）の割合が最も高く、南区（24.8%）が最も低くなっている。

### ②性別

「観光施設」の割合は、男性（16.0%）の方が女性（10.1%）よりも高くなっている。

### ③年齢別

「高齢福祉施設」の割合は、65～74 歳（37.2%）が最も高く、30 代（21.9%）が最も低くなっている。

「病院施設」の割合は、30 代から 50 代で比較的高くなっている。

「体育施設」の割合は、20 代（32.3%）が最も高く、75 歳以上（13.9%）が最も低くなっている。

「子育て支援施設」と「保育園、幼稚園施設」は、年齢層が低い方が、割合が高い傾向がみられる。



図2-6 将来、市内に必要な施設（地区別／性別／年齢別） 1/3

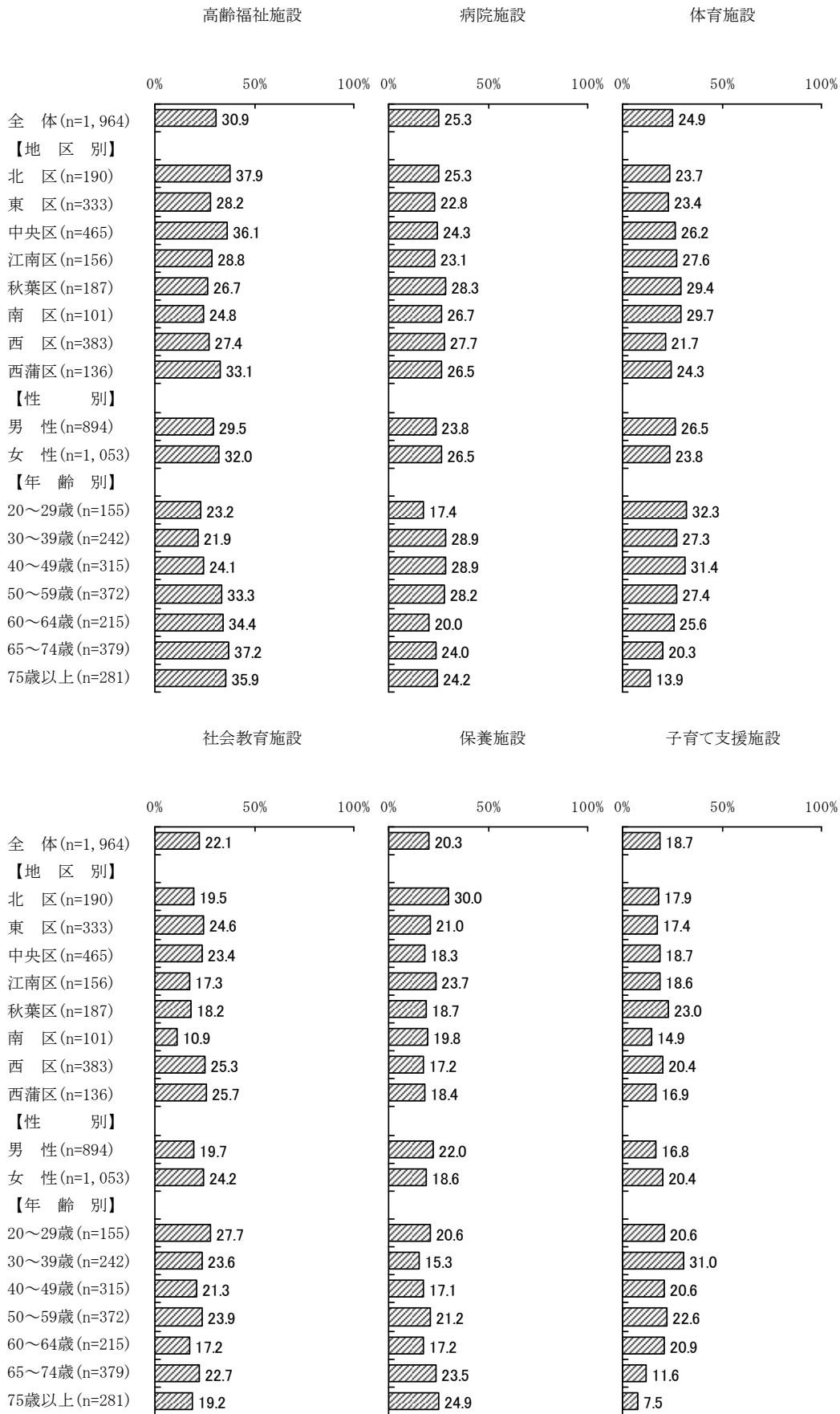


図2-6 将来、市内に必要な施設（地区別／性別／年齢別） 2/3

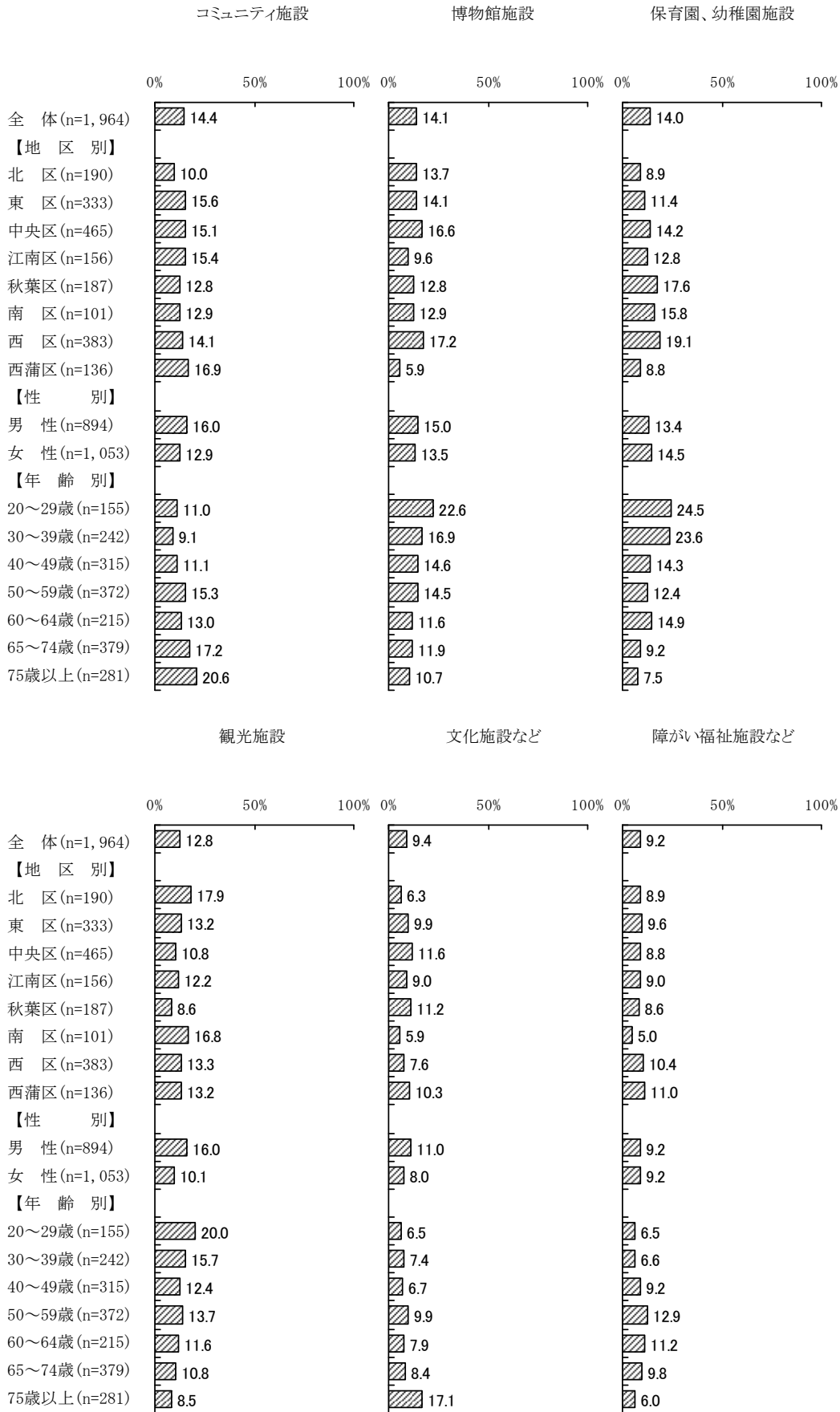
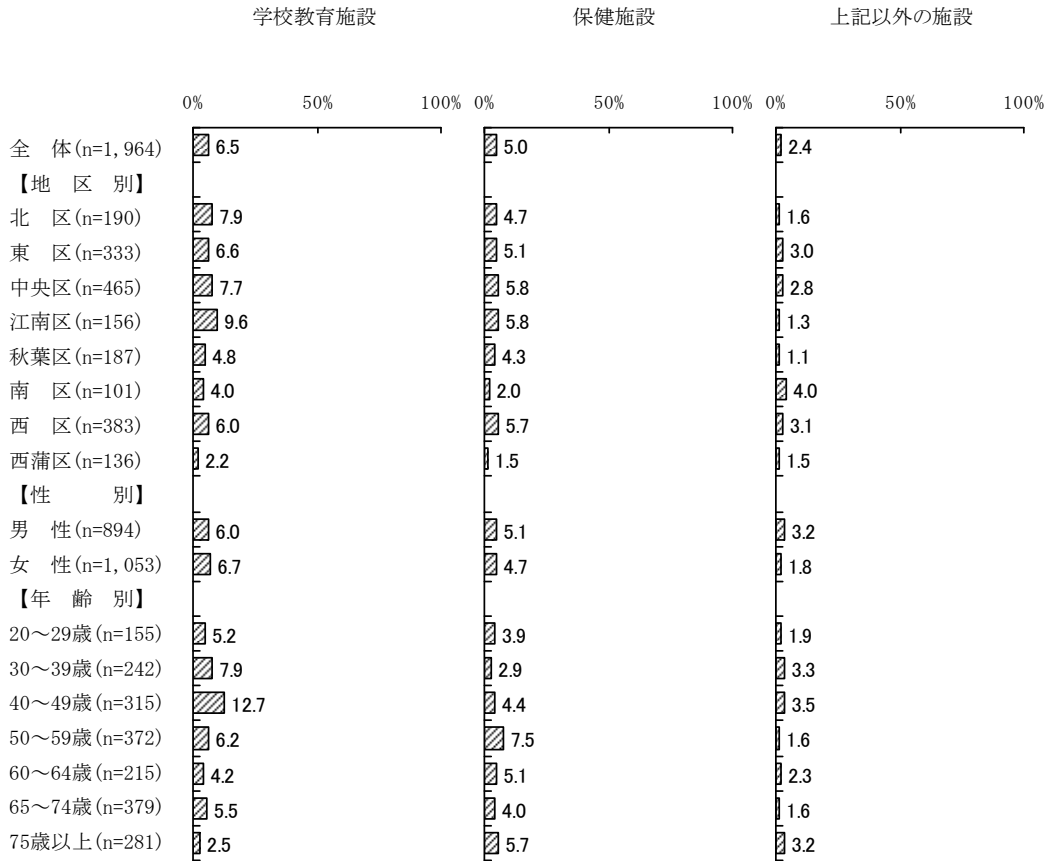
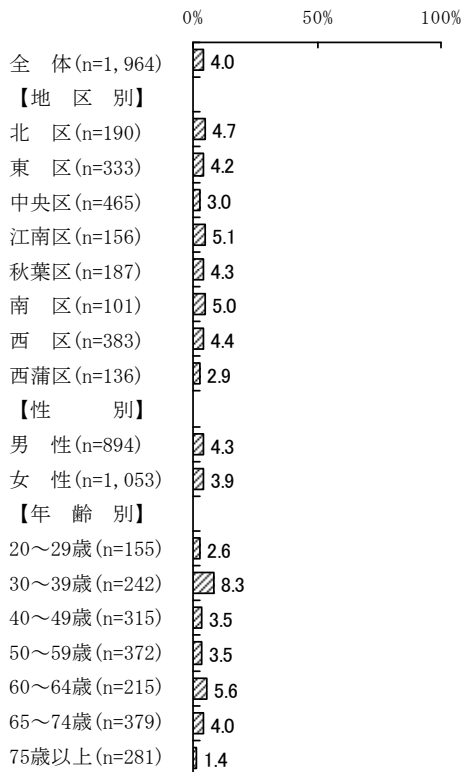


図2-6 将来、市内に必要な施設（地区別／性別／年齢別） 3/3

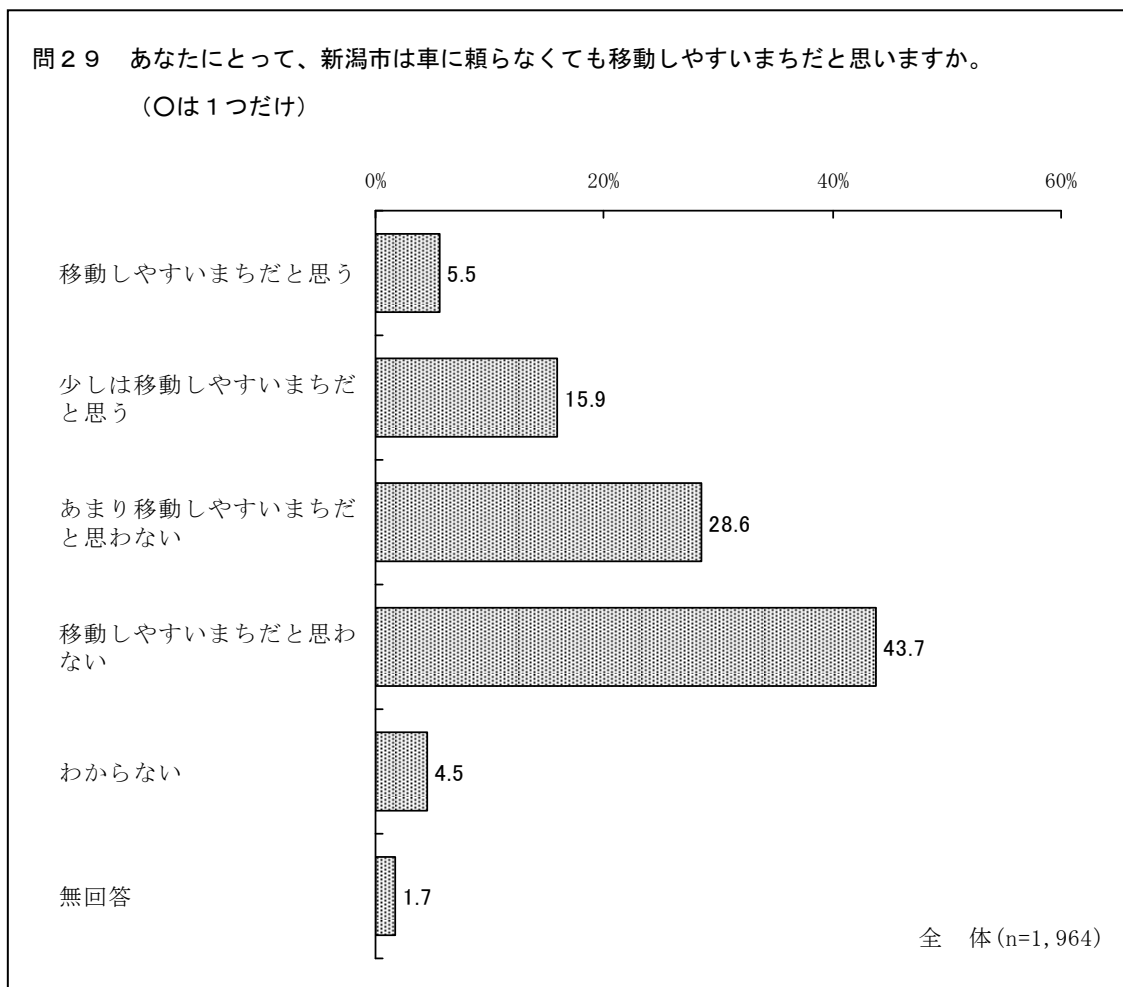


施設の建設や維持管理  
にはお金がかかるので、  
施設は必要ない



### 3. 移動しやすいまちづくりについて

#### (1) 移動しやすい現状



7割強が「移動しやすいまちだと思わない」と回答

#### 【全体結果】

移動しやすい現状については、「移動しやすいまちだと思わない」と「あまり移動しやすいまちだと思わない」を合わせると72.3%となり、7割以上の人が『移動しやすいまちだと思わない』と回答している。

一方で、「移動しやすいまちだと思ふ」と「少しは移動しやすいまちだと思ふ」を合わせると21.5%となり、『移動しやすいまちだと思ふ』と回答した人の割合は2割強である。

## 【属性別結果】（図 3-1 参照）

### ①地区別

すべての地区において、「移動しやすいまちだと思わない」と「あまり移動しやすいまちだと思わない」を合わせた『移動しやすいまちだと思わない』の割合が、「移動しやすいまちだと思う」と「少しは移動しやすいまちだと思う」を合わせた『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高く、特に南区（89.1%）で高くなっている。

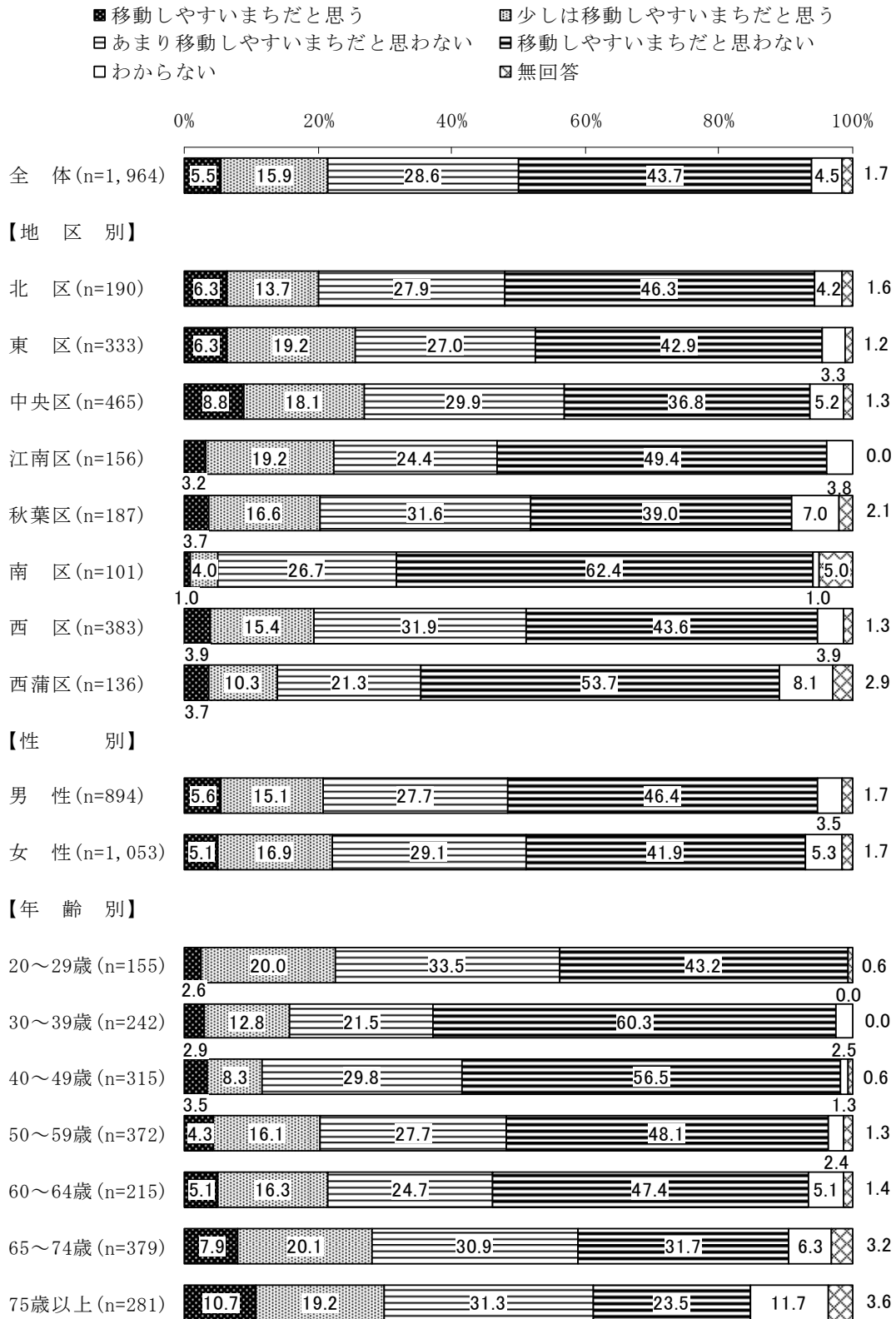
### ②性別

男女ともに、『移動しやすいまちだと思わない』の割合が『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高く、差はみられない。

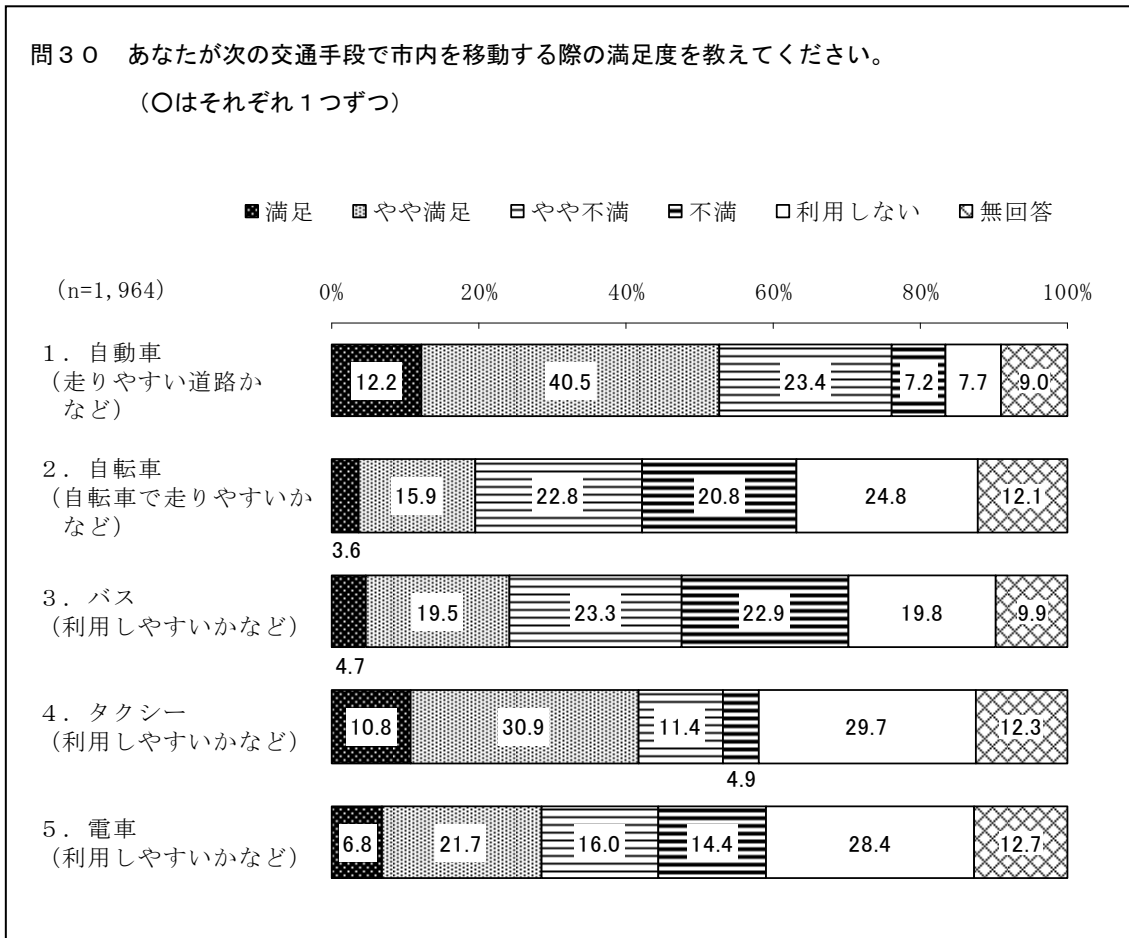
### ③年齢別

すべての年代において、『移動しやすいまちだと思わない』の割合が、『移動しやすいまちだと思う』の割合よりも高くなっているが、40代以上では、年齢が上がるにつれて割合は低くなっている。

図3-1 移動しやすさの現状（地区別／性別／年齢別）



## (2) 市内を移動する際の交通手段の満足度



— 移動する際の交通手段では、半数以上が「自動車」に満足している —

### 【全体結果】

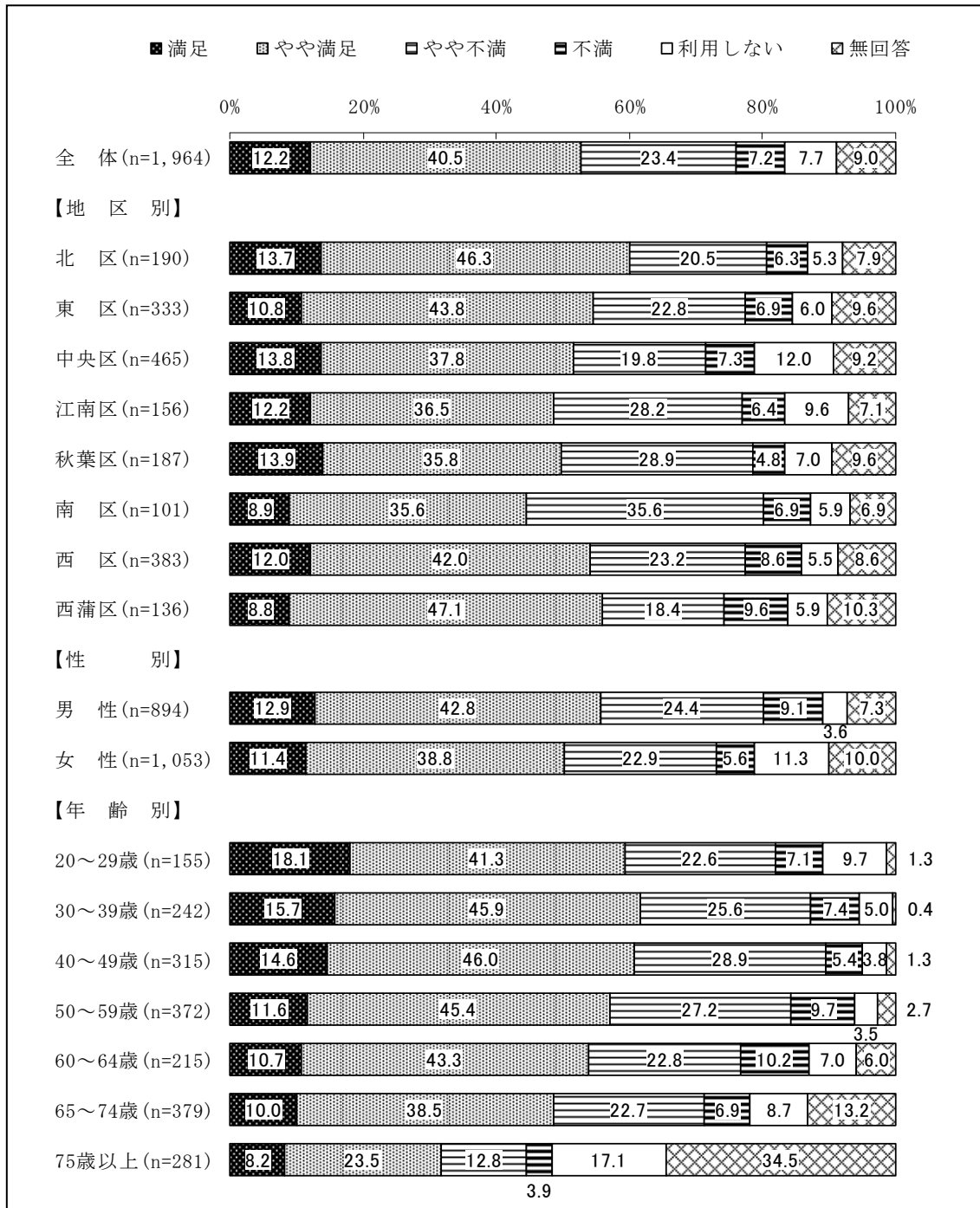
市内を移動する際の交通手段に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「1. 自動車（走りやすい道路かなど）」（52.7%）の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「4. タクシー（利用しやすいかなど）」（41.6%）、「5. 電車（利用しやすいかなど）」（28.5%）、「3. バス（利用しやすいかなど）」（24.2%）、「2. 自転車（自転車で走りやすいかなど）」（19.5%）の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「3. バス」（46.1%）の割合が最も高い。以下、『不満度』の割合は、「2. 自転車」（43.6%）、「1. 自動車」（30.6%）、「5. 電車」（30.4%）、「4. タクシー」（16.3%）の順となっている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に交通手段の印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自動車（走りやすい道路かなど）



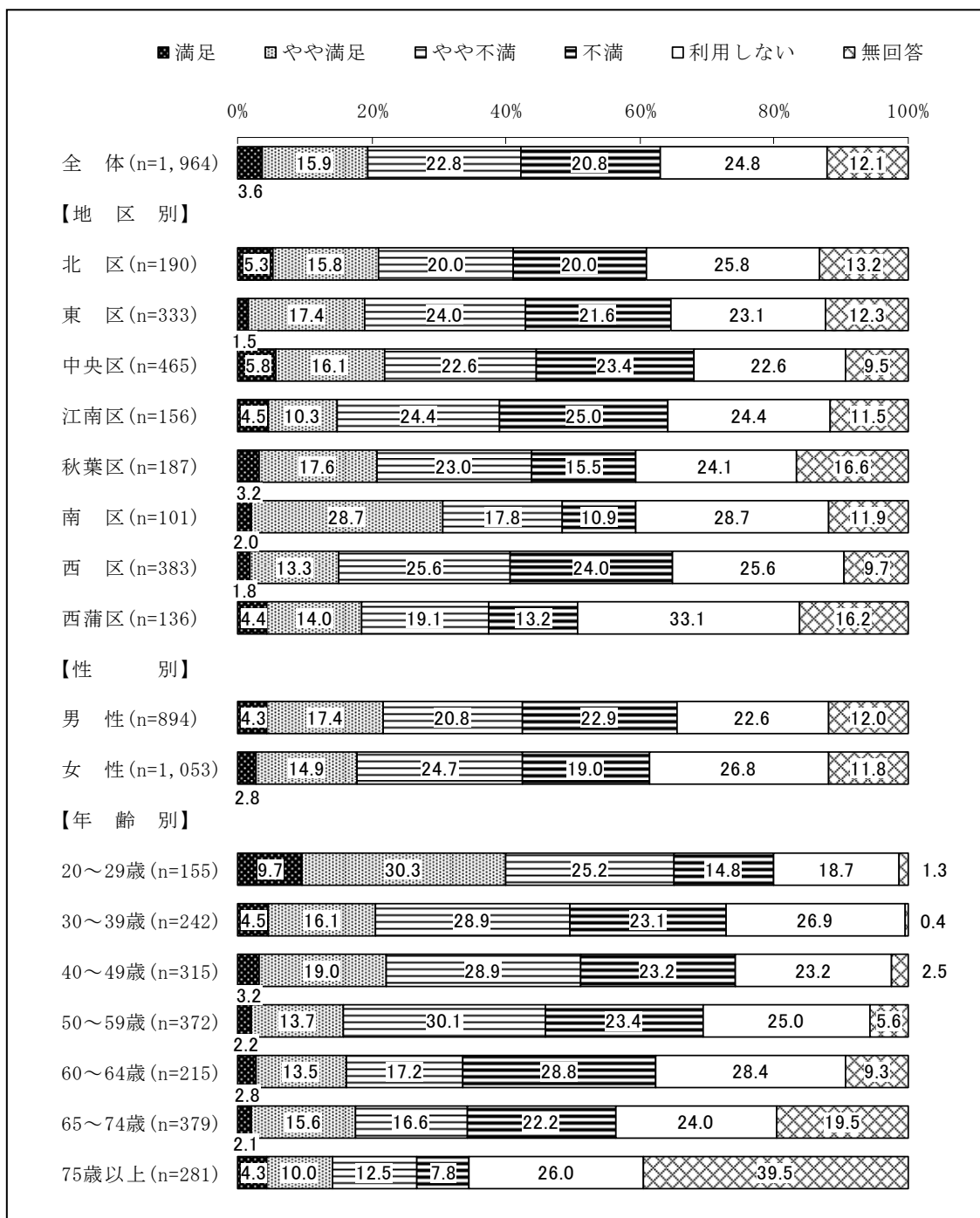
地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足」と「やや満足」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（60.0%）が最も高くなっている。性別は、男性（55.7%）の方が女性（50.2%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（61.6%）と40代（60.6%）で高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、地区別は、南区（42.6%）が4割を超えている。年齢別は、50代（36.8%）が最も高くなっている。



② 自転車（自転車で走りやすいかなど）

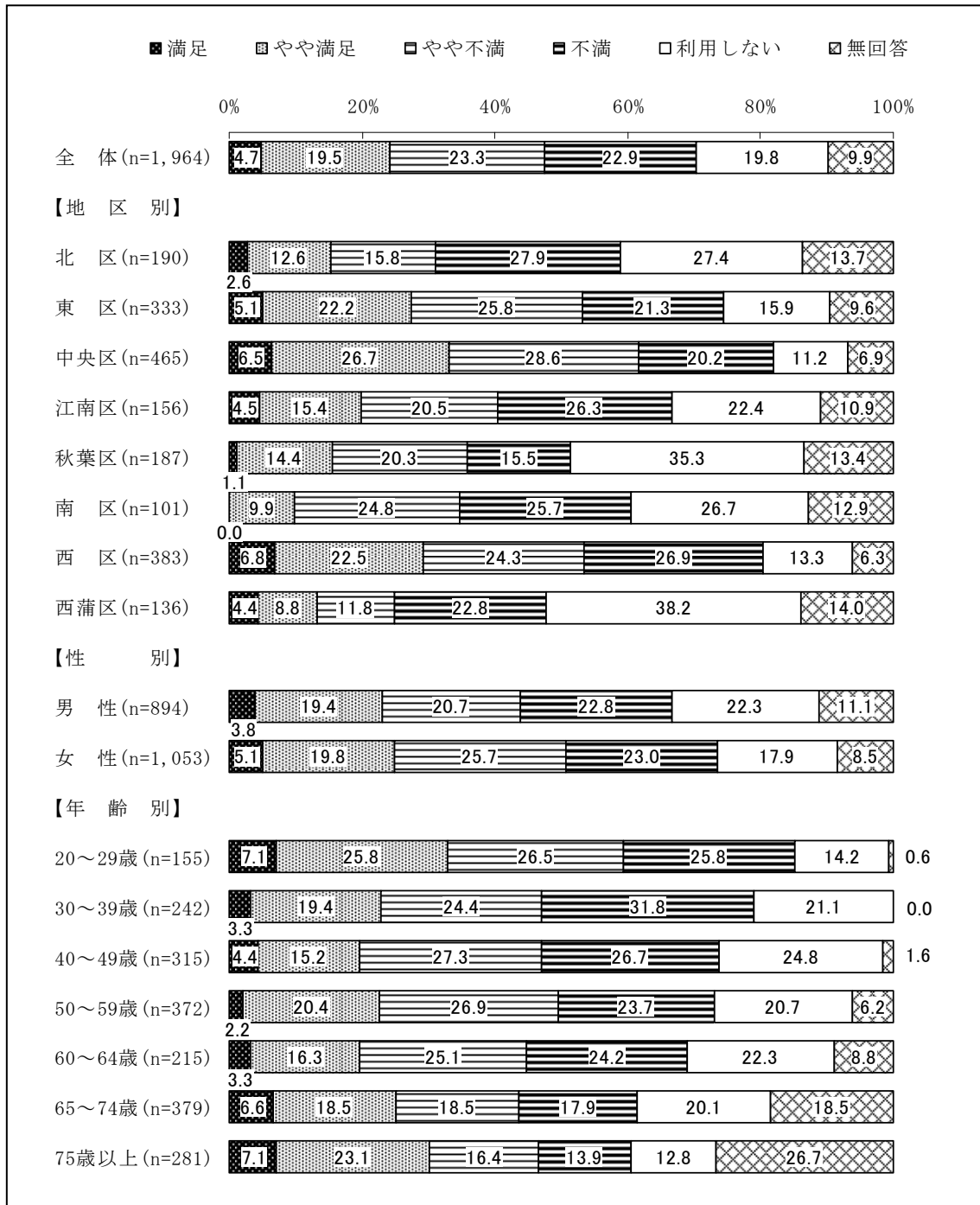


南区と20代を除く属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（49.6%）と江南区（49.4%）が高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（53.5%）、30代（52.1%）、40代（52.1%）で5割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、南区（30.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（40.0%）が4割となっている。

### ③ バス（利用しやすいかなど）

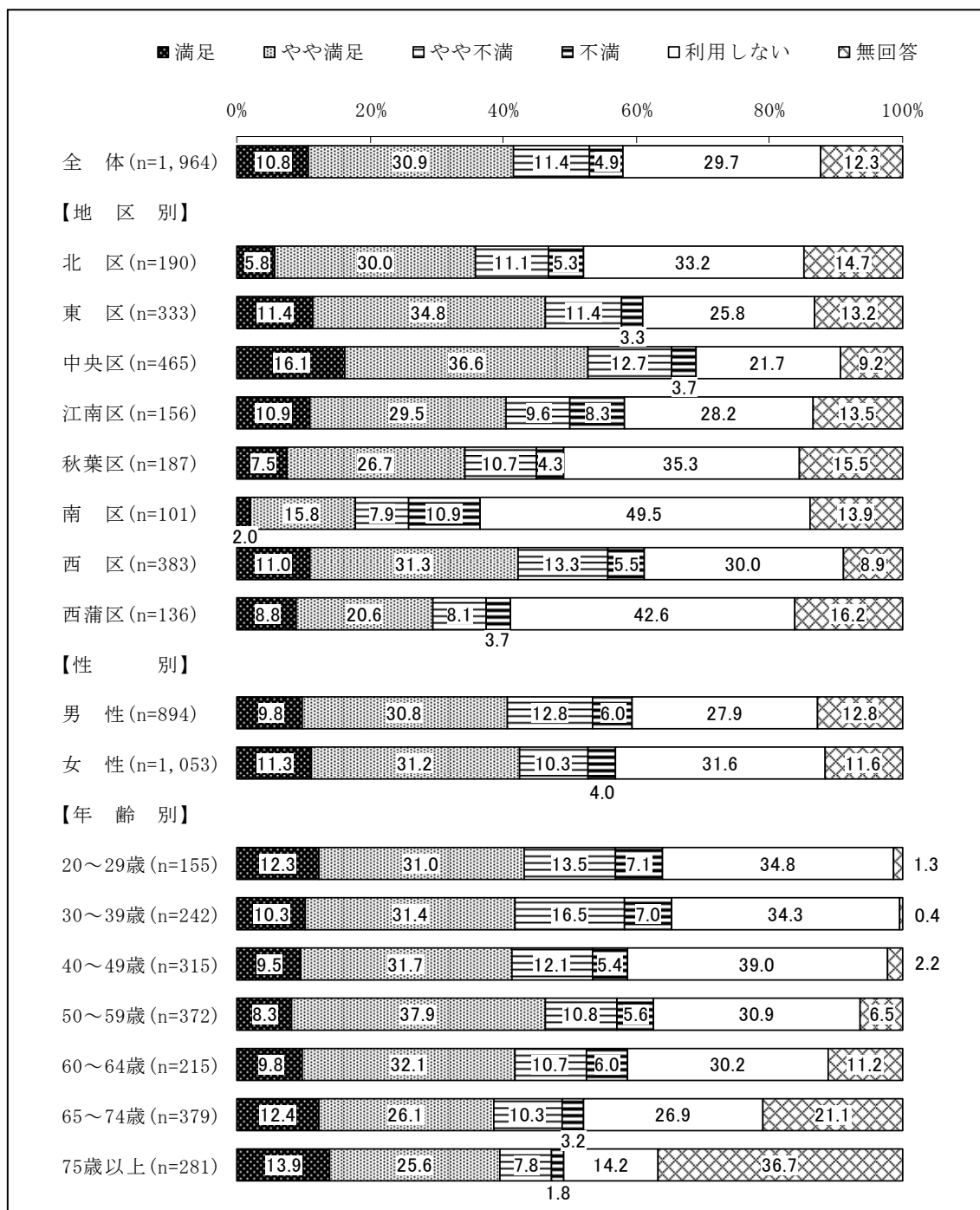


75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（51.2%）と南区（50.5%）が高くなっている。性別は、女性（48.7%）の方が男性（43.5%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（56.2%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（33.1%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（32.9%）と75歳以上（30.2%）が3割を超えている。

#### ④ タクシー（利用しやすいかなど）

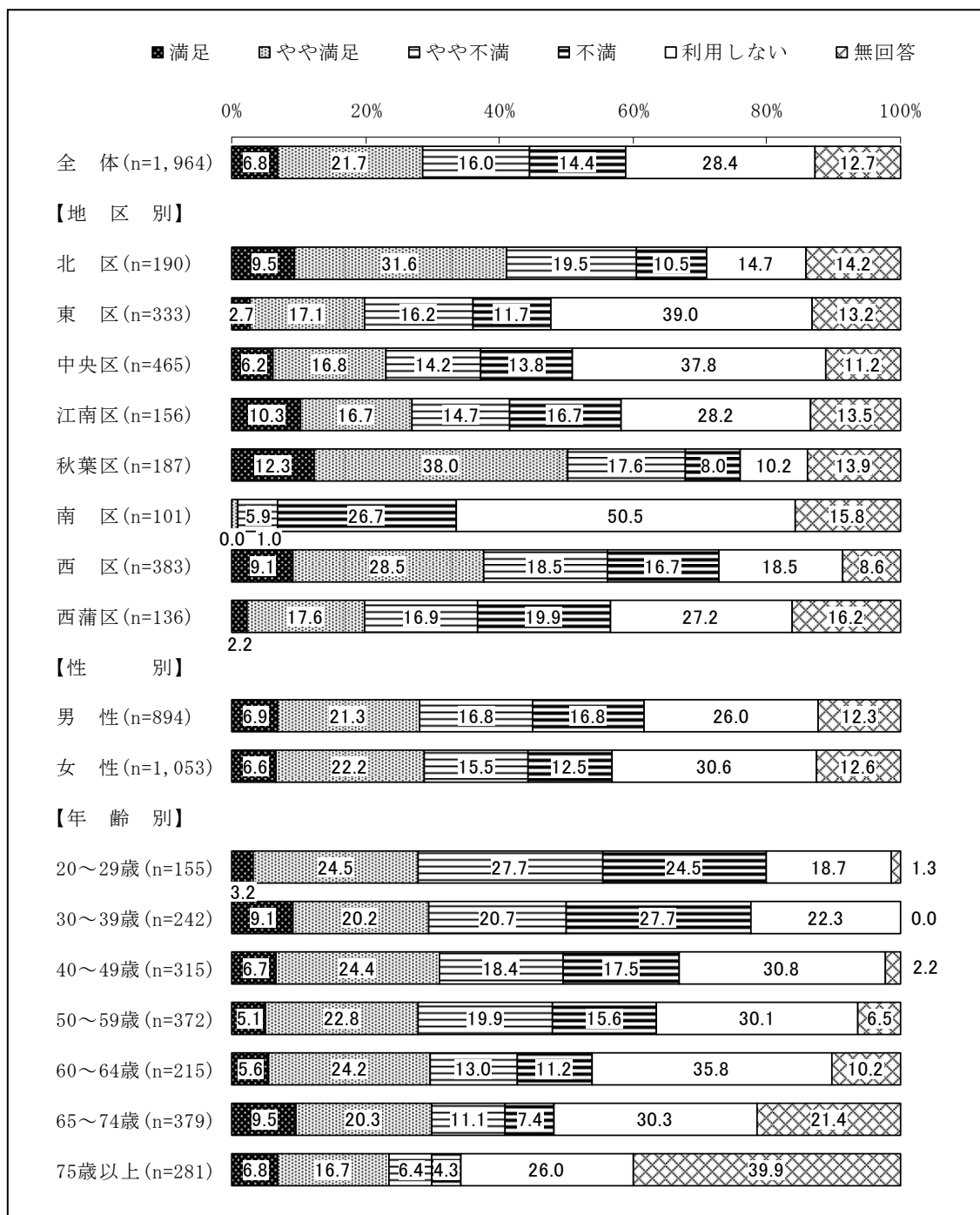


南区を除いた属性において、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足」と「やや満足」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区（52.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（46.2%）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、30代（23.6%）と20代（20.6%）を除いて、2割以下となっている。

⑤ 電車（利用しやすいかなど）

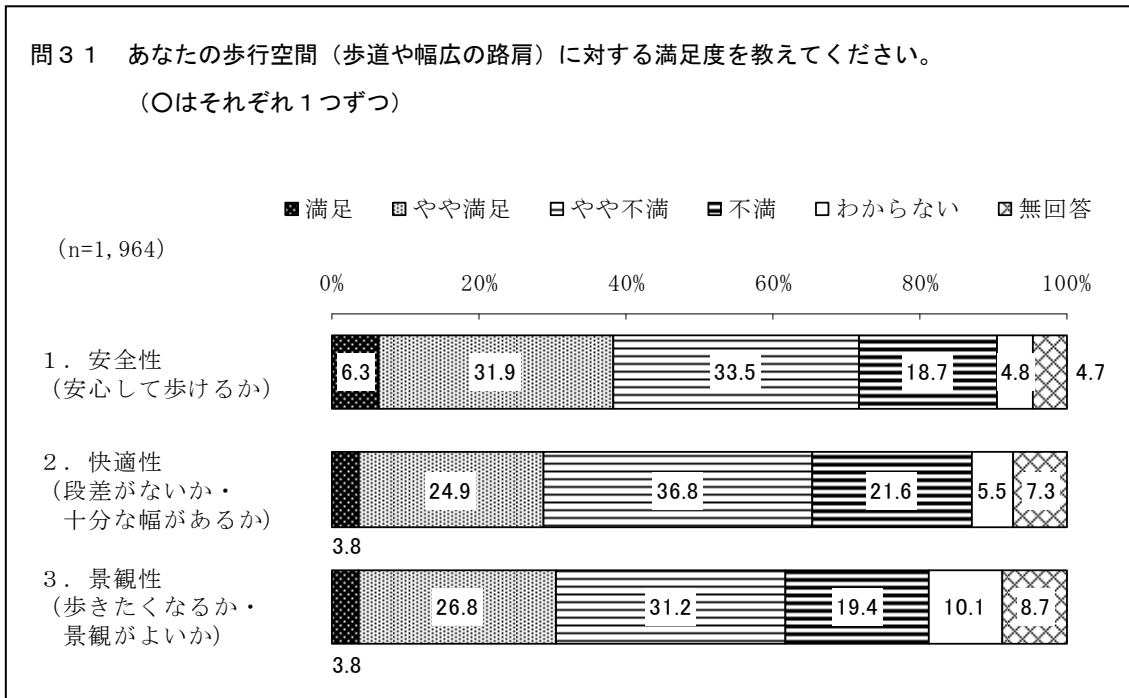


北区、秋葉区、西区、女性、60歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（36.8%）が最も高くなっている。性別は、男性（33.6%）の方が女性（28.0%）よりも高くなっている。年齢別は、20代（52.3%）が最も高く5割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（50.3%）が最も高くなっている。年齢別は、40代（31.1%）が最も高くなっている。

### (3) 歩行空間に対する満足度



歩行空間では、4割弱が「安全性」に満足している

#### 【全体結果】

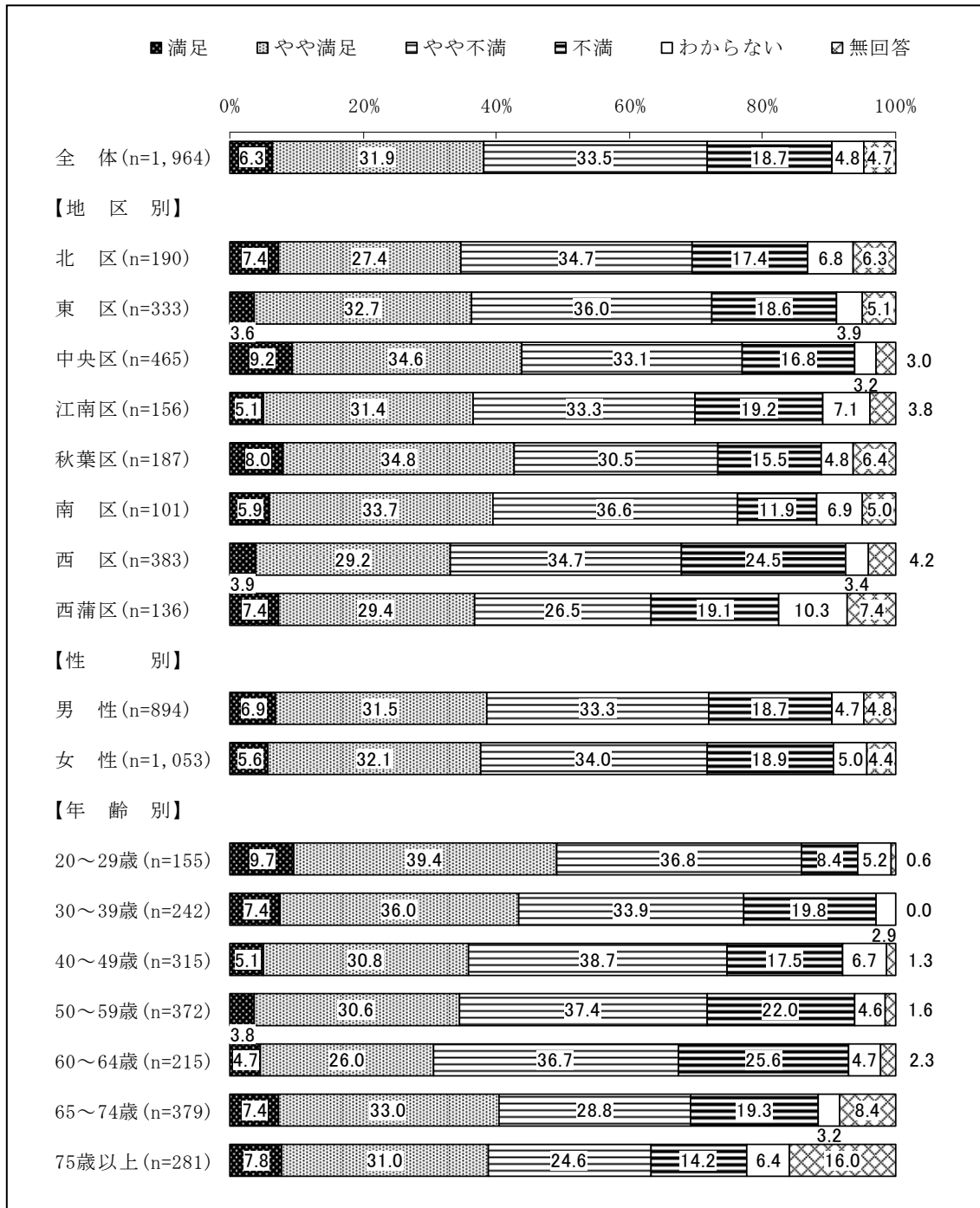
歩行空間（歩道や幅広の道路）に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「1. 安全性（安心して歩けるか）」（38.2%）の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「3. 景観性（歩きたくなるか・景観がよいか）」（30.5%）、「2. 快適性（段差がないか・十分な幅があるか）」（28.7%）の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「2. 快適性」（58.5%）の割合が最も高くなっている。以下、『不満度』の割合は、「1. 安全性」（52.2%）、「3. 景観性」（50.6%）の順となっている。

#### 【属性別結果】

次ページ以降に歩行空間の印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 安全性（安心して歩けるか）

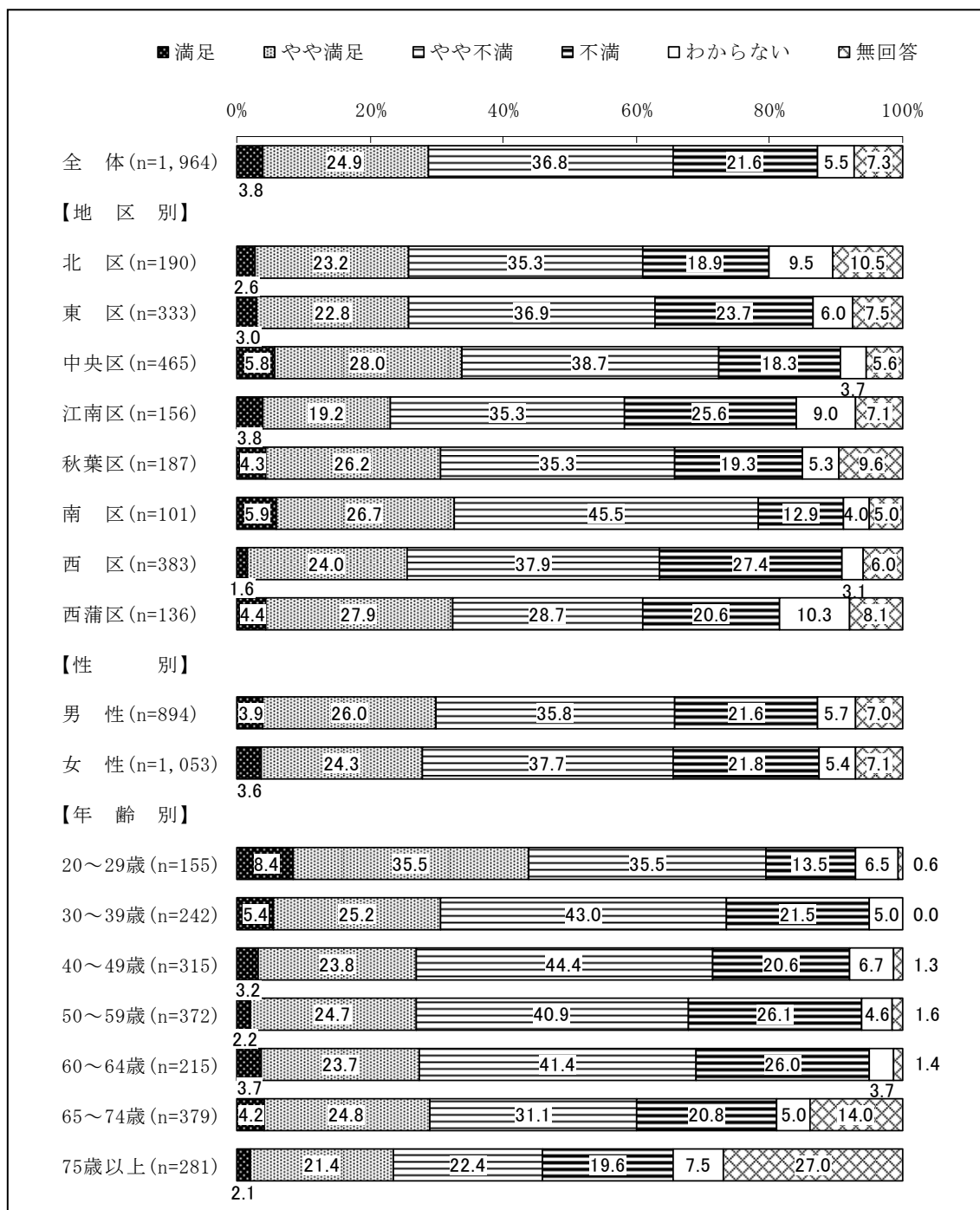


20代と75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（59.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳（62.3%）が最も高く6割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（43.9%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（49.0%）が最も高くなっている。

## ② 快適性（段差がないか・十分な幅があるか）

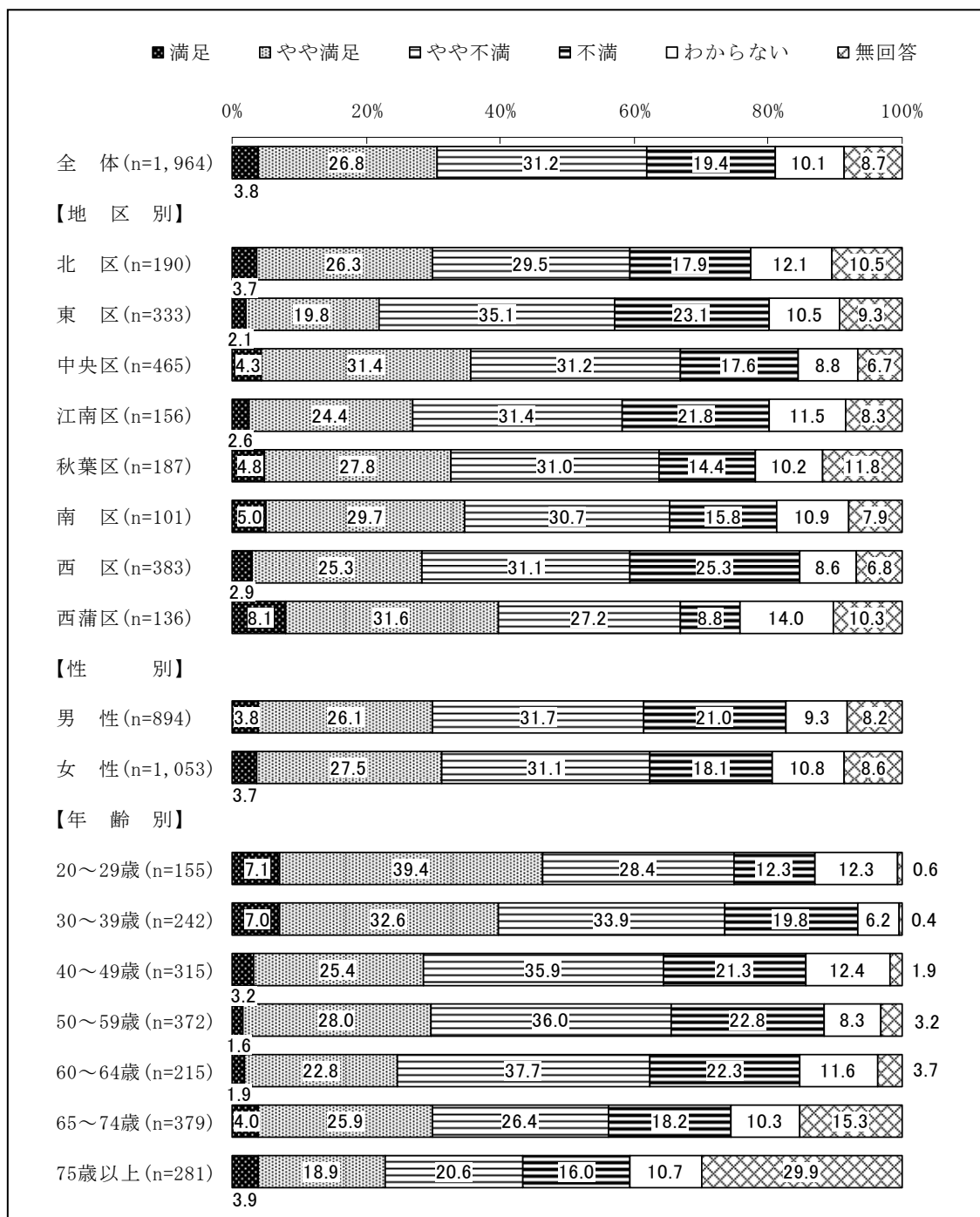


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（65.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳、50代、40代、30代が高く6割を超えている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、中央区（33.8%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（43.9%）が最も高くなっている。

### ③ 景観性（歩きたくなるか・景色がよいか）



西蒲区と20代を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、東区（58.3%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳（60.0%）が最も高くなっている。

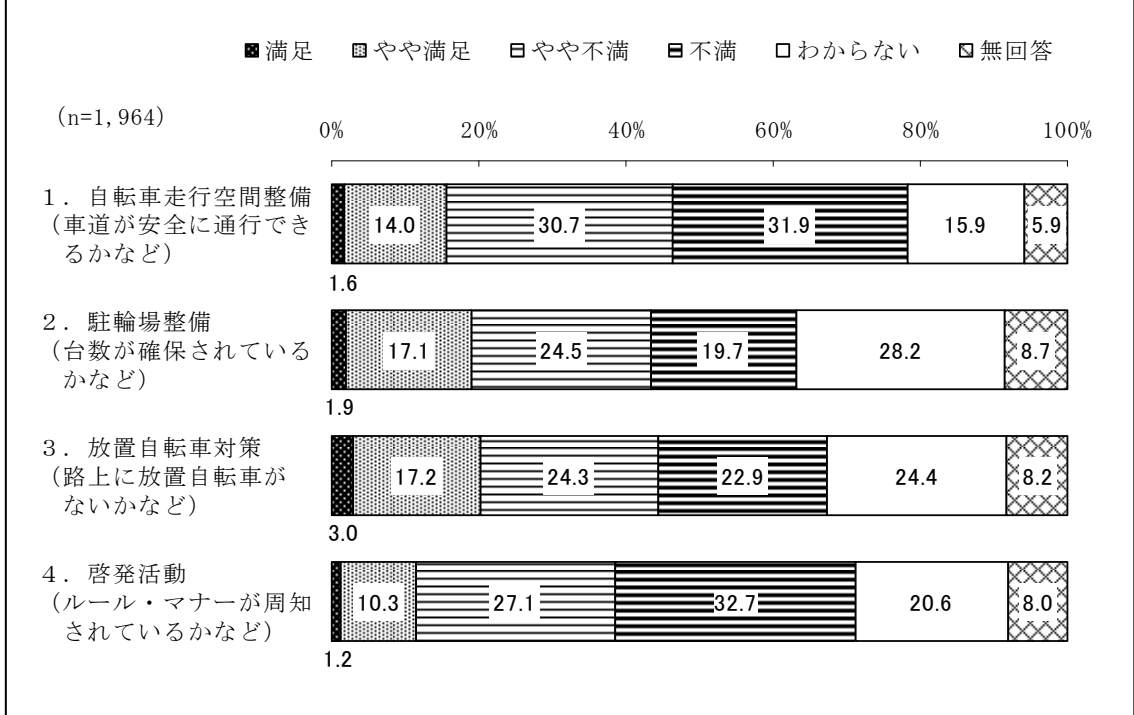
一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（39.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（46.5%）が最も高くなっている。



#### (4) 自転車利用の取り組みに対する満足度

問3 2 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動（自転車の利用促進、ルール・マナー啓発）」を行っています。

それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。(○はそれぞれ1つずつ)



— 自転車利用の取り組みでは、2割が「放置自転車対策」に満足している —

#### 【全体結果】

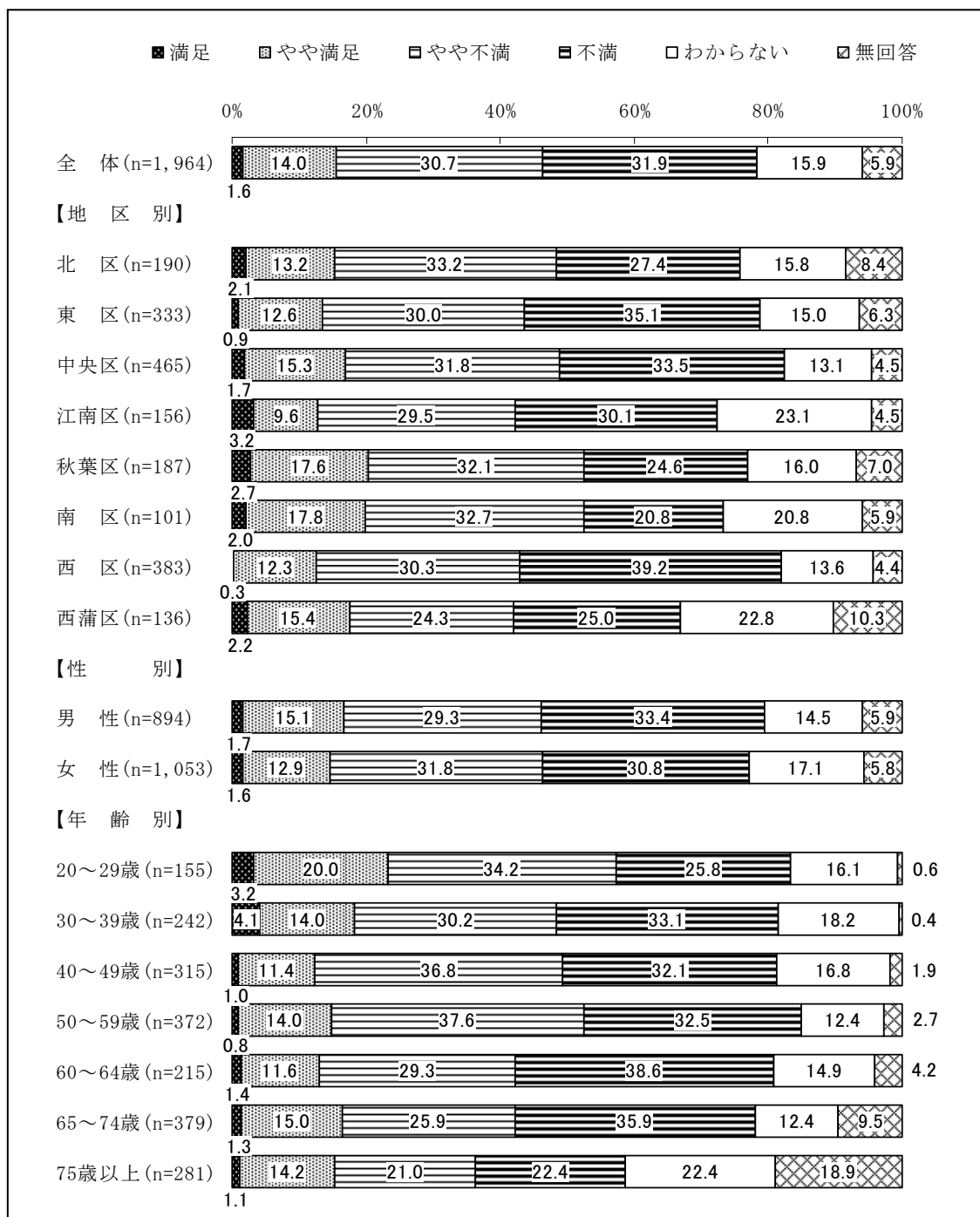
自転車利用の取り組みに対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「3. 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）」(20.2%)の割合が最も高くなっている。以下、『満足度』の割合は、「2. 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）」(18.9%)、「1. 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）」(15.6%)、「4. 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）」(11.5%)の順となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「1. 自転車走行空間整備」(62.6%)の割合が最も高くなっている。以下、『不満度』の割合は、「4. 啓発活動」(59.8%)、「3. 放置自転車対策」(47.3%)、「2. 駐輪場整備」(44.2%)の順となっている。

#### 【属性別結果】

次ページ以降に自転車利用の取り組みの印象ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）

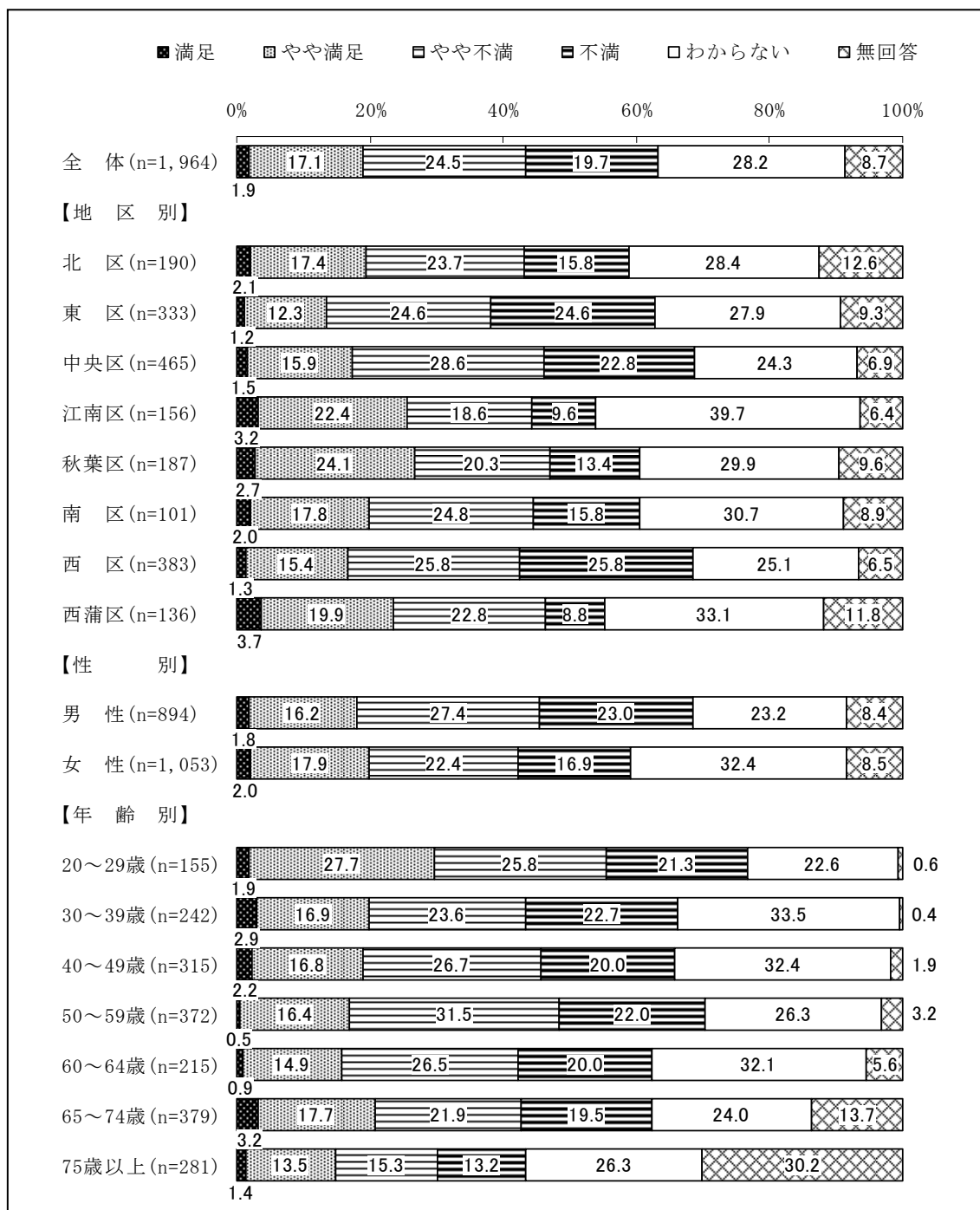


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（69.5%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（70.2%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（20.3%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（23.2%）が最も高くなっている。

## ② 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）

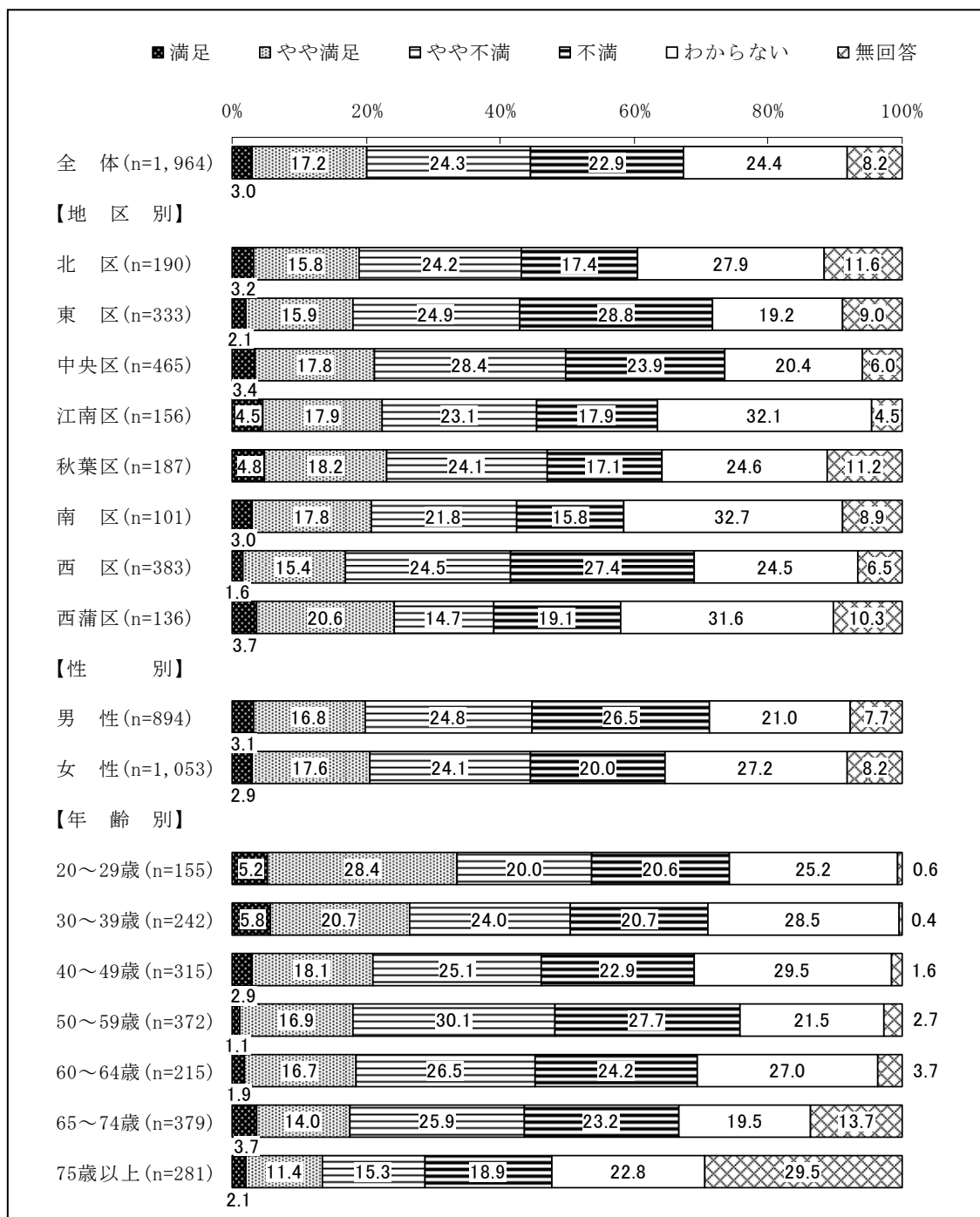


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（51.7%）と中央区（51.4%）が高くなっている。性別は、男性（50.4%）の方が女性（39.3%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（53.5%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（26.7%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（29.7%）が最も高くなっている。

### ③ 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）

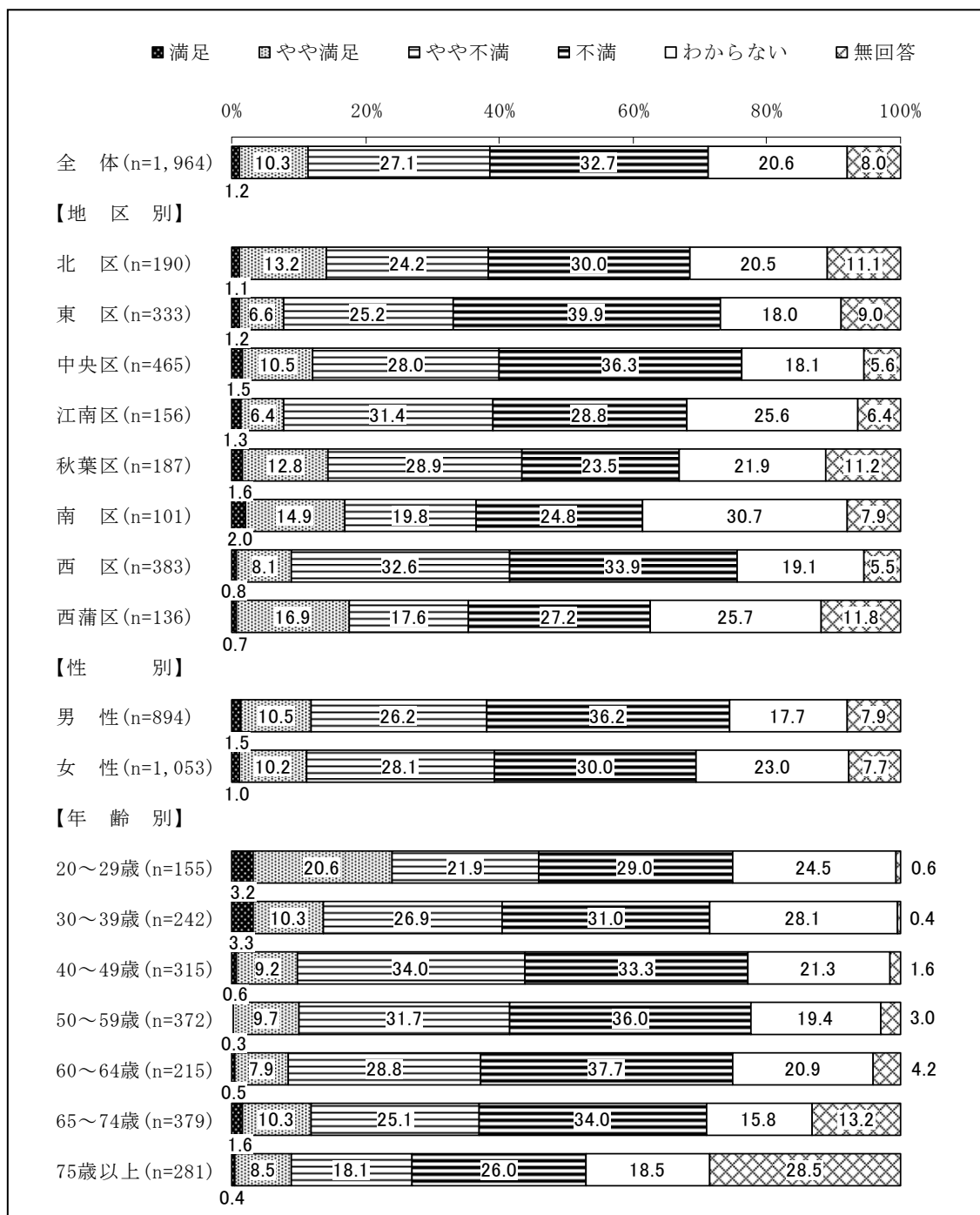


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、東区（53.8%）が最も高くなっている。性別は、男性（51.3%）の方が女性（44.2%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（57.8%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（24.3%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（33.5%）が最も高くなっている。

④ 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）

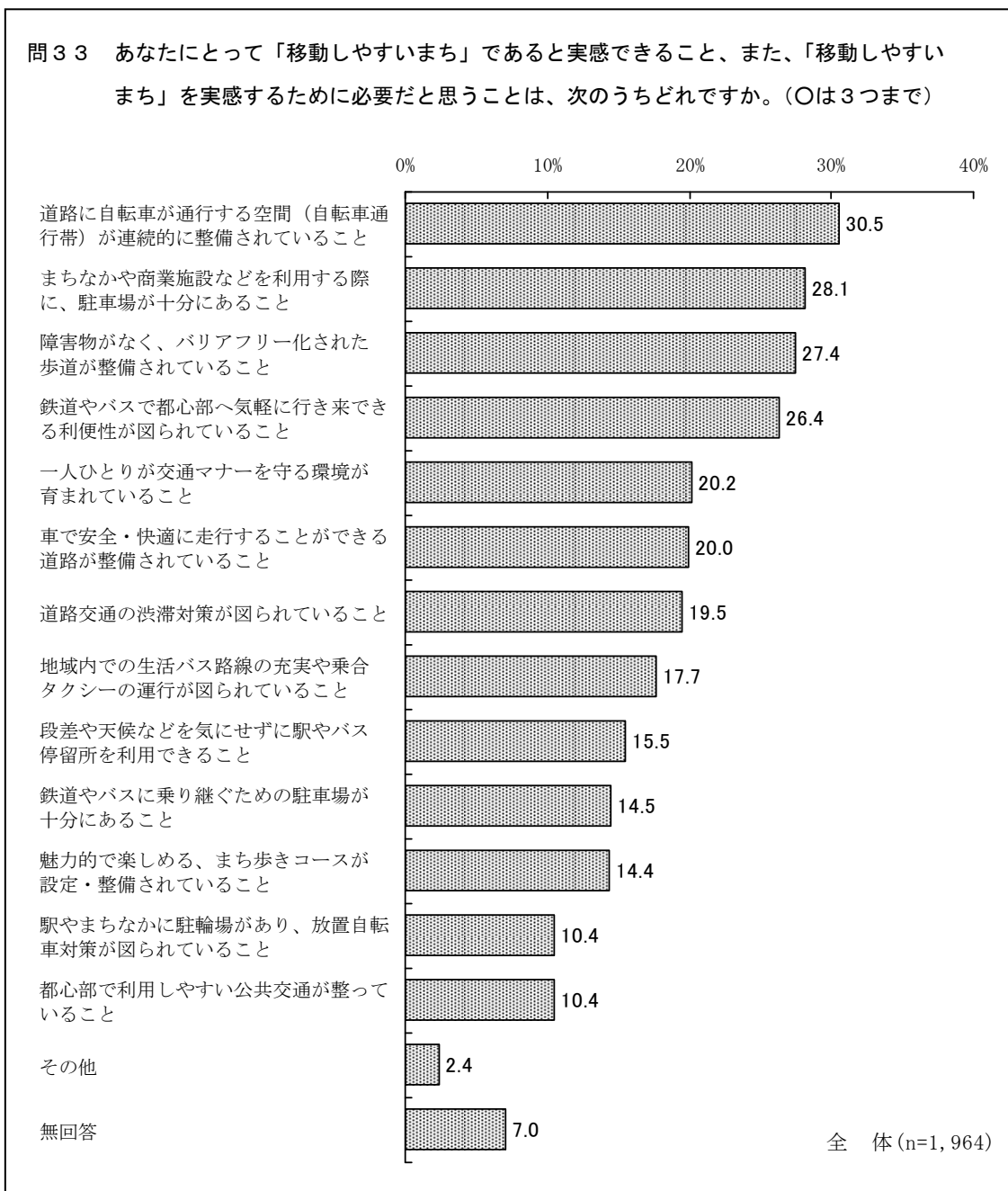


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（66.6%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（67.7%）と40代（67.3%）が高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、西蒲区（17.6%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（23.9%）が最も高くなっている。

### (5) 「移動しやすいまち」として必要なこと



3割が「自転車通行帯の連続的な整備」が必要と回答

## 【全体結果】

「移動しやすいまち」として必要なこと（複数回答）については、「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」（30.5%）の割合が最も高くなっている。以下、「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」（28.1%）、「障害物がなく、バリアフリー化された歩道が整備されていること」（27.4%）、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」（26.4%）、「一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれていること」（20.2%）、「車で安全・快適に走行することができる道路が整備されていること」（20.0%）が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-2 参照）

### ①地区別

全体結果で最も割合の高かった「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」については、中央区（35.9%）の割合が最も高く、南区（20.8%）が最も低くなっている。

「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」の割合は、西蒲区（35.3%）が最も高く、南区（23.8%）が最も低くなっている。「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」の割合は、南区（39.6%）が最も高く、東区（17.1%）が最も低くなっている。

### ②性別

「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」と「車で安全・快適に走行することができる道路が整備されていること」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。「障害物がなく、バリアフリー化された歩道が整備されていること」と「地域内での生活バス路線の充実や乗り合いタクシーの運行が図られていること」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

### ③年齢別

「道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること」の割合は、60～64歳（37.2%）が最も高く、75歳以上（24.9%）が最も低くなっている。

「まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること」、「鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること」、「一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれていること」の割合は、30代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図3-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 1/3

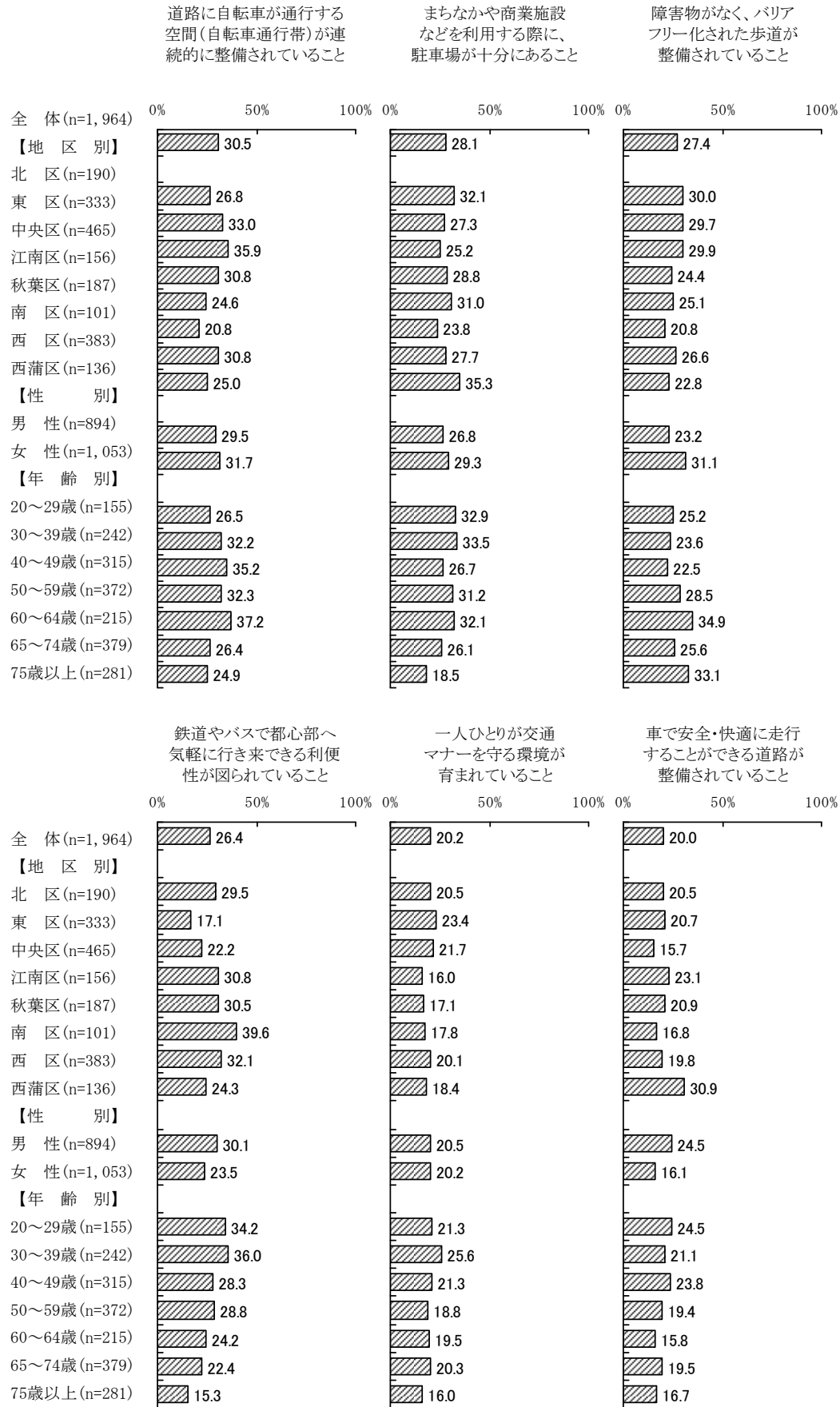




図3-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 2/3

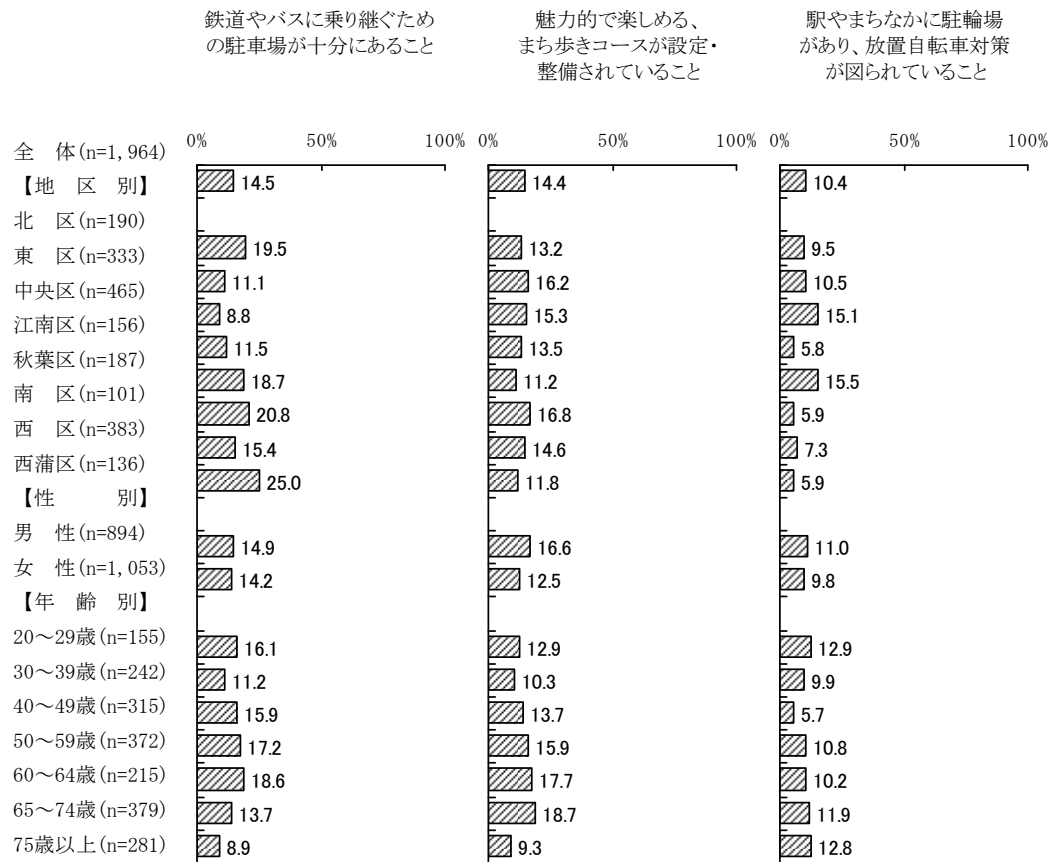
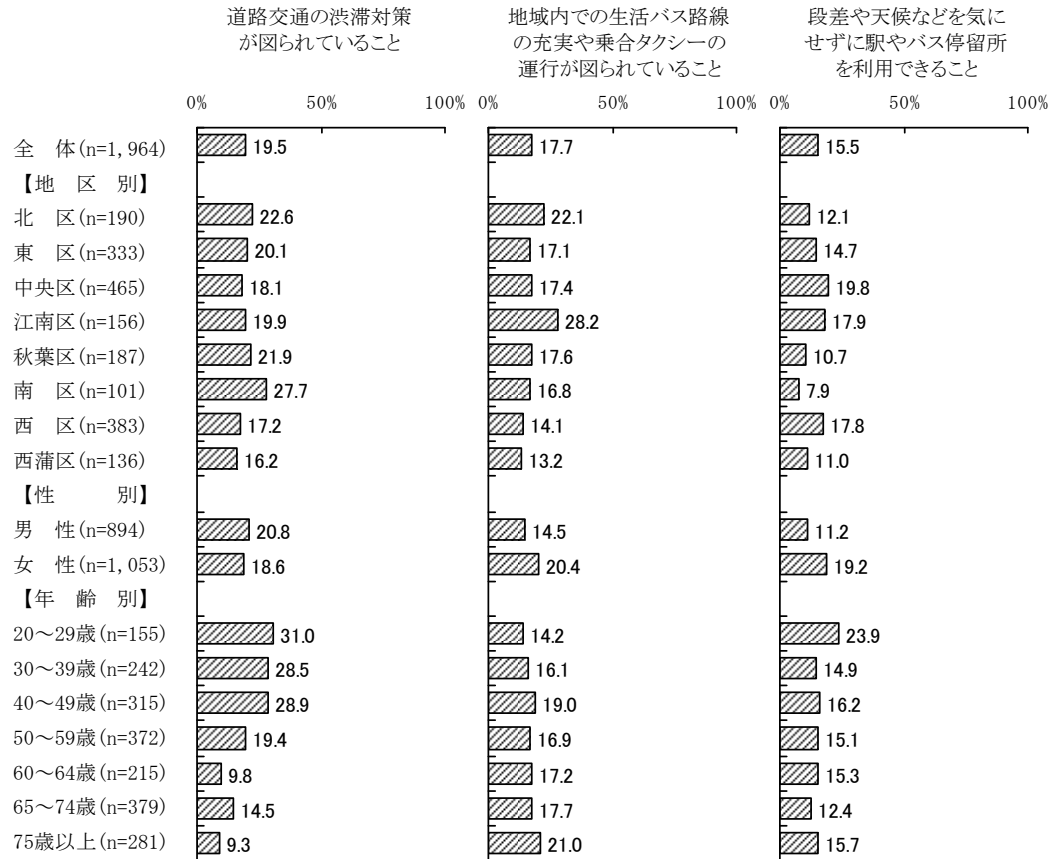
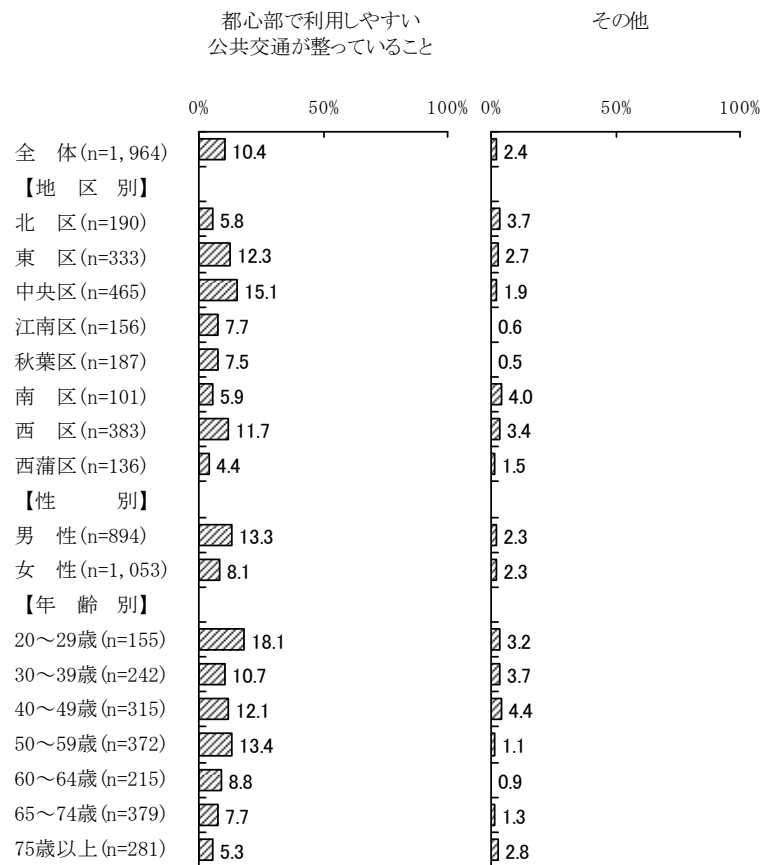


図3-3 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別／性別／年齢別） 3/3



(6) 「まち歩き」の現状とお勧めの「まち歩きコース」の理由

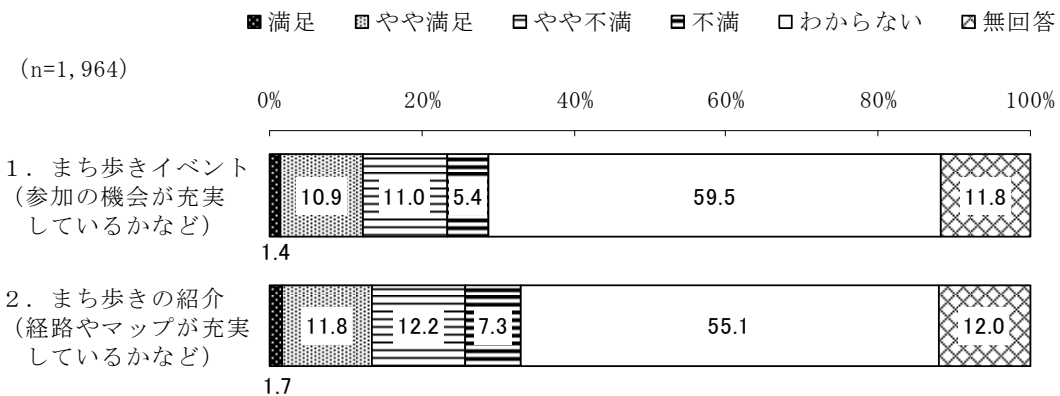
問34 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、街なかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりをみせています。

そこで「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。

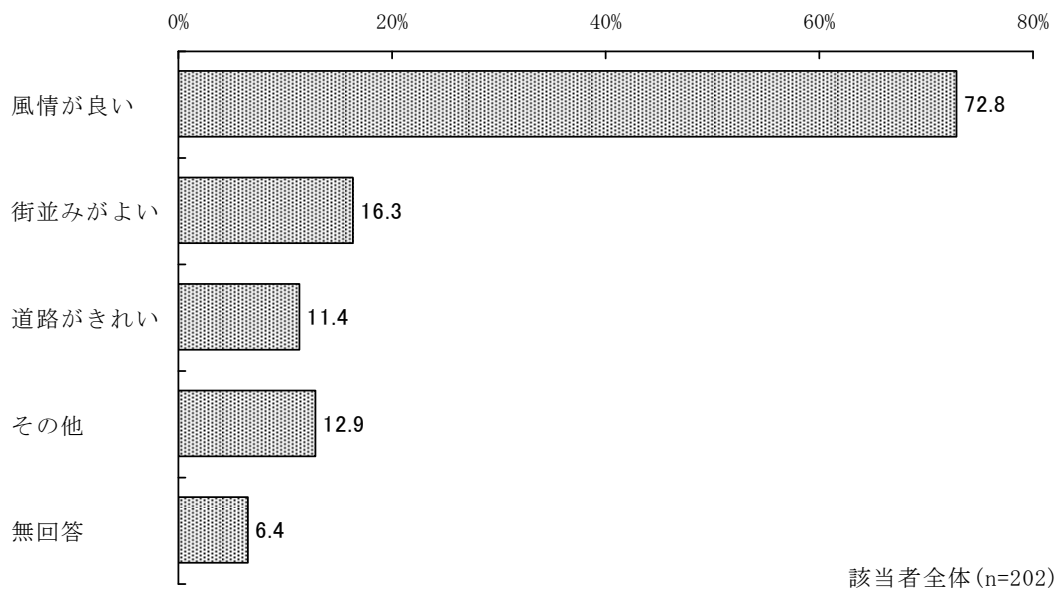
また、あなたのお勧めの「まち歩きコース」がありましたら教えてください。

(〇はそれぞれ1つずつ)

【「まち歩き」の現状】



【お勧めの「まち歩きコース」の理由】



—— 1割強が「まち歩きのイベントや紹介」に満足、  
また、「まち歩きコース」を勧める理由は「風情が良い」から ——

### 【全体結果】

「まち歩き」の現状に対する『満足』と『やや満足』を合わせた割合（満足度）については、「2. まち歩きの紹介（経路やマップなどが充実しているかなど）」が13.5%、「1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）」が12.3%で、ともに1割強となっている。

一方で、『不満』と『やや不満』を合わせた割合（不満度）については、「2. まち歩きの紹介」が19.5%、「1. まち歩きイベント」が16.4%で、2割弱となっている。

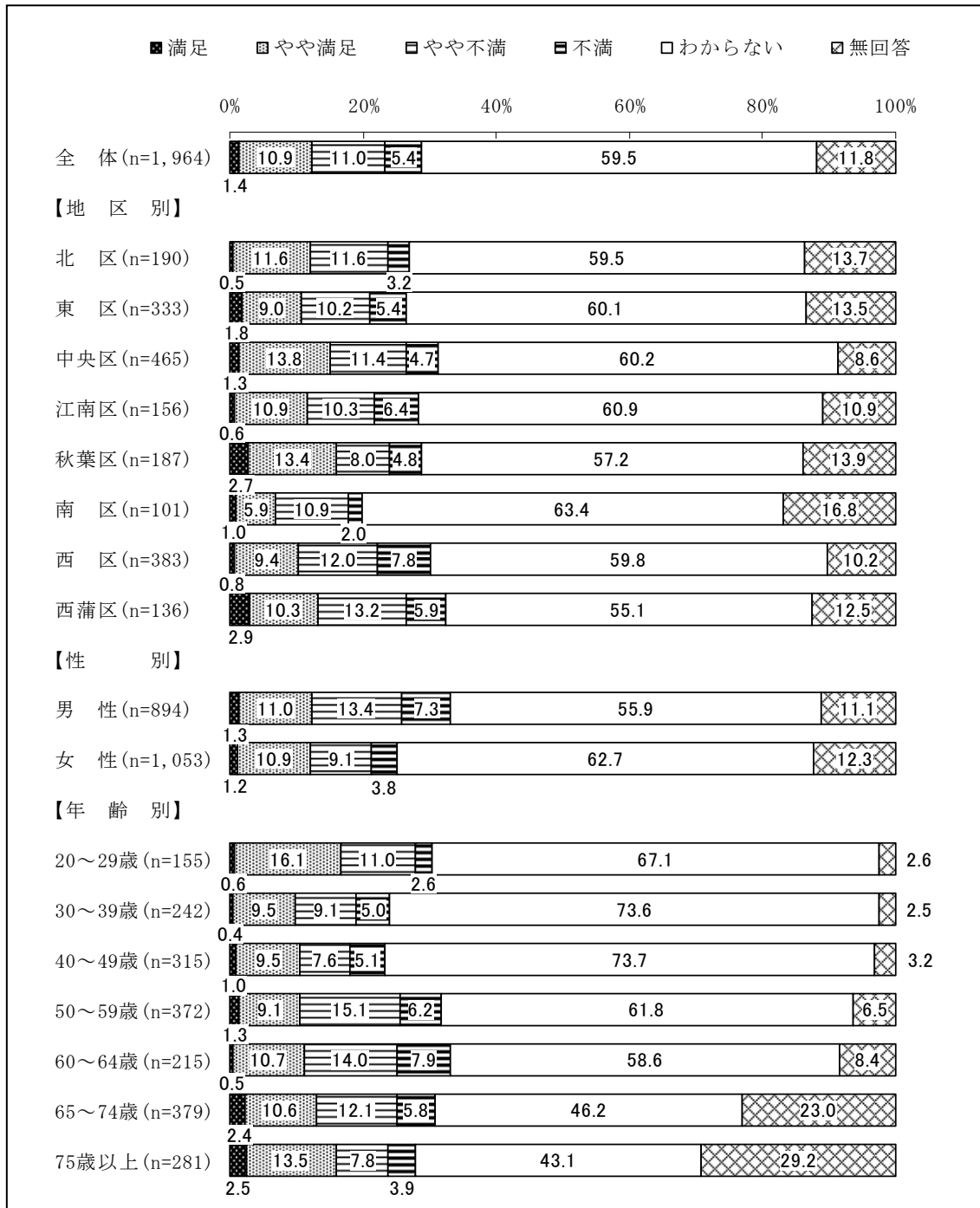
また、「1. まち歩きイベント」、「2. まち歩きの紹介」ともに、「わからない」の割合が高く、5割を超えている。

お勧めの「まち歩きコース」については、『やすらぎ提（信濃川沿い）』や『古町』を回答する人が多かったが、その理由としては、「風情が良い」（72.8%）が最も多く7割を超えた。以下、「街並みが良い」（16.3%）、「道路がきれい」（11.4%）の順となっている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に「まち歩き」の現状の印象ごととお勧めの「まち歩きコース」の理由についての地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）

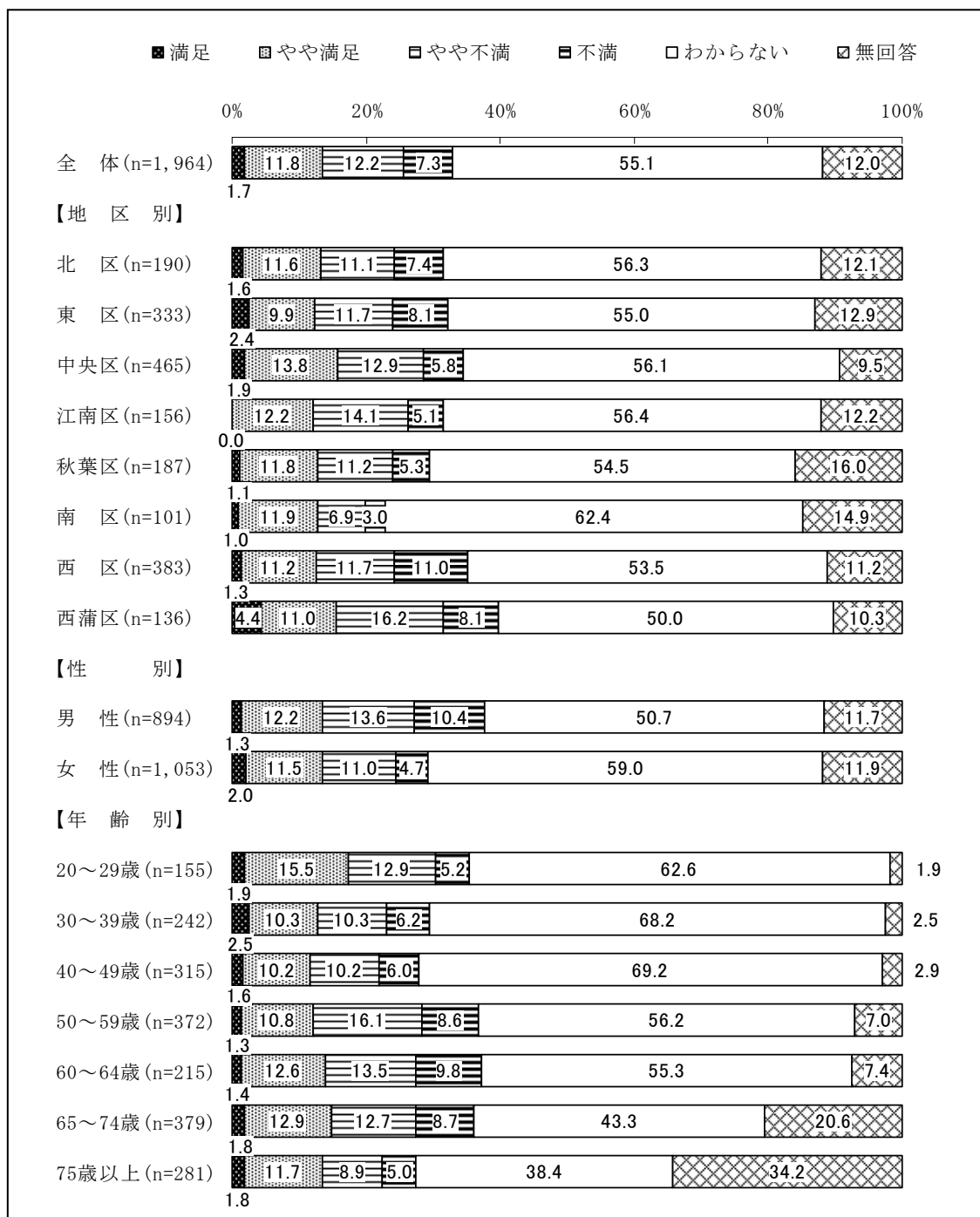


秋葉区、20代、75歳以上を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（19.8%）と西蒲区（19.1%）が高くなっている。性別は、男性（20.7%）の方が女性（12.9%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（21.9%）と50代（21.2%）が高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（16.0%）が最も高くなっている。年齢別は、20代（16.8%）と75歳以上（16.0%）が高くなっている。

② まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）

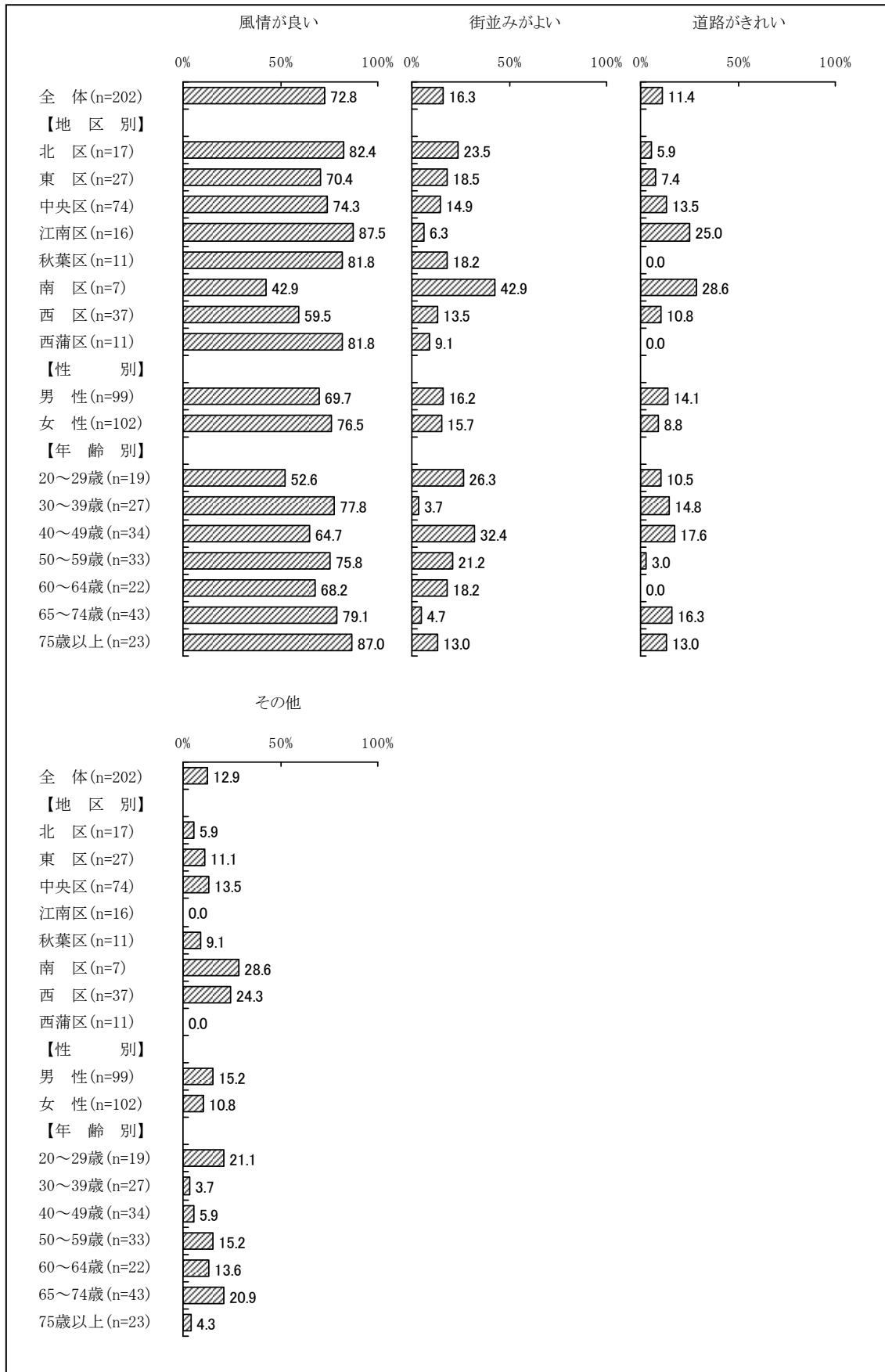


南区を除いた属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足」と「やや満足」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（24.3%）が最も高くなっている。性別は、男性（24.0%）の方が女性（15.7%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（24.7%）が最も高くなっている。

一方、「満足」と「やや満足」を合わせた割合については、年齢別は、20代（17.4%）が最も高くなっている。

### ③ お勧めの「まち歩きコース」の理由



地区別では、全体結果で最も割合の高かった「風情が良い」については、江南区（87.5%）の割合が最も高く、南区（42.9%）が最も低くなっている。

「街並みが良い」と「道路がきれい」の割合は、南区が最も高くなっている。

性別では、「風情が良い」の割合は、女性（76.5%）の方が男性（69.7%）よりも高く、「道路がきれい」の割合は、男性（14.1%）の方が女性（8.8%）よりも高くなっている。

年齢別では、「風情が良い」の割合は、75歳以上（87.0%）が最も高く、20代（52.6%）が最も低くなっている。「街並みが良い」の割合は、40代（32.4%）が最も高く、30代（3.7%）と65～74歳（4.7%）が低くなっている。



## 4. 市政全般と区政について

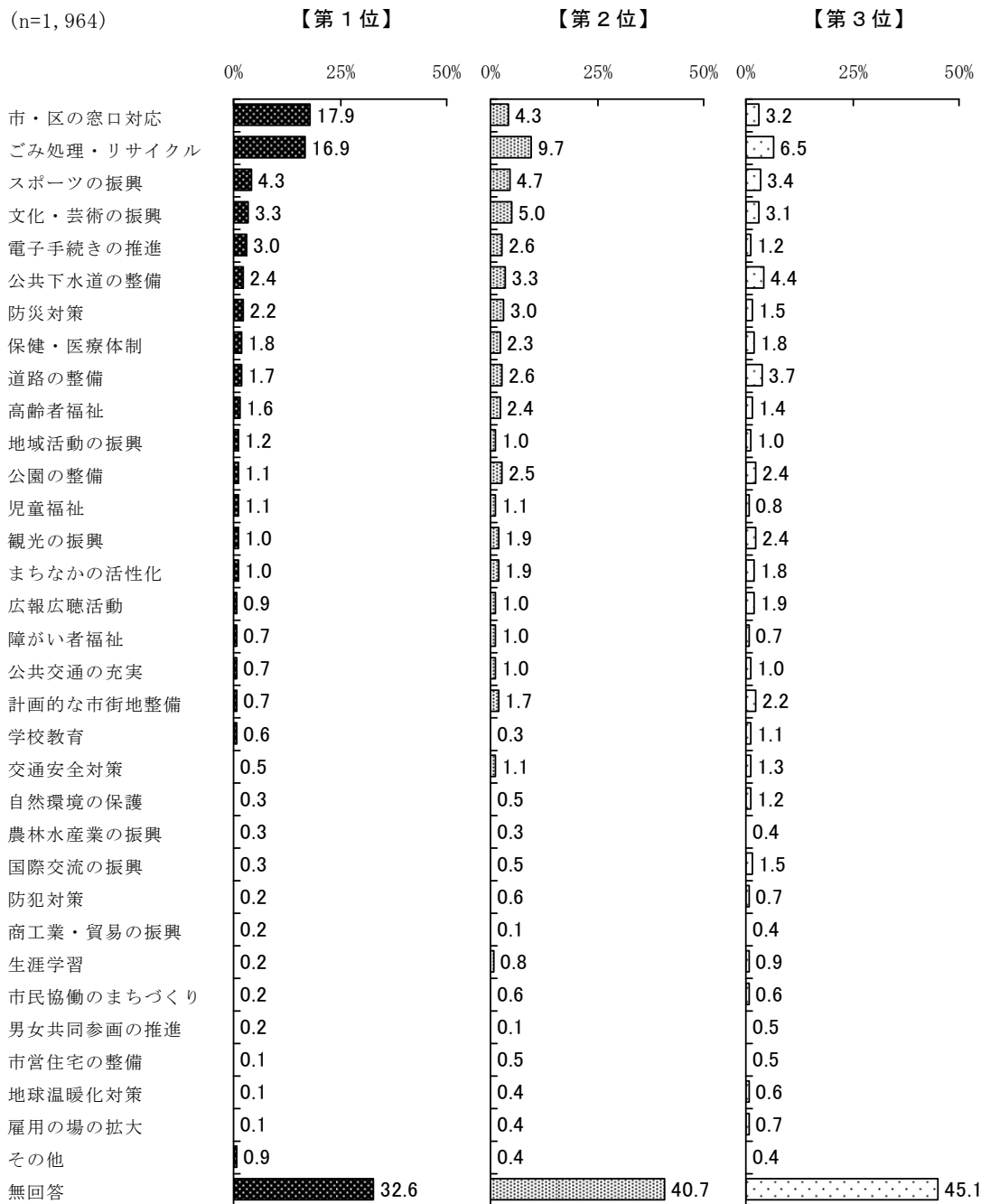
### (1) 新潟市として良くなっているもの

問35 新潟市は平成19年4月に政令市に移行したことにより、身近な行政サービスを行う8つの区役所を設置し、6年が経過しました。

市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

①「新潟市として良くなっているもの」

を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



—— 新潟市として良くなっているものは「市・区の窓口対応」 ——

**【全体結果】**

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(17.9%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(16.9%)、「スポーツの振興」(4.3%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(9.7%)が最も高い。以下、「文化・芸術の振興」(5.0%)、「スポーツの振興」(4.7%)と続いている。

【第3位回答】の割合も、【第2位回答】と同じく「ごみ処理・リサイクル」(6.5%)が最も高い。以下、「公共下水道の整備」(4.4%)、「道路の整備」(3.7%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が32.6%、第2位が40.7%、第3位が45.1%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-1参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。平均得点の算出式、算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点の算出式

$$\left( \left[ \text{第1位回答} \right] \times 3 + \left[ \text{第2位回答} \right] \times 2 + \left[ \text{第3位回答} \right] \times 1 \right) \div n \text{ 数}$$

※2：平均得点の算出例（全体結果、「市・区の窓口対応」の場合）

$$(352 \times 3 + 85 \times 2 + 63 \times 1) \div 1,964 \doteq 0.66$$

平均得点 = 0.66ポイント

【平均得点】をみると、「ごみ処理・リサイクル」が0.76ポイントで最も高い。

以下、「市・区の窓口対応」が0.66ポイント、「スポーツの振興」が0.26ポイント、「文化・芸術の振興」が0.23ポイント、「公共下水道の整備」が0.18ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを136頁に掲載した。(表4-1参照)

図4-1 新潟市として良くなっているもの<平均得点> (全体)

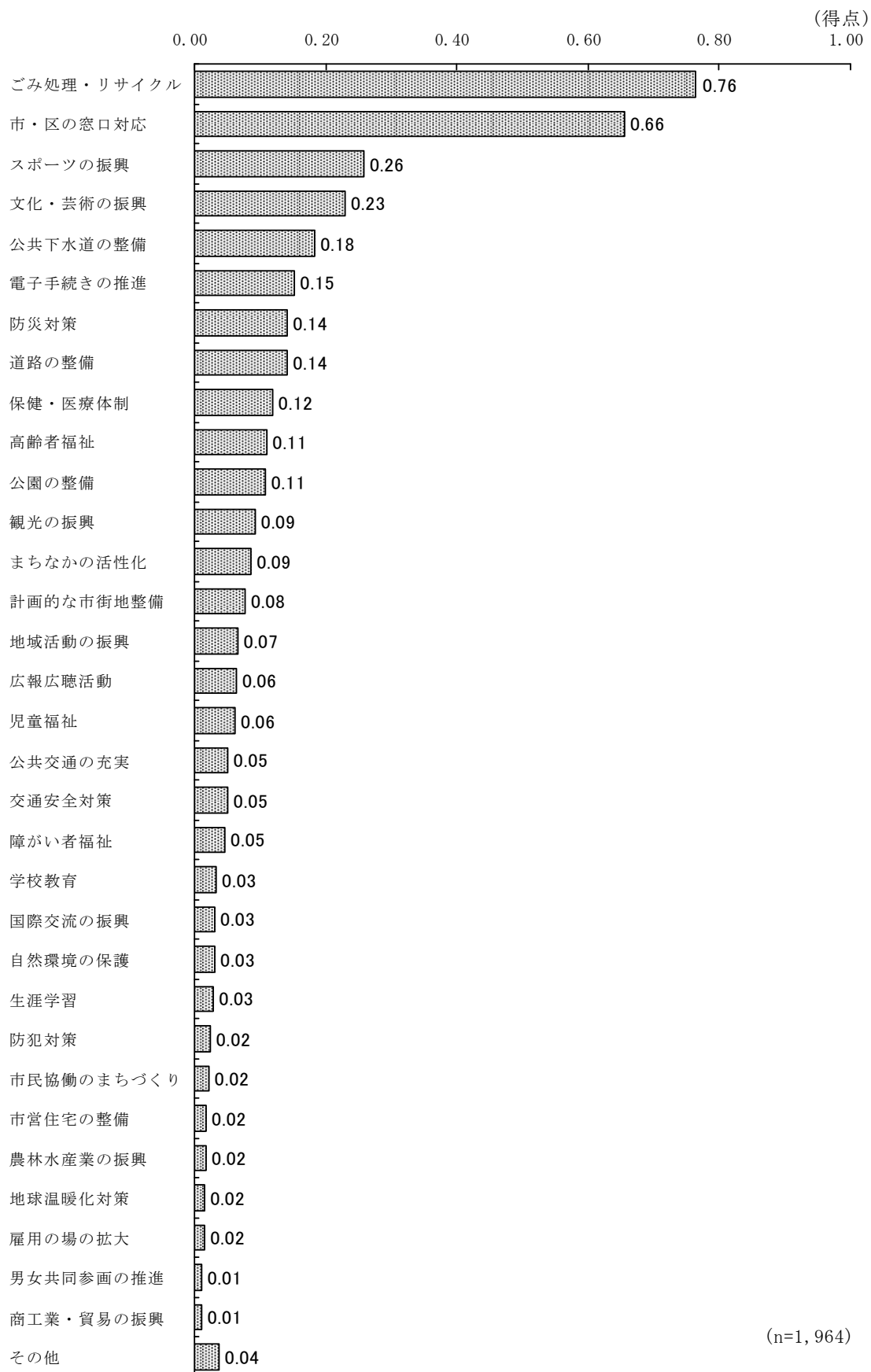


表4-1 新潟市として良くなっているもの<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	市・区の窓口対応 (0.69ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.83ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.51ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.63ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.83ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.68ポイント)	市・区の窓口対応 (0.64ポイント)	市・区の窓口対応 (0.45ポイント)	市・区の窓口対応 (0.60ポイント)	市・区の窓口対応 (0.66ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.30ポイント)	文化・芸術の振興 (0.27ポイント)	スポーツの振興 (0.33ポイント)	スポーツの振興 (0.38ポイント)	文化・芸術の振興 (0.33ポイント)
4位	公共下水道の整備 (0.22ポイント)	スポーツの振興 (0.23ポイント)	道路の整備 (0.26ポイント)	文化・芸術の振興 (0.24ポイント)	スポーツの振興 (0.30ポイント)
5位	文化・芸術の振興 電子手続きの推進 (0.18ポイント)	公共下水道の整備 (0.15ポイント)	防災対策 (0.25ポイント)	道路の整備 (0.23ポイント)	道路の整備 (0.19ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	ごみ処理・リサイクル (0.90ポイント)	市・区の窓口対応 (0.87ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.83ポイント)	市・区の窓口対応 (0.67ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.59ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.86ポイント)	市・区の窓口対応 (0.72ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.61ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.29ポイント)	スポーツの振興 (0.33ポイント)	公共下水道の整備 (0.22ポイント)	公共下水道の整備 (0.17ポイント)
4位	文化・芸術の振興 公共下水道の整備 (0.24ポイント)	文化・芸術の振興 (0.26ポイント)	文化・芸術の振興 (0.19ポイント)	高齢者福祉 (0.15ポイント)
5位		公共下水道の整備 (0.24ポイント)	防災対策 (0.17ポイント)	保健・医療体制 文化・芸術の振興 (0.13ポイント)

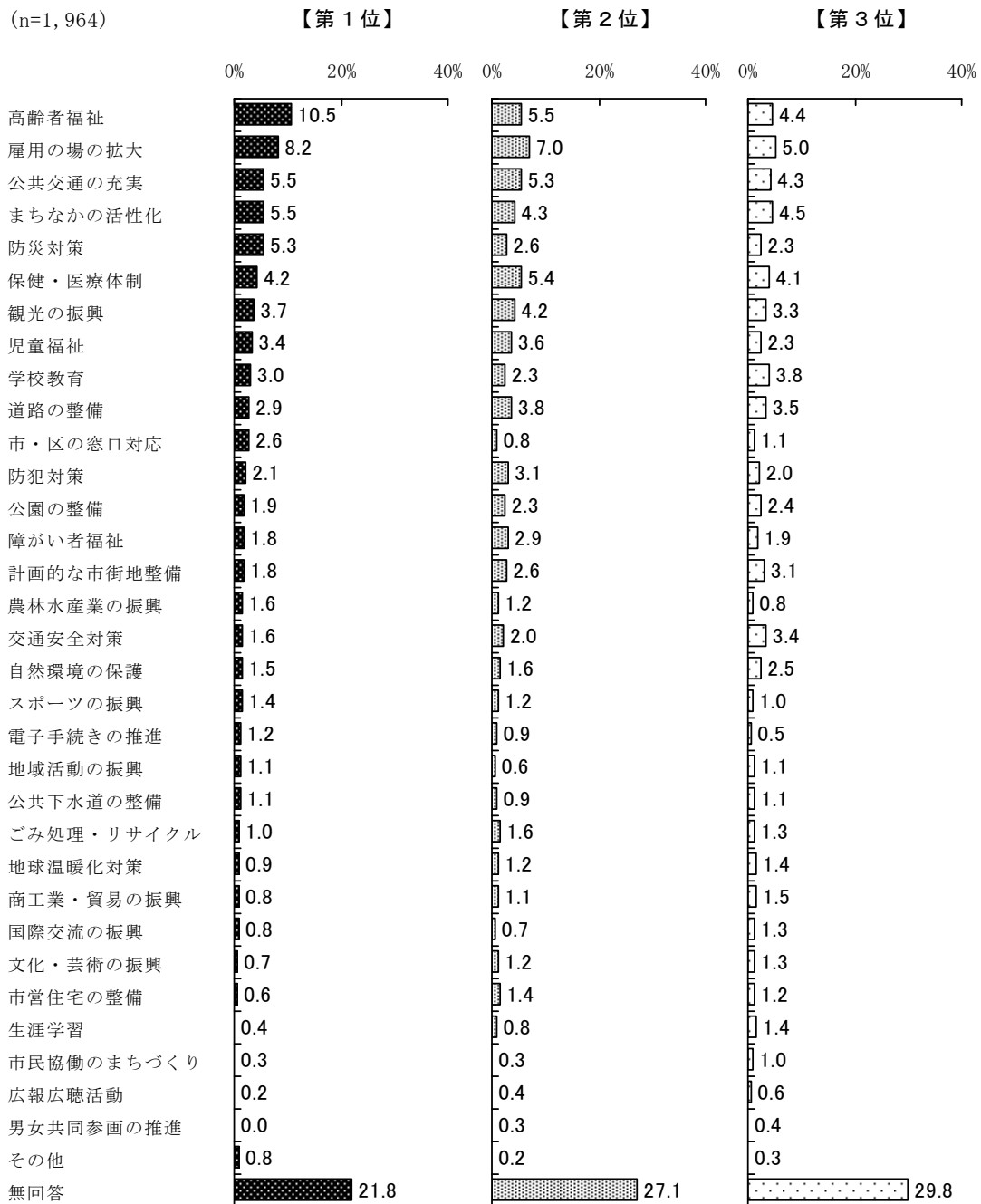
## (2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問35 新潟市は平成19年4月に政令市に移行したことにより、身近な行政サービスを行う8つの区役所を設置し、6年が経過しました。

市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



**【全体結果】**

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(10.5%)が最も高い。以下、「雇用の場の拡大」(8.2%)、「公共交通の充実」「まちなかの活性化」(各 5.5%)、「防災対策」(5.3%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「雇用の場の拡大」(7.0%)が最も高い。以下、「高齢者福祉」(5.5%)、「保健・医療体制」(5.4%)、「公共交通の充実」(5.3%)、「まちなかの活性化」(4.3%)と続いている。

【第3位回答】の割合も、【第2位回答】と同じく「雇用の場の拡大」(5.0%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(4.5%)、「高齢者福祉」(4.4%)、「公共交通の充実」(4.3%)、「保健・医療体制」(4.1%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が21.8%、第2位が27.1%、第3位が29.8%で、いずれの【回答順位】においても、その割合が高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図 4-2 参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」が0.47ポイントと最も高い。以下、「雇用の場の拡大」が0.44ポイント、「公共交通の充実」が0.32ポイント、「まちなかの活性化」が0.30ポイント、「保健・医療体制」が0.27ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを140頁に掲載した。(表 4-2 参照)

図4-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの<平均得点> (全体)

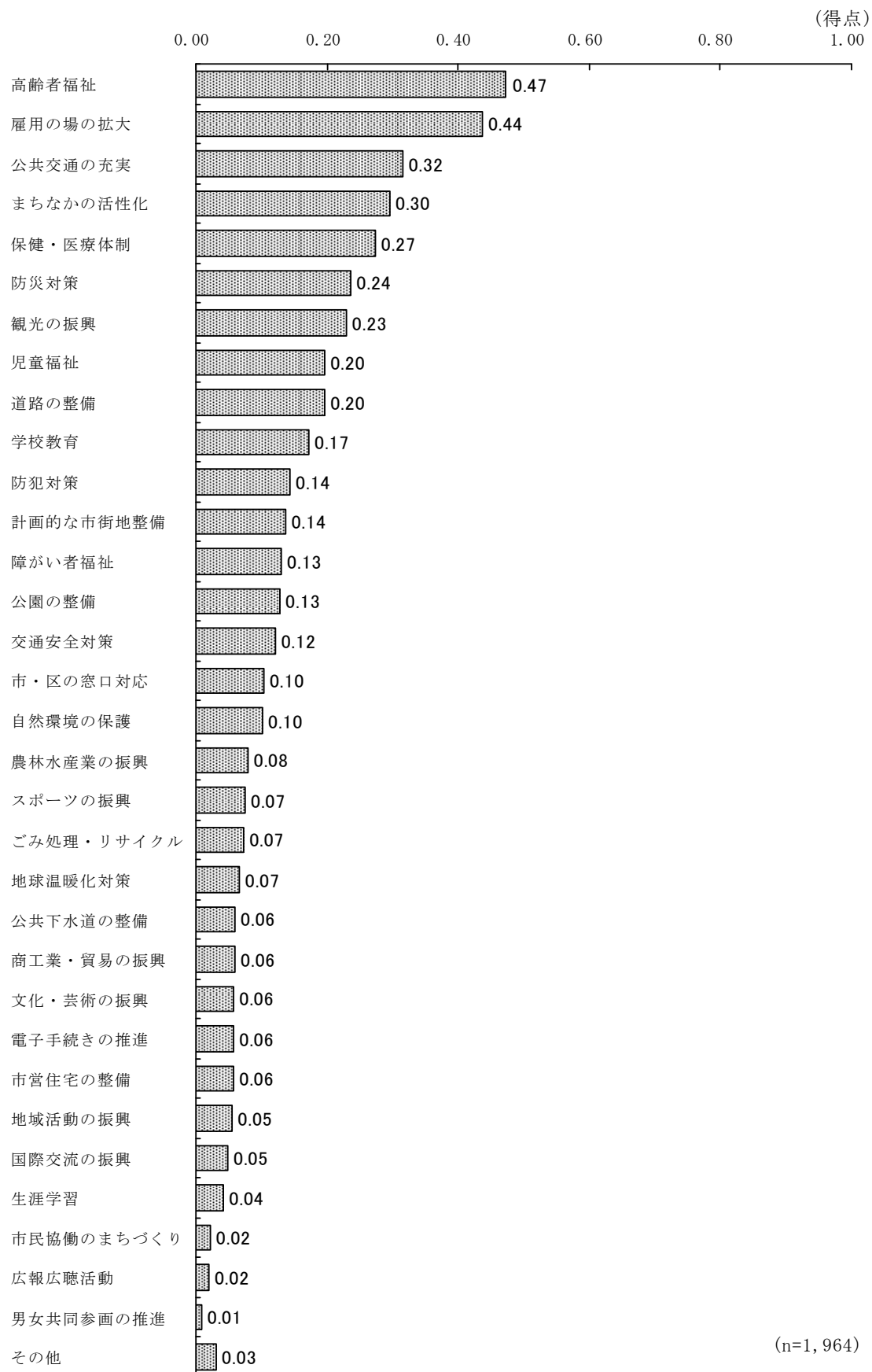


表 4-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男 性	女 性	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳
1位	高齢者福祉 (0.48 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.49 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.61 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.48 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.46 ポイント)
2位	雇用の場の拡大 (0.38 ポイント)	高齢者福祉 (0.47 ポイント)	公共交通の充実 (0.45 ポイント)	公共交通の充実 (0.46 ポイント)	高齢者福祉 (0.45 ポイント)
3位	公共交通の充実 (0.31 ポイント)	まちなかの活性化 (0.33 ポイント)	観光の振興 (0.43 ポイント)	保健・医療体制 まちなかの活性化 (0.34 ポイント)	公共交通の充実 (0.42 ポイント)
4位	まちなかの活性化 (0.25 ポイント)	公共交通の充実 (0.33 ポイント)	まちなかの活性化 (0.31 ポイント)		保健・医療体制 (0.31 ポイント)
5位	観光の振興 (0.24 ポイント)	保健・医療体制 (0.31 ポイント)	学校教育 (0.30 ポイント)	学校教育 (0.33 ポイント)	児童福祉 (0.30 ポイント)

	50～59 歳	60～64 歳	65～74 歳	75 歳以上
1位	雇用の場の拡大 (0.60 ポイント)	高齢者福祉 (0.53 ポイント)	高齢者福祉 (0.59 ポイント)	高齢者福祉 (0.57 ポイント)
2位	高齢者福祉 (0.56 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.43 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.35 ポイント)	まちなかの活性化 (0.26 ポイント)
3位	まちなかの活性化 公共交通の充実 (0.32 ポイント)	まちなかの活性化 (0.31 ポイント)	防災対策 まちなかの活性化 (0.27 ポイント)	防災対策 (0.23 ポイント)
4位		公共交通の充実 (0.30 ポイント)		保健・医療体制 (0.20 ポイント)
5位	保健・医療体制 (0.30 ポイント)	保健・医療体制 (0.29 ポイント)	保健・医療体制 (0.26 ポイント)	雇用の場の拡大 (0.19 ポイント)



### (3) 区として良くなっているもの

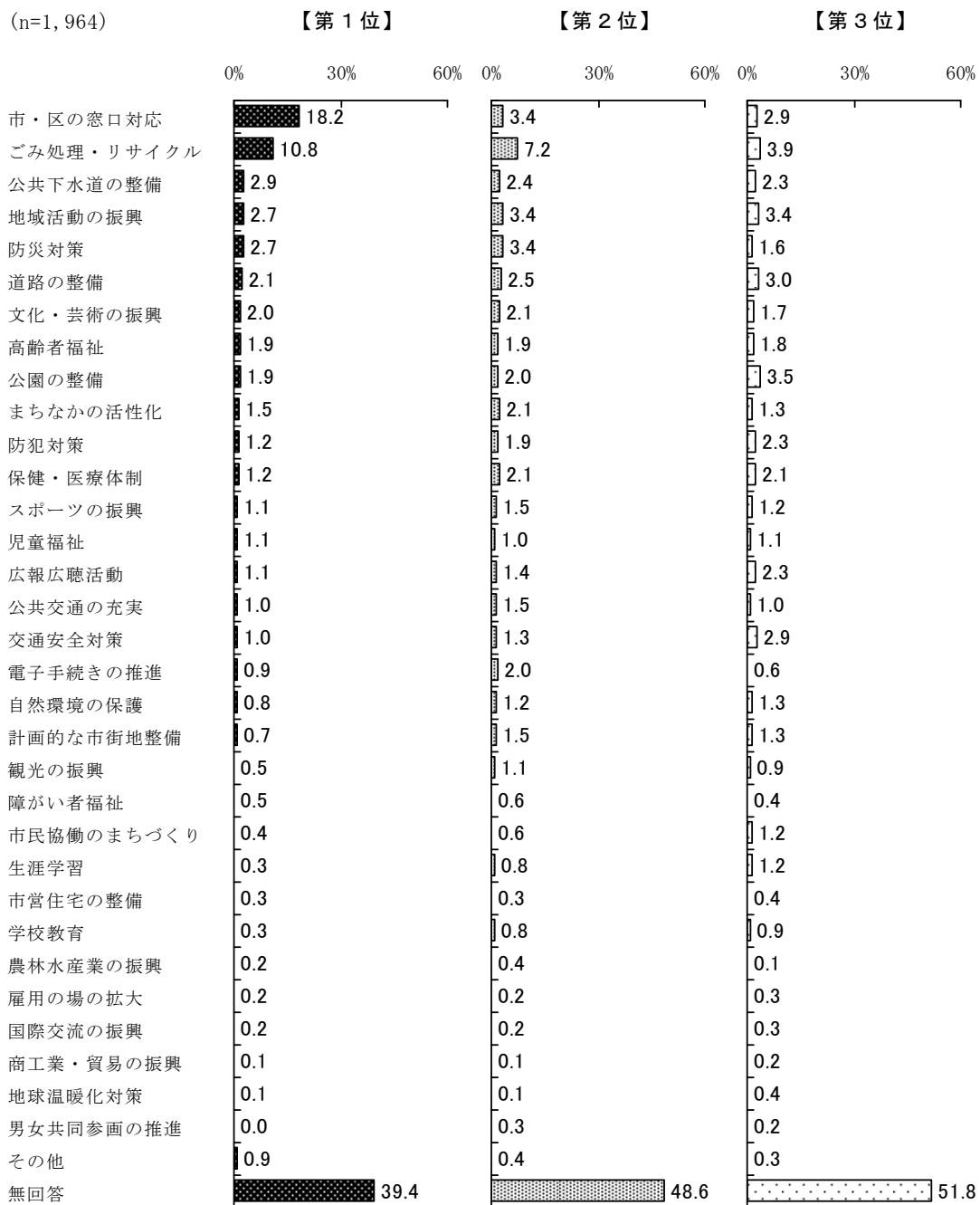
問35 新潟市は平成19年4月に政令市に移行したことにより、身近な行政サービスを行う8つの区役所を設置し、6年が経過しました。

市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

#### ③「区として良くなっているもの」

を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)

(n=1,964)



— 「市・区の窓口対応」や「ごみ処理・リサイクル」への評価が高い —

**【全体結果】**

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(18.2%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(10.8%)、「公共下水道の整備」(2.9%)、「地域活動の振興」「防災対策」(各2.7%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(7.2%)が最も高い。以下、「市・区の窓口対応」「地域活動の振興」「防災対策」(各3.4%)、「道路の整備」(2.5%)と続いている。

【第3位回答】の割合も、【第2位回答】と同じく「ごみ処理・リサイクル」(3.9%)が最も高い。以下、「公園の整備」(3.5%)、「地域活動の振興」(3.4%)、「道路の整備」(3.0%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が39.4%、第2位が48.6%、第3位が51.8%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-3参照)

平均得点が高いほど、「区として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」(0.64ポイント)や「ごみ処理・リサイクル」(0.51ポイント)が高い。以下、「地域活動の振興」が0.18ポイント、「防災対策」が0.17ポイント、「公共下水道の整備」が0.16ポイント、「道路の整備」が0.15ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを144～145頁に掲載した。(表4-3～表4-4参照)

図4-3 区として良くなっているもの<平均得点> (全体)

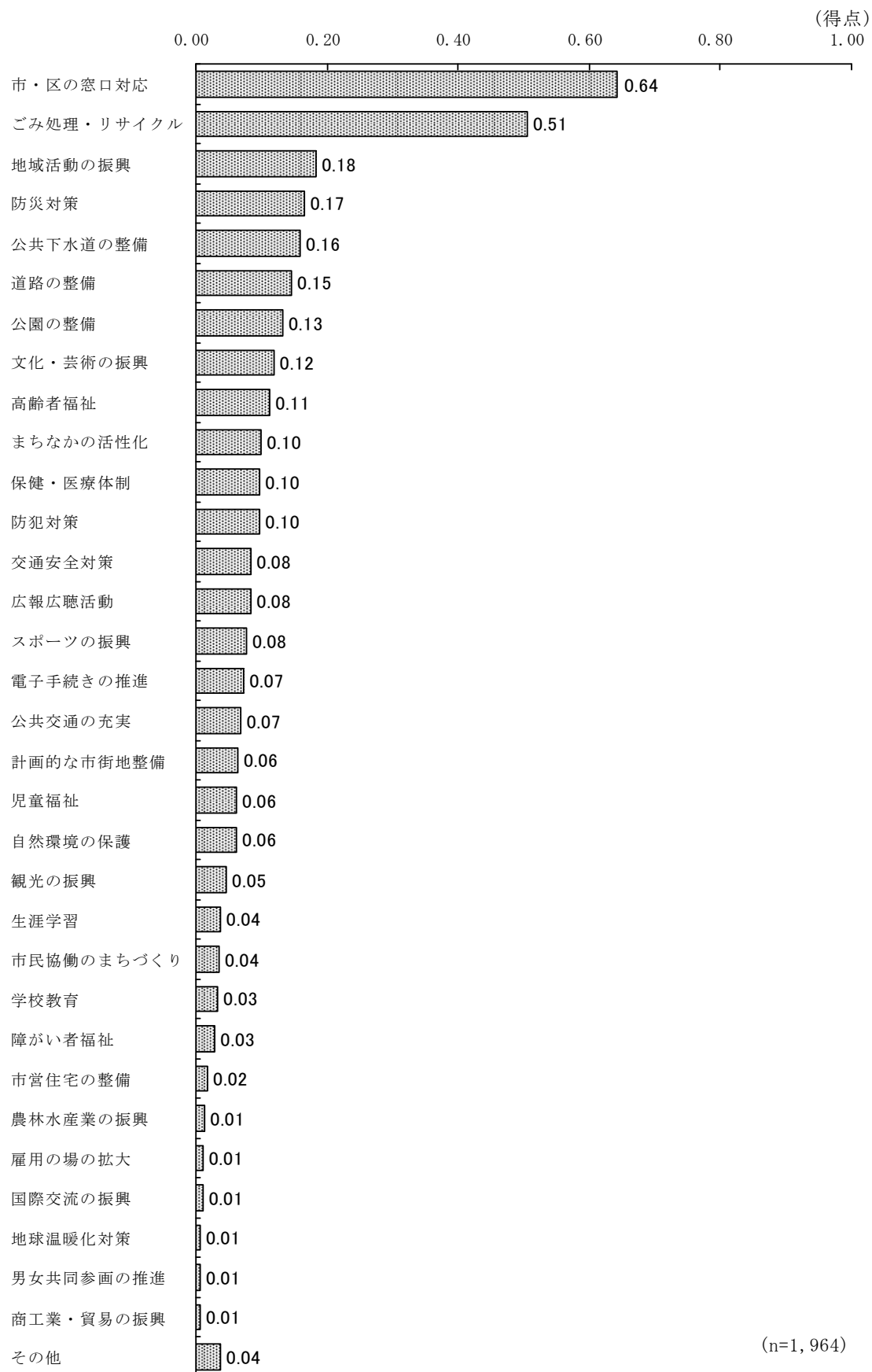


表4-3 区として良くなっているもの<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	市・区の窓口対応 (0.72ポイント)	市・区の窓口対応 (0.58ポイント)	市・区の窓口対応 (0.63ポイント)	市・区の窓口対応 (0.65ポイント)	市・区の窓口対応 (0.70ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.48ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.53ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.35ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.51ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.57ポイント)
3位	地域活動の振興 (0.20ポイント)	地域活動の振興 (0.17ポイント)	まちなかの活性化 (0.27ポイント)	地域活動の振興 (0.24ポイント)	道路の整備 (0.20ポイント)
4位	公共下水道の整備 (0.18ポイント)	防災対策 (0.16ポイント)	道路の整備 (0.25ポイント)	防災対策 (0.19ポイント)	公共下水道の整備 (0.19ポイント)
5位	防災対策 (0.17ポイント)	道路の整備 (0.15ポイント)	防災対策 (0.23ポイント)	計画的な市街地整備 道路の整備 (0.15ポイント)	地域活動の振興 文化・芸術の振興 (0.16ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	市・区の窓口対応 (0.64ポイント)	市・区の窓口対応 (0.84ポイント)	市・区の窓口対応 (0.59ポイント)	市・区の窓口対応 (0.49ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.55ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.50ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.51ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.47ポイント)
3位	公共下水道の整備 (0.24ポイント)	地域活動の振興 (0.26ポイント)	防災対策 (0.23ポイント)	防災対策 (0.16ポイント)
4位	地域活動の振興 (0.23ポイント)	電子手続きの推進 (0.15ポイント)	公共下水道の整備 (0.22ポイント)	保健・医療体制 地域活動の振興 (0.13ポイント)
5位	公園の整備 (0.14ポイント)	防災対策 公園の整備 交通安全対策 (0.12ポイント)	公園の整備 (0.18ポイント)	

表4-4 区として良くなっているもの<区別平均得点の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	市・区の窓口対応 (0.64ポイント)	市・区の窓口対応 (0.88ポイント)	市・区の窓口対応 (0.58ポイント)	市・区の窓口対応 (0.55ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.46ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.44ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.52ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.39ポイント)
3位	地域活動の振興 (0.26ポイント)	地域活動の振興 (0.20ポイント)	道路の整備 (0.19ポイント)	文化・芸術の振興 (0.21ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.24ポイント)	公共下水道の整備 (0.18ポイント)	まちなかの活性化 (0.17ポイント)	公共交通の充実 公園の整備 (0.19ポイント)
5位	高齢者福祉 (0.20ポイント)	防災対策 (0.17ポイント)	防災対策 (0.15ポイント)	

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	市・区の窓口対応 (0.57ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.55ポイント)	市・区の窓口対応 (0.69ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.66ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.53ポイント)	市・区の窓口対応 (0.46ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.54ポイント)	市・区の窓口対応 (0.51ポイント)
3位	防災対策 (0.23ポイント)	防災対策 (0.29ポイント)	地域活動の振興 (0.23ポイント)	防災対策 (0.23ポイント)
4位	文化・芸術の振興 公共下水道の整備 (0.22ポイント)	スポーツの振興 (0.20ポイント)	公共下水道の整備 (0.20ポイント)	地域活動の振興 (0.19ポイント)
5位		高齢者福祉 (0.19ポイント)	防災対策 公園の整備 (0.16ポイント)	公園の整備 道路の整備 (0.14ポイント)

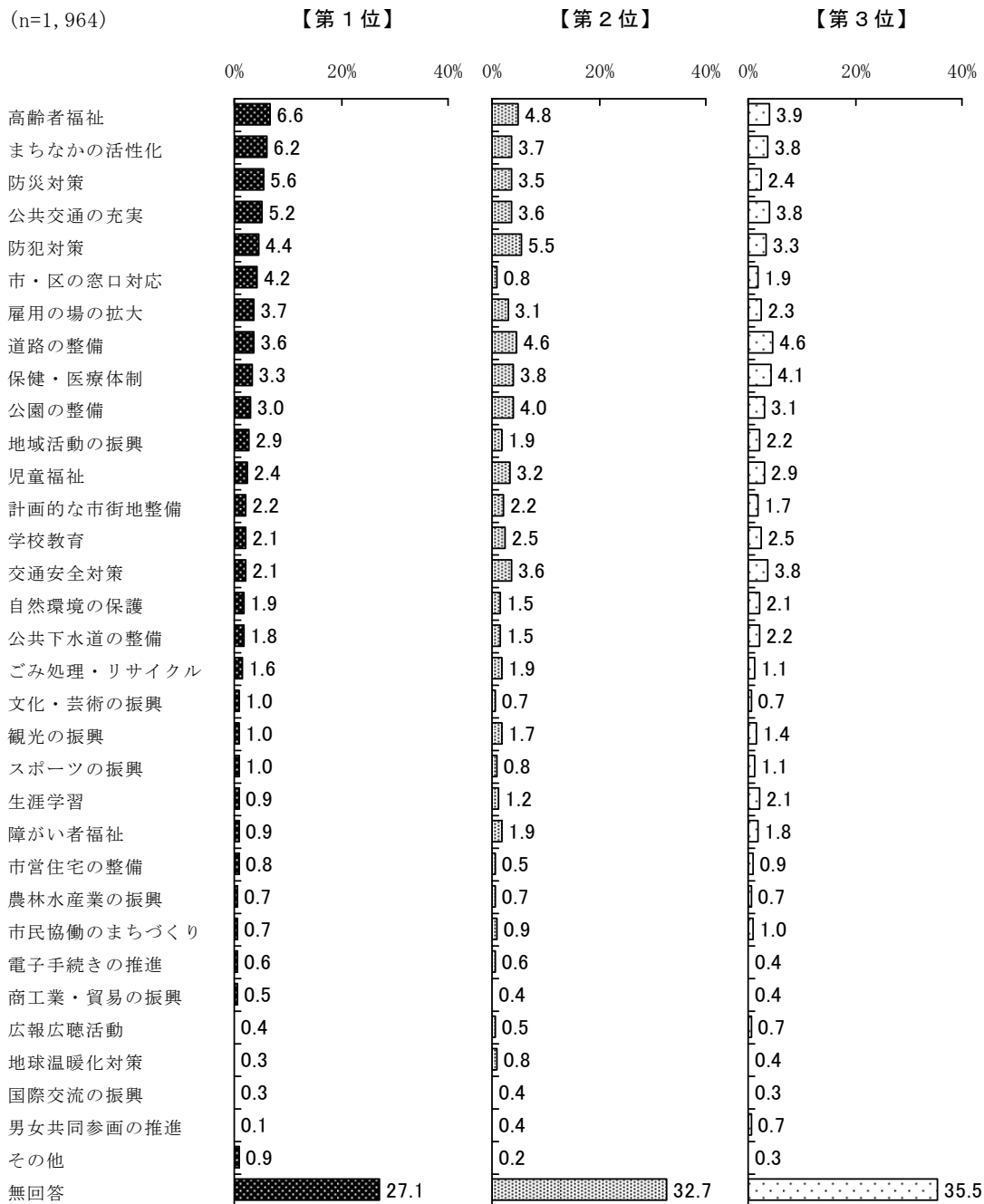
#### (4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問35 新潟市は平成19年4月に政令市に移行したことにより、身近な行政サービスを行う8つの区役所を設置し、6年が経過しました。

市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

#### ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



**【全体結果】**

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(6.6%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(6.2%)、「防災対策」(5.6%)、「公共交通の充実」(5.2%)、「防犯対策」(4.4%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「防犯対策」(5.5%)が最も高い。以下、「高齢者福祉」(4.8%)、「道路の整備」(4.6%)、「公園の整備」(4.0%)、「保健・医療体制」(3.8%)と続いている。

【第3位回答】の割合は、「道路の整備」(4.6%)が最も高い。以下、「保健・医療体制」(4.1%)、「高齢者福祉」(3.9%)、「まちなかの活性化」「公共交通の充実」「交通安全対策」(各3.8%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が27.1%、第2位が32.7%、第3位が35.5%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として今後もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-4参照)

平均得点が高いほど、「区として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」(0.33ポイント)が高い。以下、「まちなかの活性化」が0.30ポイント、「防犯対策」が0.28ポイント、「公共交通の充実」が0.27ポイント、「防災対策」が0.26ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを149～150頁に掲載した。(表4-5～表4-6参照)

図4-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの<平均得点> (全体)

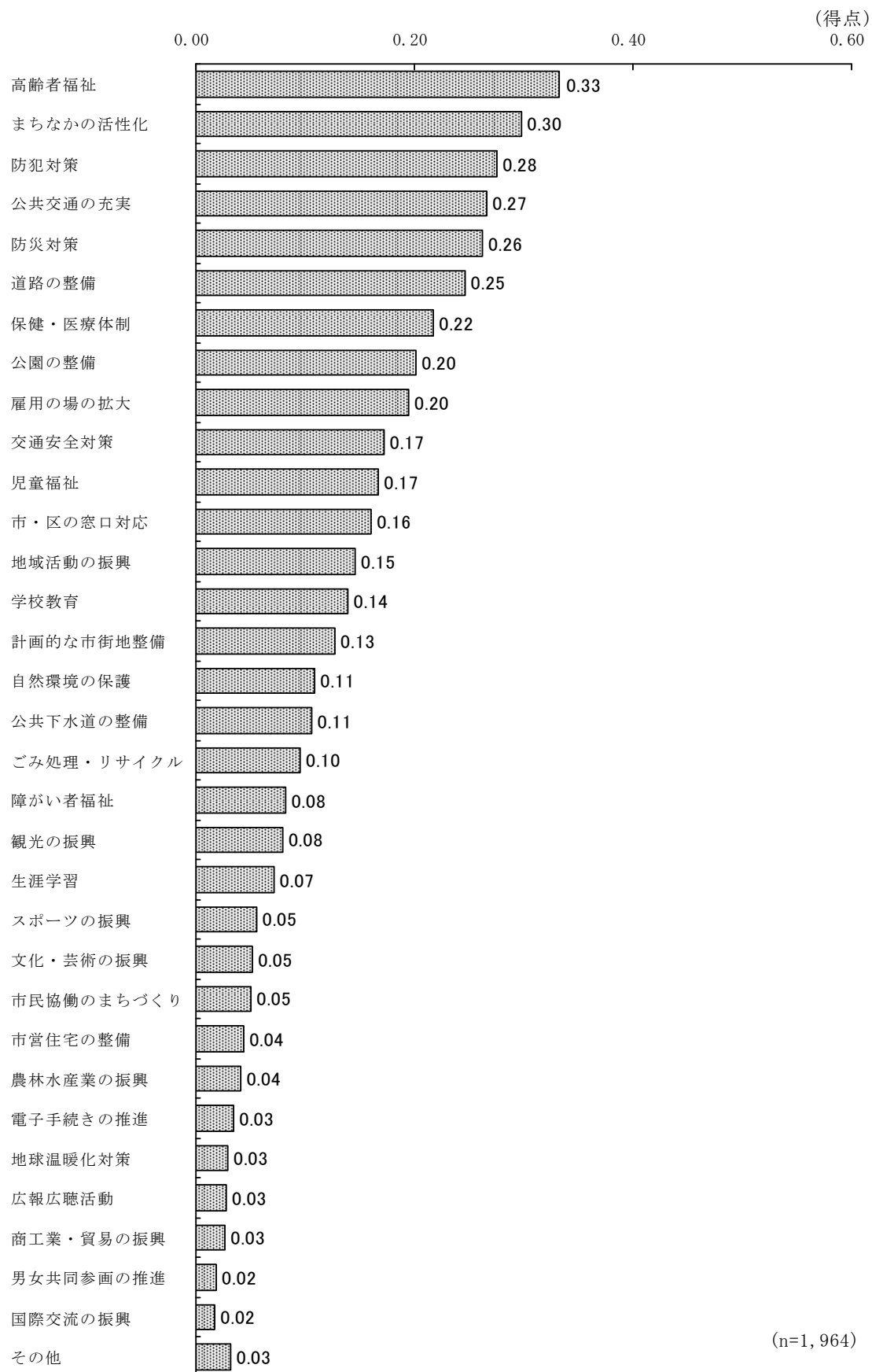




表4-5 区として今後もっと力を入れてほしいもの

<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	高齢者福祉 まちなかの活性化 (0.36ポイント)	高齢者福祉 (0.36ポイント)	公共交通の充実 (0.39ポイント)	まちなかの活性化 (0.40ポイント)	まちなかの活性化 公共交通の充実 (0.36ポイント)
2位	(0.30ポイント)	まちなかの活性化	まちなかの活性化 (0.34ポイント)	防犯対策 (0.39ポイント)	
3位	道路の整備 (0.28ポイント)	公共交通の充実 防犯対策 (0.30ポイント)	市・区の窓口対応 雇用の場の拡大 (0.30ポイント)	公共交通の充実 (0.33ポイント)	高齢者福祉 (0.32ポイント)
4位	防災対策 (0.26ポイント)	防災対策		保健・医療体制 児童福祉 学校教育	防犯対策 (0.30ポイント)
5位	防犯対策 (0.25ポイント)	防災対策 (0.27ポイント)	防災対策 (0.29ポイント)	(0.31ポイント)	交通安全対策 (0.28ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	高齢者福祉 (0.46ポイント)	高齢者福祉 (0.44ポイント)	高齢者福祉 (0.34ポイント)	高齢者福祉 (0.36ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.29ポイント)	まちなかの活性化 道路の整備 (0.29ポイント)	防災対策 (0.30ポイント)	防災対策 (0.26ポイント)
3位	道路の整備 (0.28ポイント)		防犯対策 (0.28ポイント)	道路の整備 (0.22ポイント)
4位	防犯対策 (0.26ポイント)	地域活動の振興 防犯対策 (0.26ポイント)	まちなかの活性化 (0.26ポイント)	保健・医療体制 まちなかの活性化 (0.20ポイント)
5位	保健・医療体制 公園の整備 公共交通の充実 (0.24ポイント)		公共交通の充実 (0.24ポイント)	

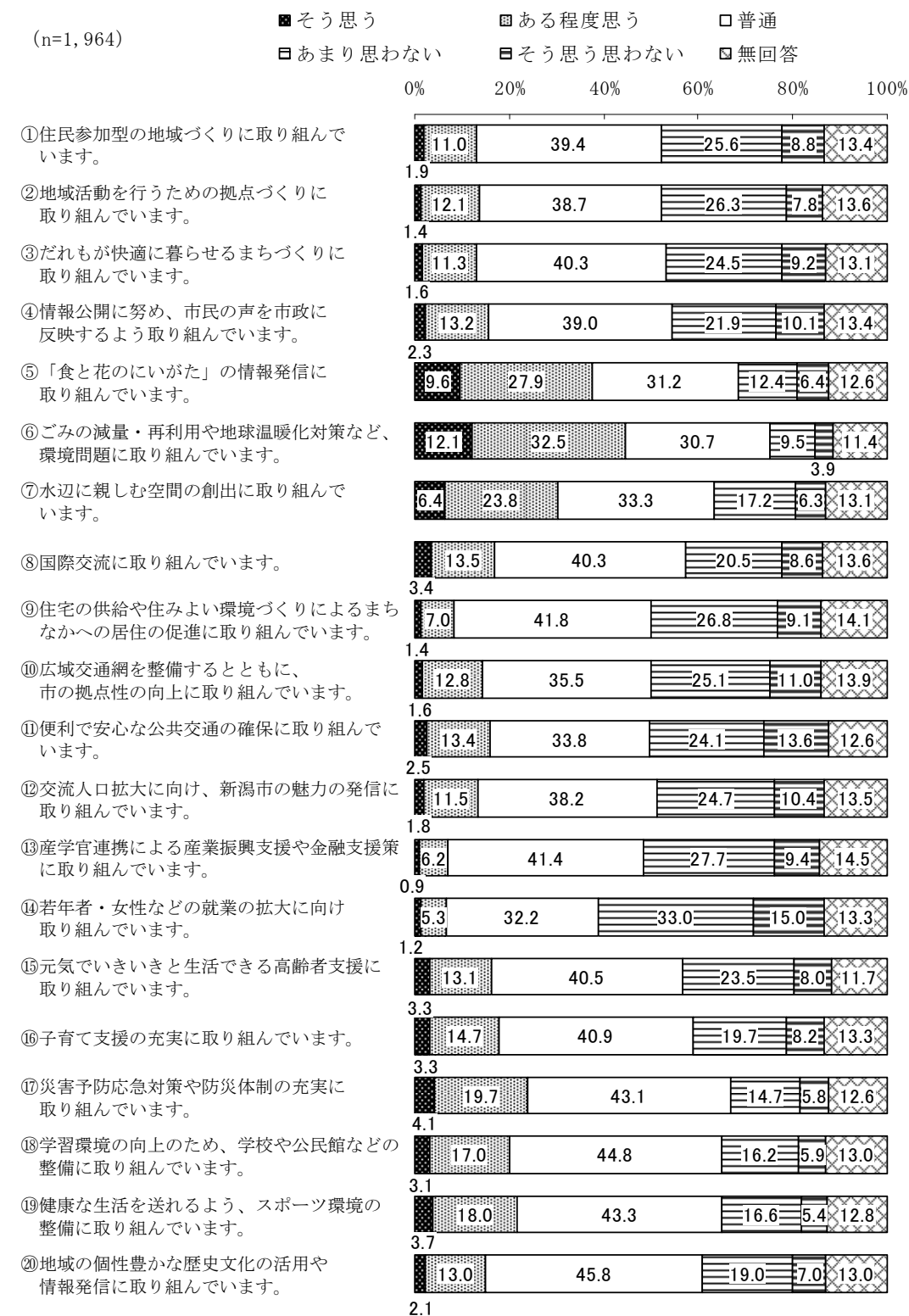
表4-6 区として今後もっと力を入れてほしいもの<区別平均得点の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	公共交通の充実 (0.33ポイント)	防犯対策 (0.55ポイント)	まちなかの活性化 (0.39ポイント)	公共交通の充実 高齢者福祉 (0.40ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.29ポイント)	高齢者福祉 (0.35ポイント)	高齢者福祉 (0.37ポイント)	
3位	防犯対策 (0.24ポイント)	防災対策 (0.32ポイント)	防災対策 (0.30ポイント)	防犯対策 (0.35ポイント)
4位	防災対策 道路の整備 高齢者福祉 (0.23ポイント)	公園の整備 道路の整備 (0.23ポイント)	公共交通の充実 (0.26ポイント)	まちなかの活性化 (0.31ポイント)
5位			防犯対策 (0.25ポイント)	保健・医療体制 道路の整備 (0.26ポイント)

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	まちなかの活性化 (0.48ポイント)	公共交通の充実 (0.63ポイント)	高齢者福祉 (0.35ポイント)	道路の整備 (0.35ポイント)
2位	道路の整備 (0.36ポイント)	まちなかの活性化 (0.39ポイント)	防災対策 (0.32ポイント)	雇用の場の拡大 (0.34ポイント)
3位	高齢者福祉 (0.34ポイント)	学校教育 (0.31ポイント)	保健・医療体制 (0.29ポイント)	保健・医療体制 (0.29ポイント)
4位	保健・医療体制 (0.32ポイント)	高齢者福祉 雇用の場の拡大 (0.27ポイント)	道路の整備 (0.28ポイント)	公共交通の充実 (0.28ポイント)
5位	公園の整備 (0.26ポイント)		防犯対策 (0.26ポイント)	高齢者福祉 (0.26ポイント)

## 5. 市の取り組みに対する感想

問36 政令市に移行した平成19年度に、「新・新潟市総合計画」をスタートして6年が経過しました。この計画に基づき進めているお主な取り組みについてお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つずつ)



## 「環境問題への取り組み」が高い評価を得ている

### 【全体結果】

『市の取り組み状況』への評価（感想）について、「そう思う」の割合は、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」（12.1%）が最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑤「食と花のいがた」の情報発信に取り組んでいます。」（9.6%）、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」（6.4%）の順で高くなっている。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」（15.0%）が最も高い。以下、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」（13.6%）、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」（11.0%）、「⑫交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んでいます。」（10.4%）、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。」（10.1%）の順で高くなっている。

また、評価（感想）について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

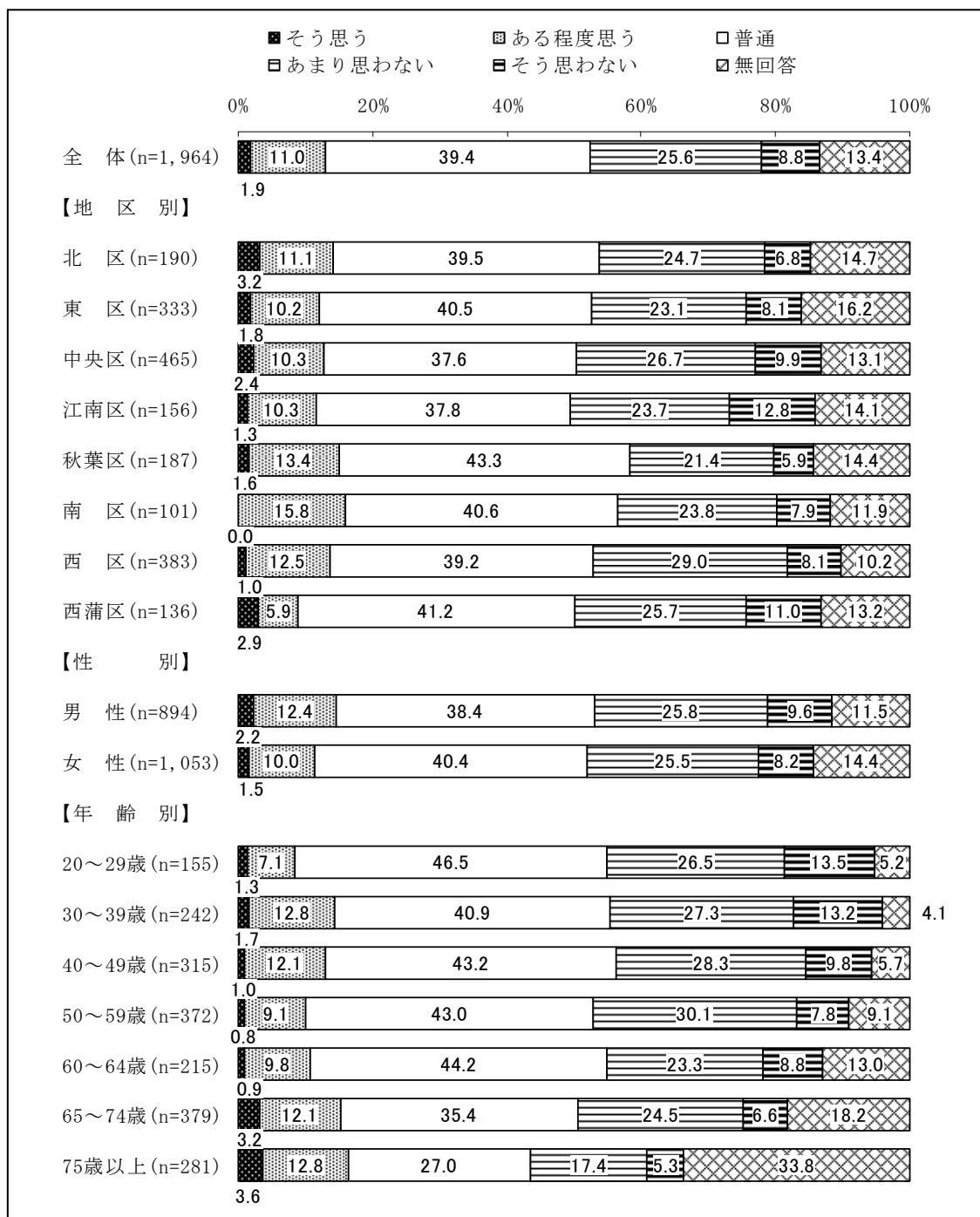
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」（44.6%）の割合が最も高い。以下、「⑤「食と花のいがた」の情報発信に取り組んでいます。」（37.4%）、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」（30.1%）が3割台で、「⑰災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んでいます。」（23.8%）、「⑲健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。」（21.7%）、「⑱学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んでいます。」（20.1%）が2割台で続いている。

一方で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」（48.0%）が最も高い。以下、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」（37.7%）、「⑬産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んでいます。」（37.1%）、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」（36.2%）が4割弱で続いている。

### 【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 住民参加型の地域づくりに取り組んでいます。

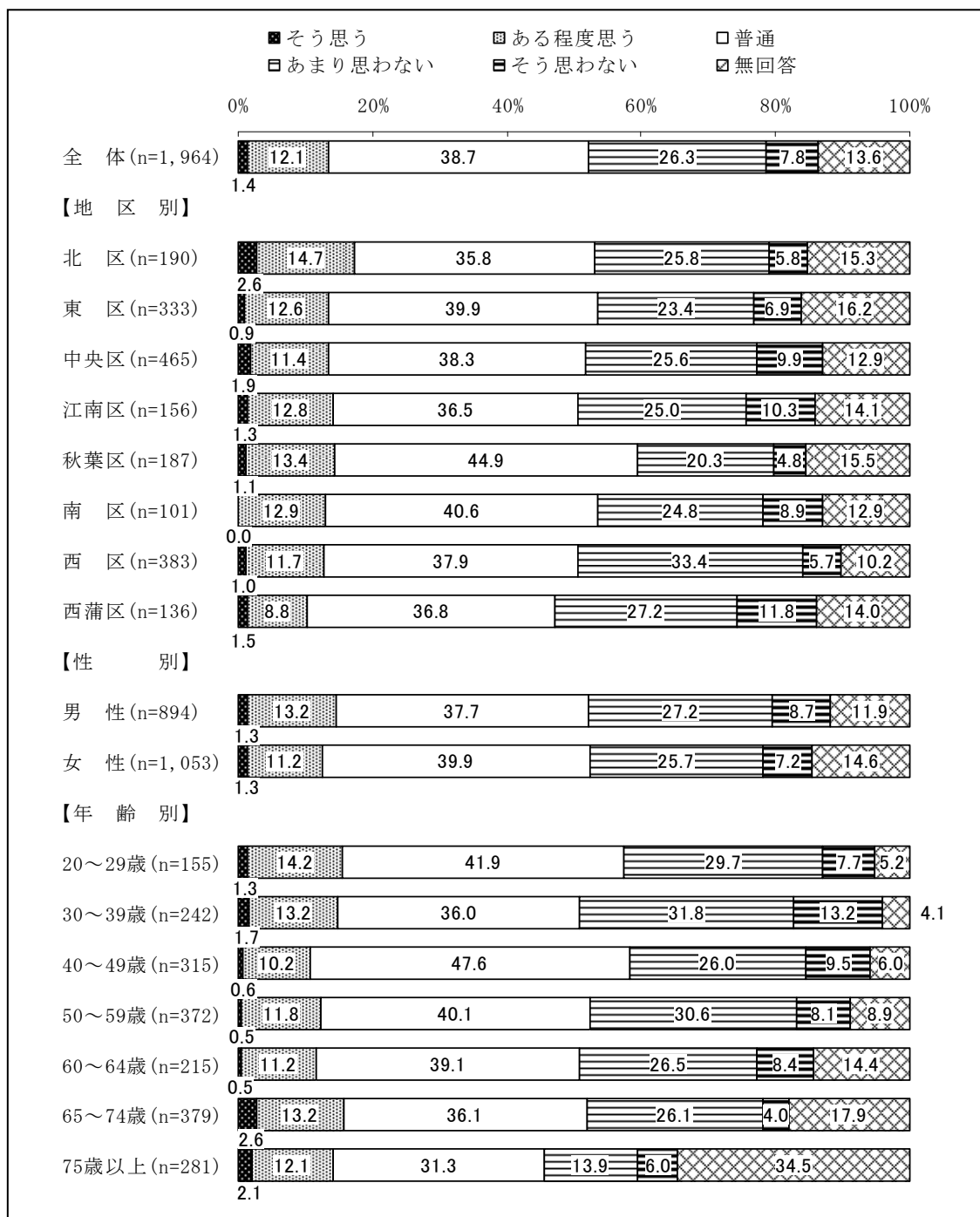


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（37.1%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（40.5%）と20代（40.0%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んでいます。

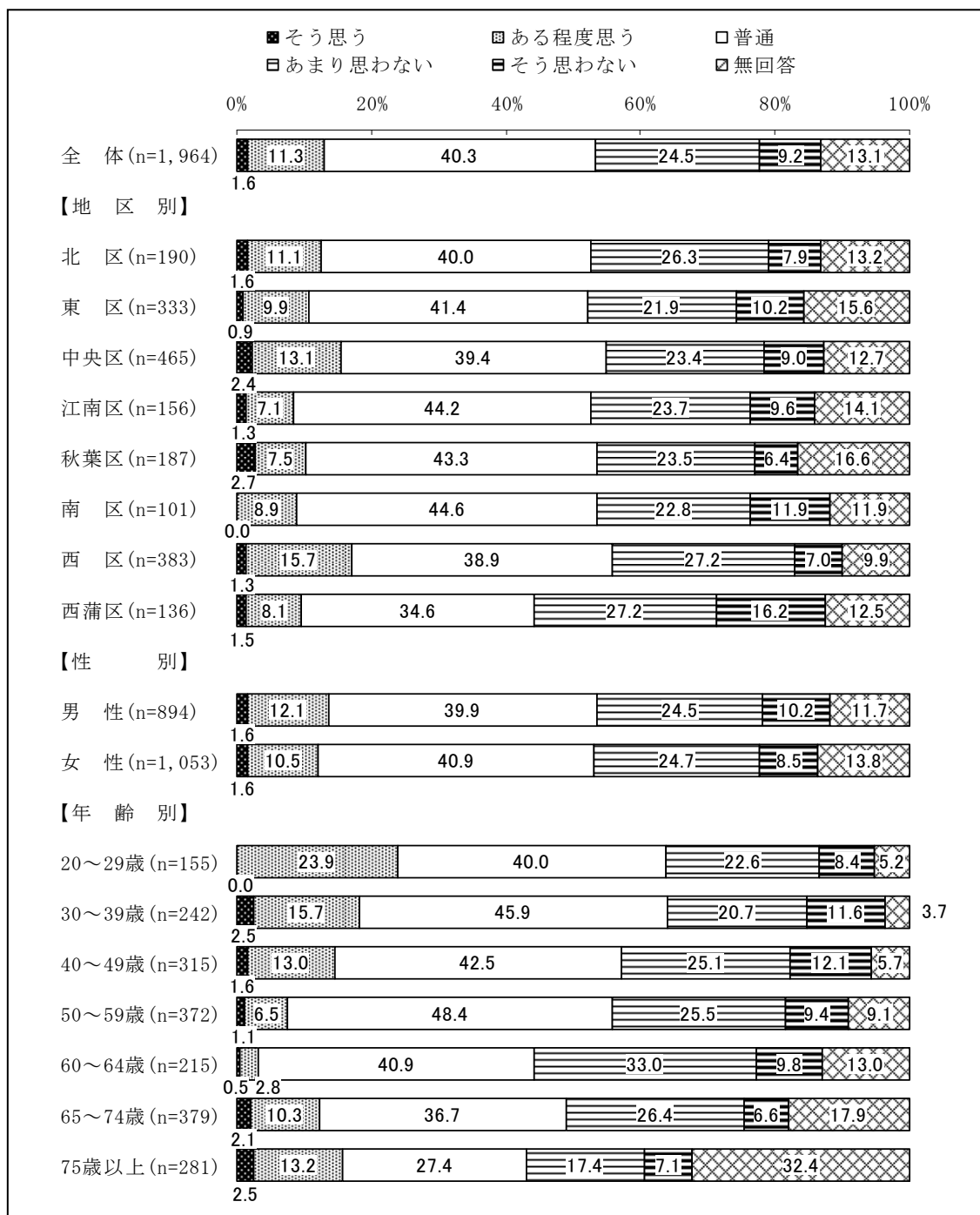


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（39.2%）と西蒲区（39.0%）が高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（45.0%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

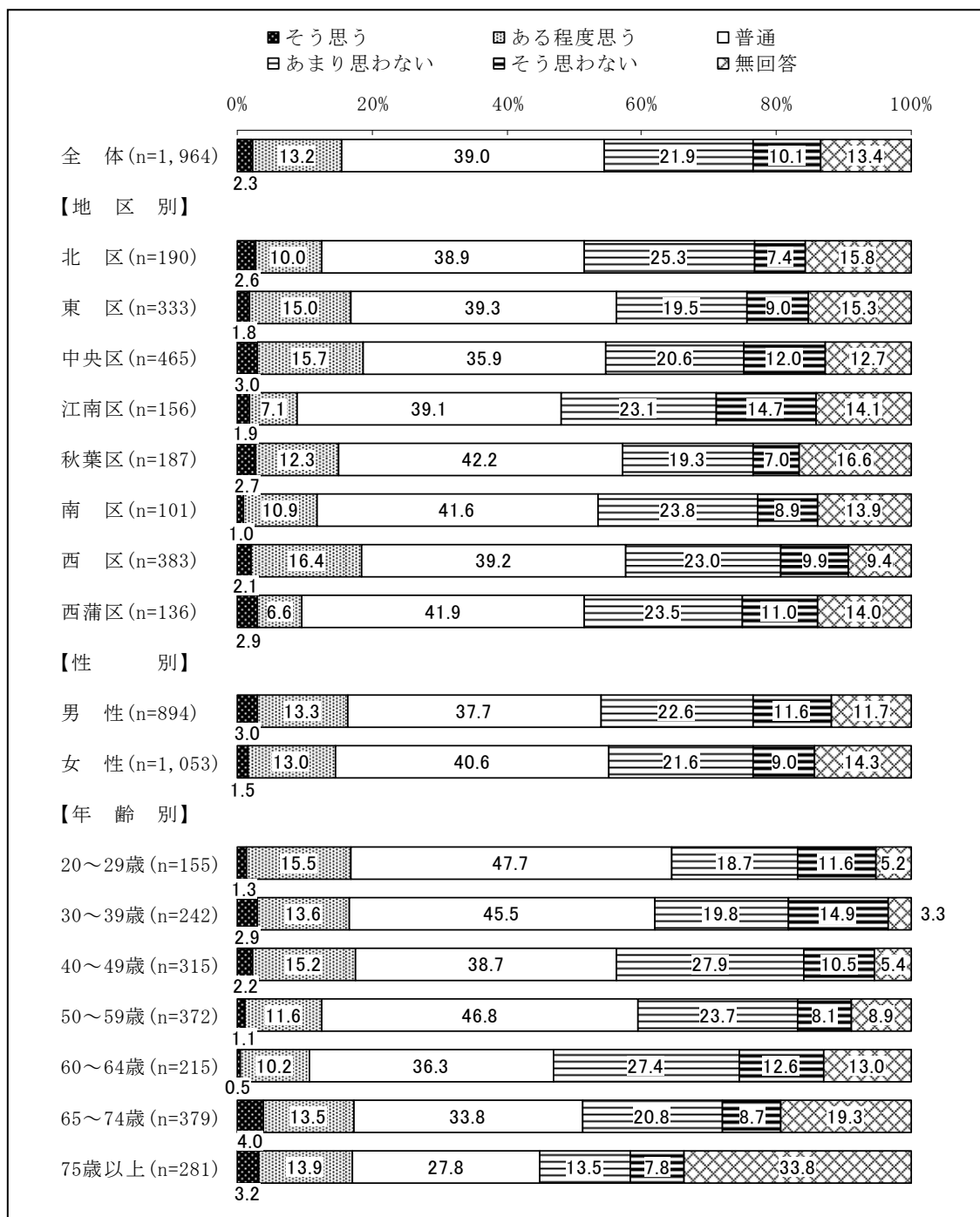


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（43.4%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60~64歳（42.8%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、20代（23.9%）が比較的高くなっている。

④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。



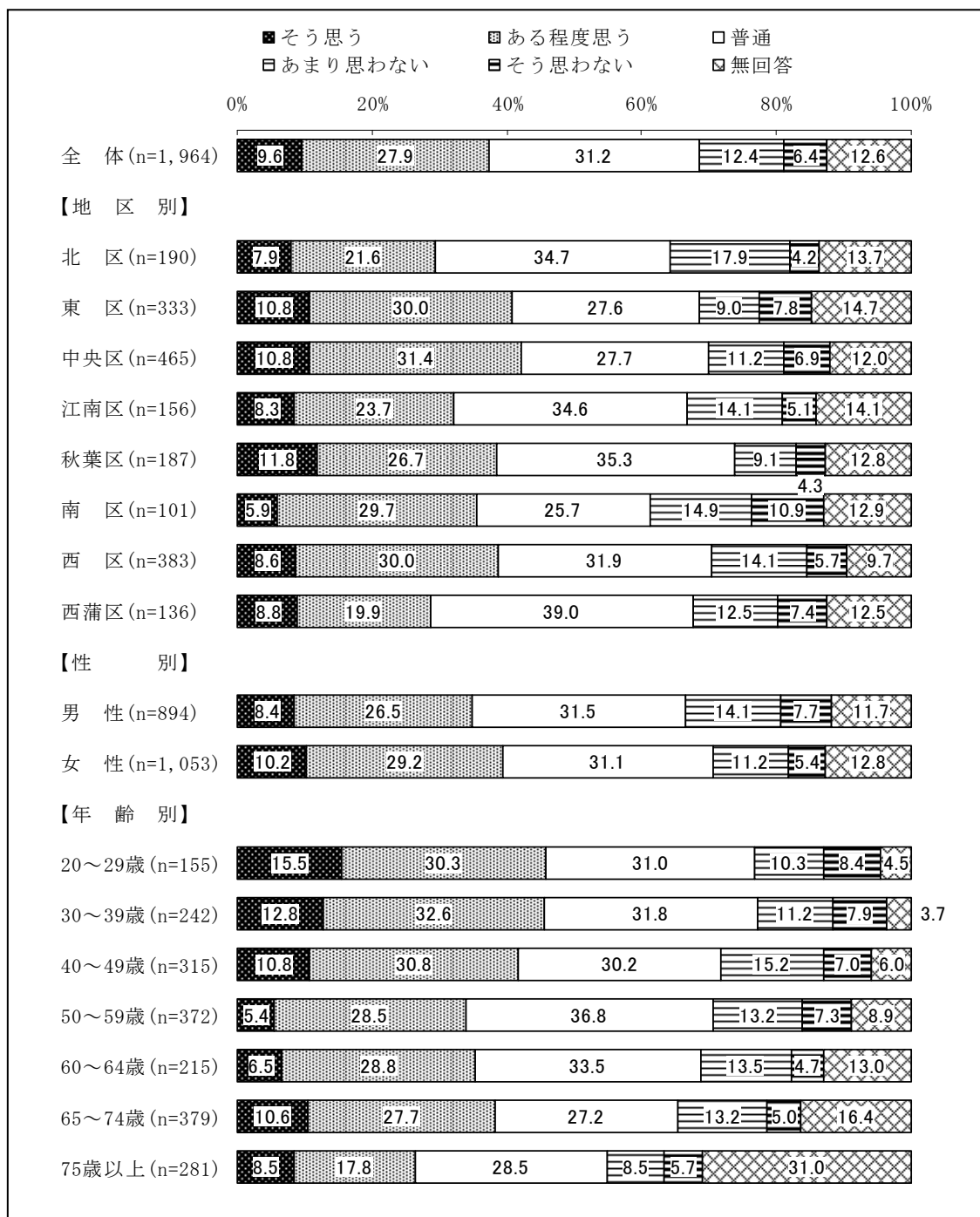
地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、江南区（37.8%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60~64歳（40.0%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。



⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。

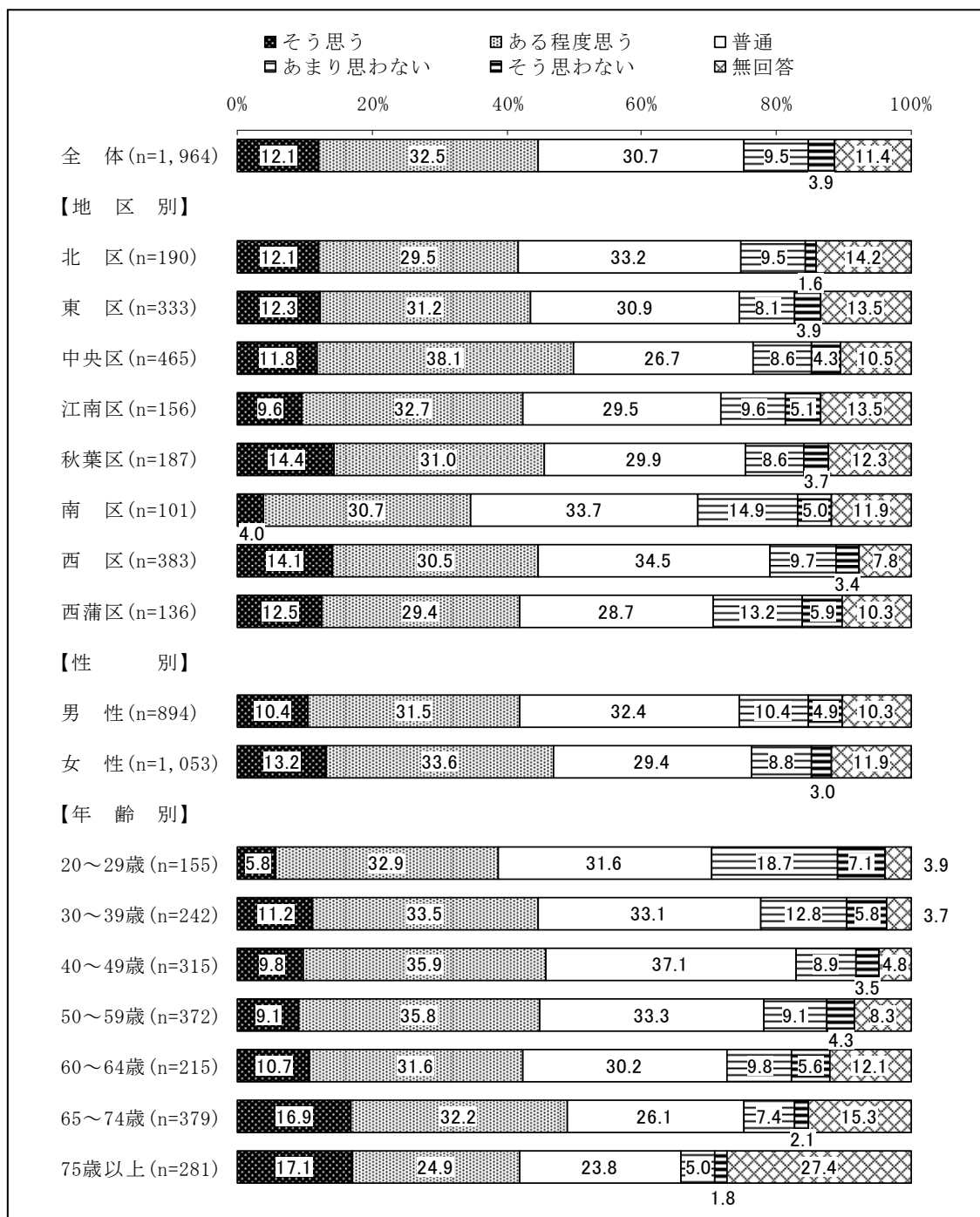


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区(42.2%)が最も高くなっている。性別は、大きな男女差はみられない。年齢別は、20代(45.8%)と30代(45.5%)が高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、南区(25.7%)、北区(22.1%)、男性(21.8%)、40代(22.2%)、50代(20.4%)で比較的高くなっている。

⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。

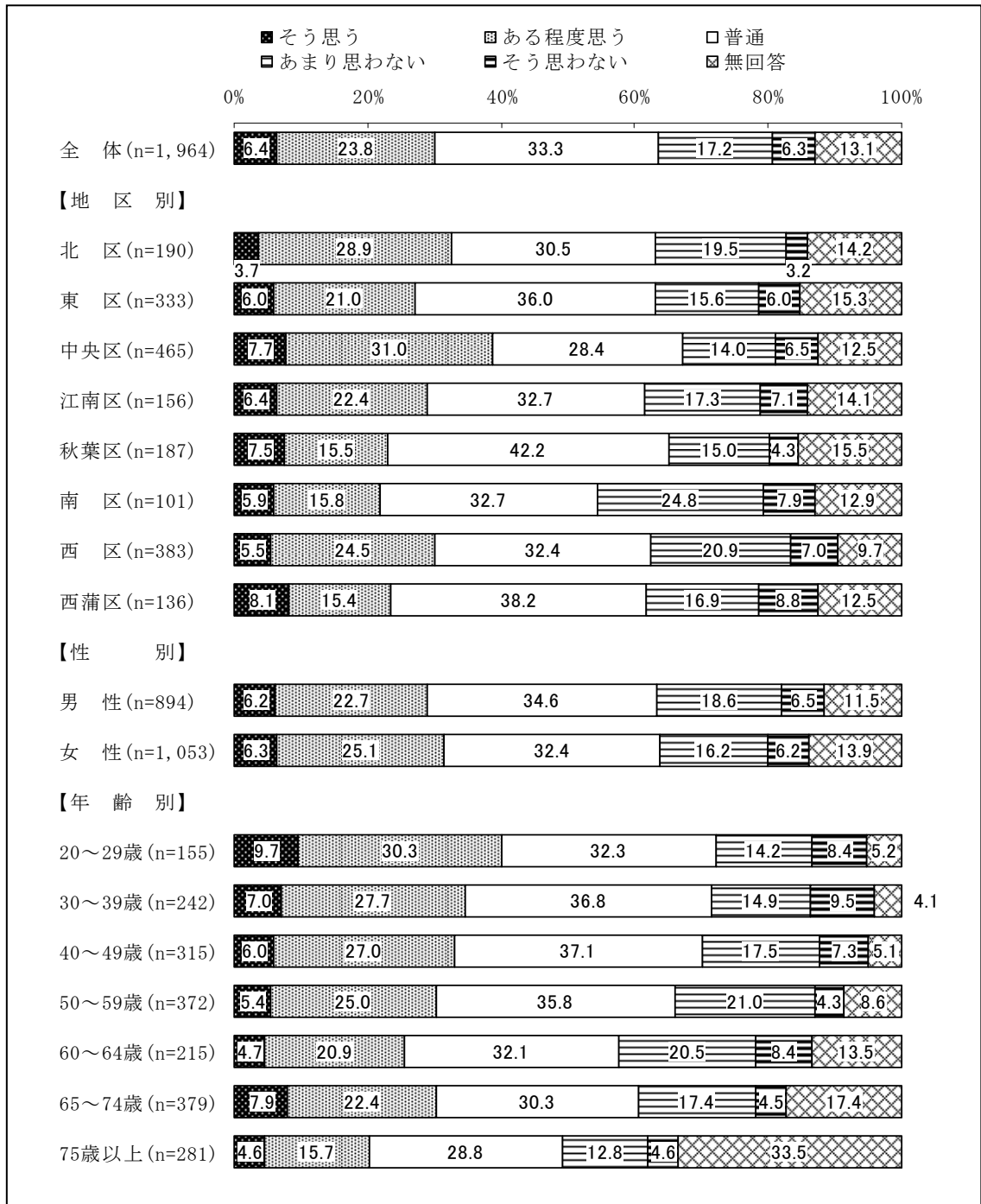


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区(49.9%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、65～74歳(49.1%)が最も高くなっている。南区と20代を除いた属性で、4割を超えている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、20代(25.8%)で2割を超えている。

⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。

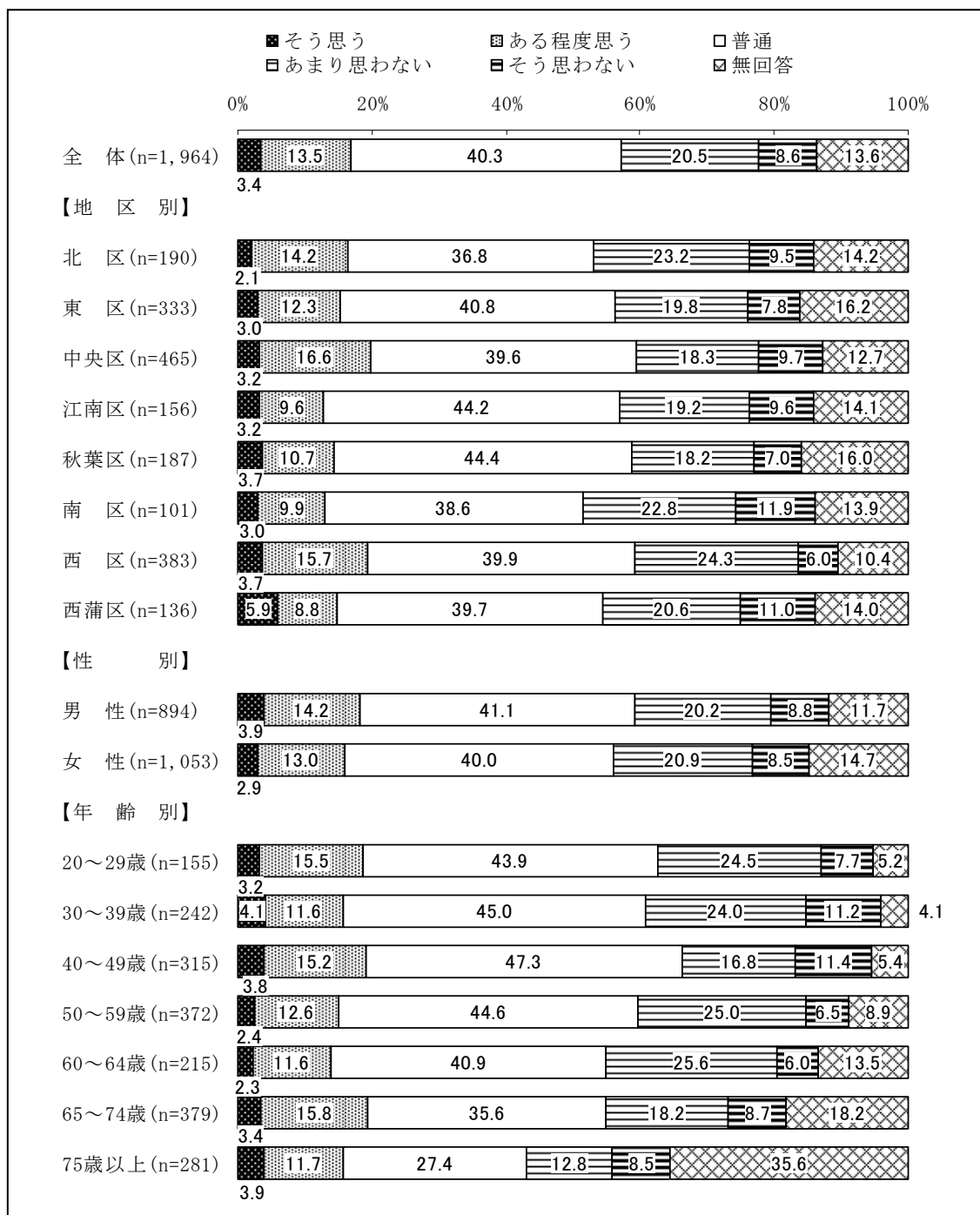


南区、西蒲区、60～64歳を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区(38.7%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、20代(40.0%)が最も高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、南区(32.7%)が3割を超えている。

⑧ 国際交流に取り組んでいます。

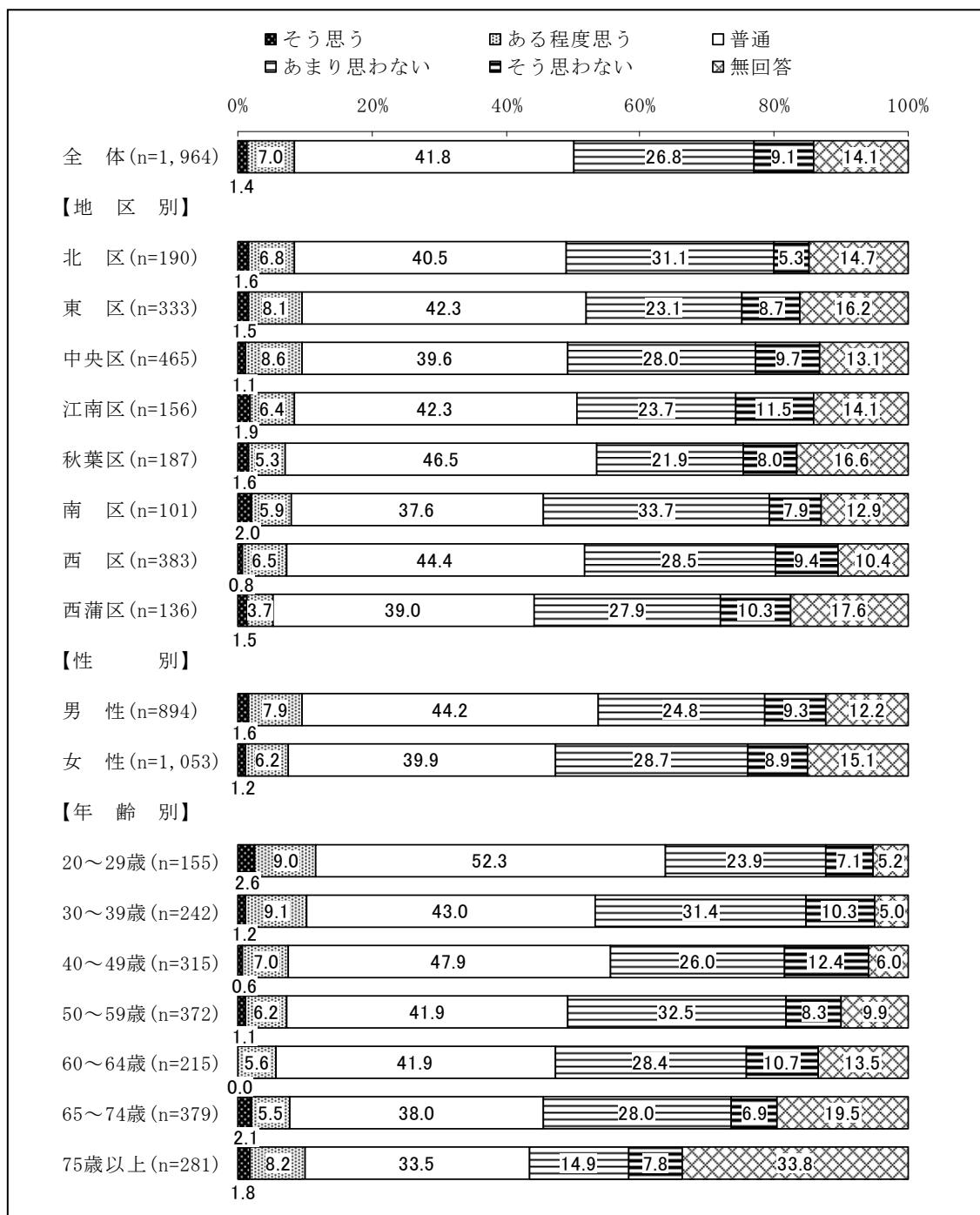


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（34.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（35.1%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んでいます。

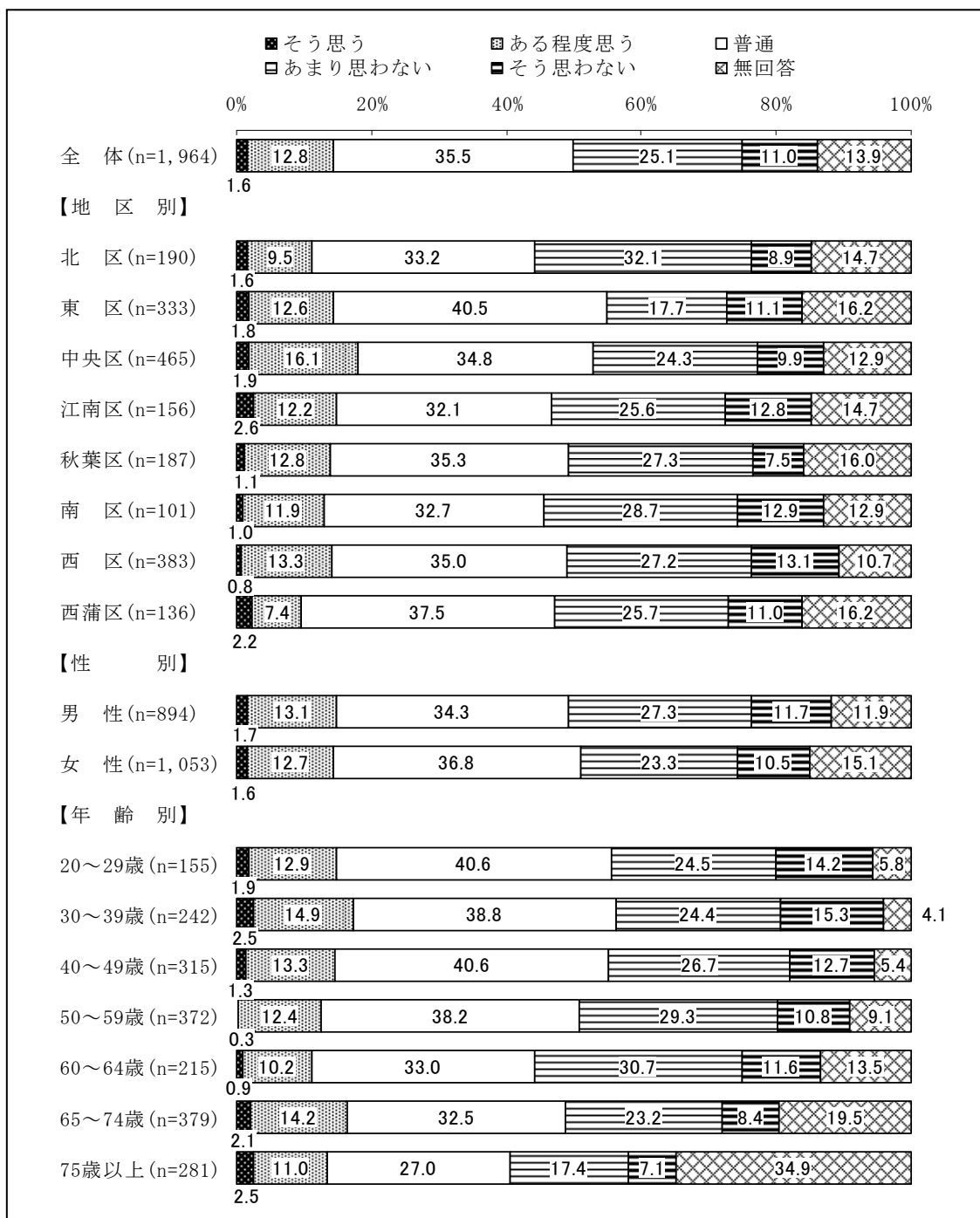


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（41.6%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（41.7%）と50代（40.9%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。

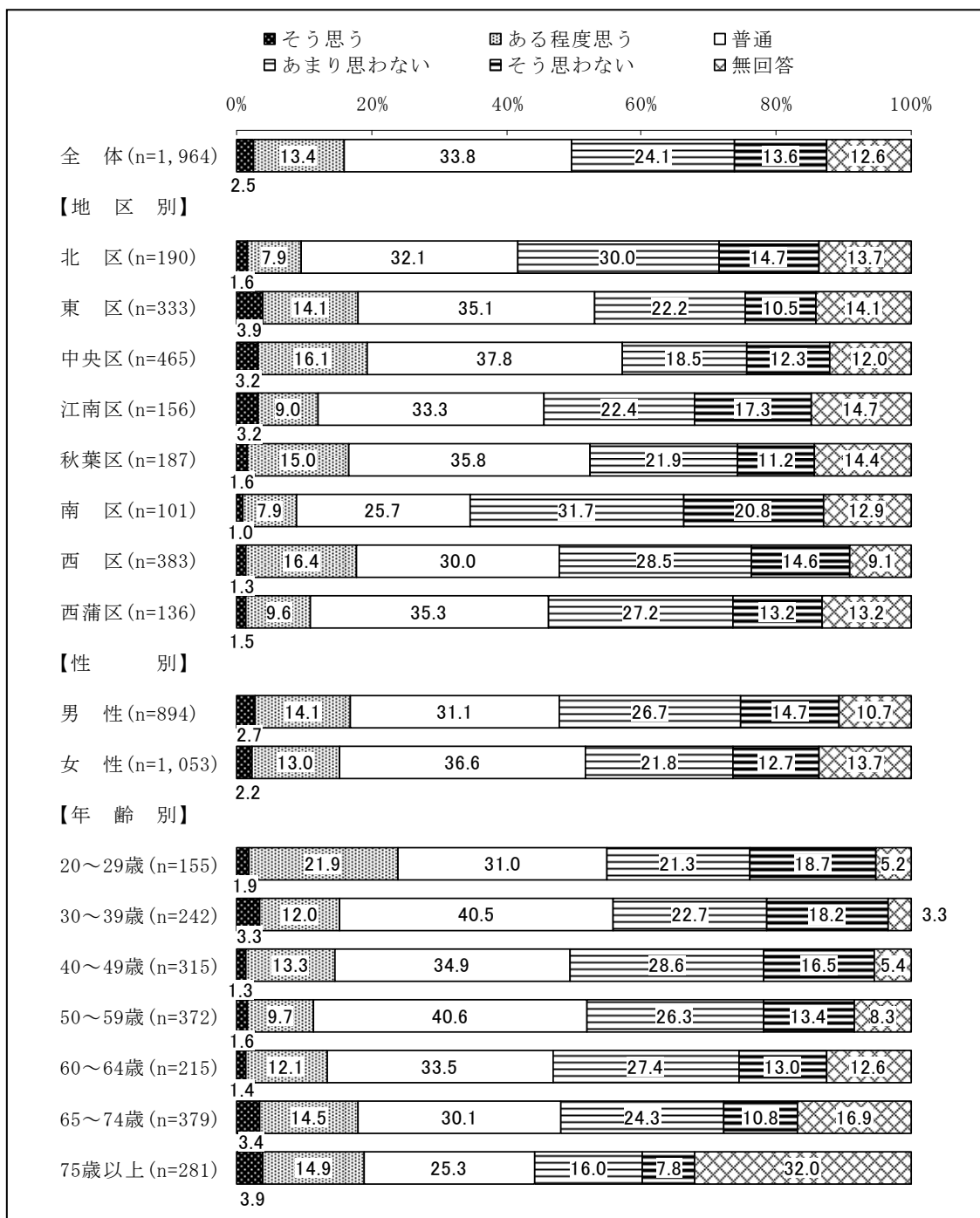


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（41.6%）、北区（41.1%）、西区（40.2%）が高くなっている。性別は、男性（39.0%）の方が女性（33.8%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（42.3%）と50代（40.1%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。

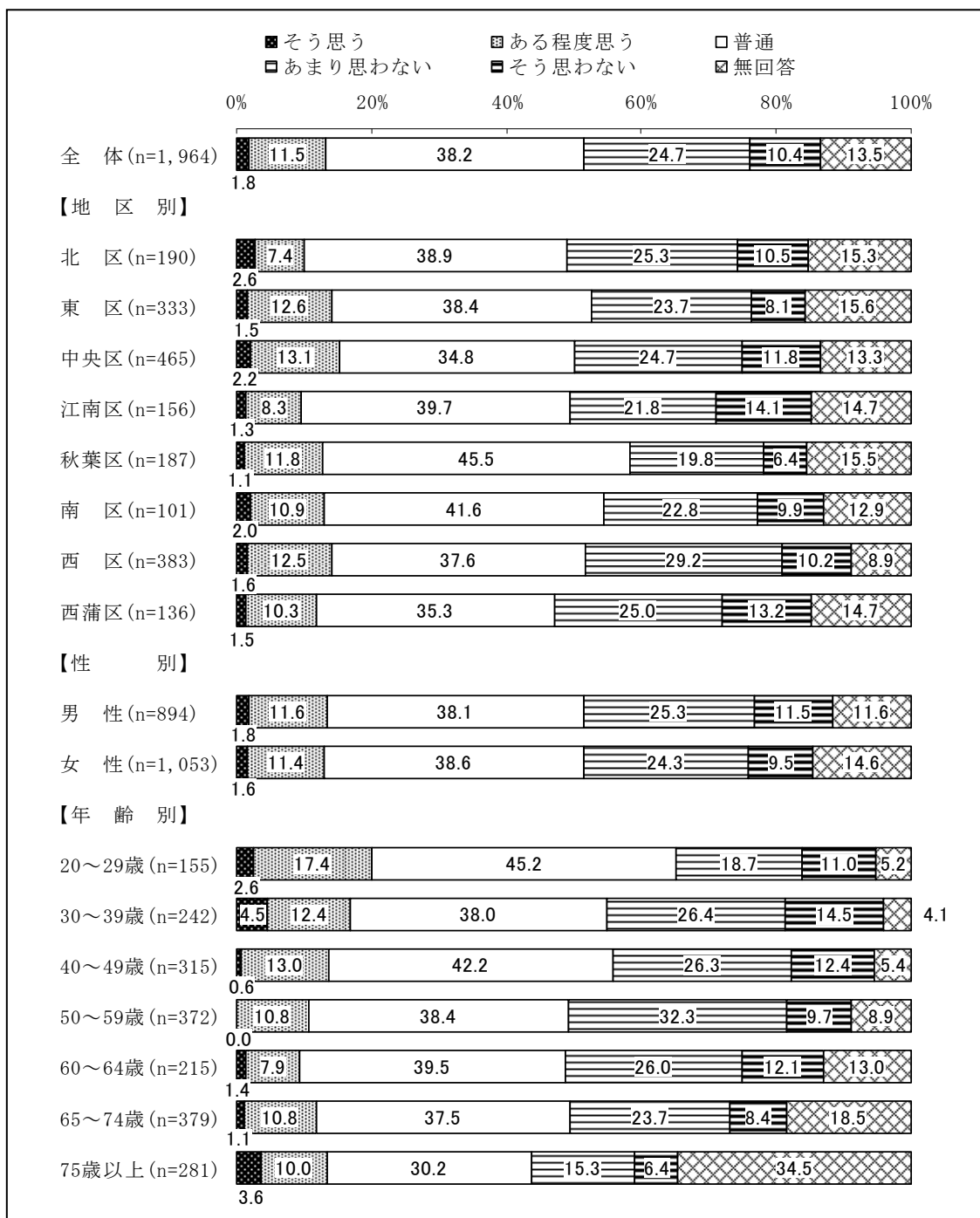


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（52.5%）が最も高く5割を超えている。性別は、男性（41.4%）の方が女性（34.6%）よりも高くなっている。年齢別は、40代（45.1%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、20代（23.9%）を除く属性において2割未満となっている。

⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んでいます。



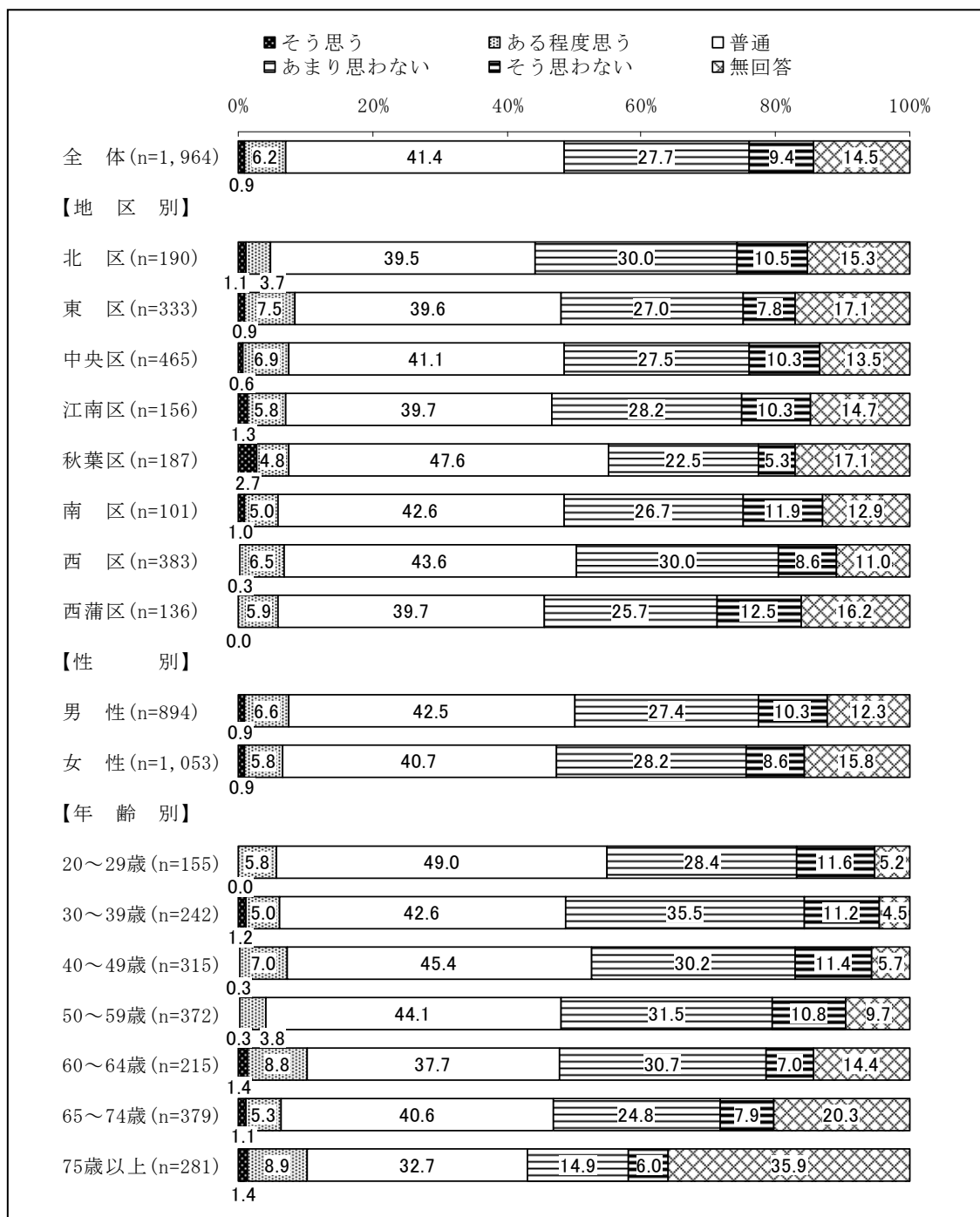
地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区（39.4%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（41.9%）と30代（40.9%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、20代（20.0%）を除く属性において2割未満となっている。



⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んでいます。

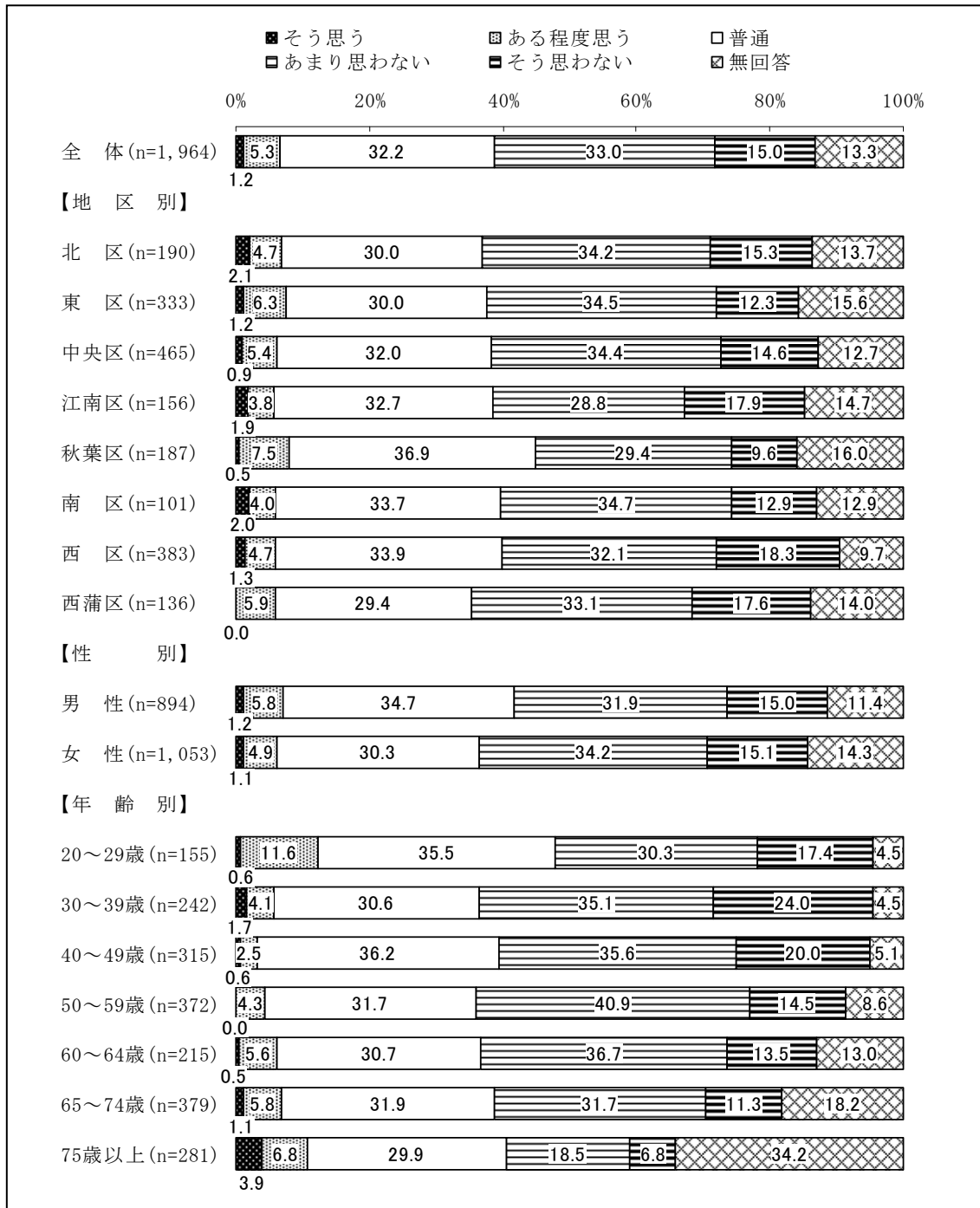


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区(40.5%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代(46.7%)が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。

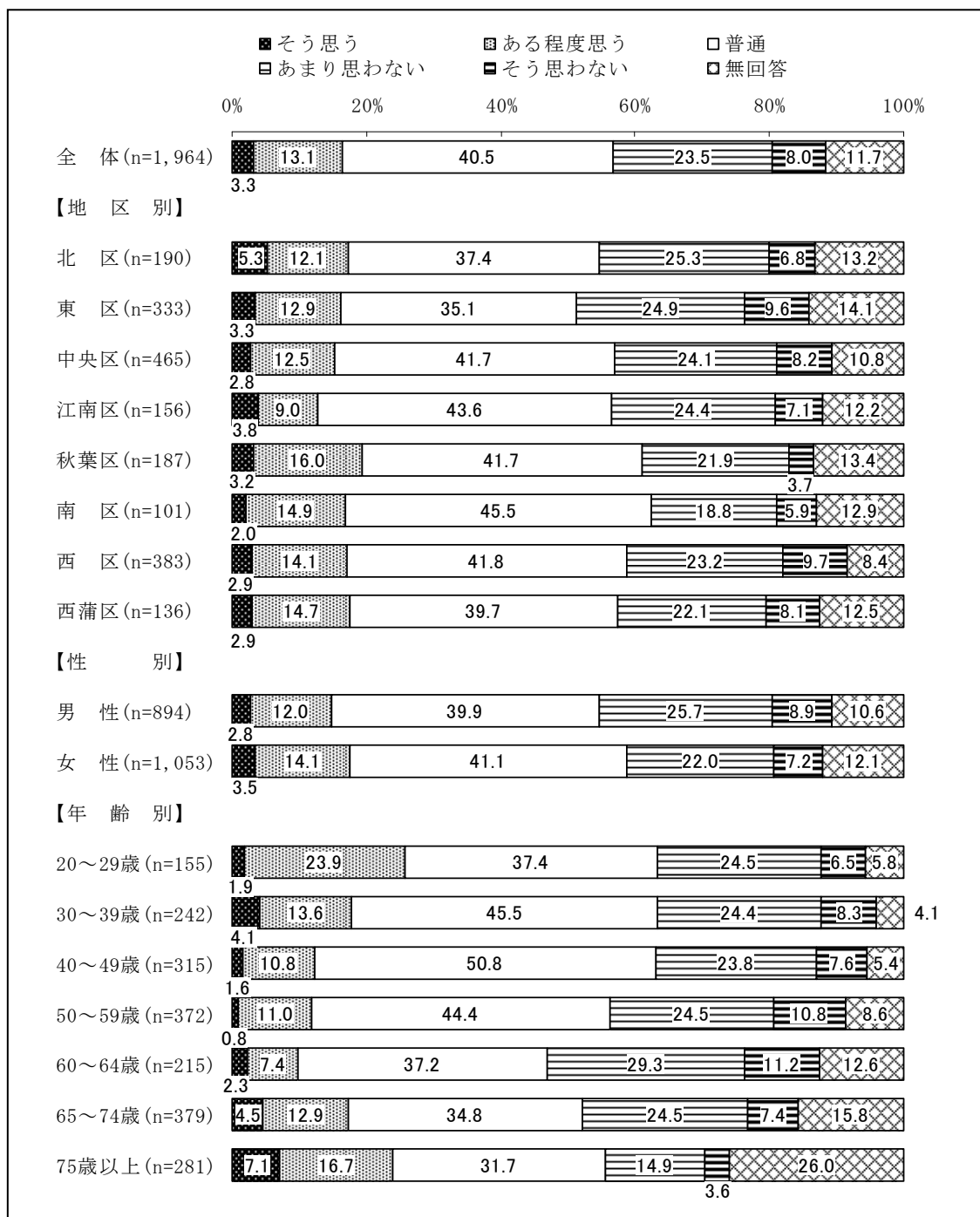


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（50.7%）と西区（50.4%）が高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（59.1%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んでいます。

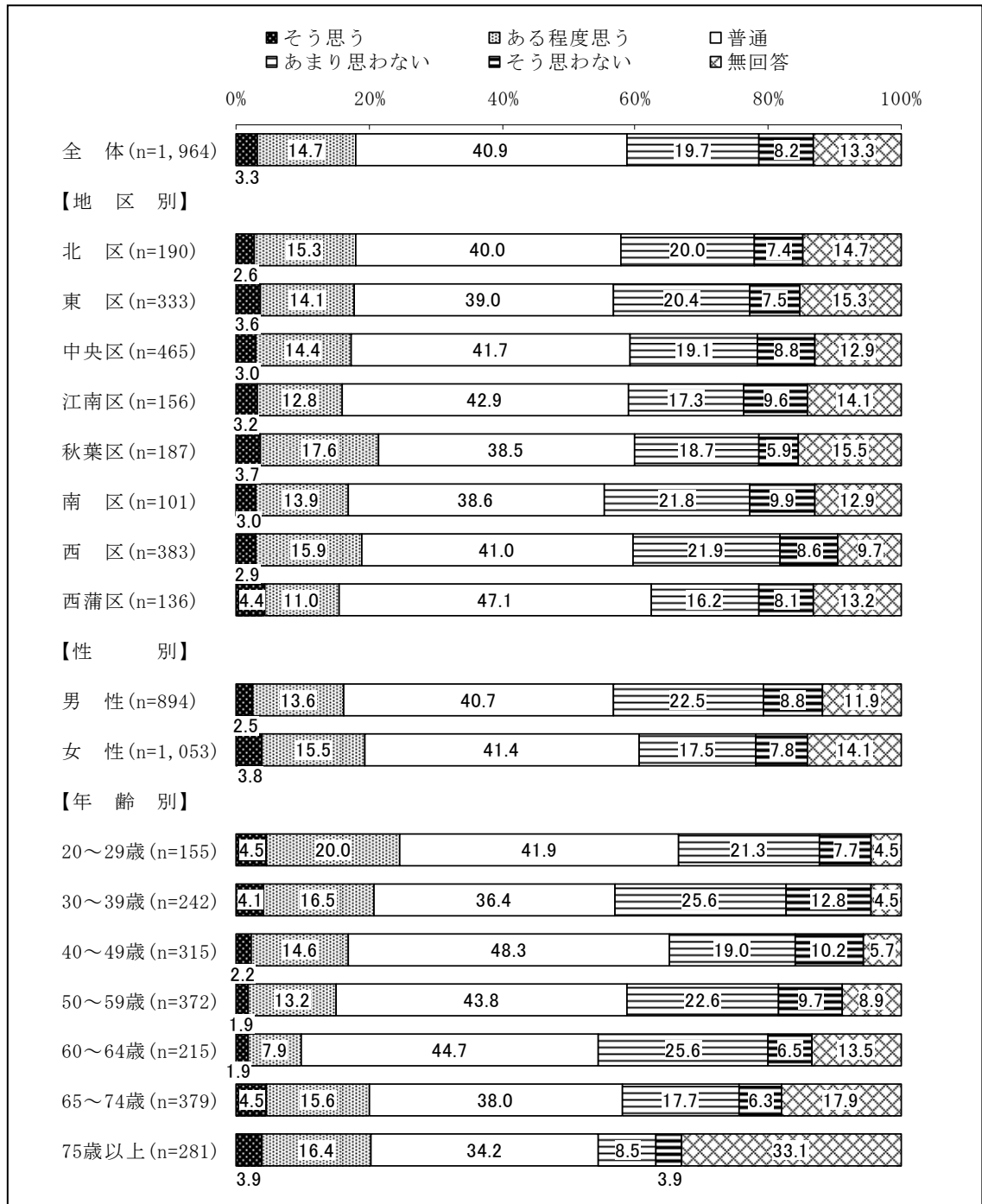


75歳以上を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、東区（34.5%）が最も高くなっている。性別は、男性（34.7%）の方が女性（29.2%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（40.5%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、20代（25.8%）と75歳以上（23.8%）が2割を超えている。

⑩ 子育て支援の充実に取り組んでいます。

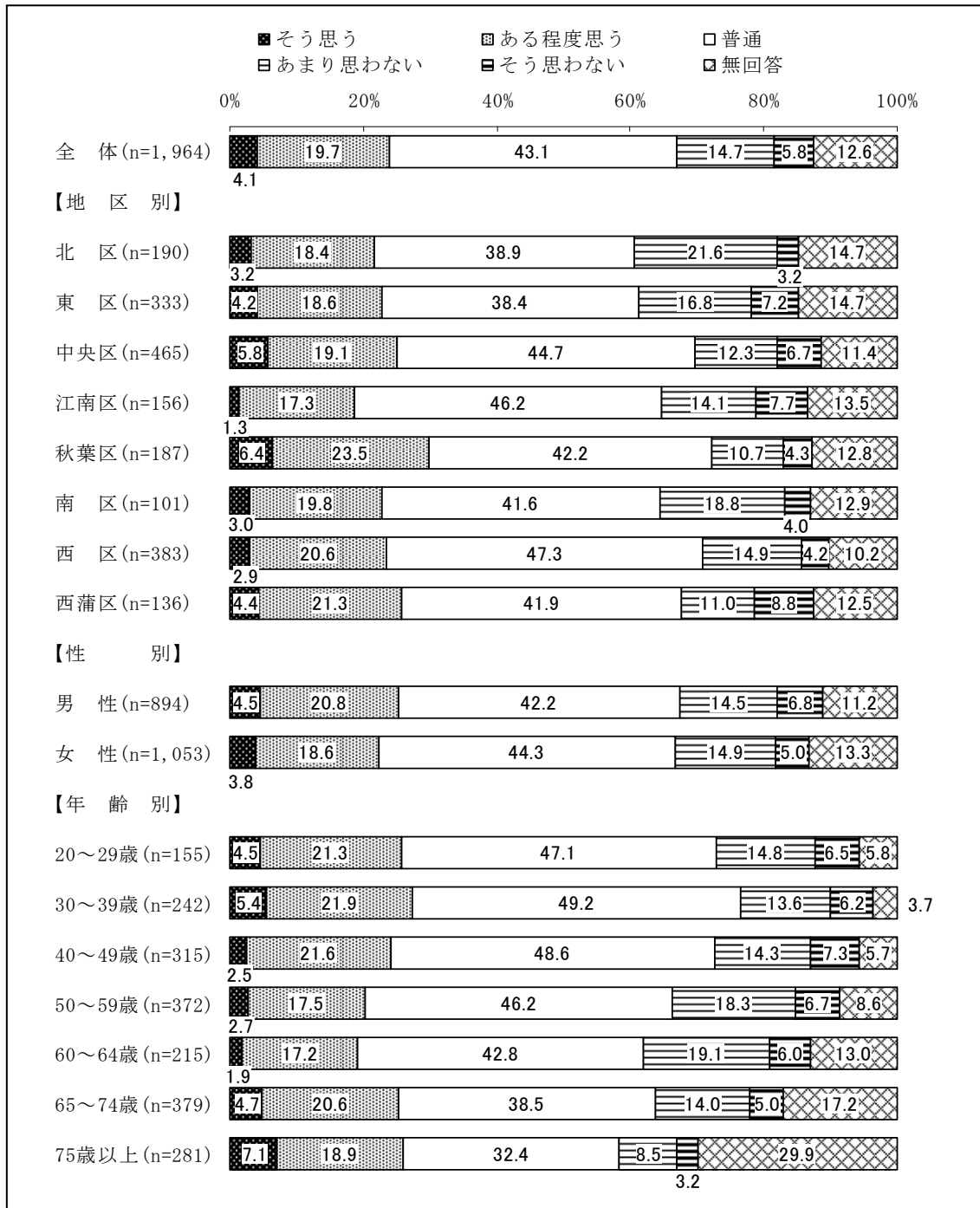


75歳以上を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区(31.7%)と西区(30.5%)が高くなっている。性別は、男性(31.3%)の方が女性(25.3%)よりも高くなっている。年齢別は、30代(38.4%)が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区(21.4%)が最も高くなっている。年齢別は、20代(24.5%)が最も高くなっている。

⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んでいます。

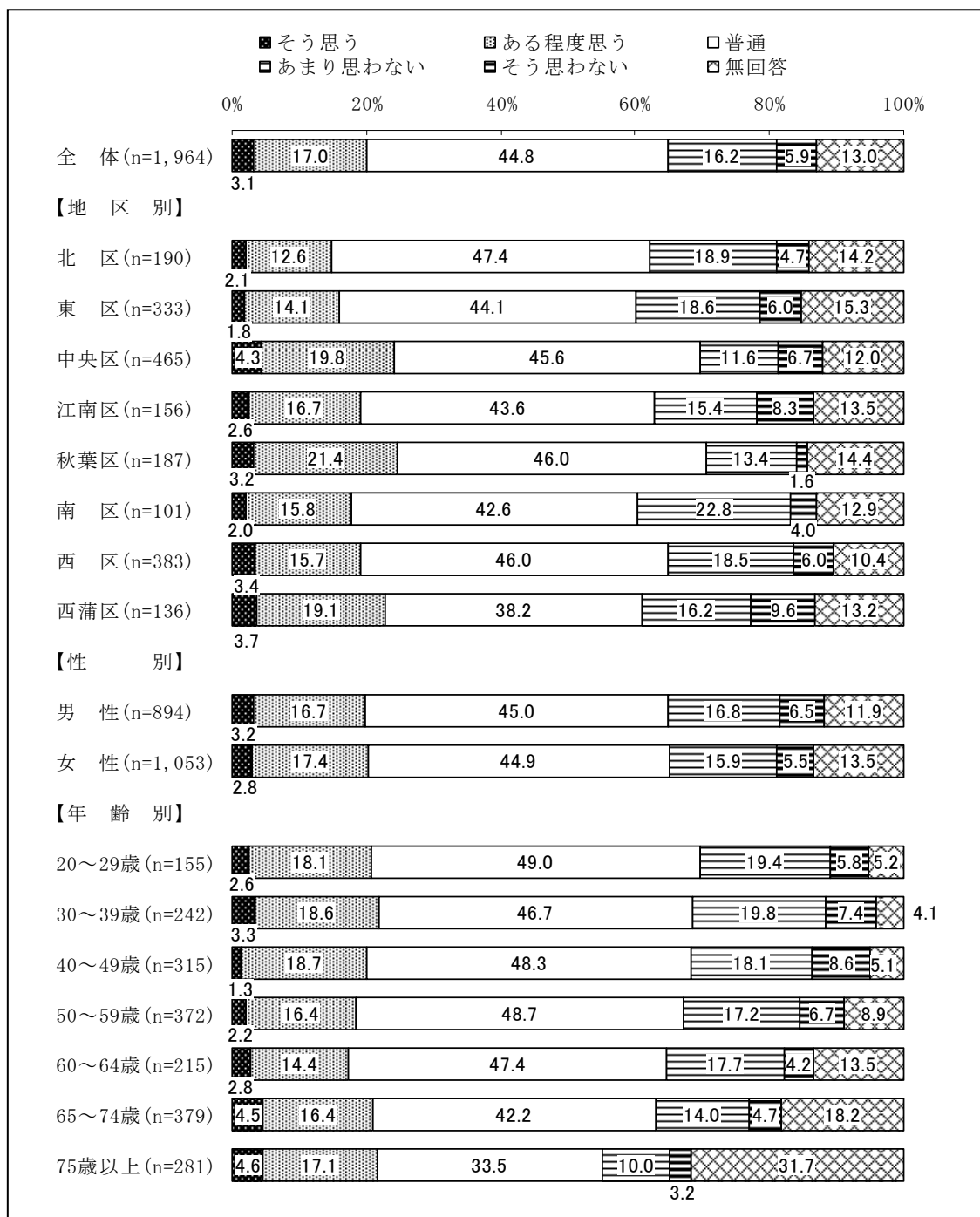


北区、東区、江南区、南区、50代、60～64歳を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、秋葉区(29.9%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代(27.3%)が最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、北区(24.7%)、東区(24.0%)、60～64歳(25.1%)、50代(25.0%)が高くなっている。

⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んでいます。

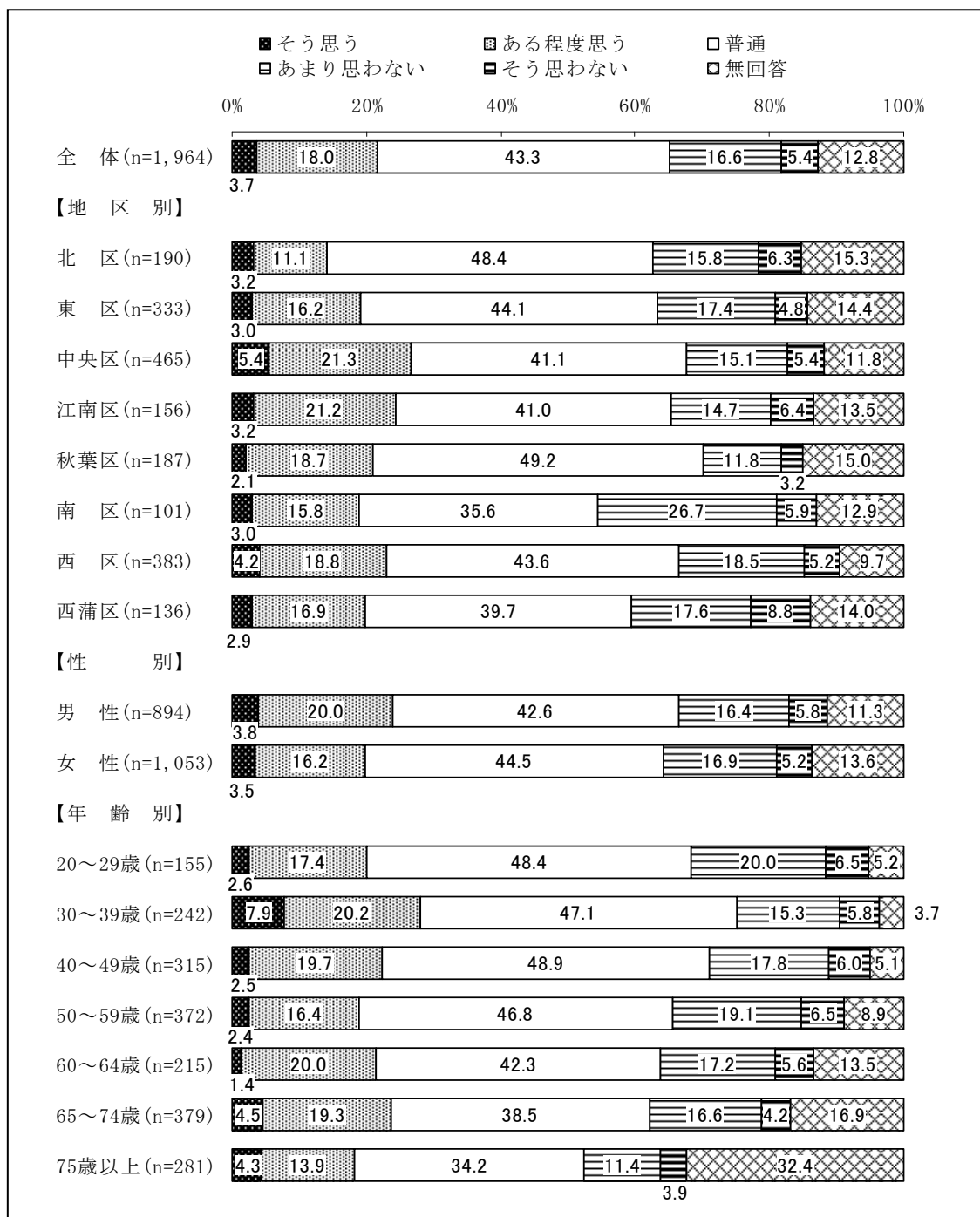


中央区、秋葉区、65歳以上を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（26.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代（27.3%）と40代（26.7%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、地区別は、秋葉区（24.6%）と中央区（24.1%）が高くなっている。年齢別は、60～64歳と50代を除き2割を超えている。

⑱ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。

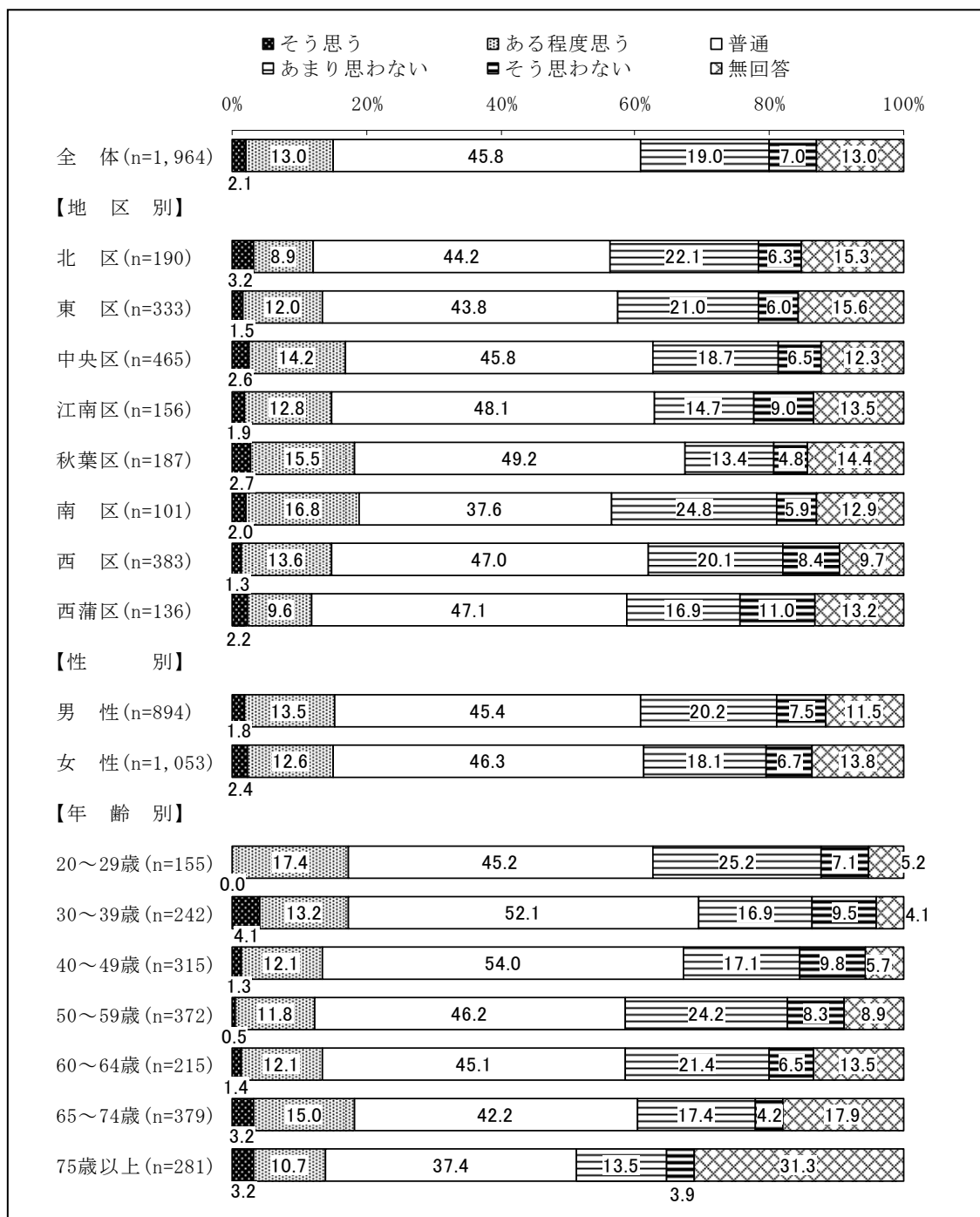


中央区、江南区、秋葉区、男性、30代、65歳以上を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（32.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、20代（26.5%）と50代（25.5%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区（26.7%）が最も高くなっている。年齢別は、30代（28.1%）が最も高くなっている。

⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んでいます。



秋葉区を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（30.7%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、50代（32.5%）と20代（32.3%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。



### Ⅲ 調査票様式



# 平成25年度 第40回市政世論調査

## 「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることは絶対にございませぬ。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうゑ、返信用封筒で **平成25年8月9日（金）まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

平成25年7月19日

新潟市長 篠田 昭

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**必ずあて名のご本人がご記入**ください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。  
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は次の設問への案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に〇**をつけてください。  
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(〇は1つだけ)** **(〇は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。  
新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて**平成25年8月9日（金）**までご投函ください。切手を貼る必要、お名前を記入する必要はありません。

【1 あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別は。(〇は1つだけ)

1. 男	2. 女
------	------

問2 あなたの年齢は。(〇は1つだけ)

1. 20～29歳	4. 50～59歳	7. 75歳以上
2. 30～39歳	5. 60～64歳	
3. 40～49歳	6. 65～74歳	

問3 あなたのご職業は何ですか。(〇は1つだけ)

※複数の職業をお持ちの方は、おもなものを一つだけお選びください。

自営業	}	1. 農・林・漁業（農業・林業・漁業の営業者）	}	勤め人の方で、該当する番号の判断がつかない場合は、具体的な職業をご記入ください。	⇒	[ ]
		2. 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店・修理店など）				
		3. 自由業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）				
家族従業員	}	4. 農・林・漁業（農業・林業・漁業の家業を継続的に手伝っている人）	}			
		5. 商・工・サービス業（商・工・サービス業の家業を継続的に手伝っている人）				
		6. 自由業（自由業の家業を継続的に手伝っている人）				
勤め人 （内職を含む パート・アルバイト）	}	7. 管理職（民間会社・官公庁の課長職以上）	}			
		8. 事務職・専門技術職 （事務職員・教員・技術者など）				
		9. 技能・労務職（技能工・販売店員・外交員など）				
無職	}	10. 家事専業	}			
		11. 学生				
		12. その他（ )				

(問3で「7」「8」「9」(勤め人)と答えた方は問3-2へ、他の方は問4へ)

問3-2 ご職業が「勤め人」の方にお聞きします。

あなたの勤務形態は次のうちどれですか。

(〇は1つだけ)

1. 正規の職員・従業員	3. 派遣社員
2. パート・アルバイト	4. その他 ( )

(問4へ)

(ここからはすべての方へ)

問4 あなたのお住まいは何区ですか。(○は1つだけ)

1. 北区	3. 中央区	5. 秋葉区	7. 西区
2. 東区	4. 江南区	6. 南区	8. 西蒲区

問5 あなたは新潟市に通算して何年くらい住んでおられますか。(○は1つだけ)

※合併前の市町村での居住年数も含めてお答えください。

1. 2年未満	3. 5～10年未満	5. 20年以上
2. 2～5年未満	4. 10～20年未満	

問6 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1. 単身	4. 3世代世帯(親と子と孫)
2. 夫婦のみ	5. その他
3. 2世代世帯(親と子)	( )

問7 あなたの婚姻状況は、次のうちどれにあたりますか。

届出の有無に関わりなくお答えください。(○は1つだけ)

1. 未婚	2. 配偶者あり	3. 配偶者なし(離別または死別)
-------	----------	-------------------

## 【2 新潟市のコミュニティについてお聞きします。】

問8 あなたは自治会・町内会に加入していますか。

(○は1つだけ)

1. 加入している	2. 加入していない	3. わからない
-----------	------------	----------

(問8で「2」(加入していない)と答えた方は問9へ、「1」「3」と答えた方は問10へ)

問9 自治会・町内会に加入していないと答えた人にお聞きします。

あなたが自治会・町内会に加入していない理由はどれですか。

(〇は3つまで)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しくて、自治会・町内会活動を行う時間がないから     |
| 2. 加入するために、または加入するとお金がかかるから           |
| 3. 参加したい活動がないから、活動について情報がないから         |
| 4. 知っている人が少なく、親しみにくいから                |
| 5. 自治会・町内会活動に興味・関心がないから               |
| 6. 役員やリーダーに選ばれると忙しくなり、やりたいことができなくなるから |
| 7. その他 ( )                            |

(ここからはすべての方へ)

問10 あなたは自治会・町内会などの行う「地域の活動」に参加していますか。

(〇は1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. ほぼ毎日、参加している    | 4. 月に1回程度、参加している |
| 2. 週2~3回程度、参加している | 5. 年に数回程度、参加している |
| 3. 週に1回程度、参加している  | 6. 参加していない       |

(問10で「6」(参加していない)と答えた方は問11へ、

「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)と答えた方は問13へ)

問11 「地域の活動」に参加していないと答えた人にお聞きします。

あなたが「地域の活動」に参加するためには何が必要ですか。

(〇は3つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 仕事や家事にゆとりがあること           |
| 2. 参加してみたい魅力的な活動があること       |
| 3. 活動について情報提供があること          |
| 4. 活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと |
| 5. 地域の活動が楽しめること             |
| 6. 役員やリーダーに選ばれても協力体制があること   |
| 7. 家族の理解が得られること             |
| 8. その他 ( )                  |

(問12へ)

問12 あなたは今後、「地域の活動」に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 今後は積極的に参加したいと思う             |
| 2. 今後は可能な範囲で参加したいと思う           |
| 3. 興味・関心のある活動には参加したいと思う        |
| 4. 知り合いや周囲の人が参加したら、自分も参加したいと思う |
| 5. 何かきっかけがあれば、参加したいと思う         |
| 6. 必要に迫られれば参加したいと思う            |
| 7. 今後も参加したいと思わない               |
| 8. その他 ( )                     |

(問14へ)

問13 「地域の活動」に参加していると答えた人にお聞きします。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(○はいくつでも)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 地域の美化・清掃活動   | 7. 交通安全活動        |
| 2. 資源回収・リサイクル活動 | 8. パトロールなどの防犯活動  |
| 3. 地域の祭り・イベント   | 9. 会報などの広報活動     |
| 4. 高齢者・女性が対象の行事 | 10. 地域の運動・スポーツ活動 |
| 5. 子どもが対象の行事    | 11. その他          |
| 6. 防災・防火・水防活動   | ( )              |

(問14へ)

(ここからはすべての方へ)

問14 あなたは地域コミュニティ協議会について知っていますか。

(○は1つだけ)

- |          |             |         |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

【地域コミュニティ協議会とは】

自分が住んでいる地域に関心を持ち、話し合いをしながら地域課題に取り組んでいくことを目的に、地域内の様々な団体が連携し、市民の皆様が主体となって結成してきた組織です。概ね小学校区単位を基本として全市域で結成されています。

(問14で「1」(知っている)と答えた方は問15へ、「2」「3」と答えた方は問16へ)

問15 地域コミュニティ協議会について知っているとお答えした人にお聞きします。  
あなたは、地域コミュニティ協議会についての情報を何から入手していますか。  
(○はいくつでも)

1. 市報にいがた	5. 市のホームページ
2. 区役所だより	6. 自治会・町内会の会合
3. テレビ・ラジオ・新聞	7. その他
4. 地域コミュニティ協議会の 広報紙・チラシ・ホームページ	( )

(問16へ)

(ここからはすべての方へ)

問16 あなたは地域コミュニティ協議会の活動に参加していますか。  
(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日、参加している	4. 月に1回程度、参加している
2. 週2~3回程度、参加している	5. 年に数回程度、参加している
3. 週に1回程度、参加している	6. 参加していない

(問16で「6」(参加していない)とお答えの方は問17へ、  
「1」「2」「3」「4」「5」(参加している)とお答えの方は問19へ)

問17 地域コミュニティ協議会の活動に参加していないとお答えした人にお聞きします。  
あなたが地域コミュニティ協議会の活動に参加するためには何が必要ですか。  
(○は3つまで)

1. 仕事や家事にゆとりがあること
2. 参加してみたい魅力的な活動があること
3. 活動について情報提供があること
4. 活動している人に知り合いがいて、親しみやすいこと
5. 地域の活動が楽しめること
6. 役員やリーダーに選ばれても協力体制があること
7. 家族の理解が得られること
8. その他 ( )

(問18へ)



問18 あなたは今後、地域コミュニティ協議会の活動に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 今後は積極的に参加したいと思う             |
| 2. 今後は可能な範囲で参加したいと思う           |
| 3. 興味・関心のある活動には参加したいと思う        |
| 4. 知り合いや周囲の人が参加したら、自分も参加したいと思う |
| 5. 何かきっかけがあれば、参加したいと思う         |
| 6. 必要に迫られれば参加したいと思う            |
| 7. 今後も参加したいと思わない               |
| 8. その他 ( )                     |

(問20へ)

問19 地域コミュニティ協議会の活動に参加していると答えた人にお聞きします。

あなたはどのような活動に参加していますか、または参加したいですか。

(○はいくつでも)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 地域の美化・清掃活動   | 7. 交通安全活動        |
| 2. 資源回収・リサイクル活動 | 8. パトロールなどの防犯活動  |
| 3. 地域の祭り・イベント   | 9. 会報などの広報活動     |
| 4. 高齢者・女性が対象の行事 | 10. 地域の運動・スポーツ活動 |
| 5. 子どもが対象の行事    | 11. その他          |
| 6. 防災・防火・水防活動   | ( )              |

(問20へ)

(ここからはすべての方へ)

問20 あなたは区自治協議会について知っていますか。

(○は1つだけ)

- |          |             |         |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

【区自治協議会とは】

地域コミュニティ協議会の代表者などで構成され、区の皆さんの多様な意見を調整して、その取りまとめをします。また、市長や行政委員会など市の機関から諮問されたものや、区自治協議会自ら必要と認めるものについて審議し、市長や行政委員会などに意見を述べるすることができます。

(問20で「1」(知っている)と答えた方は問21へ、「2」「3」と答えた方は問22へ)

問21 区自治協議会について知っているとお答えの方にお聞きします。

あなたが以前から知っている、区自治協議会の役割や活動はどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 市(区)から意見を求められた計画や施策、事業について、意見を述べる
2. 地域課題解決のために市(区)に建議・要望などをする
3. 地域課題を解決するための事業の企画・提案を行う
4. その他( )

(問22へ)

### 【3 新潟市が所有する公共施設(建物等)についてお聞きします。】

(ここからはすべての方へ)

問22 あなたは新潟市が所有する公共施設(建物等)(以下、「施設」)について、

・最近1年間に何回くらい利用しましたか。

・施設へはどのような交通手段で行きましたか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

施設種類	年間の利用回数					おもな交通手段				
	※文化会館と市民会館を週1回ずつ使用するような場合は、合算して下さい。					※利用回数で(5利用していない)を選んだ場合は記入不要。				
	1 ほぼ毎日	2 週に2〜3回	3 月に数回	4 年に数回	5 利用していない	1 車・バイク	2 徒歩・自転車	3 バス	4 電車	5 タクシー
A. コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター(クロスパル)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
B. 区の文化会館・市民会館 (万代市民会館、市民プラザ、西新潟市民会館、東区プラザ、黒崎市民会館など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
C. 新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)、音楽文化会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
D. 美術館・水族館・博物館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
E. 図書館・図書室	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施設種類	年間の利用回数 ※文化会館と市民会館を週1回ずつ使用するような場合は、合算して下さい。					おもな交通手段 ※利用回数で（5 利用していない）を選んだ場合は記入不要。				
	1 ほぼ毎日	2 週に2〜3回	3 月に数回	4 年に数回	5 利用していない	1 車・バイク	2 徒歩・自転車	3 バス	4 電車	5 タクシー
F. 体育施設 (体育館、プール、野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
G. 学校開放施設 (小・中学校の体育館、教室、武道場、グラウンド)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
H. 児童館・子育て支援センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I. 老人憩の家	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
J. 健康センター・保健センター (予防接種、集団検診などの利用含む)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
K. 観光施設 (ビュー福島潟、石油の世界館、白根大凧と歴史の館、岩室観光施設など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
L. 日帰り温泉施設 (岩室健康増進センター、じょんのび館、小須戸温泉健康センター)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
M. A～L以外の施設で利用している施設 ( ) ※複数ある場合は、利用回数の多い施設など特になければ回答不要	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問23 あなたは市の施設の安全性について、どういう施設が多いと感じていますか。

(○は1つだけ)

1. 新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる 2. 古い施設が多いが耐震改修工事などにより、安全性は保たれていると感じる 3. 古い施設が多く、安全性に疑問を感じる 4. わからない 5. その他 ( )
--

問24 あなたは市の施設を使ってみて、どういう施設が多いと感じていますか。

(○は1つだけ)

- |                |   |
|----------------|---|
| 1. 使いやすい       |   |
| 2. おおむね不満なく使える |   |
| 3. 使いにくい       |   |
| 4. わからない       |   |
| 5. 施設を使ったことがない |   |
| 6. その他 (       | ) |

問25 次の1、2について、あなたが聞いたことがある(知っている)番号に○をつけてください。聞いたことがない(知らない)場合、○は不要です。

(○は2つまで)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある                 |  |
| 2. 将来、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために巨額の財政負担が必要とされている |  |

新潟市でも、今後、人口減少などにより税収減少の恐れや、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために、巨額の財政負担が必要となることが心配されています。

問26 個々の施設ではなく、施設全般についてお聞きします。

市や国の財政状況が厳しい中、新しい施設の建設や、今ある施設の改修、建替えについて、あなたはどのようにすべきと思いますか。

(○は1つだけ)

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 施設の維持重視 | 〔新しい施設の建設は必要最小限にし、今ある施設はできるだけお金をかけずに維持管理する〕            |
| 2. 施設の削減検討 | 〔新しい施設の建設は不要で、今ある施設も廃止や他の施設と統合したほうがよい〕                 |
| 3. 施設の増設   | 〔まだ足りない施設もあるため、お金を工夫しながら、新しい施設を建設し、今ある施設も改修や建替えのほうがよい〕 |
| 4. わからない   |  |
| 5. その他 (   | )  |

問27 個々の施設ではなく、施設全般についてお聞きします。

新潟市では、厳しい財政状況の中、一部の施設管理を民間委託し、経費の節約やサービスの向上に努めていますが、あなたは、新潟市の施設を維持していくために、将来どのように取り組んでいくべきと考えますか。

(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 原則として、新しい施設は建設しない                           |
| 2. 点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う               |
| 3. 施設の運営や維持管理にかかるお金を節約する                       |
| 4. 施設を利用する人が支払う使用料を増やすことで、施設を維持していく            |
| 5. いろいろな場所にある施設の機能を一つの施設にまとめて(複合化して※)便利にする     |
| 6. あまり利用されてない施設は廃止し、民間へ売却や貸付することで、厳しい市の財政に役立てる |
| 7. わからない                                       |
| 8. その他(  |

※(例) 東区プラザ  
区役所、市民会館、図書館、子育て支援、健康センターなどの複合化

問28 あなたが将来、市内に必要なと思う施設があれば教えてください。

(市や民間などによる整備・運営を問わない)

(〇は3つまで)

施設種類	具体例
※下記の必要だと思う施設種類に <b>3つまで〇</b> をつけて下さい。	※現在、市にある施設の例。同じような施設がもっと必要 だと思う場合、 <b>左欄の施設種類に〇</b> をつけて下さい。
1. コミュニティ施設	コミュニティセンター、コミュニティハウス
2. 文化施設など	市民会館、文化会館
3. 博物館施設	美術館、水族館、博物館
4. 社会教育施設	図書館、公民館、生涯学習施設
5. 体育施設	体育館、プール、野球場、サッカー場、テニスコート、 トレーニングセンター、ゲートボール場
6. 観光施設	ビュー福島潟、石油の世界館、白根大岡と歴史の館、 岩室観光施設など
7. 保養施設	温泉施設

8. 学校教育施設	小・中・高等学校、特別支援学校
9. 子育て支援施設	ひまわりクラブ、児童館、子育て支援センター
10. 保育園、幼稚園施設	保育園、幼稚園
11. 高齢福祉施設	老人福祉センター、老人憩の家、高齢者支援センター 特別養護老人ホーム、デイサービスセンター
12. 保健施設	健康センター、保健センター (予防接種、集団検診などでの利用など)
13. 障がい福祉施設など	障がい福祉施設、社会福祉施設
14. 病院施設	市民病院、急患診療センター
15. 上記以外の施設 ( )	
16. 施設の建設や維持管理にはお金がかかるので、施設は必要ない	

#### 【4 移動しやすいまちづくりについてお聞きします。】

問29 あなたにとって、新潟市は車に頼らなくても移動しやすいまちだと思いますか。

(○は1つだけ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移動しやすいまちだと思う</li> <li>2. 少しは移動しやすいまちだと思う</li> <li>3. あまり移動しやすいまちだと思わない</li> <li>4. 移動しやすいまちだと思わない</li> <li>5. わからない</li> </ol> |
|--|

問30 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を教えてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

項目・満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	利用しない
1. 自動車 (走りやすい道路かなど)	1	2	3	4	5
2. 自転車 (自転車で走りやすいかなど)	1	2	3	4	5
3. バス (利用しやすいかなど)	1	2	3	4	5
4. タクシー (利用しやすいかなど)	1	2	3	4	5
5. 電車 (利用しやすいかなど)	1	2	3	4	5

問31 あなたの歩行空間(歩道や幅広の路肩)に対する満足度を教えてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

項目・満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1. 安全性 (安心して歩けるか)	1	2	3	4	5
2. 快適性 (段差がないか・十分な幅があるか)	1	2	3	4	5
3. 景観性 (歩きたくなるか・景色がよいか)	1	2	3	4	5

問32 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動(自転車の利用促進、ルール・マナー啓発)」を行っています。

それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

項目・満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1. 自転車走行空間整備 (車道が安全に通行できるかなど)	1	2	3	4	5
2. 駐輪場整備 (台数が確保されているかなど)	1	2	3	4	5
3. 放置自転車対策 (路上に放置自転車がないかなど)	1	2	3	4	5
4. 啓発活動 (ルール・マナーが周知されているかなど)	1	2	3	4	5

問33 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。

(○は3つまで)

1.	障害物がなく、バリアフリー化された歩道が整備されていること
2.	魅力的で楽しめる、まち歩きコースが設定・整備されていること
3.	道路に自転車が通行する空間（自転車通行帯）が連続的に整備されていること
4.	駅やまちなかに駐輪場があり、放置自転車対策が図られていること
5.	地域内での生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られていること
6.	鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られていること
7.	都心部で利用しやすい公共交通が整っていること
8.	段差や天候などを気にせずに駅やバス停留所を利用できること
9.	車で安全・快適に走行することができる道路が整備されていること
10.	道路交通の渋滞対策が図られていること
11.	まちなかや商業施設などを利用する際に、駐車場が十分にあること
12.	鉄道やバスに乗り継ぐための駐車場が十分にあること
13.	一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれていること
14.	その他（ <span style="float: right;">）</span>

問34 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、街なかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりを見せています。

そこで「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。

また、あなたのお勧めの「まち歩きコース」がありましたら教えてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

項目・満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1. まち歩きイベント (参加の機会が充実しているかなど)	1	2	3	4	5
2. まち歩きの紹介 (経路やマップが充実しているかなど)	1	2	3	4	5
3. あなたのお勧めの「まち歩きコース」がありましたら教えてください。  お勧めの理由に○をつけてください。	コース ※具体的な場所や地名など ( ) 1 街並みが良い 2 風情が良い 3 道路がきれい 4 その他 ( )				



## 【5 市政全般と区政についてお聞きします。】

問35 新潟市は平成 19 年4月に政令市に移行したことにより、身近な行政サービスを行う8つの区役所を設置し、6年が経過しました。

市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。（それぞれの順位欄に番号数字を記入してください）

1. 市・区の窓口対応	13. スポーツの振興	25. 交通安全対策
2. 電子手続きの推進	14. 文化・芸術の振興	26. 学校教育
3. 地域活動の振興	15. 農林水産業の振興	27. 生涯学習
4. 防災対策	16. 商工業・貿易の振興	28. 市営住宅の整備
5. 防犯対策	17. 雇用の場の拡大	29. 広報広聴活動
6. 児童福祉	18. 観光の振興	30. 国際交流の振興
7. 高齢者福祉	19. まちなかの活性化	31. 市民協働のまちづくり
8. 障がい者福祉	20. 公共交通の充実	32. 男女共同参画の推進
9. 保健・医療体制	21. 計画的な市街地整備	33. その他
10. ごみ処理・リサイクル	22. 公園の整備	（ ）
11. 地球温暖化対策	23. 道路の整備	
12. 自然環境の保護	24. 公共下水道の整備	

回答欄 （1～33までの番号を記入してください）

	1位	2位	3位
① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			

## 【6 市の取り組みについてお聞きします。】

問36 政令市に移行した平成 19 年度に、「新・新潟市総合計画」をスタートして 6 年が経過しました。この計画に基づき進めているおもな取り組みについてお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1 そう 思う	2 あ る 程 度 思 う	3 普 通	4 あ ま り 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い
① 住民参加型の地域づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5
② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5
③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5
④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑧ 国際交流に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。	1	2	3	4	5

	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない
⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑯ 子育て支援の充実に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑲ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5
⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5

ご協力ありがとうございました